鈴	鹿工	業高等専門学校		総合イ(環境	´ノベー Î・資源		事 攻	開講	年度	平成	26年度	₹ (2014	l年度)	
学	科到	 達目標						•		•				
			科曰番	単位種	X4 (1-34)	学年別週当授	業時数		専2年				担当教	履修 上
科目分		授業科目	科目番号	単位種 別	単位数	前 1Q 2Q	後 3Q	4Q	前 1Q	2Q	後 3Q	4Q	担当教員	履修上 の区分
— 般	必修	 英語総合 I	0001	学修単 位	1	IQ 2Q	1	<u> 4Q</u>	TIQ.	<u> </u> 2Q	Jou	40	」 一古野 百 一合	
一般	必修	技術者倫理	0002	学修単位	2		2						日本 横喜田伊博田川正今英山春要藤打憲口隆津川 年 世	
般	必修	応用情報工学	0003	学修単 位	2	2							浦尾彰	
— 般	必修	データベース論	0004	学修単 位	2		2						田添 丈博	
一般	必修	代数学特論	0006	学修単 位	2		2						大貫 洋介	
— 般	選択	数理解析学 I	0007	学修単 位	2	2							桑野 一成	
— 般	選択	数理解析学Ⅱ	8000	学修単 位	2		2						桑野 一 成	
一般	選択	実践工業数学 I	0009	学修単 位	1	1							白井 達 也,柴 垣,箕浦 弘人	
一般	選択	実践工業数学Ⅱ	0010	学修単 位	1	1							山口雅 裕,和 田,兼松 秀行	
— 般	必修	技術英語 I	0011	学修単 位	1	1							Lawso n Micha el	
- 般	選択	インターンシップⅡ	0020	学修単 位	4	集中講義							インタ ーンシ ップ 担 当教員	
般	選択	インターンシップⅢ	0021	学修単 位	6	集中講義							インタ ーンシ ップ 担 当教員	
— 般	選択	国際インターンシップ I	0022	学修単 位	2	集中講義							インタ ーンシ ップ 担 当教員	
- 般	選択	国際インターンシップ II	0023	学修単 位	4	集中講義							インタ ーンシ ップ 担 当教員	
— 般	選 択	上級英会話	0024	学修単 位	2	2							日下隆	
— 般	選択	海外語学実習 I	0025	学修単位	1	集中講義							近和浦和憲西一山雅藤箕弘田幸村寛口裕	
一般	選択	海外語学実習 Ⅱ	0026	学修単位	2	集中講義							近和浦和憲西一山雅 人	

一般	選択	海外語学実習Ⅲ	0027	学修単位	3		近和第一人 用 人 用 人 用 大
一般	選択	グローバル・リーダー論	0029	学修単位	2	2	新次井西慶齊正点誠井湘郡田平信岡子藤美坪大一本彦田・一本彦
- 般	選択	応用物理学	0031	学修単 位	2		仲本 朝基
一般	選択	化学総論	0032	学修単 位	2	2	甲斐 穂高
般	必修	環境保全工学	0033	学修単 位	2	2	甲斐 穂高
般	必修	信頼性工学	0034	学修単 位	2	2	民秋 実
—	選択	インターンシップ I	0042	学修単位	2	集中講義	インタ ーンシ ップ 担 当教員
専門	コース選択	情報通信工学特論	0005	学修単 位	2	2	森 育子
専門	コース選択	制御機器工学	0012	学修単 位	2	2	横山 春喜
専門	選択	応用電子回路論	0013	学修単 位	2	2	近藤 一
専門	コース選択必修	マイクロプロセス工学	0014	学修単位	2	2	柴垣 寛 治
専門	コース選択必修	エネルギー移送論	0015	学修単位	2		藤松 孝 裕
専門	選択	化学情報工学	0016	学修単 位	2	2	長原 滋
専門	コース選択必修	分子生命科学	0017	学修単位	2	2	山口 雅 裕
専門	選択必修	有機化学特論	0018	学修単 位	2	2	長原 滋
専門	必修	特別研究 I	0019	学修単 位	5	2.5 2.5	特別研 究 I 指 導教員
専門		総合イノベーション工学 実験(1年次)	0028	学修単位	2		等近和野和憲山雅,第30两一大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大

	\Box						
専門	ース選択必修	資源工学	0030	学修単 位	2	兼松 秀 行,甲 斐 穂 高	ה ק
_	選択必修	非破壞検査工学	0035	学修単 位	2	2	Ε
専門	コース選択必修	流体力学特論	0036	学修単位	2	2	В
専門	コース選択	複合材料工学	0037	学修単 位	2	民秋 実	Aiu
専門	選択必修	材料物理学	0038	学修単 位	2	南部 智憲,万 谷 義和	
専門	コース選択必修	組織制御学	0039	学修単位	2	2	
専門	選択	相変態工学	0040	学修単 位	2	2 小林道正	Ē
専門	選択	基礎電子化学	0041	学修単 位	2	2 和田意幸	
— 般	必修	英語総合 Ⅱ	0053	学修単 位	1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
—	必修	技術英語 II	0054	学修単 位	1	Lawso n Micha el	
— 般	必修	国際関係論	0055	学修単 位	2		1
一般	選 択	経営学	0056	学修単 位	2	2 春田 男	
_	選択	言語表現学特論	0057	学修単位	2		F
	122	海外語学実習 I	0058	学修単 位	1	集中講義 全学科 全教員	
— 般	選択	海外語学実習Ⅱ	0059	学修単 位	2	集中講義 全学科 全教員	
— 般	選択	海外語学実習Ⅲ	0060	学修単 位	3	集中講義 全学科 全教員	
— 般	選択	国際インターンシップ I	0074	学修単 位	2	インタ ーンシップ 担 当教員	<u>.</u> <u>=</u>
- 般	選択	国際インターンシップ II	0075	学修単 位	4	インタ ーンシップ 担 当教員	⊒
専門	必修	総合イノベーション工学 輪講	0043	学修単 位	2	2 全学科全教員	
専門	必修	総合イノベーション工学 実験(2年次)	0044	学修単 位	2	全学科 全教員	
専門	必修	特別研究 Ⅱ	0045	学修単 位	7	3.5 3.5 全学科 全教員	
専門	コース必修	海洋環境学	0046	学修単 位	2	山田 二 久次	-
専門	リコース選択必修	移動現象論	0047	学修単位	2		В

					1		
専門	コース選択必修	生体機能工学	0048	学修単 位	2		今田 一 姫
専門	選択	細胞情報科学	0049	学修単 位	2	2	山口 雅 裕
専門	必修	センサ工学	0050	学修単 位	2	2	横山 春 喜,西 村 一寛
専門	選択	電気理論特論	0052	学修単 位	2	2	西村高志
専門	選択必修	電子材料特論	0061	学修単位	2	2	伊藤 明,西村一寛
専門	選択必修	データ処理システム	0062	学修単 位	2		青山 俊弘
専門	コース選択必修	ヒューマンインターフェース	0063	学修単位	2		箕浦 弘人
専門	選択	実践工業数学 I	0064	学修単位	1	1	箕浦 弘 人,连也 ,柴垣 寛治 ,打田 正樹
専門	選択	実践工業数学Ⅱ	0065	学修単 位	1		兼松 秀 行,山 口雅裕 ,和田 憲幸
専門	選 択	生命工学	0066	学修単 位	2	2	丹波 之宏
専門	必修	物性工学	0067	学修単 位	2	2	和田 憲幸
専門	コース選択必修	有機材料工学	0068	学修単 位	2		下古谷博司
専門	コース選択	材料強度工学	0069	学修単 位	2		黒田大介
専門	選択	エコマテリアル	0070	学修単 位	2	2	小俣 香織
専門	選択	インターンシップ I	0071	学修単 位	2	集中講義	インタ ーンシ ップ 担 当教員
専門	選択	インターンシップⅡ	0072	学修単 位	4	集中講義	インタ ーンシ ップ 担 当教員
専門	選択	インターンシップⅢ	0073	学修単 位	6	集中講義	インタ ーンシ ップ担 当教員
専門	選択	生産設計工学	0076	学修単位	2		飯塚 昇 横山 春喜 ,平井 信充

		専門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授	業科目	英語総合 I
科目基礎	營情報							
科目番号		0001			科目区分		一般 / 必	
授業形態		授業			単位の種別と単位	数	学修単位	: 1
開設学科		総合イノ ス)	/ベーション工学専	攻(環境・資源コー	対象学年		専1	
開設期		後期			週時間数		1	
教科書/教	材	Kazuo 1	shiguro, Never L	et Me Go; Main版	(Faber and Faber)			
担当教員		古野 百		,	•			
到達目標	 							
		よがら読解力	を強化するととも	に、登場人物の心理	や物語のテーマにつ	いて担	里解し、そ	それについて英語で論じることが出来
』。 ルーブリ	 Jック							
			理想的な到達レ	バルの目安	標準的な到達レベ	ルの目]安	未到達レベルの目安
評価項目1		自分の専門分野 ある内容や関心 る報告や対話な 度の速度で聞い 情報を聞き取	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取り、その内容の把握を他に適用することができる。 場等はある内容が思いて、概要を把握しまり、である内容の把握を他に適用することができる。 場等ないできる。 はまたの内容を表します。 は、		が備知識の 動柄に関す 計20語程 を把握し	自分の専門分野などの予備知識の ある内容や関心のある事柄に関す る報告や対話などを毎分120語程 度の速度で聞いて、概要を把握し		
評価項目2	評価項目2		関心のあるトピ 分野に関する論 どの概要を把握	ックや自分の専門 なやマニュアルな し、必要な情報を の内容の把握を他に	関心のあるトピッ 分野に関する論文 どの概要を把握し 読み取り、その内 とができる。	クや自 やマニ 、 必要	ユアルな な情報を	関心のあるトピックや自分の専門 分野に関する論文やマニュアルな どの概要を把握し、必要な情報を
評価項目3	3		を払い、その遺容さが必要であ がら、その国の 信条、価値観な	か文化や歴史に敬意 いを受け入れる寛 ることを認識しな ることを認識しな などの基本的的 などの基本的けて説 できる。	それぞれの国の文 を払い、その違い を払いがそので国の がらく、 に信ちの 信自分解釈できる 明し、解釈できる	を受け こと習慣 のと関連	け入れる寛 と認識しな 貴や宗教的 いな事象	を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象
学科の至]達目標功	頁目とのほ		177 CC 00	17301 7341/100	0		73 01 734710 00000
教育方法	 上等							
概要		Ishigur	oの小説 Never Let よってリスニング いて英語で論じるこ	Me Go を読み、語 力を強化し、適宜ワ	彙力や読解力を強化 '−クシートを使いな	し、情がら物	弱報を正確 物語の内容	とを目指す、具体的にはKazuo に読み取る力を養う。また、朗読を聞 評担握や登場人物の心理を確認し、作 て教養を高め、豊かな人間性を育む
授業の進め	か方・方法		疑案内容は、学習・ に対応する.	教育到達目標(A)	<視野>[JABEE基準	1(2)	(a)]およで	び(C) <英語>[JABEE基準
注意点		く、のく30歳くとくに関いません。 は、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間で	標の評価方法と基準により評価する。評価方法とより評価する。評価方法によりは、百点法におけるでは、につった場合には、(得要件、学業成績でじめ変がと、授業に関サ発業は講義、及び発送、英文を読んで	価における各「到達 50点以上の得点を耳 び評価基準>中間、 し、試験で60点以 50点を上限としてす で60点以上を取得す 楚知識の範囲とTOEI する小テスト及び課 後表形式で行う、発	目標」の重みの目安 パリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカ	は1~ 注達成に まま再試 後の成 ET26 要約、	~5を80% したことた 70%、小 験を課する 債で置き接 00修了程 内容理解	
授業計画								
		週	授業内容		迈	過ごとの	の到達目標	
		1週	Introduction(授	業の進め方および概				里解できる.(受講者の作品ページの 発表方法について理解する.)
			Chapter 1-2		1 5 	L. 作品で使える。 で答える。 で答える。	品の内容† われている . 作品に関 られる. とが出来る	で表の点について生解する。) やそのテーマを理解できる。 2. 作る単語や熟語などの表現を理解できる 関する英語の問いに対して適切な表現 4. 作品の一部を正しい発音で音読 5. 作品の内容についての議論 し、意見を英語で書くことが出来る。
	3rdQ	3週	Chapter 3-4			上記 1		- JOSEPH CENTRAL
		4週	Chapter 5-6			上記 1 ′	~5.	
		5週	Chapter 7-8			上記 1 ′	~5.	
後期		6週	Chapter 9-10			上記 1	~5.	
		7週	Chapter 11、前半	≐の復習		上記 1 ′	~ <u>5.</u>	
		8週	中間試験					
		9週	Chapter 12-13			上記 1 ′	~5.	
		10週	Chapter 14-15			<u> </u>		
		11週	Chapter 16-17			上記 1 [′]		
	4thQ	12週	Chapter 18-19			上記 1 [,]		
	1 ~		1 = 0 = 0					

上記1~5.

上記1~5.

上記1~5.

13週

14週

15週

Chapter 20-21

Chapter 22-23

後半のまとめと復習

		16週	学年末試験							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標										
分類		分野	学習内	内容	学習内容の到達目標	<u> </u>			到達レベル	授業週
評価割合	ì									
			試験			課題等		合計		
総合評価割	合		70			30		100		
配点			70			30		100		

<u>- 10 至</u> 科目番号	礎情報	事門学校	│ 開講年度 平成31年度 (2	/->- /	授業科目	技術者倫理	
		0002		科目区分	一般 / 必		
授業形態	אמת	授業		単位の種別と単位			
開設学科	4	総合イノス)	ベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専1		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/勃	教材		「技術の営みの教養基礎 技術の知と 点と判断基準を探る」公益社団法人日	倫理」比屋根 均著 本技術士会登録技術		考書:「技術者倫 修 田岡直規・橋	理 日本の事例と考 な義平・水野朝夫
担当教員	Į	横山 春喜	喜,春田 要一,伊藤 博,打田 憲生,山口 正	隆,今津 英一朗			
到達目	標						
		を理解してお	らり,実例をもとに事例研究ができる専	門知識を習得し, 🥞	今後の科学技術の	利用,研究開発活	「動に応用できる.
<u>ルーブ</u>	<u>゙リック</u>						
			理想的な到達レベルの目安	│標準的な到達レベ │	いの目安	★到達レベルの)目安
評価項目	1 1		技術者に必要な倫理観を持って技術者の役割を果たすことができる	技術者に必要な倫役割について説明		技術者に必要な役割について訪	は倫理観と技術者の 説明できない.
学科の	到達目標耳	頁目との関	係				
教育方	法等						
既要		この科目 理観等に で通信用	は,科学技術の利用,研究開発活動を ついて講義形式で授業を行うものであ の電子・光デバイスを研究開発してい	はじめとする技術 る.全15週のうち た者が担当し、他 <i>0</i>	養務を, 社会と組 5, 第1週、第8別 0週は各種業界で	織の中で適切に行 引および第13週 実務経験がある技	「うために必要な倫 から第15週は企業 「術士が担当する.
受業の進	進め方・方法	・授業は	の内容は,学習・教育目標(A) <技術i 講義形式で行う.講義中は集中して聴 計画」における各週の「達成目標」は	講する.	. , , ,		_する.
1 ∞ 2∨ = 1		基礎とな学の紹介と (人)	得要件〉与えられた課題レポートを全じめ要求される基礎知識の範囲〉本教る教科である。 習〉授業で保証する学習時間と、予習準的な学習時間の総計が、90時間にた参考文献などで予習し、不明な点をこの利目では、技術者としての専門知理解し、学んだ専門知識をそれに結び	・復習(中間試験, 相当する学習内容でまとめておくこと. 識を学ぶのではなく	定期試験のためである. 受講にあ	の学習も含む)及 たっては,教科書 は高い水準の技術	なびレポート作成に の該当箇所,講師 対者倫理が要求され
授業計	· <u></u> 画	週	授業内容			5	
		1週	技術士,技術士補の現状(授業概要, 術士試験等について)(担当Y)	++分に上 レ/+ ++		・ 技術者の役割を理	里解できる.
		2週	ガイダンス(担当 I)		1. 社会における	技術者の役割を理	里解できる.
		3週	技術者倫理の目的(担当 I)		2.技術者倫理の	要素を理解できる	3.
	3rdQ	4週	科学技術の正しさとその限界(担当I)		3. 技術者倫理に とができる.	対する素養と感受	マルヘナーナロマー
		5週	科学的知識と技術(担当I)				党性の同上を図るこ
			1±4555 - 30555 (1034334)	I.	上記3に同じ.		党性の向上を図るご
		6週	技術知の戦略(担当Y)		上記 3 に同じ. 上記 3 に同じ.		党性の同上を図るこ
		7週	組織における技術知と情報(担当Y)	-			対任の同上を図ると
		7週 8週	組織における技術知と情報(担当Y) 中間テスト	_	上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ.		対任の同上を図ると
後期		7週 8週 9週	組織における技術知と情報(担当Y)中間テスト 技術の専門職という立場(担当H)		上記3に同じ、 上記3に同じ、 上記3に同じ、 上記3に同じ、		対告の可上を図ると
後期		7週 8週 9週 10週	組織における技術知と情報(担当Y)中間テスト技術の専門職という立場(担当H)誠実な仕事(担当U)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ.		対任の同上を図ると
後期		7週 8週 9週 10週 11週	組織における技術知と情報(担当Y) 中間テスト 技術の専門職という立場(担当H) 誠実な仕事(担当U) 義務と同意・説明責任、透明性の確保 法(担当U)	、安心、技術と	上記3に同じ、 上記3に同じ、 上記3に同じ、 上記3に同じ、 上記3に同じ、 上記3に同じ、		対告の可上を図ると
後期	4thQ	7週 8週 9週 10週	組織における技術知と情報(担当Y)中間テスト技術の専門職という立場(担当H)誠実な仕事(担当U)	え、安心、技術と	上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ.	『で討議し、 プレナ	こ反する事例を取り
後期	4thQ	7週 8週 9週 10週 11週 12週	組織における技術知と情報(担当Y) 中間テスト 技術の専門職という立場(担当H) 誠実な仕事(担当U) 義務と同意・説明責任、透明性の確保法(担当U) 技術専門知の役割(担当H) 事例研究_1(チャレンジャー事故)(担	ミ、安心、技術と 当Y)	上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 4. 実社会で発生 発表,質疑応答を トできる.	『で討議し、 プレナ	で任の向上を図るこ こ反する事例を取り ゴンツールを用いて き果を纏めてレポー
後期	4thQ	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	組織における技術知と情報(担当Y)中間テスト 技術の専門職という立場(担当H) 誠実な仕事(担当U) 義務と同意・説明責任、透明性の確保法(担当U) 技術専門知の役割(担当H) 事例研究_1(チャレンジャー事故)(担 事例研究_2(事例選択とグループ討議	R、安心、技術と B Y) J (担当Y)	上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 4. 実し グルー答を トできる. 上記4に同じ.	『で討議し、 プレナ	こ反する事例を取り
後期	4thQ	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	組織における技術知と情報(担当Y) 中間テスト 技術の専門職という立場(担当H) 誠実な仕事(担当U) 義務と同意・説明責任、透明性の確保法(担当U) 技術専門知の役割(担当H) 事例研究_1(チャレンジャー事故)(担	R、安心、技術と B Y) J (担当Y)	上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 4. 実社会で発生 発表,質疑応答を トできる.	『で討議し、 プレナ	こ反する事例を取り
		7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	組織における技術知と情報(担当Y)中間テスト技術の専門職という立場(担当H)誠実な仕事(担当U)義務と同意・説明責任、透明性の確保法(担当U)技術専門知の役割(担当H)事例研究_1(チャレンジャー事故)(担事例研究_2(事例選択とグループ討議事例研究_3(グループ発表とレポート	R、安心、技術と B Y) J (担当Y)	上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 4. 実し グルー答を トできる. 上記4に同じ.	『で討議し、 プレナ	こ反する事例を取り ブンツールを用い7
モデル		7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	組織における技術知と情報(担当Y)中間テスト技術の専門職という立場(担当H)誠実な仕事(担当U)義務と同意・説明責任、透明性の確保法(担当U)技術専門知の役割(担当H)事例研究_1(チャレンジャー事故)(担事例研究_2(事例選択とグループ討議事例研究_3(グループ発表とレポート学習内容と到達目標	S. 安心、技術と 当Y)) (担当Y)) (担当Y)	上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 4. 実し グルー答を トできる. 上記4に同じ.	で討議し、ブレヤ行うとともに、糸	こ反する事例を取り ヹンツールを用いて 吉果を纏めてレポー
モデル	/コアカリ=	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	組織における技術知と情報(担当Y)中間テスト技術の専門職という立場(担当H)誠実な仕事(担当U)義務と同意・説明責任、透明性の確保法(担当U)技術専門知の役割(担当H)事例研究_1(チャレンジャー事故)(担事例研究_2(事例選択とグループ討議事例研究_3(グループ発表とレポート	S. 安心、技術と 当Y)) (担当Y)) (担当Y)	上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 4. 実し グルー答を トできる. 上記4に同じ.	で討議し、ブレヤ行うとともに、糸	こ反する事例を取り ブンツールを用い7
	/コアカリ=	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	組織における技術知と情報(担当Y)中間テスト技術の専門職という立場(担当H)誠実な仕事(担当U)義務と同意・説明責任、透明性の確保法(担当U)技術専門知の役割(担当H)事例研究_1(チャレンジャー事故)(担事例研究_2(事例選択とグループ討議事例研究_3(グループ発表とレポート学習内容と到達目標	S. 安心、技術と 当Y)) (担当Y)) (担当Y)	上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 上記3に同じ. 4. 実し グルー答を トできる. 上記4に同じ.	で討議し、ブレヤ行うとともに、糸	こ反する事例を取り ヹンツールを用いて 吉果を纏めてレポー

	毘工業高等	等専門学校	党 開講年度	平成31年度	(2019年度)	授業科目	データベース論			
科目基	碰情報 碰情報	<u> </u>	, 173B1 1/2	. 1 /3//01 1/2	(2010 1 12)		V V V V V V V V V V V V V V V V V V V			
科目番号		0004			科目区分	一般 / 必	修			
授業形態	E.	授業			単位の種別と単位	数 学修単位	: 2			
開設学科	4	総合イ. ス)	ノベーション工学専	エ攻(環境・資源コ-	_ 対象学年	専1				
開設期		後期			週時間数	2				
教科書/	教材	教科書ルデー	:「データベース - タベースの実践的基	- ビッグデータ時代 礎 速水治夫著(]	の基礎 – 」三石大, き コロナ社), 関係する	議卓哉編著(共 参考書等は図書	t立出版) 参考書 : 「リレーショナ 館・WWWに多数ある.			
担当教員	1	田添 丈				<i>y</i> 12 () (0.22	AL			
到達目										
データベ	ヾースの基礎 て, それらの	と, リレー 基礎を理解	ショナルデータベー している.	-スの特徴, データ	ベース設計の方法論,	S Q L の基礎と	:SQLを用いた問合せ, データ更新			
	ンリック		<u> </u>							
			理想的な到達し	ノベルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目										
評価項目										
	33)到達目標	 項目との!	 関係				1			
教育方		<u> </u>	- S 1/11*							
概要	-	データ	ベースの基礎を講義	する. コンピュー	タ, インターネット,	WWWの普及と	ともに、データベース技術の重要性			
		・すべ		教育到達目標(B)	<専門>(JABEE基		ムのしくみについて理解を深める. に相当する.			
授業の進	生め方・方法	- ・授業(は講義・輪講形式で	「行う 講義中は集」	4して聴講する	. , . , ,	に相当するものとする.			
		<到達	目標の評価方法と基	準>下記授業計画の		した問題を中間	 試験および定期試験で出題し,目標			
		の試験	を課す.				豆で, 目標の達成を確認できるレベル			
		<学業/ 平均点:	成績の評価方法およ を80%,課題の評価	:び評価基準>適宜: を20%として評価	求める課題の提出をし iする.ただし,中間i	ていなければな 試験の成績が60	らない.中間,期末の2回の試験の 点に達していない者には再試験の機会			
注意点		を与え	. 再試験の成績が再	i試験の成績が再試験前の成績を上回った場合には60点を上限として置き換えるものとする. P要件>学業成績で60点以上を取得すること.						
/1/20////		くあら	かじめ要求される基	め要求される基礎知識の範囲>コンピュータの基本的な使い方(Windows, ワープロ, WWWなど). 本には、高車での数学の翌得が必要である						
		く自己	目には、同等での数 学習>授業で保証す 煙進的な学習の終計	る学習時間と、予	90. 翌・復習(中間試験, オス学翌内窓である	定期試験のため	の学習も含む)及びレポート作成に			
		<備考)	>目己学習を前提と	:した規定の単位制(こ基つき授業を進め、	オンラインでの	課題提出を求めたり小テストを行っ			
控業計		1/2/1/9/	300C, 129-A	シアが利用でする		に 口垣の玄羽	復羽にもを1ゎスマレ			
11 					^{哀児を华伽 9} るととも	に, 日頃の予習	復習に力を入れること。			
授業計		週	授業内容			に, 日頃の予習 週ごとの到達目標				
汉未訂		週 1週	授業内容情報社会とデータ	アベース) 1	り ごとの到達目標 データベーン	票 スの利用事例を確認し,情報社会にお			
					道 1 1 2	型ごとの到達目標 データベース けるデータベース	西京			
		1週	情報社会とデータ	ための基礎理論	道 1 1 2 2	型ごとの到達目様 . データベース けるデータベース ! . リレーショフ く理論全体の基礎 3 . リレーショフ	₹ スの利用事例を確認し, 情報社会にお スの役割を理解している. トルデータモデルならびにデータベー			
		1週 2週 3週	情報社会とデータ データベースのた リレーショナルテ	ための基礎理論 ニータモデル	道 1 1 2 2 3 3	型ごとの到達目様 ・データベース けるデータベース ・リレーショス は理論全体の基礎 ・リレーショフ コンとリレーショス ・属性集合が	での利用事例を確認し、情報社会におれての利用事例を確認し、情報社会におれての役割を理解している。 ・ルデータモデルならびにデータベーをとなる集合の概念を理解している。 ・ルデータモデルについて、リレーションスキーマを理解している。			
	3rdQ	1週	情報社会とデータ	ための基礎理論 ニータモデル	近 1 1 2 2 3 3 4 4	過ごとの到達目様 データベース !データベース !リレーショス !リレリー会 !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と !と ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! !	では、			
		1週 2週 3週	情報社会とデータ データベースのた リレーショナルテ	ための基礎理論 ニータモデル	近 1 1 2 2 3 3 4 4	過ごとの到達目様 データベース けるデータベース !リレーショス !リレーショス !と ローシーション ! タリレ 会がに 	での利用事例を確認し、情報社会におれての利用事例を確認し、情報社会におれての役割を理解している。 ・ルデータモデルならびにデータベーをとなる集合の概念を理解している。 ・ルデータモデルについて、リレーションスキーマを理解している。			
<u>1</u> 又未。		1週 2週 3週 4週	情報社会とデータ データベースのた リレーショナルテ リレーショナル代	ための基礎理論 データモデル	道 () () () () () () () () () ()	型ごとの到達目標 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	での利用事例を確認し、情報社会におれての役割を理解している。 トルデータモデルならびにデータベー をとなる集合の概念を理解している。 トルデータモデルについて、リレーションスキーマを理解している。 同じである2つのリレーションに対し 合する「輪集合」、共通するタブルを 、差分を抽出する「差集合」を理解			
		1週 2週 3週 4週 5週	情報社会とデータ データベースのた リレーショナルデ リレーショナル代 SQL	ための基礎理論 データモデル	近 け こ こ こ こ て 打 し	過ごとの到達目様 データベース カータベース リータベース リータベース リータベース リータ体の リークを リークの リークの ステークの ステーク ス	での利用事例を確認し、情報社会におれての役割を理解している。 ・ルデータモデルならびにデータベー をとなる集合の概念を理解している。 ・ルデータモデルについて、リレーションスキーマを理解している。 同じである2つのリレーションに対した 合する「輪集合」、共通のタブルを 、差分を抽出する「差集合」を理解 がな使い方ができる。 ・「除、行の並べ替えの方法について理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
		1週 2週 3週 4週 5週 6週	情報社会とデータ データベースのた リレーショナルデ リレーショナル代 SQL SQLによる高度な	ための基礎理論 データモデル	近 け こ こ こ こ て 打 し こ て た う た う て う て う て う て う て う て う て う て	型ごとの到達目様 おごとの到達目様 おごに アーター アーター アーター アーター アーター アーター アーター アータ	での利用事例を確認し、情報社会におれての役割を理解している。 ・ルデータモデルならびにデータベー をとなる集合の概念を理解している。 ・ルデータモデルについて、リレーションスキーマを理解している。 同じである2つのリレーションに対した 合する「輪集合」、共通のタブルを 、差分を抽出する「差集合」を理解 がな使い方ができる。 ・「除、行の並べ替えの方法について理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
後期		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	情報社会とデータ データベースのた リレーショナルデ リレーショナル代 SQL SQLによる高度な 正規化	こめの基礎理論ニータモデルX数x間合せ	近 1 1 2 2 3 3 3 4 7 1 1 1 5 6 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	型ごとの到達目様 ランド アンド ランド アンド ランド アンド	での利用事例を確認し、情報社会におれての役割を理解している。 ・ルデータモデルならびにデータベー をとなる集合の概念を理解している。 ・ルデータモデルについて、リレーションスキーマを理解している。 同じである2つのリレーションに対した 合する「輪集合」、共通するタブルを 、差分を抽出する「差集合」を理解 がな使い方ができる。 はは、行の並べ替えの方法について理 の更新時異常が正規化によって解消 にのの更新時異常が正規化によって解消			
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	情報社会とデータ データベースのた リレーショナルデ リレーショナル代 SQL SQLによる高度な 正規化 中間試験 データモデリング	一タモデルば数	近 1 1 1 1 2 2 7 1 1 1 5 6 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	型ごとの到達目様 ・ るデータター体 ・ ララ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でいる。 「なののではいかできる。」 「なのでではいかできる。」 「ながながいかできる。」 「ながながいかできる。」 「ながながいかできる。」 「ながながいかできる。」 「ながながいかできる。」 「ながながいかできる。」 「ながながいかできる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながいたができる。」 「ながながいる。」 「ながいる。」 「ながいる。」 「ながながいる。」 「ながいる。」 「ながながいる。」 「ながながいる。」 「ながながいる。」 「ながいる。」 「ながながいる。」 「ながながいる。」 「ながながいる。」 「ながながいる。」 「ながながいる。」 「ながながいる。」 「ながながいる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。 「ながないる。」 「ながないる。」 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないるがないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないる。 「ながないるがないないないないないないないないないないないないないないないないない			
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	情報社会とデータ データベースのた リレーショナルゲ リレーショナル代 SQL SQLによる高度な 正規化 中間試験 データモデリング データベース管理	- めの基礎理論 - 一タモデル - 大数 - は問合せ - ブロシステムと外部記	り 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	型ごとの到達目標 ・ る で と の 到達目標 ・ る で で で で で で で で で で で で で で で で で で	での利用事例を確認し、情報社会におれての役割を理解している。 ・ルデータモデルならびにデータベー をとなる集合の概念を理解している。 ・ルデータモデルについて、リレーションスキーマを理解している。 同じである2つのリレーションに対した 合する「輪集合」、共通するタブルを 、差分を抽出する「差集合」を理解 がな使い方ができる。 は、行の並べ替えの方法について理 いの更新時異常が正規化によって解消 のしている。 した内容を説明し、諸量を求めること リングの意味と重要性を理解している。			
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	情報社会とデータ データベースのた リレーショナルデ リレーショナル代 SQL SQLによる高度な 正規化 中間試験 データモデリング	- めの基礎理論 - 一タモデル - 大数 - は問合せ - ブロシステムと外部記	り 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	型ごとの到達目標 ・ ることの 到達目標 ・ ることの ラター体 ラター体 ラリニー リン に アン・ リン に アン・	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、			
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	情報社会とデータ データベースのた リレーショナルゲ リレーショナル代 SQL SQLによる高度な 正規化 中間試験 データモデリング データベース管理	- めの基礎理論 - 一タモデル - 大数 - は問合せ - ブロシステムと外部記	り (2) (3) (3) (4) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	型でとの ラマ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	では、このでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で			
	3rdQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	情報社会とデータ データベースのだ リレーショナルイ SQL SQLによる高度な 正規化 中間試験 データモデリング データベース管理 トランザクション	- めの基礎理論 - 一タモデル - (数) (計画) (は) (送 1 1 1 1 2 2 7 打し 5 6 角 7 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	型では、	では、このでは、では、では、では、このでは、では、このでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で			
	3rdQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	情報社会とデータ データベースのだ リレーショナルイ SQL SQLによる高度な 正規化 中間試験 データモデリンク データベース管理 トランザクション 障害回復	一クモデル満数は間合せアンステムと外部記した。アンと同時実行制御ML	り に ことで 打し を を を を を を を を を を を を を	型 こと に と に と に と に と に と に と に と に と に と	では、このでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で			
	3rdQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	情報社会とデータ データベースのた リレーショナルゲ SQL SQLによる高度な 正規化 中間試験 データモデリング データベース管理 トランザクション 障害回復 半構造データとX マルチメディアデ	一クモデル満数は間合せアンステムと外部記した。アンと同時実行制御ML	り に ことで 対し に を を を を を を を を を を を を を	型 こと に は は に は に は に は に は に は に は に と に が こ に は でる ・	では、の利用事例を確認し、情報社会におれての役割を理解している。 ・ルデータモデルならびにデータベーをとなる集合の概念を理解している。 ・ルデータモデルについて、リレーションに対しをもなる「輪集合」を理解している。 のであるとのリレーションに対しをするができる。 ・ 「			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標											
分類 分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週											
評価割合											
	試験		果題	相互評価	態度	発表	その他	合	· i t		
総合評価割合	総合評価割合 80 20 0 0 0 0 100 100										
配点 80 20 0 0 0 100											

	 第工業高等	由門学校	開講年度 平成31年度 (2	の10年度)	受業科目	代数学特論
		守门子仪	. 用确件及 十成31件皮 (2	.019平/支)	文 末 代日 1	(奴子付調
科目番号		0006		科目区分	一般 / 必修	2
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位:	
開設学科	-		/ベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専1	_
開設期		後期		週時間数	2	
教科書/教	 教材		なし(配布プリント)参考書:「演習の	と応用 線形代数」(5田文行・木村	対宣昭著 サイエンス社)
担当教員	Į	大貫 洋	r			
到達目	標					
線形代数 る知識を	(の基本的な様 :体系的に身(既念をしった こつける.	かりとした形で理解し,それに基づいて!	具体的な問題を解くこ	とができ, 大学	学院へ進学する学生が後に必要とな
ルーブ	リック					
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの		未到達レベルの目安
評価項目	1		線形空間および線形写像の概念と 考え方を理解し,発展的な問題で適 切に計算・応用することができる	線形空間および線形型 考え方を理解し、基本 切に計算・応用する。	的な問題で適	線形空間および線形写像の概念と 考え方を理解しておらず, 基本的な 問題でも適切に計算することがで きない.
評価項目2			固有値と固有ベクトルの性質・行列の対角化との関連を理解し,発展的な問題で適切に計算・応用することができる.	固有値と固有ベクトル列の対角化との関連で 的な問題で適切に計算できる.	と理解し,基礎	固有値と固有ベクトルの性質・行列の対角化との関連を理解しておらず、基礎的な問題で適切に計算することができない.
学科の	到達目標項	頁目との関	国 係			
教育方法	 法等					
概要	,,,,	線形代数り扱う	なの知識の再確認と補充を行った上で, 注法について学ぶ.講義内容の選定におい	泉形空間や線形写像な ハては大学院の入学試	どの抽象化され 険対策も意識し	こた概念を,行列を用いて表現し取 したい。
授業の進	め方・方法	この授業	美の内容は全て学習・教育到達目標(B) < 十画」における各週の「到達目標」はこの	(基礎>及びJABEE基準	1.2(c)に対応	する.
注意点		<単位値 <あらた .	な績の評価方法および評価基準> 後期時後,個人に課す課題の評価を15%として終得要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本	すること. 教科は微分積分ⅠとⅡ _.	線形代数 I と	こⅡ の学習が基礎となる教科である
注意点	画	<単位値 <あらた . <自己当 な学習睡	移得要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本製学習> 授業で保証する学習時間と、予設時間の総計が90時間に相当する学習内容	すること。 教科は微分積分 I と II 。 習・復習(定期試験の) である.なお,個人に	線形代数 I と こめの学習を言 課す課題は問題	Ⅱの学習が基礎となる教科である除す) . 個人に課題に必要な標準的
	画	<単位値 <あらた <自己当	8得要件> 学業成績で60点以上を取得 Nじめ要求される基礎知識の範囲> 本割 全習> 授業で保証する学習時間と、予覧	すること、 教科は微分積分 I と II Y ・ 復習(定期試験の) である. なお, 個人に	線形代数 I と こめの学習を含 課す課題は問題 との到達目標	Ⅱの学習が基礎となる教科である(さ) ,個人に課題に必要な標準的 9重集から指定をする。
	画	<単位値 <あらた . <自己当 な学習睡	移得要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本製学習> 授業で保証する学習時間と、予設時間の総計が90時間に相当する学習内容	すること、 教科は微分積分 I と II Y ・ 復習(定期試験の) である. なお, 個人に	線形代数 I とこめの学習を言います課題は問題との到達目標線形空間とその	Ⅱの学習が基礎となる教科である除す) . 個人に課題に必要な標準的
	画	<単位値 <あらた。 、	移得要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本ま 学習> 授業で保証する学習時間と,予 時間の総計が90時間に相当する学習内容 授業内容	すること、 教科は微分積分 I と II 。 習・復習(定期試験の)である.なお,個人に 週ご	線形代数 I とこめの学習を言葉す課題は問題との到達目標線形空間とその	Ⅱの学習が基礎となる教科である(さ) ,個人に課題に必要な標準的 9重集から指定をする。
	直	<単位((移得要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本書	すること、 教科は微分積分 I と II Y ・ 復習(定期試験の)である. なお, 個人に 週ご	線形代数 I とこめの学習を言います課題は問題との到達目標線形空間とその・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Ⅱの学習が基礎となる教科である(さ) ,個人に課題に必要な標準的 9重集から指定をする。
		く は は は は は は は は は は は は は は は は は は	移得要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本書 2 授業で保証する学習時間と、予 5 間の総計が90時間に相当する学習内容 授業内容 ガイダンス、線形空間の例 線形空間と部分空間	すること、 教科は微分積分 I と II 望・復習(定期試験の である、なお、個人に 週ご 1. いる 上記 上記 2.	線形代数 I とこめの学習を言います課題は問題との到達目標線形空間とその・1・1・2・2・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3	□ II の学習が基礎となる教科である☆ II の学習が基礎となる教科である☆ II の学習が基礎となる教科である※ II の学習が基礎となる※ II の学習が基礎となる※ II の学習が基礎となる※ II の学習が表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表
	画 3rdQ	く く で で で で で で で で	移得要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本書	すること、 教科は微分積分 I と II 望・復習(定期試験の である. なお, 個人に	線形代数 I とこめの学習を言います課題は問題との到達目標線形空間とそのも、1.1.線形写像とそでに対して計算が	ご II の学習が基礎となる教科である 含む), 個人に課題に必要な標準的 類集から指定をする. の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し, 具体的 ができる.
		Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye	移得要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本書	すること、 教科は微分積分 I と II 望・復習(定期試験の である. なお, 個人に	線形代数 I とこめの学習を言います課題は問題との到達目標線形空間とその・1.1.は終形写像とそのに対して計算が基底の変換にで列の階数が調整を表現して対して計算が表現のでである。	□ II の学習が基礎となる教科である☆ II の学習が基礎となる教科である☆ II の学習が基礎となる教科である※ II の学習が基礎となる※ II の学習が基礎となる※ II の学習が基礎となる※ II の学習が表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表
		Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye	 得要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本書 を習	すること、 教科は微分積分 I と II Y ・ 復習(定期試験のである. なお, 個人に のある. なお, 個人に しいる 上記 と記 な例 3. 4. 説明	線形代数 I とこめの学習を言います課題は問題との到達目標線形空間とその・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○ II の学習が基礎となる教科である 含む), 個人に課題に必要な標準的 選集から指定をする. の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し, 具体的 ができる. ついて理解し, 計算ができる. 計算でき, 線形写像における意味を
		Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye	 (得要件) 学業成績で60点以上を取得いじめ要求される基礎知識の範囲> 本書 を習 と 授業で保証する学習時間と、予請的の総計が90時間に相当する学習内容 授業内容 ガイダンス、線形空間の例 線形空間と部分空間 基底と次元 線形写像と行列 基底の変換 行列の基本変形、階数 線形写像の核と像 	すること、 教科は微分積分 I と II 図・復習(定期試験のである. なお, 個人に	線形代数 I とこめの学習を言果す課題は問題との到達目標線形空間とその・ 1. 1. 線形写像とそのに対して計算が基底の変換にできる。線形写像の核の核の	こ II の学習が基礎となる教科である 含む), 個人に課題に必要な標準的 選集から指定をする。 の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し, 具体的 ができる。 ついて理解し, 計算ができる。
授業計		Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye	 学等件> 学業成績で60点以上を取得いじめ要求される基礎知識の範囲> 本書 学習> 授業で保証する学習時間と、予算間の総計が90時間に相当する学習内容 授業内容 ガイダンス、線形空間の例 線形空間と部分空間 基底と次元 線形写像と行列 基底の変換 行列の基本変形、階数 線形写像の核と像 後期中間試験 	すること、 教科は微分積分 I と II 翌・復習(定期試験の)である。 なお,個人に	線形代数 I とこめの学習を言います課題は問題との到達目標との到達目標は形ででは、1.1.は、以下のでは、1.は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	こ II の学習が基礎となる教科である 含む), 個人に課題に必要な標準的 類集から指定をする。 の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し, 具体的 ができる。 ついて理解し, 計算ができる。 計算でき, 線形写像における意味を と像について理解している。
授業計		Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye	経得要件> 学業成績で60点以上を取得いじめ要求される基礎知識の範囲> 本書	すること、 教科は微分積分 I と II 翌・復習(定期試験の)である。なお,個人に 週ご 1. 上記 上記 2. な例 3. 4. 説明 5. 上記 6. 角化	線形代数 I と こめの学習を言果す課題は問題との到達目標線形空間とその 1	○ II の学習が基礎となる教科である 含む), 個人に課題に必要な標準的 選集から指定をする. の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し, 具体的 ができる. ついて理解し, 計算ができる. 計算でき, 線形写像における意味を
授業計		Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye	 学等件> 学業成績で60点以上を取得いじめ要求される基礎知識の範囲> 本書 学習> 授業で保証する学習時間と、予算間の総計が90時間に相当する学習内容 授業内容 ガイダンス、線形空間の例 線形空間と部分空間 基底と次元 線形写像と行列 基底の変換 行列の基本変形、階数 線形写像の核と像 後期中間試験 	すること、 教科は微分積分 I と II 望・復習(定期試験の)である。なお,個人に	線形代数 I と こめの学習を言います課題は問題との到達目標線形空間とその・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	全国の学習が基礎となる教科である 含む),個人に課題に必要な標準的 類集から指定をする。 の基底と次元などについて理解し、具体的 ができる。 ついて理解し、計算ができる。 計算でき、線形写像における意味を と像について理解している。 現行列の固有値、固有ベクトル、対 し、計算ができる。
		Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye	経得要件> 学業成績で60点以上を取得いじめ要求される基礎知識の範囲> 本書	すること、 教科は微分積分 I と II 翌・復習(定期試験の)である。なお,個人に 週ご 1. いる 上記 上記 2. な例 3. 4. 説明 5. 上記 6. 角化 上記	線形代数 I と こめの学習を言果す課題は問題との到達目標線形空間とその 1	こ II の学習が基礎となる教科である 含む), 個人に課題に必要な標準的 類集から指定をする。 の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し, 具体的 ができる。 ついて理解し, 計算ができる。 計算でき, 線形写像における意味を と像について理解している。 現行列の固有値, 固有ベクトル, 対 し, 計算ができる。 間と一般固有空間を理解し, 計算が
授業計		Y	経得要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本書	すること、 教科は微分積分 I と II 翌・復習(定期試験の)である。なお,個人に 週ご 1. いる 上記 上記 2. な例 3. 4. 説明 5. 上記 6. 角化 上記	線形代数 I と こめの学習を言葉す課題は問題との到達目標 との到達目標 との到達目標 との また	全国の学習が基礎となる教科である 含む),個人に課題に必要な標準的 類集から指定をする。 の基底と次元などについて理解し、具体的 ができる。 ついて理解し、計算ができる。 計算でき、線形写像における意味を と像について理解している。 現行列の固有値、固有ベクトル、対 し、計算ができる。
授業計	3rdQ	Y	経得要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本書	すること、 教科は微分積分 I と II 望・復習(定期試験の)である。なお,個人に	線形代数 I と こめの学習を言葉す課題は問題との到達目標では、 1. 1. 線形対ののでは、 1. 1. 線形対ののでは、 2. (2. (2. (2. (2. (2. (2. (2. (2. (2.	全国の学習が基礎となる教科である。 会な),個人に課題に必要な標準的 選集から指定をする。 の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し、具体的 ができる。 ついて理解し、計算ができる。 計算でき、線形写像における意味を と像について理解している。 現行列の固有値、固有ベクトル、対 し、計算ができる。 間と一般固有空間を理解し、計算が い行列のジョルダン標準形を計算で
授業計	3rdQ	Y	等要件> 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲> 本書	すること、 教科は微分積分 I と II 劉・復習(定期試験の)である。なお,個人に 週ご 1. 上記 上記 2. な例 3. 4. 説明 5. 上記 6. 角化 上記 9. を解	線形代数 I と こめの学習を言います課題は問題との到達目標 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	こ II の学習が基礎となる教科である さい) , 個人に課題に必要な標準的 関集から指定をする. の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し, 具体的 ができる. ついて理解し, 計算ができる. 計算でき, 線形写像における意味を と像について理解している. 現行列の固有値, 固有ベクトル, 対し, 計算ができる. 間と一般固有空間を理解し, 計算が い行列のジョルダン標準形を計算で
授業計	3rdQ	Y	得要件〉 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲〉 本書 2 授業で保証する学習時間と, 予請的の総計が90時間に相当する学習内容 授業内容 ガイダンス, 線形空間の例 線形空間と部分空間 基底と次元 線形写像と行列 基底の変換 行列の基本変形, 階数 線形写像の核と像 後期中間試験 行列式, 固有値と固有ベクトル 行列の対角化 行列の一般固有空間,最小多項式 ジョルダン標準形 I ジョルダン標準形 I	すること、 教科は微分積分 I と II 図・復習(定期試験の)である。 なお,個人に	線形代数 I と こめの学習を言います課題は問題との到達目標 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	こ II の学習が基礎となる教科である さい) , 個人に課題に必要な標準的 関集から指定をする. の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し, 具体的 ができる. ついて理解し, 計算ができる. 計算でき, 線形写像における意味を と像について理解している. 現行列の固有値, 固有ベクトル, 対し, 計算ができる. 間と一般固有空間を理解し, 計算が い行列のジョルダン標準形を計算で
授業計	3rdQ 4thQ	Y	経典性 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲 / 本書	すること、 教科は微分積分 I と II 劉・復習(定期試験の)である。なお,個人に 週ご 1. 上記 上記 2. な例 3. 4. 説明 5. 上記 6. 角化 上記 9. を解	線形代数 I と こめの学習を言います課題は問題との到達目標 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	こ II の学習が基礎となる教科である さい) , 個人に課題に必要な標準的 関集から指定をする. の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し, 具体的 ができる. ついて理解し, 計算ができる. 計算でき, 線形写像における意味を と像について理解している. 現行列の固有値, 固有ベクトル, 対し, 計算ができる. 間と一般固有空間を理解し, 計算が い行列のジョルダン標準形を計算で
授業計画	3rdQ 4thQ	Your American Conference of the Conference o	得要件〉 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲〉 本書	すること、 教科は微分積分 I と II 図・復習(定期試験の)である。なお,個人に 週ご 1. いる 上記 2. 你例 3. 4. 説明 5. 上記 6. 角化 上記 9. 解 上記 9. 解 上記 9. 解 上記 9. 解 上記 1. こ 1. こ 1. こ 1. こ 2. か 4. 説明 5. 上記 5. 上記 5. 上記 9. 所 上記 5. 上記 5. 上記 6. 所 1. こ 6. 所 6. 所 1. こ 6. 所 6. 所 6. 所 6. 所 7. こ 8. こ 6. 所 6. 所 6. 所 7. こ 8. こ 6. 所 6. 所 7. こ 8. こ 6. 所 6. 所 7. こ 8. こ 6. 所 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 6. 所 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 7. こ 7. こ 8. こ	線形代数 I と こめの学習を言います課題は問題との到達目標 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	はい),個人に課題に必要な標準的 強む),個人に課題に必要な標準的 選集から指定をする。 の基底と次元などについて理解し、具体的 ができる。 ついて理解し、計算ができる。 計算でき、線形写像における意味を と像について理解している。 現行列の固有値、固有ベクトル、対 し、計算ができる。 間と一般固有空間を理解し、計算が い行列のジョルダン標準形を計算で いて理解し、これに関する応用問題 のこれに関する応用問題
授業計画を表現しています。	3rdQ 4thQ	Y	経典性 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲 / 本書	すること、 教科は微分積分 I と II 図・復習(定期試験の)である。なお,個人に 週ご 1. いる 上記 2. 你例 3. 4. 説明 5. 上記 6. 角化 上記 9. 解 上記 9. 解 上記 9. 解 上記 9. 解 上記 1. こ 1. こ 1. こ 1. こ 2. か 4. 説明 5. 上記 5. 上記 5. 上記 9. 所 上記 5. 上記 5. 上記 6. 所 1. こ 6. 所 6. 所 1. こ 6. 所 6. 所 6. 所 6. 所 7. こ 8. こ 6. 所 6. 所 6. 所 7. こ 8. こ 6. 所 6. 所 7. こ 8. こ 6. 所 6. 所 7. こ 8. こ 6. 所 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 6. 所 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 6. 所 7. こ 7. こ 7. こ 8. こ	線形代数 I と こめの学習を言います課題は問題との到達目標 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	こ II の学習が基礎となる教科である さい) , 個人に課題に必要な標準的 関集から指定をする. の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し, 具体的 ができる. ついて理解し, 計算ができる. 計算でき, 線形写像における意味を と像について理解している. 現行列の固有値, 固有ベクトル, 対し, 計算ができる. 間と一般固有空間を理解し, 計算が い行列のジョルダン標準形を計算で
授業計画	3rdQ 4thQ	Y		すること、 教科は微分積分 I と II 劉・復習(定期試験の)である。なお,個人に 週ご 1. 上記 上記 2. な例 3. 4. 説明 5. 上記 6. 角化 上記 9. 変	線形代数 I と こめの学習を言葉 と は で は は で は で は は で は で は い か で は い か で は い か で は い か で は い か で は い か で も な い か で き な い で き な い で き な い と が で き な い で き な い で き な い の り の し い で き な い で き な い の り の し い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い り の し で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い こ く り ・	は、IIの学習が基礎となる教科である。 さい) , 個人に課題に必要な標準的 関集から指定をする. の基底と次元などについて理解して の表現行列について理解し、具体的ができる. 計算でき、線形写像における意味をと像について理解している. 関行列の固有値, 固有ベクトル, 対し、計算ができる. 間と一般固有空間を理解し、計算がい行列のジョルダン標準形を計算で いて理解し、これに関する応用問題 る. 型達レベル 授業週
授業計画を表現しています。	3rdQ 4thQ コアカリ=	Y	得要件〉 学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲〉 本書	すること、 教科は微分積分 I と II 望・復習(定期試験の である. なお,個人に	線形代数 I と こめの学習を言葉 と は で は は で は で は は で は で は い か で は い か で は い か で は い か で は い か で は い か で も な い か で き な い で き な い で き な い と が で き な い で き な い で き な い の り の し い で き な い で き な い の り の し い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い り の し で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い で き な い こ く り ・	はい),個人に課題に必要な標準的 強む),個人に課題に必要な標準的 選集から指定をする。 の基底と次元などについて理解し、具体的 ができる。 ついて理解し、計算ができる。 計算でき、線形写像における意味を と像について理解している。 現行列の固有値、固有ベクトル、対 し、計算ができる。 間と一般固有空間を理解し、計算が い行列のジョルダン標準形を計算で いて理解し、これに関する応用問題 のこれに関する応用問題

		事門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科目	実践工業数学 I			
小田母	礎情報				•					
<u>行口坐。</u> 科目番号		0009			科目区分	一般 / 選				
<u>170日7</u> 授業形態		授業			単位の種別と単位					
開設学科			/ベーション工学専攻	ズ(環境・資源コー	対象学年	事1				
開設期		前期			 週時間数	1				
两政规 教科書/教			生除工業粉学 第2周	。 「A (A 選 孝 に 和 东)			-81			
<u> </u>			実践工業数学 第 3 版		<u>, ヒノーニンク教</u>	材多ち音・付に	3-U			
		日井 连	也,柴垣 寛治,箕浦 弘	Λ						
到達目						=				
とができ	·る	分方程式,研	筆 の関数,積分が,	機械工学,電気・	電子工学,情報工	学,通信工学的な	は観点から理解でき,それらを使うこ			
ルーブ!	リック				I.—		1			
			理想的な到達レ		標準的な到達レイ		未到達レベルの目安			
評価項目	1		ロボット工学における数学について理解し,実践的な問題に応用できる.		ロボット工学における数学について理解して基礎的な問題を解ける。					
評価項目2				数学について理解 題に応用できる.	気体論における数 して基礎的な問題		気体論における数学について理解 していない.			
評価項目3				こおける数学につ 浅的な問題に応用	三次元位置計測に いて理解して基礎 る.					
評価項目4			応力解析における 解し、実践的な ・	る数学について理 問題に応用できる	応力解析における 解して基礎的な問		応力解析における数学について理解していない.			
学科の	到達目標項	 頁目との関]係							
教育方法										
概要	/Д (Т		ニングに係る遠隔教育	こうしょ エ学のタ	毎門に田いらわる?	数学を応用面から	理解しかがら学ぶ			
似女		_								
授業の進	め方・方法	・授業に	tオンラインの e ラー	内容は,学習・教育到達目標(B)<基礎><専門>に,JABEE基準1(2)(c),(d)に対応する. ンラインの e ラーニング教材を用いて各人が行う.講義は計画的かつ集中して聴講する. 画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする.						
(80%)及 注意点 (100~E <単位修約 <あらひし <自己学 当する学 (補考>ご			の評価方法および評価基準>各授業項目について中間及び期末の課題を全て正じく解答した提出レポート パアクセス状況(20%)を基準として、学業成績を総合的に評価する。評価基準は、次のとおり。 優 の点)、良(79〜65点)、可(64〜60点)、不可(59点以下)。 専学・学業成績で60点以上を取得すること。 必要求される基礎知識の範囲>各学科の学科卒業程度の習得。 >授業で保証する学習時間と、予習・復習及びレポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が、45時間(別容である。 の科目は「単位互換を伴う実践型講義配信事業に係る単位互換協定」における単位互換科目として実施する な問題とした規定の単位制に基づき授業を進めるので、日頃の勉強に力を入れること。							
拇業計画	 浦	<備考>	この科目は「単位互	換を伴う実践型講義 Eの単位制に基づき	遠配信事業に係る 単	単位互換協定」に	おける単位互換科目として実施する			
授業計	画	<備考> . 自己学	この科目は「単位互管習を前提とした規定	換を伴う実践型講義 この単位制に基づき	、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	単位互換協定」に , 日頃の勉強に力	おける単位互換科目として実施する を入れること.			
<u>授業計i</u>	画	<備考>	この科目は「単位互管器を前提とした規定性質素内容	での単位制に基づき 編:ベクトルと行列 (機械工学科) 白井 9 碓氷久, 元鈴鹿帯 への順運動学:座標 と関節角度空間,水	を配信事業に係る単位業を進めるので、 対象を進めるので、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	単位互換協定」に 日頃の勉強に力 週ごとの到達目相 1. 講義のポイン りやすくまとめる 2. 強問点を明の はないないである。 より質疑点を表する。 より質疑点を表する。	おける単位互換科目として実施する」を入れること.			
授業計	画	(備考)	この科目は「単位互空間を前提とした規定性質を前提とした規定性質を前提とした規定性質を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	での単位制に基づき ニベクトルと行列 (機械工学科) 白井 厚 碓氷久、 元鈴鹿 の順運動学 : 座標 と関節角度空間, 水 3表現	融信事業に係る単位業を進めるので 受業を進めるので 連也 高専 安富真一 変換,位置と姿 平多関節ロボッ	単位互換協定」に 日頃の勉強に力 週ごとの到達目相 1. 講義のポイン りやすくまとめる 2. 強問点を明の は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	おける単位互換科目として実施する」を入れること.			
授業計画	<u></u>	(備考) () () () () () () () () () (この科目は「単位互管図を前提とした規定型を前提とした規定型を前提とした規定型業内容 I. ロボット工学総・主担当:鈴鹿馬専数学部分:群馬馬専数学部分・の変換行列による (2)多関節ロボットー般化逆行列(疑	三の単位制に基づき 高:ベクトルと行列 (機械工学科)白井井 厚碓氷久,元鈴鹿門 の順運動学:座標 の関節角度空間,水 3表現 の逆運動学 (似変換逆行列), 学編:微分方程式, (電気電子工学科) 原岡田萱三、鈴鹿門	を配信事業に係る単位業を進めるので、 連也 高専 安富真一 変換,位置と姿 平多関節ロボッ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	他互換協定」に 日頃の勉強に力 週ごとの到達目 1.講義のまと明 1.神ずの別との 2.かい疑いはなれている。 2.かいないであれている。 3.項がないであった。 3.項がにあった。	おける単位互換科目として実施する」を入れること.			
		(備考) (この科目は「単位互空間を削削を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	記の単位制に基づき 記・ベクトルと行列 (機械工学科) 白井 の体派久, 元鈴鹿 の順運動学: 座標 で関節角度空間, 水 の逆運動学: 似変換逆行列), で編: 微分方程式, (電気電子工学科) 原岡田章三, 鈴鹿高 と関節電ブラズマの)	を配信事業に係る単位では で業を進めるので、 連也では 高専のででででする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	単位互換協定」に ・日頃の勉強に力 週ごとの到達目相 1. 講義のポイン りやすくとの 2. 査が疑にされてが 3. レポートにで まりば、たれてが 3. レポートについ 上記1から3	おける単位互換科目として実施する」を入れること.			
授業計[直 1stQ	< 備考 >	この科目は「単位互達図を	での単位制に基づき 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな、 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな 一がな	を配信事業に係る単一では で業を進めるので、 達也 高事換別節ロボッタを関節ロボッタを関節のは が道計画 ベクトル、治証を がである。 ないである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 はである。 がである。 はである。 がである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はでる。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はでる。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はでる。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 はでる。 と	位互換協定」に 日頃の勉強に力 週ごとの到達目村 1.講すの別達目村 りやい最大では、 2.講りにないである。 調査的にないである。 までは、 3.項リル応用につい よ3.項リル応の 上記1から3	おける単位互換科目として実施する」を入れること.			
		< 備考 >	このを習を	での単位制に基づき 一部位制に基づき 一部位制に基づき 一部位制に基づき 一部位制に基づき 一部位制に基づき 一部位別 一部位別 一部位別 一部位別 一部位別 一部位別 一部位別 一部位別 一部の制 一部の制 一部の 一部の 一部の 一部の 一部の 一部の 一部の 一部の	は記信事業に係る単 で関業を進めるので、 は記信事業を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言を進めるので、 は記言をはいる。 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 は記言をはいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいるので、 はいないるで、 はいるので、 はいるので、 はいないるで、 はいないないない。 はいないないないないない	位互換協定」に 一日頃の勉強に力 週ごとの到達目相 1. 講義の記される。 2. 講な記される。 2. 査が質成である。 3. 近ののである。 上記1から3 上記1から3	おける単位互換科目として実施する」を入れること.			
		< 備考 >	この科目に対している。 「四を図を図を図を図を図を図を図を図を図を図を図を図を図を図を図を図を図を図を図	での単位制に 基づき 対	を配信事業のので、 連書要とで、 を選を進めるので、 は高変平ので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は高変でので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、こので、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	型位互換協定」に 一日頃の勉強に力 週ごとの到達目相 1. 講す気間な疑応とをれてがらまりではいないである。 2. 音が質が成成にある。 上記1から3 上記1から3 上記1から3	おける単位互換科目として実施する」を入れること.			

		9週						
		10週						
		11週						
	2-40	12週						
	2ndQ	13週						
		14週						
		15週						
		16週						
モデルニ]アカリ	Jキュラムの ⁵	学習内容と到達	鞋目標				
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目	 標		到边	達レベル 授業週
評価割合	ì							
		試験	課題	相互評価	態度	発表	その他	合計
総合評価害	合	0	80	0	0	0	20	100
配点	(0	80	0	0	0	20	100

如此_	工業高等 [:]		開講年度 平成31年度 (2	2019年度)	授業科目	実践工業数学Ⅱ
科目基礎		103	,	/	,	
科目番号	ЛТС	0010		科目区分	一般 / 追	·····································
授業形態		授業		単位の種別と単位		
開設学科			ニーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専1	<u> </u>
開設期		前期		週時間数	1	
教科書/教材		実践工業数	7学 第3版	ZENIDX	1.	
担当教員	, <u>,</u>	1	和田 憲幸,兼松 秀行			
到達目標						
]数,統計,微	対分,積分,三角関数が,生物工学, ⁵		学的な観点から	里解でき, それらを使うことができる
ルーブリ	ック		1	1		
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			微分方程式,確率,関数,統計 ,微分,積分,三角関数を用いて ,生物工学,物理化学および材料 工学に関する応用的な問題を解く ことができる.	微分方程式,確率 , 微分,積分, 三 , 生物工学, 物理 工学に関する基礎 ことができる.	角関数を用いて	微分方程式,確率,関数,統計 ,微分,積分,三角関数を用いて ,生物工学,物理化学および材料 工学に関する基礎的な問題を解く ことができない.
学科の到	達日標項	目との関係				
教育方法		<u>, </u>				
<u>叔月刀広</u>	. उ	生味工类**	マヴェナ 破変 体計 準八 キハヘギ	粉学的知識去焦点	/	
概要		夫氐丄美剱 を, e-ラー	『字Ⅱは,傩率,統計,微分,槓分の3· -ニングによる遠隔教育によって学ぶ.	双子的知識を使い,	土彻上子, 物均	里化学, 材料工学の専門科目への応用
授業の進め	方・方法	・すべての ・授業は, 認される.		礎><専門>に, JA て行われ, 内容理解	ਊを各章∨∼VII(のレポートの提出と結果によってを確
注意点		状く(80) は、くく、、く当く間が成が、(80) がのがのがのがのがのがのがのがのがのがのがのがのがのがのがのがのがのがのがの	「を最大20%とする. の評価方法および評価基準>各授業項 こびアクセス状況(20%)を基準として ~60点,不可が59点以下である. 要件>学業成績で60点以上を取得す め要求される基礎知識の範囲>各学科 -、金属工学等の拡散の知識があれば。	関目について中間お 、学業成績を総合的 「ること・ はの学科卒業程度の より理解が深まる・ 復習及びレポート ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	よび期末の課題 内に評価する. 知識と能力を必 作成に必要な標 位互換協定」に	なお,優が100~80点,良が79~65点 で要とする.また,本教科は物理化学 準的な学習時間の総計が,45時間に相 おける単位互換科目として実施する
授業計画						
		週 授	受業内容	Ŋ	週ごとの到達目	標
		1週 (:	/ 生物工学編-確率・統計 1)生物統計1 パラメトリックな検 第定の考え方,検定の誤りと危険率,	L I	l. 検定の考え方 t検定,Welch	ī,検定の誤りと危険率,データの対応 nの検定,Z検定を理解できる.
		つ:国 (:		÷	上記1	
			2) 生物統計 2 ノンパラメトリック [;] i検定(Man-Whitney検定),χ2検定	な検定 2 性	2. U検定(Man- 生と統計学的有	Whitney検定),x2検定,生物学的有意 意性の違い,公式の選定を理解できる
			2) 生物統計 2 ノンパラメトリックた 生物学的有意性と統計学的有意性の違		上記2	
	1stQ		2) 生物統計 2 ノンパラメトリックな 公式の選定		上記2	
		V	I 物理化学編 - 微分・積分, 微分方	程式,三角関数 3	? 執力学第13	:則, 熱力学第2法則, 物質の熱容量
			1) 熱力学の基礎方程式とその応用 熱力学第1法則,熱力学第2法則,物 ウクスウエルの関係式	質の熱容量,マ 性	マックスウエ	ルの関係式, エントロピーの温度依存シャル, 反応と平衡常数に使う数学を
前期		大田 コ	热力学第1法則,熱力学第2法則,物:	<u> </u>	・マックスウエ 生、化学ポテン	ルの関係式, エントロピーの温度依存 シャル, 反応と平衡常数に使う数学を
前期 		7週 ご	熱力学第1法則,熱力学第2法則,物 ウクスウエルの関係式 ニントロピーの温度依存性,化学ポテ	ンシャル, 反応 G W(並進運動(1次 4	マックスウエ 生, 化学ポテン 里解できる. 上記3 1. 自由電子およ 箱の中の並進	ルの関係式, エントロピーの温度依存シャル, 反応と平衡常数に使う数学を でが井戸型ポテンシャル内, 有限平面内 運動, 回転運動および調和振動のシュ 方程式の解法, 規格化に使う数学を理
前期 _ _		7週 ゴミン (グラミン) (グラ・シン) (グラ	熱力学第1法則, 熱力学第2法則, 物 シクスウエルの関係式 ニントロピーの温度依存性, 化学ポテ ニア衡常数 2) シュレーディンガー方程式とその 「 3次元))	ンシャル, 反応 	マックスウエ 生, 化学ポテン 里解できる. 上記3 1. 自由電子およ 箱の中の並進 レーディンガー	シャル,反応と平衡常数に使う数学を
前期		7週 ゴと 8週 (C 7月) ファミン 9週 テー 10週 転	独力学第1法則,熱力学第2法則,物 シクスウエルの関係式 ニントロピーの温度依存性,化学ポテ ニー ニー ニー ニー ニー ニー ニー ニー ニー ニー ニー ニー ニー	ンシャル, 反応 解(並進運動(1次 4 のシュレーディ 上 ユレーディンガ 」 解(調和振動, 回	マックスウエ 生, 化学ボテン 里解できる. 上記3 1. 自由電子およ 箱の中の並進 ノーディンガー 解できる.	シャル,反応と平衡常数に使う数学を
	2ndQ	7週 ゴと 8週 ⁽² 万シン 9週 ナー 10週 朝調	株力学第1法則,熱力学第2法則,物 グクスウエルの関係式 ニントロピーの温度依存性,化学ポテ エツ(東常数 2)シュレーディンガー方程式とその(に,3次元)) シュレーディンガー方程式,自由電子 シガー方程式の解法 井戸型ポテンシャル内の並進運動のシ -方程式の解法と波動関数の規格化 3)シュレーディンガー方程式とその(に運動)	ンシャル, 反応 - 解(並進運動(1次 4 /	マックスウエ 生, 化学ポテン 里解できる. 上記3 1. 自由電子およ 箱の中の並進 レーディンガー 解できる. 上記4	シャル,反応と平衡常数に使う数学を
	2ndQ	7週	独力学第1法則,熱力学第2法則,物 グクスウエルの関係式 ニントロピーの温度依存性,化学ポテ 上平衡常数 2)シュレーディンガー方程式とその に,3次元)) シュレーディンガー方程式,自由電子 ジガー方程式の解法 井戸型ポテンシャル内の並進運動のシー 方程式の解法と波動関数の規格化 3)シュレーディンガー方程式とその に運動) 間和振動,2次元回転運動(古典論)	ンシャル, 反応 解(並進運動(1次 4 のシュレーディ 上 ユレーディンガ 解(調和振動, 回 転運動(量子論	マックスウエ 生,化学ポテン 里解できる。 上記3 1. 自由電子およ 箱のディンガー 解できる。 上記4 上記4	シャル、反応と平衡常数に使う数学を でが井戸型ポテンシャル内、有限平面内 運動、回転運動および調和振動のシュ 方程式の解法、規格化に使う数学を理 取現象、偏微分とフィックの第1法則の

		14週	(2)フ フッ:	イックの第二 クの第2法則と	法則と定常状態での解法		6. フィックの第2: の第2法則と非定常 短い場合の解法, 存 (変数分離)に使き	法則と定常 常状態での 有限な長さ う数学を理	学状態での解決 解法, 拡散距 を持つ軽につ 解できる.	ち、フィック 離が比較的 いての解法
		15週	フッ?	クの第2法則と	上非定常状態での解法	、拡散距離	上記6			
		16週								
モデルコ	アカリキ	ユラムの	学習	内容と到達	目標					
分類		分野		学習内容	学習内容の到達目標	Ē			到達レベル	授業週
評価割合										
			課	題		態度		合計		
総合評価割	l合	•	80)		20		100	•	
配点			80)	<u> </u>	20		100		

鈴鹿工業高等専	厚門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科目	技術英語 I
科目基礎情報 科目番号	0011			科目区分		z
授業形態				単位の種別と単位数	一般 / 必修 対 学修単位:	
		ション工学専巧	【(環境・資源コー		X 子修单位:	1
開設学科	総合イノハー	-ンヨンエ子専以	((環児・貝源コー	対象学年	専1	
開設期	前期			週時間数	1	
教科書/教材	1. Documer	nts downloaded	l from Internet file	e storage. 2. Mater	ial as distribute	ed in class.
担当教員	Lawson Mic	hael				
到達目標						
The objective of this	course is to i	ntroduce stude	nts to techniques	to help them creat	te and give Eng	glish-language oral presentations.
ルーブリック			•		-	
	3		 ベルの目安	標準的な到達レベル	 の目安	未到達レベルの目安
評価項目1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	うや二槌ト切二で話をすをまこと目か、なにケき題応こ整ととすの一ジど用ーるに用とせまがのいシーのき見応こをととがで、のきのにかったであれた。大手がかたて表き応ある。大手がかったて表き応ある。大手がかったで、現り用るが、は、明して、原見には、は、明して、原見には、のきのからには、は、明るない。	やちを 格 - ラ 図 3 自身を自めた を実的り 7 一 の で 1 を実的り 7 一 の で 1 を実的り 7 一 で 1 を実的り 7 一 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で	母国と目がからます。 明と目がいる。 明と目がいる。 の姿にシェスボがいるにシェスボがいるにシェスボがいる。 では、なにからいる。 では、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	5.本と理る は、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、本的ならいでは、実際の場立相とのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないが、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、はないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、はないが、大きないが、大きないが、大きないが、はないが、大きないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、は
評価項目2	Section 1997 Section 1997	ある上, きの (ツ定報文ち外語 - た , ラ る報の情る専プシし収化なででシ , ス の特のでシースを をがっている。 ので、 がで、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	はかどてつる英シベう母うり質用ことでご用いる毎年、1、片語ョーが国とな問的とピランのの毎概そピをント準以す態やにがッを連にである一が出ている一般である中ででは、な備外のではいいででは、いいでは、いいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいでは、いいいでは、いいいでは、いいいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、	自ある度, 一門ゼン、を理ら日滑とじ章論こりの内告速報の野デデ生いし主的コでクバ的であるで、こっぱりといいます。 いっぱり おいない 取り おいない 取り おいない 取り おいない 取り おいない 取り おいっと かいっと かいっと かいっと かいっと かいっと かいっと かいっと か	5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というには、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というでは、 5.5年代というには、 5.5年代というには、 5.5年代というには、 5.5年代というには、 5.5年代というには、 5.5年代というには、 5.5年代というには、 5.5年代というには、 5.5年代というには、 5.5年代というには、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、 5.5年代というは、	自分の特別では、1000円であるのでは、1000円である場合では、1000円である時間をある。 1000円である現在では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円でである。 1000円では、1000円である。 1000円では、1000円である。 1000円である。 1

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

評価項目3

The objectives of this course are to 1) have students select a topic for an English oral presentation, 2) to teach students how to create an outline to crystallize their thoughts into a cogent discussion of their topic that will then be used in the development of a PowerPoint presentation; 3) to teach students to actually give a 概要 presentation in English; and 4) to select three students to participate in the 12thAnnual English Presentation Contest for Students of Colleges of Technology

明し、解釈できる.

それぞれの国の文化や歴史に敬意

を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説

明も,解釈もできない.

それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説

それぞれの国の文化や歴史に敬意

を払い、その違いを受け入れる寛 容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的 信条、価値観などの基本的な事象 を自分をの文文化と関連付けて説

明,解釈の適用ができる.

できる.

授業の進め方・方法 The following content conforms to the learning and educational goals:(C) < English > [JABEE Standard 1(1)f]

<到達目標の評価方法と基準> <判達目標の評価方法と基準>
Students' English oral presentation ability will be evaluated through one "Main" English oral presentation to be given on the 15th week of class. Students will have attained the goal of this course provided that they have earned 60% of the total points possible which includes the 1 "Main" presentation. <学業成績の評価方法および評価基準>
Students are required to give 1 "Main Presentation". The total time necessary for students to acquire an understanding of the course is 45 hours, including classroom time and study/presentation time outside of the classroom. Failure to meet any of these requirements will reduce a group's final course score by 10% for each infraction. infraction Students must obtain at least 60% of the total possible points in order to receive 1 credit. <あらかじめ要求される基礎知識の範囲> A good command of basic English syntax; a practical level of reading and listening comprehension, and some ability to converse in English as achieved through their first five years at Suzuka Kosen.
<レポートなど> Students will be given weekly assignments, such as, topic selection, weekly outline and PowerPoint updates. Failure to meet the deadlines for these assignments will result in a 10% reduction of the 注意点 final grade—for each infraction. Students are required to obtain an email account which can send and receive Word and PowerPoint documents. During the last class session prior to the presentation contest, students must meet four main assignment deadlines: 1) Final PowerPoint files on USB must be downloaded to Lawson's computer, 2) Final scripts with presentation titles on the first page on USB must be downloaded to Lawson's computer, 3) Speaking order sheets using student numbers (not names) on USB must be downloaded to Lawson's computer, and 4) actual hardcopy student number "name" tags must be given to You may contact me at: lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp. 授業計画 週 週ごとの到達目標 Introduce class, Select Groups, Discuss 5-step Students will learn about Discuss 5-step 1週 presentation process, Discuss topic, Discuss presentation process, Discuss topic, Discuss purpose of outline. purpose of outline. 1. To develop English oral presentation ability by studying effective presentation techniques such as eye-contact, gestures etc., and by conducting weekly in-class presentations. 2. To learn practical and useful words, phrases 2週 and expressions for oral presentations.

3. Students will learn how to prepare for oral presentation and shape their idea into logical and Discuss Outlines draft 1 1stQ persuasive presentation. 4. Students will improve their ability to give an oral presentation in English. 3週 Discuss Outlines draft 2 $1\sim4$ listed above. 4週 Discuss Outlines draft 3 $1\sim4$ listed above. 前期 5週 Discuss PowerPoint draft 1 $1\sim4$ listed above. 6週 Discuss PowerPoint draft 2 $1\sim4$ listed above. 7週 Discuss PowerPoint draft 3 $1\sim4$ listed above. 8週 Practice "Main Oral Presentation" 1∼4 listed above. 9週 Practice "Main Oral Presentation" $1\sim4$ listed above. 10週 Practice "Main Oral Presentation" $1\sim$ 4 listed above. 11週 Practice "Main Oral Presentation" $1\sim4$ listed above. 12週 Practice "Main Oral Presentation" $1\sim4$ listed above. 2ndQ 13週 Practice "Main Oral Presentation" $1\sim4$ listed above. 14週 Practice "Main Oral Presentation" $1\sim4$ listed above.

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 分野

ROOM

学習内容

15週

16週

分類

7375	73 23	1 1 1		N			-J.	7,0	1X / X / Z
評価割合									
	試験	課題	相互評価	態度	発表	その他		合計	
総合評価割合	90	10	0	0	0	0		100	
配点	90	10	0	0	0	0		100	

 $1\sim$ 4 listed above.

到達レベル 授業调

ORAL PRESENTATIONS IN THE AUDIO/VISUAL

学習内容の到達日標

鈴鹿工業高等専	門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科目	上級英会話
科目基礎情報						
科目番号	0024			科目区分	一般/選	択
授業形態	授業			単位の種別と単位数	数 学修単位	: 2
開設学科	総合イノベー ス)	ション工学専攻	(環境・資源コー	対象学年	専1	
開設期	前期			週時間数	2	
教科書/教材	教科書:『機 . 参考書: E	関銃英語が聴き TS公認ガイド	取れる!: リスニン・TOEFL IBT 第4版	グの鍵はシラブルと (ETS)	ビート』(三値	を社)その他適宜プリントを配布する
担当教員	日下 隆司					

到達目標

- 1. 【英語運用能力の基礎固め:英語コミュニケーション】 日国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(繰り返しや相槌、ジェスチャー、アイコンタクトなどのボディランゲージ)を適切に用いながら、積極的にコミュニケーションを図ることができる。また、日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができ、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。
- 2. 【英語運用能力向上のための学習:英語コミュニケーション】 自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聴き取ることができる。関心のあるトピックや自分の専門分野での英語を使う場面(プレゼンテーション、ディスカッションやディベートなど)を想定して、学生自らが準備活動や情報収集を行い、母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもちながら、主体的な態度で教室内外での日常的な質問や応答など英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。また、関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。
- 3. 【グローバリゼーション・異文化多文化理解】 それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価 値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明し、解釈できる。

J	レー	ブ	IJ	w	ク
•	~	_	_	_	_

ルーノソック			
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	母国以外の言語や文化を理解しよっとする姿勢をもち、本的のでは、実際のコーヤタのでは、まないのでは、まないのでは、まないのでは、まないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、	母国以外の言語やさなと、 するとないでは、 を理解の場合では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	母国以外の言語やされた理解のようとはある姿勢をもち、本的返りでは、本の変勢をもち、本の返りでは、大きなには、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、は、大きないが、大きないが、は、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、は、大きないが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は
評価項目2	自分の内容を 自分の内容を 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等では 一等でが 一が 一が 一が 一が 一が 一が 一が 一が 一が 一	自分の大学では、 自分の大学では、 自分の大学では、 を表して、 でもなどなる毎年が関心がある毎年で関心がある毎年で関心ができた。 でものでからでできた。 でものでできたができた。 関心野でからができた。 関心野でからができた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるできた。 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいる	自分の大学では、 自分の大学では、 自分の大学では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
評価項目3	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明、解釈の適用ができる。	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明し、解釈できる。	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明も、解釈もできない。
当り かかまり 無頂口 よの 即々	<u></u>		

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

	上級英会話は「国際的に活躍する技術者」としてのコミュニケーション能力を育成するものである。その中でも,英語 によるスピーチ,ディスカッション,ディベートといったオーラルを中心とした英語技術を多角的に修得することを目 的とする。
授業の進め方・方法	・すべての内容は、学習・教育到達目標(A)<視野>、(C)<英語>、JABEE基準1(2)(a)、(f)に対応する.

|・「授業計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする.

<到達目標の評価方法と基準>「授業計画」の「到達目標」1~6を網羅した事項を定期試験及び授業中に各個人が行うスピーチ、及びディスカッションやディベートでの参加度や課題等で目標の達成度を評価する.1~6の重みは概ね均等である.後期中間、学年末の定期試験の結果を5割、授業中に行う各個人の演習と課題等の評価を合わせたものを5割とした総合評価において6割以上を取得した場合を目標の達成とする.
<学業成績の評価方法および評価基準>求められる課題の提出をしていなければならない.2回の定期試験の平均点を50%とし、授業中に行う各個人の演習と課題等の評価を50%とし、その合計点で評価する.ただし、再試験は行わない

注意点

50

10

配点

. <単位修得要件>学業成績で60点以上を取得すること. <あらかじめ要求される基礎知識の範囲>高専学科5年間で学習した英語の基礎的な知識・技能. <レポートなど>授業に関連した課題(レポート等)を課す. <備考>授業で保証する学習時間と,予習・復習(中間試験,定期試験のための学習も含む)及び小テストの予習や課題等を行うのに必要な標準的な学習時間の総計が,90時間に相当する学習内容である.本教科はオーラルによる英語技術の修得を目指す授業である.また,自己学習を前提とした規定の単位制に基づき授業を進め,課題等の提出を求めるので,日常的に英語に触れる習慣を身につけ,英語学習に努めること.

		で, 日常	的に英語に触れ	1る習慣を身につけ, 英語	吾学習に努めるこ	٤. ع			
授業計画		I	I			1 ".			
		1週	授業内容 Introduction			1.きで	語での問いに対して 習した英語表現を応 る. 話に出てくる文法!	や討論 て英語 む用し 事項か	の内容をある程度理解 で答えることができる ,,適切に使用すること
		2週	Sppech1: Par	agraph Structure		上記 1 7. スヒ , スピ	~ 6 ピーチにおけるパラ [/] ーチを作成できる.	グラフ	フ構成について理解し
	1 -+0	3週	Speech2: Ser	ntence Structure		上記1 8. セン きる.		て理解	解し,スピーチを作成で
	1stQ	4週	Speech 3: Su	mmarizing, Paraphras	ing, Quoting	上記 1 9. 盗用 , スピ	~6 月を避けながら, 要? -チを作成できる.	約,言	言い換え, 引用ができ
		5週	Discussion1: Debate	Differences between [Discussion and	上記1 10. デ の定義 る.	〜 6 ィスカッションとラ を理解し,ディスカ	ディベ カッシ	、一トを違いとそれぞれ ションを行うことができ
		6週	Discussion 2:	Discussion Survey		上記 1 11. デ き, デ	〜6 ィスカッションのた ィスカッションを行	こめの テラご	が情報の収集と整理がで ことができる.
前期		7週	Discussion 3:	Practice 1		上記 1 12. テ ができ	ーマに沿った形です	ディス	カッションを行うこと
		8週	中間試験			これまできる	でに学習した内容を	を説明	1し,解を求めることが
		9週	Discussion 4:	Practice 2		上記 1 13. テ ができ	ーマに沿った形でえ	ディス	カッションを行うこと
		10週	Discussion 5:	Practice 3		上記 1 14. テ ができ	ーマに沿った形でえ	ディス	カッションを行うこと
		11週	Debate 1: Me	thodologies of Debate		上記 1 15. デ ことが		を理解	ぱし, ディベートを行う
:	2ndQ	12週	Debate 2: Str	rategies of Debate		上記 1 16. デ うこと	〜6 ィベートにおける戦 ができる.	戦略を	なて、ディベートを行
		13週	Debate 3: Pra	actice1		上記 1 17. テ る.	~ 6 ーマに沿った形でラ	デイベ	ニートを行うことができ
		14週	Debate 4: Pra	actice 2		上記 1 18. テ る.		デイベ	ニートを行うことができ
		15週	Debate 5: Pra	actice 3		上記 1 19. テ る.	~ 6 ーマに沿った形でラ	デイベ	ニートを行うことができ
		16週							
	アカリキ)学習内容と					-	
<u>分類</u> 		分野	学習内容	学習内容の到達目標	<u>=</u>			至	別達レベル 授業週
評価割合		=45^		======			7.0/H		Λ=1
公本部 (本字)		試験		課題	発表		その他		合計
総合評価割		0		0	0		0		0

3 0

1 0

0

鈴厝	工業高等	 等専門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科目	海外語学実習 I
科目基礎			,		,	,	
<u> </u>		0025			科目区分	一般 / 追	選択
授業形態		実験・実習			単位の種別と単位		
開設学科		総合イノベ- ス)	ーション工学専攻	ζ(環境・資源コー	対象学年	専1	
開設期		集中			週時間数		
教科書/教	材	教科書:特(こなし, 参考書:	海外語学実習の手	리き		
担当教員		近藤 邦和,質	其浦 弘人,和田 憲	幸,西村 一寛,山口	雅裕		
到達目標	票						
とめ, それ	hらをもと!	との密接な接触に,発表資料を(を通じて,国際的 作成し,それを伝	りに活躍できる人と 云えられる.	して必要な資質と実	民践的国際感覚	を体得し、それらを日報や報告書にま
ルーブリ	<u> </u>				1		
			理想的な到達レイ		標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	1		触を通じて,国際 人として必要な 感覚を体得し, 告書にまとめ,	環境との密接な接際的に活躍できる 資質と実践的国と 実践的国と それらをもとに なし, それを伝え	現地での外国語環際的に活躍できる 資質と実践的国際 体得し,それらを まとめ,それらを 料を作成し,それ	人として必要な 感覚を部分的に 日報や報告書に もとに、発表資	は、
 学科のヨ	到達目標功	 頁目との関係					1000
教育方法							
概要	<u> </u>	海外におい		 関野を養い語学能力	 の向上を図る		
受業の進む	め方・方法	・次の告別 ・次の告別 ・次の告別 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大	語学実習対象プロ発表資料を作成し 発表資料を作成し グラム】鈴鹿ログラ のと習プログとす 認を得るものとす 引以上15日以下 日 日報を作成す	1グラム(以下, 実習 が表表を行う. 高等専門学校利団 5ムとする。 【内容】 専攻: つる。 【内容】 専攻: である。 【大容】 専攻:	プログラム), 内容 の高等専門学校、国 体又は公共団体等の 科生が参加出来るフ し提出すること.	および期間で写 立高等専門学 機関が主催する ログラムのうす	語>[JABEE基準1.2(f) に対応する. に相当するものとする. 長務上の問題点と課題を体験し,日報 交機構及び営利団体又は公共団体等の る実習プログラムの場合は、教務委員 5,海外語学実習の目的にふさわしい
		び発表の項目	目を総合して評価	>下記授業計画の する. 評価に対す			長習状況, 実習態度, 日報, 報告書およ である.
注意点		び発業の項値のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年ので	目を総合して評価 D評価方法が表に も書および評価を 要件>総合評価を をまされる、 サマップではは サマップではは サマリップで 対別間中に 単位修得 からして サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学実習成績評価基 ること、守(10分前 計場では、第一次のでは、 は、海外海 では、海外海外語外語学 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の習得具合を到の重みは同じで 関連を表現である。 集合)、挨拶、 集責任者の検証 養資料および発 の習の単位を含め 終日に受け取	ミ習状況,実習態度,日報,報告書およ である. いた配点に従って,実習状況,実習態度
	a j	び発業の項値のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年のでは、10年ので	目を総合して評価 D評価方法が表に も書および評価を 要件>総合評価を をまされる、 サマップではは サマップではは サマリップで 対別間中に 単位修得 からして サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学実習成績評価基 ること、守(10分前 計場では、第一次のでは、 は、海外海 では、海外海外語外語学 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の習得具合を到の重みは同じで 関連を表現である。 集合)、挨拶、 集責任者の検証 養資料および発 の習の単位を含め 終日に受け取	長習状況,実習態度,日報,報告書およである。 にた配点に従って,実習状況,実習態度 お礼など) で受けて,実習終了後に,2年学生は 表の準備をすること。 いい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生
	画	び発達の項値を表現している。	目を総合して評価 D評価方法が表に も書および評価を 要件>総合評価を をまされる、 サマップではは サマップではは サマリップで 対別間中に 単位修得 からして サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・ サロン・	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学実習成績評価基 る。 けること: 時間の厳守(10分前 計も作成し、実習 計るに、発表語 に うち、海外語 合には、評別 とする。 に も に も に も に も に も に も に も に も に も に	の習得具合を到の重みは同じで 関連を表現である。 集合)、挨拶、 集責任者の検証 養資料および発 の習の単位を含め 終日に受け取	民習状況,実習態度,日報,報告書およである。 に記点に従って,実習状況,実習態度 お礼など) はを受けて,実習終了後に,2年学生は 多の準備をすること。 かしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら,2年学生は専攻主任に1年学生 とされている物,評定書を持参すること
	<u> </u>	び発達の項値を表現している。	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 哲学実習成績評価基 る。 けること: 時間の厳守(10分前 計も作成し、実用実 に うち、海外語外語 合には、評決定 とする。 に も は い に も に も に も に も に も に も に も に り に り に り	の習得具合を見かます。 の習得具合して 準」に定められ 集合)、接拶が、 集合)、接移が、 等責任およぶされ で習の単位を含む 終習たから指定 でとの到達目	程習状況,実習態度,日報,報告書およである。 にた配点に従って,実習状況,実習態度 お礼など) 1を受けて,実習終了後に,2年学生は 3表の準備をすること。 いしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら,2年学生は専攻主任に1年学生 とされている物,評定書を持参すること 標
		び発業の項値のでは、	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 哲学実習成績評価基 る。 けること: 時間の厳守(10分前 計を成し、実別を いるにと、発表語で できる。 できる。 では、評定 とする。 では、手帳) 、日報 に発 の に できる。 に できる。 に で に で に で に で に で に で に で に で に で に	の習得具合を見かます。 の習得具合して	長習状況、実習態度、日報、報告書からである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) りを受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること。 いしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 さされている物、評定書を持参すること
	担	び発達の項値を表現している。	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学実習成績評価基 る。 けること けること けること けること けること けること が まで いた の が いた の が いた の が の が の が の が の が の に の が の に の に の に	の習得具合を見 の習得具合して 集合)、接接後、 集合)、接接後、 等責任的となると 等責任的となると でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でのののでは、 でのののでは、 でのののでは、 でいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	長習状況、実習態度、日報、報告書おるである。 はた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) りを受けて、実習終了後に、2年学生は 多とい内容であること。 りしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 さされている物、評定書を持参すること 標
		び発学は、	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学実習成績評価基 る。ことでで、10分前 計場では、10分前 計場では、10分前 また。 いた。 いた。 いた。 いた。 いた。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	の習得具合を到の重みは同じて 集事を関われている。 集事を表現である。 集事を表現である。 集事を表現である。 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、大きないでは、 、ないないなななななななななななななななななななななななななななななななな	展習状況、実習態度、日報、報告書お。である。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) かを受けて、実習終了後に、2年学生は 表の準備をすること。 いしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 さされている物、評定書を持参すること 標
	ョ 1stQ	び発学日単の上では、1996年の現代を表現である。 マース できる	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ けること・ 時間の厳け、(10分前 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 をは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書おっである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表の準備をすること。 めること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること 標 できる人として必要な資質が分かり できる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
		び発学の現象の現象の現象のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは、19年のでは	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ けること・ 時間の厳け、(10分前 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 をは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表の準備をすること。 めること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること 標 できる人として必要な資質が分かり できる。 ・ を日報にまとめることができる。 ・ を発表資料にすることができる。 ・ を発表資料にすることができる。
受業計画		び発学日単あレ攻等の場合のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間のでは、10月間の	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ けること・ 時間の厳け、(10分前 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 をは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表の準備をすること。 めること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること 標 できる人として必要な資質が分かり できる。 ・ を日報にまとめることができる。 ・ を発表資料にすることができる。 ・ を発表資料にすることができる。
受業計画		び発学日単あレ攻を関する。 とのでは、 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ けること・ 時間の厳け、(10分前 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 をは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表の準備をすること。 めること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること 標 できる人として必要な資質が分かり できる。 ・ を日報にまとめることができる。 ・ を発表資料にすることができる。 ・ を発表資料にすることができる。
受業計画		び発学日単あレ攻を持ちた。	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ けること・ 時間の厳け、(10分前 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 をは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書からである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度が利など) を受けて、実習終了後に、2年学生は表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場合としたら、2年学生は専攻主任に1年学生でされている物、評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
受業計画		び発学 日単あ レ な	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ けること・ 時間の厳け、(10分前 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 またでは、 をは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書からである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度が利など) を受けて、実習終了後に、2年学生は表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場合としたら、2年学生は専攻主任に1年学生でされている物、評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
受業計画		びく、マース では、	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ 時間の厳守(10分前 またので、10分前 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書からである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度が利など) を受けて、実習終了後に、2年学生は表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場合としたら、2年学生は専攻主任に1年学生でされている物、評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
受業計画		びく、「は、一、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、一、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、は、は、は、	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ 時間の厳守(10分前 またので、10分前 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書からである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度が利など) を受けて、実習終了後に、2年学生は表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場合としたら、2年学生は専攻主任に1年学生でされている物、評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
受業計画	1stQ	び	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ 時間の厳守(10分前 またので、10分前 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書からである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度が利など) を受けて、実習終了後に、2年学生は表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場合としたら、2年学生は専攻主任に1年学生でされている物、評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
受業計画	1stQ	びくすい (1) では (1	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ 時間の厳守(10分前 またので、10分前 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表の準備をすること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること できる人として必要な資質が分かりできる。 を行いまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
受業計画	1stQ	びくすい (できない) では、 では、 できない できない できない できない できない できない できない できない	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ 時間の厳守(10分前 またので、10分前 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書からである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度が利など) を受けて、実習終了後に、2年学生は表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場合としたら、2年学生は専攻主任に1年学生でされている物、評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
受業計画	1stQ	び () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で () で (目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ 時間の厳守(10分前 またので、10分前 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書からである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度が利など) を受けて、実習終了後に、2年学生は表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場合としたら、2年学生は専攻主任に1年学生でされている物、評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
受業計画	1stQ	びく ア 日 単 あ し	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ 時間の厳守(10分前 またので、10分前 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書からである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度が利など) を受けて、実習終了後に、2年学生は表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場合としたら、2年学生は専攻主任に1年学生でされている物、評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
受業計画	1stQ	びく、中では、	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ 時間の厳守(10分前 またので、10分前 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表の準備をすること。 めること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること 標 できる人として必要な資質が分かり できる。 ・ を日報にまとめることができる。 ・ を発表資料にすることができる。 ・ を発表資料にすることができる。
主意点 受業 計 前期	1stQ 2ndQ	びく ア 日 単 あ し	目を総合して計で の評価方法が発表で き書およる評価を き書およる記述発表で を表するでは、 を表するでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ト 下記授業計画の	「到達目標」の1~6 る達成目標の各項目 等学書の機構 ある。 けること・ 時間の厳守(10分前 またので、10分前 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、 またり、	の習得具に同じて	に習状況、実習態度、日報、報告書おっである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 おれなど) かで受けて、実習終了後に、2年学生は きるの準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 さされている物、評定書を持参すること 標 できる人として必要な資質が分かり できる。 変 が分かり、それらを体得できる。 を田報にまとめることができる。

		5週								
		6週								
		7週								
		8週								
		9週								
		10週								
		11週								
	4+h0	12週								
	4thQ	13週								
		14週								
		15週								
		16週								
モデルニ	アカリキ	ニュラムの	学習内容と	到達目標						
分類		分野	学習内容	学習	内容の到達目標				到達レベル	/ 授業週
評価割合	ì			·		·	·	·		
		<u>'</u>	·	海外語学	実習成績評価基準		合計		<u>'</u>	·
総合評価害	合			100			100			
配点				100			100			

	記上美尚き	等專門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科目	海外語学実習 Ⅱ
科目基礎					,		
<u>- 1 日 至 9</u> 科目番号		0026			科目区分	一般 / 分	
<u></u>		実験・実習			単位の種別と単位		
開設学科		総合イノベ- ス)	ーション工学専攻	ズ(環境・資源コー	対象学年	専1	
開設期		集中			週時間数		
教科書/教	材	教科書:特(こなし, 参考書:	海外語学実習の手	引き		
担当教員		近藤 邦和,箕	建浦 弘人,和田 憲	幸,西村 一寛,山口	雅裕		
到達目標	票						
とめ, それ	れらをもと	との密接な接触な に,発表資料を(を通じて, 国際的 作成し, それを値	りに活躍できる人と 云えられる.	して必要な資質と乳	美践的国際感覚	を体得し, それらを日報や報告書にま
ルーブリ	リック						
			理想的な到達レ	ベルの目安(優)	標準的な到達レベ	いの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	1		触を通じて,国 人として必要な 感覚を体得し, 告書にまとめ,	環境との密接な接際的に活躍できる 資質と実践的国際 それらをもとに それらをもとに 成し, それを伝え	現地での外国語環際的に活躍できる 資質と実践的国際 体得し,それらを まとめ,それらを 料を作成し,それ	人として必要 感覚を部分的に 日報や報告書に もとに、発表	は、 「は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで
 学科のst	到達目標」	 項目との関係					1,0,4
教育方法							
<u>秋月ノル</u> 概要	AT	海外にもいる			 の向 Fを図る		
授業の進む	め方・方法	・次の告望が 次の表習が 深いで 実間に での に容明 に容明 に容明 に容明 に容明 に容明 に容明 に容明	音学実習対象が元 管装を 発表の で で で で で で で で で で で で で の で の で の で	1グラム(以下, 実習 ,, 発表を行う。 賃高等専門学校、他 うムとする。営利団・ 「る。【内容】専攻:	プログラム), 内容 の高等専門学校、ほ 体又は公共団体等の 科生が参加出来るフ し提出すること.	系および期間で ■立高等専門学 ○機関が主催す プログラムのう	を語〉[JABEE基準1.2(f) に対応する.」に相当するものとする. 」に相当するものとする. 実務上の問題点と課題を体験し,日報校機構及び営利団体又は公共団体等のる実習プログラムの場合は、教務委員ち,海外語学実習の目的にふさわしい
注意点		, 日報, 報告 <単位修得要 <あらかじめ	告書および発表に 要件>総合評価で り要求される基礎	「より成績を評価す 「可」以上を取得す 知識の範囲>心得()	る. けること.		1た配点に従って,実習状況,実習態度
		専収主任に, <備考>専攻 学年末休業期 合に限るもの	1年学生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 ひとし、単位修得	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 引の学年は当該学年	書も作成し,実習指 こと.発表会用に発 うち,海外語学実習 合には、海外語学 とする。評定書を最	導責任者の検E 表資料および努 の目的にふされ ミ習の単位を含 最終日に受け取	お礼など) Pを受けて,実習終了後に,2年学生は 養表の準備をすること。 Oしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら,2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物,評定書を持参すること
	画	専収主任に, <備考>専攻 学年末休業期 合に限るもの	1年学生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 ひとし、単位修得	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 引の学年は当該学年	書も作成し,実習指 こと.発表会用に発 うち,海外語学実習 合には、海外語学 とする。評定書を最	導責任者の検E 表資料および努 の目的にふされ ミ習の単位を含 最終日に受け取	『を受けて,実習終了後に,2年学生は 発表の準備をすること。 りしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場 ったら,2年学生は専攻主任に1年学生
授業計画	<u>画</u>	専攻王任に、 <備考>専攻 学年末休業月 合に限るもの は専攻副主任	1年学生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 ひとし、単位修得	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 引の学年は当該学年	書も作成し、実習指 会別に発表会用に発 うち、海外語学等 合には、海外語学事 合には、海外語学事 とする。評定書を最 と帳(手帳), 日報,	導責任者の検E 表資料および努 の目的にふされ ミ習の単位を含 最終日に受け取	『を受けて,実習終了後に,2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら,2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物,評定書を持参すること
受業計画	画	専攻王任に、 <備考>専攻 学年末休業月 合に限るもの は専攻副主任	1年字生は専攻 :科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 身の学年は当該学年	書も作成し、実習指 会別に発表 うち、海外語学等 合には、海外語学等 合には、海外語学 とする。評定書を量 モ帳(手帳), 日報,	導責任者の検託表資料および残りの目的にふた会議というの目的にふた会議を日に受け取ま習先から指定との到達目	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 標
受業計画	画	専収主任に、 <備考>専攻 学年を収 会にでは、 会にでは、 はでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	1年字生は専攻 :科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 身の学年は当該学年	書も作成し、実習指表 会用に発 うち、海外語学ま うには、海外語学ま 合には、海外語学ま とする。評定書を最 と帳(手帳), 日報,	導責任者の検決 原目的にふされ 影響の単位を含 影響の単位を含 影響日に受け取 実習先から指 過ごとの到達目 1. 国際的に活出 それらを体得	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 標
受業計画	画	専攻主任に、 く備考と専攻 学年に限当の は専攻副主任 ・	1年字生は専攻 :科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 身の学年は当該学年	書も作成し、実習指 とと、発表会用に発 うち、海外語学実習 合には、海外海外語学ま 合には、海外海外語学ま とする。評定書を とする。評に書報、	導責任者の検持 表資料およる の目的になさき 最終日に受け取 実習先から指 週ごとの到達目 1. 国際的に活躍 それらを体得 2. 実践的国際	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 標 標 歴できる人として必要な資質が分かり できる。
受業計區		専収主任に、 <備考 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大	1年字生は専攻 :科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 身の学年は当該学年	計も作成し、実習指 とと、発表会用に発 うち、海外語学語 合には、海外語学書学 合には、海外語学書学 会には、海外語学 とする。評定書を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	導責任者の検持 表資料およいされ 受別の目的にから と と の目的にが と の目的にが と の到達目 は と の到達目 は と の到達目 は と の到達目 は と の り に た の り に た の り に の り に の り に の り に の り に の り に の り に の り に り に	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 標 程できる人として必要な資質が分かり できる。 該覚が分かり、それらを体得できる。
受業計画	画 1stQ	専攻主任に、 <備考 大学に 学にまなる。 は専攻副主任 ・ 週 1週 2週 3週	1年字生は専攻 :科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 身の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関係の単位を取 との到達目 が、国際的に活躍 で、実践的国際 は、実践的国際 は、大得したこと は、体得したこと は、体得したこと は、体得したこと	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関係 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
受業計画		専収主任に、 マ備末 マー・ マイー・ マイー・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	1年字生は専攻 :科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 身の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関係 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
		専収主任に、 マ備末 マ帯末へる は ・ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	1年字生は専攻 :科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 身の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関係 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
		専収主任に、 マ備末 マ帯末へ さに、 では、 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	1年字生は専攻 :科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 身の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関係 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
		専収主体になり く備末株 合は専り 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	1年字生は専攻 :科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 身の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関係 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
		専収主任に、 マ備末株 マイ専業 合は事な 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	1年字生は専攻 :科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 身の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関係 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
		専収主体で、 マ備末限等 では事業 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	1年字生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 身の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関係 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
		専収主任に、 マ備末 マ帯末休る副主任 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	1年字生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 引の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関係 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
	1stQ	専収主任に、 マ備末 マ学に 市 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	1年字生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 引の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関係 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
	1stQ	専収主任に、 マ備末を フライン 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	1年字生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 引の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関標 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
	1stQ	専収主任に、 マ備年を マ学に 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	1年字生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 引の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関係 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
	1stQ	専 (マーマリー 専 (マーマリー で で で で で で で で で で で で で	1年字生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 引の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関標 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
授業計画	1stQ	専収主体の マイ東外 ではまった 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 1週	1年字生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 引の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関標 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
前期	1stQ	専収主体の マ(イ専集) ではます ではます 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 1週 2週	1年字生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 引の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 関係 関できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。
	1stQ 2ndQ	専収主体の マイ東外 ではまった 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 1週	1年字生は専攻 科学生が参加出 期間中に海外語学 のとし、単位修得 壬に提出すること	日,作成し,報告書副主任に提出するこ 来るプログラムのラ 実習を開始する場 引の学年は当該学年	までは、 またでは、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また	導責任者の検決 表資料およびき の目的に位を対 に関の単位を取 との到達目 が、国際的に活 は、日際的に活 は、それらを体 は、実践的国際 は、実践の国際 は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ は、体得したこ	『を受けて、実習終了後に、2年学生は 注表の準備をすること。 うしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 定されている物、評定書を持参すること 歴できる人として必要な資質が分かり できる。 成覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。

		5週								
		6週								
		7週								
		8週								
		9週								
		10週								
		11週								
	4+h0	12週								
	4thQ	13週								
		14週								
		15週								
		16週								
モデルニ	アカリキ	ニュラムの	学習内容と	到達目標						
分類		分野	学習内容	学習	内容の到達目標				到達レベル	/ 授業週
評価割合	ì			·		·	·	·		
		<u>'</u>	·	海外語学	実習成績評価基準		合計		<u>'</u>	·
総合評価害	合			100			100			
配点				100			100			

	工業高等	等專門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科目	海外語学実習Ⅲ
科目基礎							
<u>- 1 日 至 次</u> 科目番号	1 1	0027			科目区分	一般 / 道	·····································
授業形態		実験・実習			単位の種別と単位		
開設学科		総合イノベー ス)	-ション工学専攻	ズ(環境・資源コー	対象学年	専1	
開設期		集中			週時間数		
教科書/教林	———— 材	教科書:特に	 なし,参考書:	海外語学実習の手	· 引き		
担当教員		近藤 邦和,箕	浦 弘人,和田 憲	幸,西村 一寛,山口			
到達目標	Ę						
現地での外	国語環境	との密接な接触を に,発表資料を作	を通じて, 国際的 F成し, それを伝	ー りに活躍できる人と えられる.	して必要な資質と	実践的国際感覚	を体得し, それらを日報や報告書にま
ルーブリ	リック						
		3	理想的な到達レイ	ベルの目安(優)	標準的な到達レ	ベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	≣1		触を通じて,国際 人として必要な 感覚を体得し, 告書にまとめ,	環境との密接な接際的に活躍できる 際的に活躍できる 資質と実践的国際 それらをもとに それらをもとに 成し,それを伝え	現地での外国語 際的に活実で 資としまで 体得した。 それら まとめ、それら 料を作成し、そ	る人として必要な 祭感覚を部分的に を日報や報告書に をもとに,発表資	は、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に
学科の到	J達目標J	項目との関係	٥,١٠٥٠		-L		7600
 教育方法	 等						
概要		海外において		野を養い語学能力	 の向上を図る.		
授業の進め)方・方法	・ 次報等の ・ 次報等の ・ 人間 ・ 大田 ・ 大田	等学実習対象プロ を表資料を作成し デラム】鈴鹿ログ になる実習プロのとする でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	1グラム(以下,実習 が表表を行う。 5人に高等専門学校利団 5人とでは、他 5人とでは、では、 5人とでは、 5人とでは、 5人に、 5人に、 5人に、 5人に、 5人に、 5人に、 5人に、 5人に	プログラム), 内の高等専門学校、体又は公共団体等科生が参加出来る	容および期間で 国立高等専門学 の機関が主催す プログラムのう [。]	語>[JABEE基準1.2(f) に対応する. に相当するものとする. 長務上の問題点と課題を体験し,日報 交機構及び営利団体又は公共団体等の る実習プログラムの場合は、教務委員 ち,海外語学実習の目的にふさわしい
		び発表の項目			「到達目標」の1〜 る達成目標の各項	6の習得具合を 目の重みは同じ	長習状況,実習態度,日報,報告書お。 である.
		び	評価方法と基準目を総合して評価方法と表準目を総合して評価方法および発表に言書かられる。 言書からでいる。 言書が終されるは、 にできない。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じ 基準」に定められ 前集合)、挨拶、 音導責任者の検印 そ表資料および発 の目的にふされ 景習の単位を含む 最終日に受け時	長習状況,実習態度,日報,報告書およ である。 た配点に従って,実習状況,実習態度
		び発業の原生を表表の原理を表表で、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるよの事でで要求されなは専出に対すといる。 科学生は参加は、 科学生に海外語学のとして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じ 基準」に定められ 前集合)、挨拶、 前集合)、挨拶、 音導責任者の検印 養表資料および予 者の目的にふされ 実習の単位を含む 最終日に受け取っ 実習先から指定さ	長習状況,実習態度,日報,報告書おるである。 はた配点に従って,実習状況,実習態度 お礼など) はを受けて,実習終了後に,2年学生は まる。 しい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場ったら,2年学生は専攻主任に1年学生 されている物,評定書を持参すること。
		び発業の原生のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1	評価方法と基準目を総合して評価方法と表準目を総合して評価方法および発表に言書かられる。 言書からでいる。 言書が終されるは、 にできない。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 基準」に定められ 前集合), 挨拶, 計等責任者の検印 表責質料およびされ 実習の単位を含さ 最終日にできれ 実習先から指定で 週ごとの到達目 1. 国際的に活躍	長習状況、実習態度、日報、報告書お。である。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) おを受けて、実習終了後に、2年学生は 表の準備をすること。 いしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生されている物、評定書を持参すること。 標
	Ī	び発学のは、文学のは、文学のでは、できませんが、「大学のでは、できませんが、「大学のでは、できまれて、「大学のでは、できませんが、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、」は、いいは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるより要求されなは事出。とと「年学生は参加出。日本学生に海外語学に提出することに提出することに提出することを	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じ 基準」に定められ 前集合), 挨拶, 計等責任者の 表資料およびされ 実習の単位を含さ 最終日に受け取っ 実習先から指定さ 週ごとの到達目 1. 国際的に活躍 , それらを体得	長習状況、実習態度、日報、報告書からである。 はた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) かを受けて、実習終了後に、2年学生は 表の準備をすること。 いしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生されている物、評定書を持参すること。 標
]	び発学日単あとは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世のでは、1世	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるより要求されなは事出。とと「年学生は参加出。日本学生に海外語学に提出することに提出することに提出することを	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を記 目の重みは同じて 連進」に定められ 前集合)、挨拶、 計算責任者の検 発表資料にふを含 表習の単位受け取 表習の日にのを 表別の日にから指定で 過ごとの到達目 1. 国際的に活躍 , それらを体得 2. 実践的国際履	長習状況、実習態度、日報、報告書お。である。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) で受けて、実習終了後に、2年学生は 表の準備をすること。 めること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 できる人として必要な資質が分かり できる。 減覚が分かり、それらを体得できる。
	1	び発学は、	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるより要求されなは事出。とと「年学生は参加出。日本学生に海外語学に提出することに提出することに提出することを	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を記 目の重みは同じて 連」に定められ 前集合), 挨拶, 前導責任者よの検 調適の目的になを含 最終日になら指定で 過ごとの到達目 1. 国際的を体得 2. 実践的国際に 3. 体得したこと	に習状況、実習態度、日報、報告書お。である。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 できる人として必要な資質が分かりできる。 に変している。ことができる。
	1stQ	び発学の (評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるより要求されなは事出。とと「年学生は参加出。日本学生に海外語学に提出することに提出することに提出することを	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連進」に定められ 前集合)、挨拶、印 消費責任者の検が 高調責任者のが発表目的になる 表目的になを含む 最終日から指定。 週ごとの到達目 1. 国際的に活躍 1. 国際的に活躍 2. 実践的国際 2. 実践的国際 4. 体得したこと	に習状況、実習態度、日報、報告書お。である。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は あること。 いしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 できる人として必要な資質が分かりできる。 にを日報にまとめることができる。 を報告書にまとめることができる。
		び発学日単あとは、19年の代表表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、1	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるより要求されなは事出。とと「年学生は参加出。日本学生に海外語学に提出することに提出することに提出することを	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とでいる。 計算責別的になをは 表別の申しでいる。 表別の自いを自動を との到達目 1. 国際的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書お。である。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) りを受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること。 りしい内容であること。 りること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 にきる人として必要な資質が分かりできる。 (党が分かり、それらを体得できる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
		び発学の (評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるより要求されなは事出。とと「年学生は参加出。日本学生に海外語学に提出することに提出することに提出することを	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とでいる。 計算責別的になをは 表別の申しでいる。 表別の自いを自動を との到達目 1. 国際的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	に習状況、実習態度、日報、報告書お。である。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は あること。 いしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 できる人として必要な資質が分かりできる。 にを日報にまとめることができる。 を報告書にまとめることができる。
授業計画		び発学日単あとは、19年の代表表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、19年の代表では、1	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるより要求されなは事出。とと「年学生は参加出。日本学生に海外語学に提出することに提出することに提出することを	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とでいる。 計算責別的になをは 表別の申しでいる。 表別の自いを自動を との到達目 1. 国際的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書お。である。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) りを受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること。 りしい内容であること。 りること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 にきる人として必要な資質が分かりできる。 (党が分かり、それらを体得できる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
授業計画		び発学のは、	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるより要求されなは事出。とと「年学生は参加出。日本学生に海外語学に提出することに提出することに提出することを	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とでいる。 計算責別的になをは 表別の申しでいる。 表別の自いを自動を との到達目 1. 国際的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) かで受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 できる人として必要な資質が分かりできる。 (党が分かり、それらを体得できる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
授業計画		び発学日単あレな、学合は 場別 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるより要求されなは事出。とと「年学生は参加出。日本学生に海外語学に提出することに提出することに提出することを	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とでいる。 計算責別的になをは 表別の申しでいる。 表別の自いを自動を との到達目 1. 国際的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) かで受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 できる人として必要な資質が分かりできる。 (党が分かり、それらを体得できる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
受業計画		び発学 日単	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるより要求されなは事出。とと「年学生は参加出。日本学生に海外語学に提出することに提出することに提出することを	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とでいる。 計算責別的になをは 表別の申しでいる。 表別の自いを自動を との到達目 1. 国際的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) かで受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 できる人として必要な資質が分かりできる。 (党が分かり、それらを体得できる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
授業計画		び発学 () () () () () () () () () (評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるよの事でで要求されなは専出に対すといる。 科学生は参加は、 科学生に海外語学のとして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とでいる。 計算責別的になをは 表別の申しでいる。 表別の自いを自動を との到達目 1. 国際的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) かで受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 できる人として必要な資質が分かりできる。 (党が分かり、それらを体得できる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
受業計画	1stQ	び発学日単あレな。 ママットに攻 大学のでは、では、1000 では、1000 では、	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるよの事でで要求されなは専出に対すといる。 科学生は参加は、 科学生に海外語学のとして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とでいる。 計算責別的になをは 表別の申しでいる。 表別の自いを自動を との到達目 1. 国際的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) ができないであること。 いしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生されている物、評定書を持参すること。 標 できる人として必要な資質が分かりできる。 できる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
授業計画		び	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるよの事でで要求されなは専出に対すといる。 科学生は参加は、 科学生に海外語学のとして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とでいる。 計算責別的になをは 表別の申しでいる。 表別の自いを自動を との到達目 1. 国際的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) ができないであること。 いしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生されている物、評定書を持参すること。 標 できる人として必要な資質が分かりできる。 できる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
授業計画	1stQ	び発学 日単 あしな 、	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるよの事でで要求されなは専出に対すといる。 科学生は参加は、 科学生に海外語学のとして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とでいる。 計算責別的になをは 表別の申しでいる。 表別の自いを自動を との到達目 1. 国際的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである. にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること. かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること. 標 できる人として必要な資質が分かりできる. (党が分かり、それらを体得できる. (を日報にまとめることができる. (を報告書にまとめることができる.
受業計画	1stQ	び発学 日単あ レ な	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるよの事でで要求されなは専出に対すといる。 科学生は参加は、 科学生に海外語学のとして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とである。 音導責質料にふを含む 表質的に位をけれて 表質的になる。 との到達目 1. 国の的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである. にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること. かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること. 標 にできる人として必要な資質が分かりできる. (党が分かり、それらを体得できる. (党が分かり、それらを体得できる. (を日報にまとめることができる. (を発表資料にすることができる.
授業計画	1stQ	び発学日単あレな。 ママティー では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるよの事でで要求されなは専出に対すといる。 科学生は参加は、 科学生に海外語学のとして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1〜 る達成目標の各項語学実習成績評価語 る。 持ること、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とである。 音導責質料にふを含む 表質的に位をけれて 表質的になる。 との到達目 1. 国の的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである. にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること. かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること. 標 にできる人として必要な資質が分かりできる. (党が分かり、それらを体得できる. (党が分かり、それらを体得できる. (を日報にまとめることができる. (を発表資料にすることができる.
注意点 授業計画 前期	1stQ	び発学 日単あ レ 文 単 の で は で は で で で で で で で で で で で で で で で	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるよの事でで要求されなは専出に対すといる。 科学生は参加は、 科学生に海外語学のとして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1へる達成目標の各項語学実習成績評価語る。 きず実習のでは、第一個語学表記のでは、第一個語では、第一個語では、第一個語では、第一個語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とである。 音導責質料にふを含む 表質的に位をけれて 表質的になる。 との到達目 1. 国の的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである. にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること. かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること. 標 できる人として必要な資質が分かりできる. (党が分かり、それらを体得できる. (を日報にまとめることができる. (を報告書にまとめることができる.
授業計画	1stQ	び発学 日単あ レ 文 単 の 位	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるよの事でで要求されなは専出に対すといる。 科学生は参加は、 科学生に海外語学のとして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1へる達成目標の各項語学実習成績評価語る。 きず実習のでは、第一個語学表記のでは、第一個語では、第一個語では、第一個語では、第一個語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とである。 音導責質料にふを含む 表質的に位をけれて 表質的になる。 との到達目 1. 国の的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) かで受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 できる人として必要な資質が分かりできる。 (党が分かり、それらを体得できる。) を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。
授業計画	1stQ	びく ア マ マ マ マ で で で で で で で で で で で で で で で	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるよの事でで要求されなは専出に対すといる。 科学生は参加は、 科学生に海外語学のとして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1へる達成目標の各項語学実習成績評価語る。 きず実習のでは、第一個語学表記のでは、第一個語では、第一個語では、第一個語では、第一個語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とである。 音導責質料にふを含む 表質的に位をけれて 表質的になる。 との到達目 1. 国の的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書おである. にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) を受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること. かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること. 標 にできる人として必要な資質が分かりできる. (党が分かり、それらを体得できる. (党が分かり、それらを体得できる. (を日報にまとめることができる. (を発表資料にすることができる.
授業計画前期	1stQ 2ndQ	びくすい (できない) では、 (できな	評価方法と基準間を総合して評価方法と事情を総合して評価方法が表表に言書およる評価で要求されるよの事でで要求されなは専出に対すといる。 科学生は参加は、 科学生に海外語学のとして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	>下記授業計画の 計する・評価に対す 評価基準>「海外語 より成績を評価す 「可」以上を記録を 知識の範囲>心得 知識の範囲>心得 知ま任にプログラムの 来る習を開始するの はの学年は当該学生	「到達目標」の1へる達成目標の各項語学実習成績評価語る。 きず実習のでは、第一個語学表記のでは、第一個語では、第一個語では、第一個語では、第一個語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語では、第一個語の語を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	6の習得具合を見 目の重みは同じて 連集」に定められ 前集青責任者の検済。 行者よう的とである。 音導責質料にふを含む 表質的に位をけれて 表質的になる。 との到達目 1. 国の的に活躍。 2. 実践的国際に 2. 実践的国際に 2. 実践的とこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	程習状況、実習態度、日報、報告書お。である。 にた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) りを受けて、実習終了後に、2年学生は 表表の準備をすること。 りしい内容であること。 りること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 標 にきる人として必要な資質が分かりできる。 (党が分かり、それらを体得できる。 を日報にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。

	6週							
	7週							
	8週							
	9週							
	10週							
	11週							
4+4-0	12週							
4thQ	13週							
	14週							
	15週							
	16週							
アカリキ	ニュラムの	学習内容と?	到達目標					
	分野						到達レベル	授業週
ì	•						•	
			海外語学実習成績評価基		슫	計		
合			100		1	00		
			100		1	00		
		7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 アカリキュラムの 分野	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 アカリキュラムの学習内容と 分野 学習内容	7週 8週 9週 10週 11週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 アカリキュラムの学習内容と到達目標 学習内容の到達目標 学習内容の到達目標 100 第分語学実習成績評価を 100	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 アカリキュラムの学習内容と到達目標 学習内容 学習内容の到達目標 学習内容 学習内容の到達目標 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 7カリキュラムの学習内容と到達目標 学習内容の到達目標 学習内容の到達目標 常外語学実習成績評価基準 合	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 アカリキュラムの学習内容と到達目標 分野 学習内容の到達目標 分野 学習内容の到達目標 分野 学習内容の到達目標 合計 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 7カリキュラムの学習内容と到達目標 分野 学習内容の到達目標 対策 対策 対策 対策 対策 対策 対策 対

———— 鈴原	 鹿工業高等			 2019年度)	授	業科目	
	礎情報			,			
<u> </u>		0029		科目区分		一般/選排	5
授業形態	Ŕ	授業		単位の種別と単位	位数	学修単位:	
開設学科	1	総合イ <i>.</i> ス)	ノベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年		専1	
開設期		後期		週時間数		2	
<u>//1.62////</u> 教科書/勃		無		/AZE-VIEDAX			
2 2 3 3 4 4 5 5 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7			次,平井 信充,西岡 慶子,齊藤 正美,市坪	誠 大井 一徳 瀧木	和彦		
到達目		ринш их		יים מוליטון אין אינט	14/2		
		ーが身につい とともに, ^	けるべき素養・資質について, 基礎的な グループ討議等を通じ, ブラッシュアッ	知識を学習すると プを図り,自らの	ともに, グロー	グローバル・リーグ	ル・リーダーのあり方について, 自 ダー論を展開する能力の向上を図る
レーブ	リック			1#1/# 45 to 701/# 1	- 11 6 5	3 e-t-	+ 70 t
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レ			未到達レベルの目安
评価項目	グローバル・リーダーか身に ファ 画項目 1 るべき素養・資質について具体的 に説明できる。		グローバル・リーダーが身につけるべき素養・資質について具体的に説明できる。	グローバル・リー るべき一般的な て説明できる。	ーターカ 素養・資	り 野につい	グローバル・リーダーが身につけるべき素養・資質について説明できない。
評価項目	目体的かグローバル・ローダーの		一般的なグロー		リーダーの	グローバル・リーダーの在り方を 説明できない。	
評価項目	はり方について説明できる。 住り方を説明できる。 説明の 自らの目指すグローバル・リーダ 自らの目指すグローバル・リーダ 自らの		自らの目指すグローバル・リーダ ー論を展開することができない。				
 学科の	到達目標」			1			1
<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>							
概要		1ローバ)	莫ないし地球規模の視野を持って,産業 ダーとして国内外を問わず活動できる人 ル展開に関する高い識見を有する講師から されたテーマに基づき,グループ討議を	ら 自らの経験・	老え方に	こついての話	講義を聴き つづいてその講義の中
受業の進	め方・方法	・授業(ての内容は,学習・教育到達目標(A)<視 は講義形式で行う.講義中は集中して聴 業計画」における各週の「到達目標」は	讃する.			
注意点		<自己等 準的な <備考> に要求	かじめ要求される基礎知識の範囲>特にた 学習>授業で保証する学習時間と、予習・ 学習時間の総計が90時間に相当する学習 ・この科目では,技術者としての専門知識 される素養・資質を理解し,グローバル 要になる.	復習,課題の準例内容である.			
受業計	画						
		週	授業内容			の到達目標	
		1週	「グローバル・リーダー論」のねらい て	と進め方につい		グローバル 説明できる	・リーダー論」のねらいと進め方に
		2週	プロフェッショナルのためのグローバ	ル・リーダー論	2. グ できる		リーダー(GL)の資質や役割を説明
		3週	プロフェッショナルのためのグローバ	ル・リーダー論	上記2	に同じ.	
	3rdQ	4週	創造的エンジニアに関するグローバル	・リーダー論		に同じ.	
		5週	創造的エンジニアに関するグローバル	・リーダー論	上記2	に同じ.	
		6週	まちづくりにおけるグローバル・リー	 ダー論	上記2	に同じ.	
		7週	まちづくりにおけるグローバル・リー			<u>に</u> 同じ.	
 後期		8週	ものづくりから思うグローバル・リー			<u>に</u> 同じ.	
×77/J		9週	ものづくりから思うグローバル・リー			<u>に</u> 同じ.	
		10週	グローバル・リーダー論				
		11週	グローバル・リーダー論		上記 2 に同じ. 上記 2 に同じ.		
		12週	グローバル・リーダー論				
12週							
14週 グローバル・リーダー論発表会 3. 自身の目指す		身の目指す					
15週 グローバル・リーダー論発表会 上記3に同じ.			2 CC 2 WW // CC 2/.				
		16週					
	コアカリ		の学習内容と到達目標	т			701/年1 2011 1元44/17
分類 工作学	^	分野	学習内容 学習内容の到達目標	示			到達レベル 授業週
評価割	<u>台</u>		テーマごとのレポート, ディスカッ	最終発表および	里级1.+	٥ ،	A-1
					ロマボベーノハ	バート	1合計
	retul A		ション		はボジレハ	<u> </u>	合計
総合評価配点	割合		ション 50 50	50 50	は下でレイ	<u> </u>	台計 100 100

	E工業高等	専門学校	開講年度 平成31年度 (2	2019年度) 1	受業科目「//		
科目基础		<u> </u>				芯用物理学	
科目番号		0031		科目区分	一般/選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位:		
開設学科		総合イノ ス)	/ベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専1		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教	材	自作テキ	スト				
担当教員		仲本 朝基	茎				
到達目標	票						
量子力学。 れらが物'	と統計力学のとだめよう	の基本概念を うに結び付い	と理解し,工学の基礎となる物性を考え いているかについての本質的理解を得る	る上において, その構成 ことが出来る.	找要素である 粉	立子の力学体系の	D本質的理解と, そ
ルーブ!	リック					_	
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの	目安	未到達レベルの	D目安
評価項目:	ことができる。 ことができる。 ことができない.				١,		
評価項目2	2		古典統計力学に関する応用問題を解くことができる。	古典統計力学に関する解くことができる.		解くことができ	
評価項目:			量子統計力学に関する応用問題を 解くことができる.	量子統計力学に関する 解くことができる.	基本問題を 	量子統計力学に 解くことができ	こ関する基本問題を きない.
		目との関	月徐				
教育方法	去等						
概要		現代工学レベルに学問の根	学の最先端領域において,物性の基とな こまで反映させるための手段として量子 基本的かつ本質的な考え方・ものの見方	る電子・原子の特徴を理統計力学を活用することについて身に付けること	関解するために には必要不可な ・を目指す	に量子力学を, そ マである. この授	そしてそれらを物性 受業では, それらの
授業の進	め方・方法	・すべて	「の内容は学習・教育到達目標(B) 芸計画」における各週の「到達目標」は	基礎>とJABEE基準1(2	.)(c)に相当す	 る. <u>_相当</u> するものと	
				◆卟 /#▼ · ※==-~=-	- M-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	始15/43/45 一 4	5.89米6 沙丘八手八
注意点), な は 大 で に に に に に に に に に に に に に	・習>授業で保証する学習時間と,予習 ・学習時間の総計が,90時間に相当する ・古典力学と量子力学・量子力学と統計	なわち, 「物理」 「応原・復習(中間試験・定期 ・復習(中間試験・定期 学習内容である。 カ学、統計カ学と熱力等	月物理Ⅰ・Ⅱ」	物理学特講]	等の学習が基礎と
), な は 大 で に に に に に に に に に に に に に	見力学, 電磁気学, 熱力学, 波動学 (す)る)	なわち, 「物理」 「応原・復習(中間試験・定期 ・復習(中間試験・定期 学習内容である。 カ学、統計カ学と熱力等	月物理Ⅰ・Ⅱ」	物理学特講]	等の学習が基礎と
), 古典い ない は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	2力学,電磁気学,熱力学,波動学(すいる) 学習>授業で保証する学習時間と,予習 学習時間の総計が,90時間に相当する 古典力学と量子力学,量子力学と統計 があることを十分認識しながら学習する	なわち, 「物理」 応月・復習(中間試験・定期・ ・復習(中間試験・定期・ 学習内容である. カ学, 統計力学と熱力等	物理 I ・ II] 試験・小テン [≠] , などをまっ	「物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問だ	等の学習が基礎と
	画), な は 大 で に に に に に に に に に に に に に	2力学,電磁気学,熱力学,波動学(する) 会習>授業で保証する学習時間と,予習 学習時間の総計が,90時間に相当する 古典力学と量子力学,量子力学と統計 があることを十分認識しながら学習する 授業内容	なわち, 「物理」 「応F・復習(中間試験・定期 ・復習(中間試験・定期 ・学習内容である。 カ学, 統計力学と熱力等 こと。 	1	物理学特講] ストのための学習 o たく別の学問だ	等の学習が基礎と
	画), 古典 なっている では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	2力学,電磁気学,熱力学,波動学(すいる) 学習>授業で保証する学習時間と,予習 学習時間の総計が,90時間に相当する 古典力学と量子力学,量子力学と統計 があることを十分認識しながら学習する	なわち, 「物理」 「応 ・復習(中間試験・定則 ・学習内容である。 カ学, 統計力学と熱力等 こと。 週ご 1 説明	1	物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問た	等の学習が基礎と習も含む) に必要なまちと考えず, 深いとちと考えず, 深いと、物質波について
注意点 授 業計 [画) から	2力学,電磁気学,熱力学,波動学(する) ふる) 学習>授業で保証する学習時間と,予習 学習時間の総計が,90時間に相当する 古典力学と量子力学,量子力学と統計 あることを十分認識しながら学習する 授業内容 前期量子論	なわち, 「物理」 「応 ・復習(中間試験・定算 ・学習内容である。 カ学, 統計力学と熱力等 こと。 週ご 1 説明 2. 。 る.	1	「物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問だったく別の学問だったく別の学問だった 電子の波動性なる ンガー方程式の原	等の学習が基礎と習も含む) に必要なさちと考えず, 深いど、物質波について
), っち 共の から	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習と授業で保証する学習時間と,予習学習時間の総計が,90時間に相当する古典力学と量子力学,量子力学と統計があることを十分認識しながら学習する授業内容前期量子論	なわち, 「物理」 「応 ・復習(中間試験・定算 ・変習内容である・ カ学, 統計力学と熱力等 こと・ 週ご 1. 説明 2. る・ 3.	1	「物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問た 電子の波動性なる ンガー方程式の別	等の学習が基礎と習も含む) に必要なさちと考えず, 深いど、物質波について
	画 3rdQ	りなく標く関 のよく標で開り のは、一点でごうなった。 のは、一点ででは、一点ででは、一点ででは、一点では、一点では、一点では、一点では、	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習と関係で保証する学習時間と,予習学習時間の総計が,90時間に相当する古典力学と量子力学,量子力学と統計があることを十分認識しながら学習する授業内容前期量子論シュレーディンガー方程式波動関数期待値,不確定性原理	なわち, 「物理」 「応F・復習(中間試験・定期 ・復習(中間試験・定期 ・学習内容である・ カ学, 統計力学と熱力等 こと・ 週ご 1. 説明 2. る・ 3. 4. 説明	物理 I ・ I	「物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問た 電子の波動性なる ンガー方程式の原いての現代的解釈 て計算でき、不	等の学習が基礎と習も含む)に必要なさちと考えず、深いと、物質波について成り立ちを説明できる。確定性原理について
) , っ , っ 自 準 備 り が と 関 間 週 1 週 2 週 3 週	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習と供業で保証する学習時間と,予習学習時間の総計が,90時間に相当する。 古典力学と量子力学,量子力学と統計があることを十分認識しながら学習する 授業内容 前期量子論 シュレーディンガー方程式 波動関数	なわち, 「物理」「応F・復習(中間試験・定算 ・復習(中間試験・定算 ・学習内容である。 カ学, 統計力学と熱力等 こと・ 週ご 1. 説明 2. る. 3. 4. 説明 5. 6.	物理 I ・ I	「物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問た 電子の波動性なる ンガー方程式の別 いての現代的解釈 て計算でき、不確	等の学習が基礎と習も含む)に必要なさちと考えず、深いと、物質波について成り立ちを説明できる。確定性原理について
) かく標 関 週 1週 2週 3週 4週 5週	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習、関係で保証する学習時間と,予習学習を開けた。 学習を開けた。 学習時間の総計が,90時間に相当する。 古典力学と量子力学,量子力学と統計であることを十分認識しながら学習する 授業内容 前期量子論 シュレーディンガー方程式 波動関数 期待値,不確定性原理	なわち, 「物理」「応 ・復習(中間試験・定算 ・変習内容である。 カ学, 統計力学と熱力等 こと・ 週ご 1. 説明 2. る。 3. 4. 説明 5. 6. の準	神理 I ・ I	「物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たった。 正子の現代的解釈 て計算でき、不確について説明でき して量子力学的記	等の学習が基礎と習も含む)に必要なさちと考えず、深いど、物質波について成り立ちを説明できる。 確定性原理についてきる。 記述を理解するため
授業計画)なく標く関 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習、関係では、予習と対象で保証する学習時間と、予習、学習時間の総計が、90時間に相当する。 古典力学と量子力学、量子力学と統計であることを十分認識しながら学習するがあることを十分認識しながら学習するが関準内容が期量子論をファインガー方程式を動関数が関係では、不確定性原理をファインが果を表現である。	なわち, 「物理」「応 ・復習(中間試験・定算 ・変習内容である。 カ学, 統計力学と熱力等 こと・ 週ご 1.明 2. る. 3. 4.明 5. 6. の準 7. 軌道	神理 I ・ I	「物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たった。 正子の現代的解釈 て計算でき、不確について説明でき して量子力学的記	等の学習が基礎と習も含む)に必要なさちと考えず、深いと、物質波について成り立ちを説明できる。確定性原理についてきる。記述を理解するため記述において、電子できる。
授業計画		A	カ学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習と関係を関係では、予習と関係では、 予習 学習時間の総計が、 90時間に相当する 古典力学と量子力学,量子力学と統計であることを十分認識しながら学習する 授業内容 前期量子論 シュレーディンガー方程式 波動関数 期待値,不確定性原理 トンネル効果 水素原子の量子力学的記述(1) 水素原子の量子力学的記述(2)	なわち, 「物理」「応 ・復習(中間試験・定算 ・変習内容である。 カ学, 統計力学と熱力等 こと・ 週ご 1.明 2. る。 3. 4.明 5. 6.少 7.道 8. 9.	1	「物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問た 電子の波動性なる ンガー方程式の配 いての現代的解解 て計算でき、不確 について説明でき して量子力学的記 する量子力学的記 なることが説明	等の学習が基礎と習も含む)に必要なさちと考えず、深いど、物質波について成り立ちを説明できる。確定性原理についてきる。記述を理解するため記述において、電子できる。別述を記述を理解するため
授業計画		A	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習と概念で保証する学習時間と, 予習学習と関係を関係を対して、	なわち, 「物理」「応原・復習(中間試験・定期 ・復習(中間試験・定期 ・学習内容である・ カ学, 統計力学と熱力学 ・	# T	「物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったうな動性なったができ、不可について説明できして量子力学的記なることが説明できることが説明できる。	等の学習が基礎と習も含む)に必要なさちと考えず、深いど、物質波について成り立ちを説明できる。確定性原理についてきる。記述を理解するため記述において、電子できる。別述を記述を理解するため
授業計画		Day of the control of the contro	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習と概念で保証する学習時間と, 予習学習と授業で保証する学習時間に相当する	なわち, 「物理」「応 ・復習(中間試験・定期 ・変習内容である・ カ学, 統計力学と熱力学 ・ 記明 2. る・ 3. 4. 説明 5. 6. 準 7. 軌道 8. 9. Stirli	# T	「物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったうな動性なったができ、不可について説明できして量子力学的記なることが説明できることが説明できる。	等の学習が基礎と習も含む)に必要なさちと考えず、深いさちと考えず、深いど、物質波について成り立ちを説明できる。確定性原理についてきる.記述を理解するため記述を理解するためできる。
授業計画	3rdQ	Description of the content of th	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する学習) 授業で保証する学習時間と,予習学習時間の総計が,90時間に相当する	なわち, 「物理」「応 ・復習(中間試験・定期 ・復習内容である。 カ学, 統計力学と熱力等 ・ カ学, 統計力学と熱力等 ・ 1.明 2.る。 3. 4.明 5. 6.準 7.道 8. 9.stirli 1.0 説明 1.1	1 付	「物理学特講」 ストのための学習 ったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たった。 電子の波動性ない いての現代的解釈 て計算でき、不不についころのに、 についころの現代的解釈 についころの現代的解釈 についころの現代的解釈 についころの現代的解釈 についころの現代的解釈 についころの現代の解釈 についころの現代の解釈 についころの思います。 の関係の関係できる。 の関係の関係できる。 の関係の関係できる。 の関係の関係の関係できる。 の関係の関係の関係できる。 の関係の関係の関係による。 の関係の関係の関係による。 の関係の関係による。 の関係の関係による。 の関係による。 の形による。 の形	等の学習が基礎といる。 いると考えず、深いというできる。 できる。 記述を理解するために 記述を理解するために 記述を理解するために 記述を理解するために において、電子できる。 いな統計分布や ゴード仮説について できる。
授業計画		Day 1	カ学,電磁気学,熱力学,波動学(す)学習と大学で保証する学習時間と,予習学習時間の総計が,90時間に相当する。 古典力学と量子力学,量子力学と統計があることを十分認識しながら学習する 授業内容 前期量子論 シュレーディンガー方程式 波動関数 期待値,不確定性原理 トンネル効果 水素原子の量子力学的記述(1) 水素原子の量子力学的記述(2) 中間試験 統計力学の数学的準備 力学と確率 小正準分布,ボルツマンの関係	なわち, 「物理」「応 ・復習(中間試験・定期 ・変習内容である。 カ学, 統計力学と熱力等 ・ 数型 1. 明 2. る. 3. 4. 説明 5. 6. 必準 7. 軌道 8. 9. Stirli 1. 0 説明 1. 1 1. 2	1 別報	「物理学特講」 ストのための学習 であたく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たった。 こつの現代的解釈では、こつの現代的解釈では、こつでは、一方が容を関するること内質、できること内質、できるの明ができる。 などの関係を説明できる。 の関係を説明できる。 の関係を説明できる。 の関係を説明できる。 の関係を説明できる。 の対象の原理、エルコの対象の原理、エルコの対象を説明できる。	等の学習が基礎といる。 いたちと考えず、深いというできる。 に必要ないできる。 できる。 にが説明できる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	3rdQ	Description of the content of th	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する学習) 授業で保証する学習時間と,予習学習時間の総計が,90時間に相当する	なわち, 「物理」「応 ・復習(中間試験・定期 ・復習内容である。 カ学, 統計力学と熱力等 ・ 想 ・ 記明	17 まで と	「物理学特講」 ないたく別の学問ないたく別の学問ないたく別の学問ないたく別の学問ないたく別の学問ないた。 電子の波動性ないたが、不可にしていますができます。 していますがでは、不可にしていますができます。 していますがでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが	等の学習が基礎といる。 いたちと考えず、深いというなり立ちを説明できる。 できる。 記述を理解するためにできる。 記述を理解するためにできる。 いてきる。 いな統計分布や ゴード仮説についてできる。 とできる。 のな統計分布や ゴード仮説についてできる。 ここのいて説明できる。 ここのいて説明できる。
授業計画	3rdQ	Description of the content of th	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習と関係で保証する学習時間と, 予習学習時間の総計が, 90時間に相当する。 古典力学と量子力学, 量子力学と統計があることを十分認識しながら学習する 授業内容 前期量子論 シュレーディンガー方程式 波動関数 期待値, 不確定性原理 トンネル効果 水素原子の量子力学的記述(1) 水素原子の量子力学的記述(2) 中間試験 統計力学の数学的準備 力学と確率 小正準分布, ボルツマンの関係 古典統計:ボルツマン統計 正準分布, 比熱のアインシュタイン核	がわち、「物理」「応原・復習(中間試験・定期 ・復習(中間試験・定期 ・変習内容である・カナックである・カナックである・カナックである・カナックである・カナックである・カナックである・カナックである・カナックである・カナックである・カナックである・カナックである・ファイン・カナックである・ファイン・カナックである・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	1	「物理学特講」 ないたく別の学問ないたく別の学問ないたく別の学問ないたく別の学問ないたく別の学問ないた。 電子の波動性ないたが、不可にしていますができます。 していますがでは、不可にしていますができます。 していますがでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが	等の学習が基礎といる。 いたちと考えず、深いというできる。 に必要ないできる。 できる。 にが説明できる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことできる。 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ことでを、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
後期	3rdQ 4thQ	Description of the content of th	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習と大学で保証する学習時間と, 予習学習時間の総計が,90時間に相当する。古典力学と量子力学,量子力学と統計であることを十分認識しながら学習する 授業内容 前期量子論 シュレーディンガー方程式 波動関数 期待値,不確定性原理 トンネル効果 水素原子の量子力学的記述(1) 水素原子の量子力学的記述(2) 中間試験 統計力学の数学的準備 力学と確率 小正準分布,ボルツマンの関係 古典統計:ボルツマン統計 正準分布,比熱のアインシュタイン核パウリの排他原理,粒子の対称性,フボーズ統計,ボーズ・アインシュタイ	なわち, 「物理」「応居 ・復習(中間試験・定理 ・変習内容である・カラー・ カラー・	1	「物理学特講」 ないたく別の学問ないたく別の学問ないたく別の学問ないたく別の学問ないたく別の学問ないた。 電子の波動性ないたが、不可にしていますができます。 していますがでは、不可にしていますができます。 していますがでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが	等の学習が基礎といる。 はも含む)に必要ないできる。 できる。 記述を理解するためにできる。 記述を理解するためにできる。 記述をご言る。 でできる。 のな統計分布や ゴード仮説について できる。 といっている。 のなが説明できる。 のなが記述できる。 のなが記述できる。 のなが記述できる。 のなが記述できる。 のなが記述できる。 のなが記述できる。 ここのいてごきる。
授業計画	3rdQ 4thQ	して のなく標く関 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 トユーの	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(す)学習/授業で保証する学習時間と, 子習学習時間の総計が, 90時間に相当する 学習時間の総計が, 90時間に相当する 古典力学と量子力学, 量子力学と統計 あることを十分認識しながら学習する 授業内容 前期量子論 シュレーディンガー方程式 波動関数 期待値,不確定性原理 トンネル効果 水素原子の量子力学的記述(1) 水素原子の量子力学的記述(2) 中間試験 統計力学の数学的準備 力学と確率 小正準分布, ボルツマン統計 正準分布, 比熱のアインシュタイン核 パウリの排他原理, 粒子の対称性, フボーズ統計, ボーズ・アインシュタイプ学習内容と到達目標	がわち、「物理」「応原・復習(中間試験・定期 ・復習(中間試験・定期 ・変習内容である・ カプラ、統計力学と熱力学 ・ 記明	1	「物理学問題」 マトのための学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たった。 電子の方の現するのででは、いての質で、説明学の調子のででででである。 にていてのでででででいますが容の明のででででである。 ではいていてででででででいますが、ででででででできます。 ではいていていてでででできますが、ででででできます。 ではいていていていていますが、これででででできます。 ではいていていていていていますが、これでででできます。 ではいていていていていていていていていていていています。 ではいていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	等の学習が基礎といる。 とちと考えず、深いというできる。 できる。 記述を理解するためにできる。 記述を理解するためにできる。 記述において、電子できる。 内な統計分布や ゴード仮説についてできる。 というできる。 というできる。 というできる。 ここついて説明できる。 について説明できる。
後期	3rdQ 4thQ	Description of the content of th	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習と大学で保証する学習時間と, 予習学習時間の総計が,90時間に相当する。古典力学と量子力学,量子力学と統計であることを十分認識しながら学習する 授業内容 前期量子論 シュレーディンガー方程式 波動関数 期待値,不確定性原理 トンネル効果 水素原子の量子力学的記述(1) 水素原子の量子力学的記述(2) 中間試験 統計力学の数学的準備 力学と確率 小正準分布,ボルツマンの関係 古典統計:ボルツマン統計 正準分布,比熱のアインシュタイン核パウリの排他原理,粒子の対称性,フボーズ統計,ボーズ・アインシュタイ	がわち、「物理」「応原・復習(中間試験・定期 ・復習(中間試験・定期 ・変習内容である・ カプラ、統計力学と熱力学 ・ 記明	1	「物理学問題」 マトのための学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たった。 電子の方の現するのででは、いての質で、説明学の調子のででででである。 にていてのでででででいますが容の明のででででである。 ではいていてででででででいますが、ででででででできます。 ではいていていてでででできますが、ででででできます。 ではいていていていていますが、これででででできます。 ではいていていていていていますが、これでででできます。 ではいていていていていていていていていていていています。 ではいていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	等の学習が基礎といる。 はも含む)に必要ないできる。 できる。 記述を理解するためにできる。 記述を理解するためにできる。 記述をご言る。 でできる。 のな統計分布や ゴード仮説について できる。 といっている。 のなが説明できる。 のなが記述できる。 のなが記述できる。 のなが記述できる。 のなが記述できる。 のなが記述できる。 のなが記述できる。 ここのいてごきる。
後期	3rdQ 4thQ	Day of the first of the fir	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習と授業で保証する学習時間と,予習学習時間の総計が,90時間に相当する。	がわち、「物理」「応原・復習(中間試験・定期 ・復習(中間試験・定期 ・変習内容である・ カプラ、統計力学と熱力学 ・ 記明	1	「物理学問題」 マトのための学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たった。 電子の方の現するのででは、いての質で、説明学の調子のででででである。 にていてのでででででいますが容の明のででででである。 ではいていてででででででいますが、ででででででできます。 ではいていていてでででできますが、ででででできます。 ではいていていていていますが、これででででできます。 ではいていていていていていますが、これでででできます。 ではいていていていていていていていていていていています。 ではいていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	等の学習が基礎というできる。 記述を理解するためできる。 記述を理解するためできる。 記述を理解するためできる。 記述を理解するためできる。 記述をできる。 別な統計分布や ゴード仮説についてできる。 型を説明できる。 こついて説明できる。 ここついて説明できる。 ここついて説明できる。
授業計画	3rdQ 4thQ	Day of the first of the fir	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(す)学習/授業で保証する学習時間と, 子習学習時間の総計が, 90時間に相当する 学習時間の総計が, 90時間に相当する 古典力学と量子力学, 量子力学と統計 あることを十分認識しながら学習する 授業内容 前期量子論 シュレーディンガー方程式 波動関数 期待値,不確定性原理 トンネル効果 水素原子の量子力学的記述(1) 水素原子の量子力学的記述(2) 中間試験 統計力学の数学的準備 力学と確率 小正準分布, ボルツマン統計 正準分布, 比熱のアインシュタイン核 パウリの排他原理, 粒子の対称性, フボーズ統計, ボーズ・アインシュタイプ学習内容と到達目標	がわち、「物理」「応原・復習(中間試験・定期 ・復習(中間試験・定期 ・変習内容である・ カプラ、統計力学と熱力学 ・ 記明	羽は、 ・ と光でシ 皮 期でト k i i i i i i i i i i i i i i i i i i	「物理学問題」 マトのための学問たったく別の学問たったく別の学問たったく別の学問たった。 電子の方の現するのででは、いての質で、説明学の調子のででででである。 にていてのでででででいますが容の明のででででである。 ではいていてででででででいますが、ででででででできます。 ではいていていてでででできますが、ででででできます。 ではいていていていていますが、これででででできます。 ではいていていていていていますが、これでででできます。 ではいていていていていていていていていていていています。 ではいていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	等の学習が基礎といると考えず、深いというと考えず、深いというと考えず、深いというと考えず、深いというできる。では、物質液についてきる。記述を理解するためにできる。このな統計分布やできる。このな統計分布やできる。このにできる。このにできる。このにできる。このにできる。このにできる。このにできる。このにできる。このにできる。このにできる。このにできる。このにできる。このにできる。このについて説明できる。このについて説明できる。このについて説明できる。このについて説明できる。このにいて説明できる。このにいて説明できる。このにいる。このには、常知を記述されば、またいは、このには、ないないは、ないないないない。このできる。このには、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない
後期	3rdQ 4thQ	Description of the content of th	記力学,電磁気学,熱力学,波動学(する)学習と授業で保証する学習時間と,予習学習時間の総計が,90時間に相当する。	なわち, 「物理」「応見 ・復習(中間試験・定見 ・変習内容である。 ・力学, 統計力学と熱力等 ・表記のである。 ・独立である。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点のである。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・一点である。 ・ ・一点である。 ・一点である。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	羽は、 ・ と光でシ 皮 期でト k i i i i i i i i i i i i i i i i i i	「物理学問題」 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	等の学習が基礎というできる。 記述を理解するためにある。 記述を理解するためにできる。 記述を理解するためにできる。 記述を理解するためにできる。 記述を理解するためできる。 こできる。 いて、電子できる。 いて、電子できる。 いな統計分布や ゴード仮説についてできる。 ここのいて説明できる。 ここのいて説明できる。 ここのいて説明できる。 ここのいて説明できる。

科目基础科目番号	俗情報		₹ │ 開講年度 │平成31年月	度 (2019年度)	授業科目	化学総論	
ᆟᆔᆓᄆ		T			40		
		0032		科目区分	一般/選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位	専1		
開設学科		ス)	ノハーションエチ寺以(垛児・貝派	ゴー 対象学年	専1		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教			語25講 著:芝哲夫 化学同人				
担当教員		甲斐 穂	高				
到達目標		- I I I I I I I I I I I I I I I I I I I				() (= 1) () () () () () () () () ()	
			が必要とする基本的な化学の概念(ことを目指す.	無機化学,有機化学,多	E物化字,環境化等	学)を埋解し,これらを様々な分割	
ルーブリ	リック						
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベ	ジルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目:	1		金属の化学的性質や特徴につい ,実際に身の回りに使われてい 事例をあげて化学反応を示した ら説明できる.	\る 金属の化学的性質	む特徴を説明で	金属の化学的性質や特徴を説明できない.	
評価項目2	2		身の回りにあるものを例示し, 学反応や物質の構造を示しなか ,水の性質について説明できる	バら 水の性質について	説明できる.	水の性質について説明できない.	
評価項目3	3		身の回りにあるものを例示し, 学反応や物質の構造を示しなか ,有機化合物の性質や特徴を訪 できない.	バら 有機化合物の性質	で特徴を説明で	有機化合物の性質や特徴を説明で きない。	
 学科のヨ	到達目標	 項目との[·		l .	
<u>,17003</u> 教育方法		<u>лп С • УГ</u>	S IN				
	ムけ	数多くの		る基本的な化学の概念	(無機化学,有機化		
既要		し, ご	1らを様々な分野において応用でき	るようになることを目指	≦す.		
受業の進む 	め方・方法	あらかしまた, 「授業 く到達!	の学習内容は,すべて,学習・教育: じめ事前課題を提示するので(提出を 事後課題を提示する場合もある. 計画」における各週の「到達目標」 目標の評価方法と基準> 業で習得する「知識・能力」におい	で求める), 事前課題に即は, この授業で習得する	双り組んだ上で授業 3「知識・能力」(3	に出席すること. に相当するものとする.	
注意点		1.学 する. 2.再 である. く単位	多得要件> 責評価点が60点以上であること.				
		くあらた 化学, ギ くレポ・	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理, 生物, 有機化学, 無機化学, : - ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が		生物化学の基本的事	『項は理解していることが望ましい	
受業計画	画	くあられ 化学, † ・ ・ 日講期	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, -ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が	ある.		『項は理解していることが望ましい	
受業計画	画	< あられい	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, -ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容	ある.	週ごとの到達目標		
受業計画	画	くあられ 化学, 1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 開講期 り り り り り り り り り り り り り り り り り り り	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, -ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方	ある.	週ごとの到達目標 授業の進め方につ!	いて理解する.	
受業計區	画	<あられいです。	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, - ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明	ある. ;	週ごとの到達目標 授業の進め方につ! 1.鉄の化学的性!	ハて理解する. 質を説明できる.	
受業計區	画	くあられい (本) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, - ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明 鉄と文明	ある. :	週ごとの到達目標 授業の進め方につ 1. 鉄の化学的性 2. 鉄の化学的性	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる.	
受 業 計區 —	画 3rdQ	くからがれる	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, - ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明 鉄と文明 貴金属の利用と性質	ある.	週ごとの到達目標 授業の進め方につ 1.鉄の化学的性 2.鉄の化学的性 3.貴金属の利便	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる.	
受業計画		<あられい。 < のでは、	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, - ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明 鉄と文明 貴金属の利用と性質 重金属の利用と性質	ある. ;	週ごとの到達目標 授業の進め方につ 1.鉄の化学的性 2.鉄の化学的性 3.貴金属の利便 4.重金属の利便 5.身の回りにあ	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 性・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる.	
受業計區		<	かじめ要求される基礎知識の範囲>物理,生物,有機化学,無機化学,無機化学,無機化学,無機化学,無機化学,上下等>間中に複数回レポートを課す場合が授業内容授業の進め方銅と文明 鉄と文明 貴金属の利用と性質重金属の利用と性質様々な金属の利用と性質	ある. ;	週ごとの到達目標 授業の進め方につい 1.鉄の化学的性 2.鉄の化学的性 3.貴金属の利便 4.重金属の利便	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 性・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる.	
受業計區		(本)	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, ート等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明 鉄と文明 貴金属の利用と性質 重金属の利用と性質 様々な金属の利用と性質 中間試験	ある. ;	週ごとの到達目標 授業の進め方につい 1. 鉄の化学的性 2. 鉄の化学的性 3. 貴金属の利便 4. 重金属の利便 5. 身の回りにあ を説明できる.	ハて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. る様々な金属の利便性・特徴・影	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		Control Co	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, ート等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明 貴金属の利用と性質 重金属の利用と性質 様々な金属の利用と性質 中間試験 水の性質	ある. :	週ごとの到達目標 授業の進め方につけ 1. 鉄の化学的性 2. 鉄の化学的性 3. 貴金属の利便 4. 重金属の利便 5. 身の回りにあ を説明できる.	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. る様々な金属の利便性・特徴・影	
		Name	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, ート等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明 貴金属の利用と性質 重金属の利用と性質 様々な金属の利用と性質 中間試験 水の性質 水と生命	ある. :	週ごとの到達目標 授業の進め方につい 1. 鉄の化学的性 2. 鉄の化学的性 3. 貴金属の利便 4. 重金属の利便 5. 身の回りにあ を説明できる. 6. 水の化学的性 7. 水と生命の関	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. る様々な金属の利便性・特徴・影 質を説明できる. 系性を説明できる.	
		(本の) ** (本	かじめ要求される基礎知識の範囲> 勿理,生物,有機化学,無機化学, 一ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明 貴金属の利用と性質 重金属の利用と性質 様々な金属の利用と性質 中間試験 水の性質 水と生命 必須栄養素とアミノ酸	ある. :	週ごとの到達目標 授業の進め方につ 1.鉄の化学的性 2.鉄の化学的性 3.貴金属の利便 4.重金属の利便 5.身の回りにあ を説明できる. 6.水の化学的性 7.水と生命の関	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. な様々な金属の利便性・特徴・影 質を説明できる. 系性を説明できる. アミノ酸の性質を理解している.	
		Apple	かじめ要求される基礎知識の範囲>物理,生物,有機化学,無機化学,無機化学,無機化学,無機化学,一ト等>間中に複数回レポートを課す場合が授業内容授業の進め方銅と文明 貴金属の利用と性質重金属の利用と性質 様々な金属の利用と性質中間試験水の性質水と生命必須栄養素とアミノ酸生体の恒常性(代謝と解毒)	ある.	週ごとの到達目標 授業の進め方につい 1.鉄の化学的性 2.鉄の化学的性 3.貴金属の利便 4.重金属の利便 5.身の回りにあ を説明できる。 6.水の化学的性 7.水と生命の関 8.タンパク質と 9.生体内の代謝	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 性・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. ま・特徴・影響を説明できる. る様々な金属の利便性・特徴・影 質を説明できる. 系性を説明できる. アミノ酸の性質を理解している. ・解毒の作用を理解している.	
		(本の) ** (本	かじめ要求される基礎知識の範囲> 勿理,生物,有機化学,無機化学, 一ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明 貴金属の利用と性質 重金属の利用と性質 様々な金属の利用と性質 中間試験 水の性質 水と生命 必須栄養素とアミノ酸	ある. ;	週ごとの到達目標 授業の進め方につい 1. 鉄の化学的性 2. 鉄の化学的性 3. 貴金属の利便 4. 重金属の利便 5. 身の回りにあ を説明できる. 6. 水の化学的性 7. 水と生命の関 8. タンパク質と 9. 生体内の代謝 10. 身の回りに できる.	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 性・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. ま・特徴・影響を説明できる. る様々な金属の利便性・特徴・影 質を説明できる. 系性を説明できる. アミノ酸の性質を理解している. ・解毒の作用を理解している. ある有機化合物の性質や特徴を説	
授業計画		Apple	かじめ要求される基礎知識の範囲>物理,生物,有機化学,無機化学,無機化学,無機化学,無機化学,一ト等>間中に複数回レポートを課す場合が授業内容授業の進め方銅と文明 貴金属の利用と性質重金属の利用と性質 様々な金属の利用と性質中間試験水の性質水と生命必須栄養素とアミノ酸生体の恒常性(代謝と解毒)	ある. ;	週ごとの到達目標 授業の進め方につい 1. 鉄の化学的性 2. 鉄の化学的性 3. 貴金属の利便 4. 重金属の利便 5. 身の回りにあ を説明できる. 6. 水の化学的性 7. 水と生命の関 8. タンパク質と 9. 生体内の代謝 10. 身の回りに できる.	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 性・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. ま・特徴・影響を説明できる. る様々な金属の利便性・特徴・影 質を説明できる. 系性を説明できる. アミノ酸の性質を理解している. ・解毒の作用を理解している.	
	3rdQ	Apple	かじめ要求される基礎知識の範囲>物理,生物,有機化学,無機化学,無機化学,一ト等>間中に複数回レポートを課す場合が授業内容授業の進め方銅と文明貴金属の利用と性質重金属の利用と性質中間試験水の性質水と生命必須栄養素とアミノ酸生体の恒常性(代謝と解毒)日常生活の中での有機化学物質	ある. :	週ごとの到達目標 授業の進め方につい 1.鉄の化学的性 2.鉄の化学的性 3.貴金属の利便 4.重金属の利便 5.身の回りにあ を説明できる。 6.水の化学的性 7.水と生命の関係 8.タンパク質と 9.生体内の代謝 10.身の回りに できる。 11.農薬と殺虫	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 性・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. ま・特徴・影響を説明できる. る様々な金属の利便性・特徴・影 質を説明できる. 系性を説明できる. アミノ酸の性質を理解している. ・解毒の作用を理解している. ある有機化合物の性質や特徴を説	
	3rdQ	Control of the co	かじめ要求される基礎知識の範囲> 勿理,生物,有機化学,無機化学, 一ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明 貴金属の利用と性質 重金属の利用と性質 中間試験 水の性質 水と生命 必須栄養素とアミノ酸 生体の恒常性(代謝と解毒) 日常生活の中での有機化学物質 フェロモンと農薬と殺虫剤	ある. :	週ごとの到達目標 授業の進め方につ 1. 鉄の化学的性 2. 鉄の化学的性 3. 貴金属の利便 4. 重金属の利便 5. 身の回りにあ を説明できる. 6. 水の化学的性 7. 水と生命の関 8. タンパク質と 9. 生体内の代謝 10. 身の回りに できる. 11. 農薬と殺虫 12. 薬の性質や 13. これまでに	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. る様々な金属の利便性・特徴・影 質を説明できる. 系性を説明できる. アミノ酸の性質を理解している. ・解毒の作用を理解している. ちる有機化合物の性質や特徴を説	
	3rdQ	Control of the co	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, 一ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明 貴金属の利用と性質 重金属の利用と性質 中間試験 水の性質 水と生命 必須栄養素とアミノ酸 生体の恒常性(代謝と解毒) 日常生活の中での有機化学物質 フェロモンと農薬と殺虫剤 大衆薬の性質と効果	ある. :	週ごとの到達目標 授業の進め方につい 1. 鉄の化学的性 2. 鉄の化学的性 3. 貴金属の利便 4. 重金属の利便 5. 身の回りにあ を説明できる。 6. 水の化学的性 7. 水と生命の関 8. タンパク質と 9. 生体内の代謝 10. 身の回りにできる。 11. 農薬と殺虫 12. 薬の性質や 13. これまでに 事象や事柄につい	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. る様々な金属の利便性・特徴・影 の様を説明できる. 深性を説明できる. アミノ酸の性質を理解している. ・解毒の作用を理解している. ある有機化合物の性質や特徴を説 別成分の性質や構造を理解している. 対対の性質や構造を理解している. 対対の性質や構造を理解している.	
	3rdQ 4thQ	Control of the co	かじめ要求される基礎知識の範囲> 物理,生物,有機化学,無機化学, 一ト等> 間中に複数回レポートを課す場合が 授業内容 授業の進め方 銅と文明 貴金属の利用と性質 重金属の利用と性質 中間試験 水の性質 水と生命 必須栄養素とアミノ酸 生体の恒常性(代謝と解毒) 日常生活の中での有機化学物質 フェロモンと農薬と殺虫剤 大衆薬の性質と効果	ある. :	週ごとの到達目標 授業の進め方につい 1. 鉄の化学的性 2. 鉄の化学的性 3. 貴金属の利便 4. 重金属の利便 5. 身の回りにあ を説明できる。 6. 水の化学的性 7. 水と生命の関 8. タンパク質と 9. 生体内の代謝 10. 身の回りにできる。 11. 農薬と殺虫 12. 薬の性質や 13. これまでに 事象や事柄につい	いて理解する. 質を説明できる. 質を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. 生・特徴・影響を説明できる. ま・特徴・影響を説明できる. る様々な金属の利便性・特徴・影 を説明できる. 深性を説明できる. アミノ酸の性質を理解している. ・解毒の作用を理解している. ちる有機化合物の性質や特徴を説 別成分の性質や構造を理解してい 構造を理解している. 学習した内容をもとに,身の回り	

評価割合										
	試験	課題	相互評価	態度	発表	その他	合計			
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100			
配点	100	0	0	0	0	0	100			

鈴鹿工業高	等専門学校	開講年度 平成31年度(2019年度)	授業科目	環境保全工学
科目基礎情報					
科目番号	0033		科目区分	一般 / 必	修
受業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位:	2
開設学科	総合イノス)	'ベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	授業プリ 公害防止		筋止の技術と法規 大	気編」公害防	止の技術と法規編集委員会編(産業
担当教員	甲斐 穂詞	= = =			
到達目標					
		た環境保全の知識や関連技術について 説明できるようになる.	「理解し,これらを基に	して様々な環	境問題の現状を把握するとともに
ルーブリック			1		1
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの	か目安	未到達レベルの目安
評価項目1		気候変動に関する現在の状況と今後の影響について各データを用いてを説明でき、将来に向けての国際的な対策を説明できる.	各データに基づいてする現在の状況と今征明できる.	気候変動に関 後の影響を説	気候変動に関する現在の状況や今 後の影響を説明できない.
評価項目2		大気汚染に関する現在の状況と今 後の影響について各データを用い てを説明でき,将来に向けての国 際的な対策を説明できる.	各データに基づいて; する現在の状況と今待 明できる.	大気汚染に関 後の影響を説	大気汚染に関する現在の状況や今 後の影響を説明できない.
評価項目3		低環境負荷社会を実現するために 廃棄物処理が抱えている問題を説 明でき、これらを解決する対応や 対策を説明できる.	廃棄物処理問題の現場でいて,データを踏まる。		廃棄物処理問題の現状や悪影響に ついて説明できない.
学科の到達目標	項目との関	係			
概要	地球規模 発生メカ の工学的	で起こっている環境問題の現状や自然 ニズムや対策,産業廃棄物の処理方法 は手法を理解する.	への影響を学び,これ などを物理,化学,生	らの技術的な 物の基礎知識	対策について理解する. 環境問題の を踏まえて理解し, 問題解決のため
授業の進め方・方法	。 に取り組 グループ	の内容は学習・教育到達目標(B)く専門 義とグループ学習を併用した形式で行 むこと。 学習では,与えられた課題をとりまと 画」における各週の「到達目標」は,	ないで、発表を行うポス (めて、発表を行うポス)	ターツアー形	式を取り入れて行う.
注意点	こてはく1(2でく学く有くの理同学・10・あ単単多機レの理同学・1・の単二を機にのでのでのでは、1・のでのでのでのでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは、1・のでは	標の評価方法と基準> で習得する「知識・能力」において示たうえで説明ができるようになることがある 「続の評価方法および評価基準> 成績は、中間試験と期末試験の得点の分)を学業成績評価点とし、学業成績評価点とし、学業成績に験は実施しない 定期試験を無断欠済に得要件> 「評価点が60点以上であること 「必要求される基礎知識の範囲> 「、有機化学、分析化学、物理化学、化・等> 「中にレポートや課題を課す場合がある	こ、これらについて定期 の平均点に0.9を乗じた点 平価点が60点以上であれ ました場合(試験開始時 は学工学および物理学の	試験で確認を 京数(90点分) にば単位認定と までに担任等	行う. 各到達目標に関する重みづけ , および提出を義務付けられた課 (する. への欠席の連絡がない場合) も同様
	I MINITERATIO	1 1 MM C MM 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
	週	授業内容		どの到達目標	
	1週	授業の進め方 地球温暖化(1)			気象状況と温暖化の現状を説明でき
	2週	地球温暖化(2)		温暖化のメナ	
	3週	地球温暖化(3)		IPCCの概要を	
	4週	地球温暖化(4)温暖化抑制についる	_ 4.	これまで学習	でしている。 引してきた内容をもとに,温暖化の抗 な対応を説明できる.
1stQ	5週	 大気汚染と酸性雨(1)			物質と発生メカニズムを説明できる。 物質と発生メカニズムを説明できる
I					

		/ / / /	技業内谷	過ごとの到達日標
		1週	授業の進め方 地球温暖化(1)	1. 地球の過去の気象状況と温暖化の現状を説明できる.
		2週	地球温暖化(2)	2. 温暖化のメカニズムと影響を説明できる.
		3週	地球温暖化(3)	3. IPCCの概要を説明できる.
	1.00	4週	地球温暖化(4)温暖化抑制について	4. これまで学習してきた内容をもとに、温暖化の技術的または政策的な対応を説明できる.
	1stQ	5週	大気汚染と酸性雨(1)	5. 酸性雨の原因物質と発生メカニズムを説明できる
		6週	大気汚染と酸性雨(2)	6. 酸性雨の土壌, 植生, 構造物への影響を説明できる
前期		7週	大気汚染と酸性雨(3)	7. 大気汚染物質の種類と影響を説明できる.
193743		8週	中間試験	
		9週	中間試験の解答と解説 大気汚染と酸性雨 (4)	8. 大気汚染の現状を説明できる.
		10週	大気汚染と酸性雨 (5)	9. 大気汚染の現状をふまえて技術的な対策について説明できる.
	2ndQ	11週	オゾン層破壊とその影響(1)	10. オゾン層の役割とオゾンホールの現状を説明できる.
		12週	オゾン層破壊とその影響(2)	11. オゾン層の破壊に寄与する物質の説明ができる
		13週	オゾン層破壊とその影響(3)	12. オゾン層破壊に寄与する物質の規制に関する説明ができる.

		14週	オゾン層破壊とる	その影響(4)		13. オゾ 明できる.	ン層が破壊されたとる	きの生体への影響を説		
		15週	環境保全工学のふりかえり			14. これ に関する内	14. これまで学習してきた内容をもとに,環境保全に関する内容を説明できる.			
		16週	期末試験							
モデルコフ	アカリキ	ユラムの	学習内容と到	達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達	目標		到	達レベル 授業週		
評価割合										
	試験		課題	相互評価	態度	発表	その他	合計		
総合評価割合	90		10	0	0	0	0	100		
配点	90		10	0	0	0	0	100		

鈴鹿	工業高等		開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科			
科目基礎					,				
科目番号		0034			科目区分	一 舟	投 / 必修	<u> </u>	
授業形態		授業			単位の種別と単位	数学值	多単位:	2	
開設学科		総合イノス)	ベーション工学専巧	女(環境・資源コー	対象学年	専1	L		
開設期		前期			週時間数	2			
教科書/教	材			田中健次(日科技	連出版社)参考書	: 「情報シ	ノステム	化時代の信頼性	生工学テキスト」栗原
担当教員		民秋実							
到達目標	 _								
	_	基礎理論を理	 解I, 種々の条件(の下で信頼性特性値		生 信頼性	: 設計に元	大田することが	 バできる
ルーブリ		全処注論で注	开口,住代仍不行	クトで旧級は内は個	270000000000000000000000000000000000000		וייייין מאמ.	1011 9 DCC13	CC V.
<i>70 2</i> 2	<u> </u>		理想的な到達レ		標準的な到達レベ	川の日安		未到達レベル	日安
評価項目1	1		信頼性工学に関	する基礎理論を応	信頼性工学に関す		論を理	信頼性工学に	関する基礎理論を理
評価項目2				<u>さる.</u> 特性値を求めるこ	解している. 基本的な信頼性特	性値を求め	めるこ	解していない 信頼性特性値	ヽ <u>.</u> ゙ 「を求めることができ
			とができる. 信頼性設計に応	 用することができ	とができる	マレが マ	± 7	ない. 信頼性設計に	
評価項目3		ED L 68	る.		信頼性設計に使う		ਣਿਹ.		
		項目との関	1糸						
教育方法	太寺	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	学は 製品の信頼性	生を高めスためのは	術を整理して休玄ル	<u></u>	であス	この講美では	- 信頼性工学の其礎
概要									t, 信頼性工学の基礎
授業の進む	め方・方法	・ ・授業は	講義・演習形式で行	習・教育到達目標(E テう. 講義中は集中 週の「到達目標」は	して聴講する.				
									近する. 題し, 目標の達成度を
注意点		1 7 7 7 7 7							
		. 従って る. 自己学 が必要と <備考>E	, 本教科は応用数等 習>授業で保証する なる. 自己学習を前提とし	賛知識の範囲>信頼性 学Ⅲの学習が基礎と ・学習時間のほか,予 ・て授業を進め,自ご	なる教科であり、紹 予習・復習(中間試	な道具とし 計数理の 験, 定期詞	ンて信頼 基礎的事 式験のた	事項について理 めの学習も含む	取り扱うものである 2解している必要があ む)に要する学習時間 で,関数電卓を用意し
授業計画	画	. 従って る. 自己学 が必要と <備考>E	, 本教科は応用数等 習>授業で保証する なる.	賛知識の範囲>信頼性 学Ⅲの学習が基礎と ・学習時間のほか,予 ・て授業を進め,自ご	生工学は確率論を主 なる教科であり, 新 予習・復習(中間試	な道具とし 計数理の 験, 定期詞	ンて信頼 基礎的事 式験のた	事項について理 めの学習も含む	2解している必要があむ) に要する学習時間
		. 従って る. el 己学! が必要と く備考」 , 日頃の	, 本教科は応用数等 習>授業で保証する なる. 自己学習を前提とし	賛知識の範囲>信頼性 学Ⅲの学習が基礎と ・学習時間のほか,予 ・て授業を進め,自ご	注工学は確率論を主なる教科であり、新予習・復習(中間試 記学習の成果を評価	な道具とし 計数理の 験, 定期詞	ノて信頼 基礎的引 式験のた こ課題提	事項について理 めの学習も含む	2解している必要があむ) に要する学習時間
		. 従って る.自己学さ が偏り (日頃の	, 本教科は応用数等 習>授業で保証する なる. 自己学習を前提とし 自己学習に励むこと	性知識の範囲>信頼性 学Ⅲの学習が基礎と 学習時間のほか,予 、て授業を進め,自己	ま工学は確率論を主なる教科であり、新 おる教科であり、新 予習・復習(中間試 己学習の成果を評価	な道具とし 計数理の 験, 定期記 するために 週ごとの到	ノて信頼 基礎的事 式験のたこ課題提	事項について理 めの学習も含む	解している必要があむ)に要する学習時間で,関数電卓を用意し
	ച	. 従って る.自己学さい。 が、偏日頃の 週 1週	, 本教科は応用数等 署>授業で保証する なる。 自己学習を前提とし 自己学習に励むこと 授業内容	・ 付別職の範囲>信頼性・ 一 で	ま工学は確率論を主なる教科であり、紹子習・復習(中間試品学習の成果を評価。	な道具とし 計数理の 験,定期記 するために 周ごとの到 1.信頼性	って信頼 基礎的事 式験のた こ課題提 リ達目標 ミエ学の	事項について理めの学習も含む 出を求めるの つけます はまま でいて ままま かいしょう かいしょう はいしょう はい	解している必要があむ)に要する学習時間で,関数電卓を用意し
		. 従って る、自必要を が、備日頃 の 週 1週 2週	, 本教科は応用数等 3>授業で保証する なる。 自己学習を前提とし 自己学習に励むこと 授業内容 信頼性工学の基礎 品質保証, 製造物質	・ 付別職の範囲>信頼性・ 一 で	ま工学は確率論を主なる教科であり、紹子習・復習(中間試品学習の成果を評価)	な道具とし 計数理の 験,定期記 するために <u>周ごとの到</u> 1.信頼性 2.品質保	って信頼 基礎的 式験のた に課題 連直目標 を を を に に に に に に に り に り に り に り に り に	国項について理めの学習も含む。 出を求めるのでは、 田語について記 造物責任についての物理的意味を	部のできる
		. 従って る。自己要と が備り の 週 1週 2週 3週	, 本教科は応用数等 図>授業で保証する なる。 自己学習を前提とし 自己学習に励むこと 授業内容 信頼性工学の基礎 品質保証, 製造物 信頼性特性値:(お	授知識の範囲>信頼性 学Ⅲの学習が基礎と 学習時間のほか、予 ・て授業を進め、自己 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ま工学は確率論を主なる教科であり、紹子習・復習(中間試品学習の成果を評価が、	な道具とし、 類理の。 最ごとの類性 1.信頼性 2.品質解性 2.品質解性 3.信頼質す 4.保全に	ノを使ります。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	国項について理めの学習も含さは出を求めるので 田語について記 造物責任につい の物理的意味を ができる。 信頼性特性値	部にいる必要があれている必要があれている必要があれて、関数電卓を用意して、関数電卓を用意した。
	到 1stQ	. 従って る。自己要と が備り の 週 1週 2週 3週	, 本教科は応用数等 図>授業で保証する なる。 自己学習を前提とし 自己学習に励むこと 授業内容 信頼性工学の基礎 品質保証, 製造物 信頼性特性値:(お	 対職の範囲>信頼性学Ⅲの学習が基礎と 学習時間のほか、当て授業を進め、自己 (歴史、用語)責任と信頼性 故障率、MTTF、 R、PM、アベイラ 	ま工学は確率論を主なる教科であり、紹子習・復習(中間試品学習の成果を評価の成果を評価がませる。	な計数 東	して信仰。 基礎のた 武験のた 提里学製 に下る関値と この値を になっている。 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、 にはいるでは、	関項について理めの学習も含さ出を求めるの 田語について記造物責任についの物理的意味をができる。 信頼性特性値計算することが	部にいる必要があれている必要があれている必要があれて、関数電卓を用意して、関数電卓を用意した。
		. 従 . 1 る 付 . 1 の 付 . 1 で . 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	, 本教科は応用数等 図>授業で保証する なる。 自己学習を前提とし 自己学習に励むこと 授業内容 信頼性工学の基礎 品質保証, 製造物質 信頼性特性値: (お 保全性: (MTT	 ・学習問題の範囲>信頼性を関係を進め、自己を受ける。 ・学習時間のほか、会社を進め、自己を受ける。 ・(歴史、用語)責任と信頼性を関係を表し、MTTF、R、PM、アベイラ管頼度 	注工学は確率論を主なる教科であり、紹子習・復習(中間試品学習の成果を評価は、 の成果を評価は、 がある教科であり、紹子習・復習(中間試品学習の成果を評価は、 は、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が	な計数 定期 は で	には、	関項について理めの学習も含さ出を求めるの 田語について記造物責任についの物理的意味をができる。 信頼性特性値計算することが	部している必要があれます。 に要する学習時間で、関数電卓を用意しめ、 関数電卓を用意しめ、 で説明できる。 こ説明でき、それらのの物理的意味を説明できる。 こいて計算できる.
		. る < が ら	, 本教科は応用数等 図>授業で保証する なる。 自己学習を前提とし 自己学習に励むこと 授業内容 信頼性工学の基礎 品質保証, 製造物質 信頼性特性値:(保全性:(MTT 直列系, 冗長系の信頼所 一般的な系の信頼所	 ・学習問題の範囲>信頼性を関係を進め、自己を受ける。 ・学習時間のほか、会社を進め、自己を受ける。 ・(歴史、用語)責任と信頼性を関係を表し、MTTF、R、PM、アベイラ管頼度 	生工学は確率論を主なる教科であり、新習・復習(中間試 子習・復習(中間試 己学習の成果を評価 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	な計 動 は 動 は か は い に は の の が の の の を は の の の の の の の の の の の の の	には、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	関東について理めの学習も含さいで表出を求めるのでは、 田語について記さいます。 田語について記さいます。 は物理きる・ 信頼性特性値は 計算することとなる。 信頼度について記述を表の信頼度について記述を表の信頼度について記述を表する。	部している必要があれます。 に要する学習時間で、関数電卓を用意しめ、 関数電卓を用意しめ、 で説明できる。 こ説明でき、それらのの物理的意味を説明できる。 こいて計算できる.
		. る < が く が 、	, 本教科は応用数等 図>授業で保証する なる。 自己学習を前提とし 自己学習に励むこと 授業内容 信頼性工学の基礎 品質保証, 製造物質 信頼性特性値:(保全性:(MTT 直列系, 冗長系の信頼所 一般的な系の信頼所	対職の範囲>信頼性 学習時間のほか、予 で授業を進め、自己 ・で授業を進め、自己 ・で授業を進め、自己 ・ででである。 ・ででである。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででででででででできる。 ・ででででででででででできる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	注工学は確率論を主なる教科であり、紹子習・復習(中間試品学習の成果を評価はリティ)	な計 験 す <u>周 1 </u>	には、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	国項について理めの学習も含さいで表示を求めるのでは、 田語について記さいできる。 一個では、 一個ででは、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。	出解している必要があれている必要があれている必要があれて、関数電卓を用意した。
授業計画		. る v が v , 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	, 本教科は応用数等 図>授業で保証する なる。 自己学習を前提とし 自己学習に励むこと 授業内容 信頼性工学の基礎 品質保証,製造物 信頼性特性値:(保全性:(MTT 直列系,冗長系の 一般的な系の信頼 ワイブル分布と統 前期中間試験	対職の範囲>信頼性 学習時間のほか、予 で授業を進め、自己 ・で授業を進め、自己 ・で授業を進め、自己 ・ででである。 ・ででである。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででででででででできる。 ・ででででででででででできる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ま工学は確率論を主なる教科であり、紹子習・復習(中間試品学習の成果を評価はリティ)	な計 験 す <u>周 1 </u>	Jをでは、	国項について理めの学習も含さいで表示を求めるのでは、またででは、このででは、このででは、このでで、は、このででは、このでで、は、このででは、このでで、は、このでは、こので	2解している必要があれます。 に要する学習時間で、関数電卓を用意して説明できるいて説明できる。 で説明できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。
授業計画		. る v が v , 週 1週 2週 3週 4週 5週 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	, 本教科は応用数等 図>授業で保証する はる。 ヨ己学習を前提とし 自己学習に励むこと 授業内容 信頼性工学の基礎 品質保証,製造物 信頼性特性値:(保全性:(MTT 直列系,冗長系の何一般的な系の信頼 ワイブル分布と統領 前期中間試験 指数分布と信頼性	対職の範囲>信頼性 学習時間のほか、予 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 (歴史、用語) 責任と信頼性 故障率、MTTF、 R、PM、アベイラ 信頼度 変 計的手法(物理的背	ま工学は確率論を主なる教科であり、新習・復習(中間試 記学習の成果を評価 があり、新聞であり、新聞であり、新聞・復習(中間試 に学習の成果を評価 が、またいでは、「はいます」という。 は、理論)	な計 験 す <u>周 1 2 3 i 4 5 5 6 7 3 こが 8 . </u>	Jを受ける。 ・基本は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	国項について理めの学習も含さいで表示を求めるのでは、またででは、このででは、このででは、このでで、は、このででは、このでで、は、このででは、このでで、は、このでは、こので	説解している必要があれている必要があれている必要があれてできる。
授業計画		. る v が v , 週 1週 2週 3週 4週 5週 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	, 本教科は応用数等 図>授業で保証する はる。 ヨ己学習を前提とし 自己学習に励むこと 授業内容 信頼性工学の基礎 品質保証,製造物 信頼性特性値:(保全性:(MTT 直列系,冗長系の何一般的な系の信頼 ワイブル分布と統領 前期中間試験 指数分布と信頼性	対職の範囲>信頼性 学習時間のほか、予 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 でである。 では、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、とっる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	注工学は確率論を主なる教科であり、新習・復習(中間試 記学習の成果を評価 MTBF) ビリティ) 景、理論)	な計 験 す <u>周 1 2 3 直 4 5 5 6 7 3 こが 8 9 1 2 3 直 4 5 5 6 7 3 こが 8 9 1 0 2 まき 指 属 二 との 前 は 一 到世 保 性 す (6) 系 的 フで に . 分 度 項 質 類 す か の 東 質 類 す (6) 系 的 フで に . 分 度 項 の</u>	J 基 式験 記 達工 証特る 買の 、 な ブラ 学 布 の 点 で の の ま の ま か で で か ら で で か ら で し り し り し り し り か し り り し り し り し り し り	国項について理めの学習も含さいで表示の学習も含さいで表示を求めるのでは、	説解している必要があれている必要があれている必要があれてできる。
授業計画	1stQ	. る y が G が G が G が G が G が G が G が G が G が	, 本教科は応用数等 図>授業で保証する はる。。 ヨ己学習を前提としる 受業内容 信頼性工学の基礎 品質保証,製造物 信頼性特性値:(保全性:(MTT 直列系,冗長系の 一般的な系の信頼 ワイブル分布と統 前期中間試験 指数分布と信頼性 信頼度の推定方法	対職の範囲>信頼性 学習時間のほか、予 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 でである。 では、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、とっる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	注工学は確率論を主なる教科であり、約 予習・復習(中間試 已学習の成果を評価 があり、約 が関・復習(中間試 に対するのは果を評価 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 が対する。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 ががする。 がががががががががががががががががががががががががががががががががががが	な計 験 す <u>周123直4き56732が89011</u> 真理 東 め の頼性保性すどのでに、分度の頼性保性すどの系的にでに、分度がある。 101年	J基 試験 記述 「達」には特るでは、ないで学生のである。 「他ののでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、」では、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」」は、「ないでは、」は、「ないでは、」」は、「ないでは、」」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、これでは、これでは、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	順項について理めの学習も含さいです。 出を求めるのの 出を求めるのの 用語について記 造物では、信頼性のできる。 信頼をは、信頼をはいて、 信頼を観でしていて、 に、信頼をして、ででです。 に、できるでは、できるでは、 に、できるでは、できるできないで、 に、できるできるできる。 に、このでは、このでは、 に、このでは、このでは、 に、このでは、このでは、 に、このでは、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、このでは、 に、 に、 に、 に、こので、 に、こので、 に、こので、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	部している必要があれている必要があれている必要があれて、関数電卓を用意して、関数電卓を用意して、関数電卓を用意して、関数明できる。で説明できる。では、できる。では算できる。では、諸量を求めることは値を計算できる。を計算できる。
授業計画		.るマがマ, 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 11週	, 本教科は応用数等 習>授業で保証する はる。 自己学習に励むこと 授業内容 信頼性工学の基礎 信頼性工学の基礎 信頼性特性値:(保全性:(MTT 直列系, 冗長系の何一般的な系の信頼 ワイブル分布と統認 前期中間試験 指数分布と信頼性等 信頼度の推定方法 二項分布, ポアソニ	対職の範囲>信頼性 学習時間のほか、予 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 でである。 では、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、とっる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	注工学は確率論を主なる教科であり、約 子習・復習(中間試 已学習の成果を評価 があり、約 所習・復習(中間試 に対するのは果を評価 が、対する。 が、対する。 が、対する。 は、、理論) は、、理論) は、、理論)	な計 験 す	J 基 式 は 記 注 ままる この くれびご 学 かんの たいない とう は に こう こう こう こう は で は 標 の 製 値とっる 長 の 布 ・ し り 場 推 ポ に で は で で かん ・	国項について理めの学習も含む。 出を求めるのではでは、 出を求めるのではでは、 田語に責任のいて記さいでは、 には、 はのがで、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	2解している必要があれている必要があれている必要があれて、関数電卓を用意した。 関数電卓を用意した。
授業計画	1stQ	.るマがマーフ 過 週 1週 3週 4週 3週 4週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	, 本教科は応用数等 は	対職の範囲>信頼性 学習時間のほか、予 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 でである。 では、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、のでは、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、とっる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、できる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ま工学は確率論を主なる教科であり、新子習・復習(中間試品学習の成果を評価品学習の成果を評価はリティ)は、「別では、「関係」をできます。「関係」は、「関係」をできます。「関係」を対しています。「関係」を対しています。「関係」を対しています。「関係」を対しています。「対しています。」は、「関係」を対しています。「対しています。」は、「関係」を対しています。「対しています。」は、「関係」を対しています。「対しています。」は、「関係」を対しています。「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「対しています。」は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は	な計 験 す <u>週1.3直4き</u> , こが8.9 10.算 世保性 保性するに、カフェでは、1.2 13.6 11.2 13.6 11.3 12.3 13.6 14.5 13.6 14.5 13.6 14.5 13.6 14.5 13.6 14.5 13.6 14.5 14.5 14.5 14.5 14.5 14.5 14.5 14.5	J. 基 、	国項について理 めの学習も含さ 出を求めるのでは、 田語物でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	2解している必要があれている必要があれている必要があれてでする学習時間で、関数電卓を用意しいできるいて説明できる。これらのの物理的意味を説明できる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これでは、これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これでは、これできる。これできる。これでは、これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる
授業計画	1stQ	- Sa v が v , 週 1週 2週 3週 4週 3週 3週 3週 3週 3月	, 本教科は応用数等 は	対職の範囲>信頼性 対職の学習が基礎と 学習時間のほか、予 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 ででである。 では、できる。 には、できる。 には、できる。 では、できる。 には、できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	ま工学は確率論を主なる教科であり、粉習・復習(中間試品学習の成果を評価と学習の成果を評価を対象をできません。 また はい	な計 験 す <u>週1.3直4き</u> , こが8.9 10.算 世保性 保性するに、カフェでは、1.2 13.6 11.2 13.6 11.3 12.3 13.6 14.5 13.6 14.5 13.6 14.5 13.6 14.5 13.6 14.5 13.6 14.5 14.5 14.5 14.5 14.5 14.5 14.5 14.5	J. 基 、	国項について理 めの学習も含さ 出を求めるのでは、 田語物でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	2解している必要があれている必要があれている必要があれてでする学習時間で、関数電卓を用意した。 対象である で説明できる で説明できる。 できる。 できる。 では算できる。 では算できる。 でに頼性特性値を求め し、諸量を求めることを性値を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 をおりない はんしゃく はんし
授業計画	1stQ	 こるマがマークランドの 週週 1週週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 	, 本教科は応用数等	知識の範囲>信頼性 アイン (歴史、用語) 情任とに (物理の) (物理の) (を進め、自己 (世球を進め、自己 (世球を) (地域の)	ま工学は確率論を主なる教科であり、粉習・復習(中間試品学習の成果を評価と学習の成果を評価を対象をできません。 また はい	な計 験 す	J. 基 、	国項について理 めの学習も含さ 出を求めるのでは、 田語物でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	2解している必要があれている必要があれている必要があれてでする学習時間で、関数電卓を用意しいできるいて説明できる。これらのの物理的意味を説明できる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これでは、これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これでは、これできる。これできる。これでは、これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる
授業計画 前期	1stQ	- Sa v が v , 週 1 週 2 週 3 週 4 週 週 3 週 週 1 1 週 週 週 週 1 1 3 週 週 1 1 4 週 1 1 5 週 月 1 1 2 月 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	, 本教科は応用数等 2 大会 2 大	対職の範囲>信頼性 学習のほか、 では では できません できません できません できません できません できません できます できます できます できます かい できます かい できます できます かい できます できます できます できます できます できます できます いっぱい かい できます できます できます できます いっぱい かい できます できます できます いっぱい かい できます いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	注工学は確率論を主なる教科であり、紹子習・復習(中間試理学習の成果を評価であり、紹子習の成果を評価を対象をできます。 () () () () () () () () () (な計 験 す	J. 基 、	国項について理 のの学習も含った。 出を求めるのでは、 田語物理をは、 について記した。 に可任任意・、では、 に対するをででででは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでいる。 にでは、 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでい。 にでいる。 にでいる。 にでい。 にでい。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでい。	2解している必要があれている必要があれている必要があれて、関数電卓を用意して、関数電卓を用意して、関数電卓を用意して、関数できる。で説明できる。で説明できる。では、計算できる。では、諸量を求めることは値を計算できる。を計算できる。を計算できる。を計算できる。を計算できる。を計算できる。という。というないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、
授業計画	1stQ 2ndQ	 こるマがマークランドの 週週 1週週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 	, 本教科は応用数等	知識の範囲>信頼性 アイン (歴史、用語) 情任とに (物理の) (物理の) (を進め、自己 (世球を進め、自己 (世球を) (地域の)	注工学は確率論を主なる教科であり、紹子習・復習(中間試理学習の成果を評価であり、紹子習の成果を評価を対象をできます。 () () () () () () () () () (な計 験 す	J. 基 、	国項について理 のの学習も含った。 出を求めるのでは、 田語物理をは、 について記した。 に可任任意・、では、 に対するをででででは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでいる。 にでは、 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでい。 にでいる。 にでいる。 にでい。 にでい。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでい。	2解している必要があれている必要があれている必要があれてでする学習時間で、関数電卓を用意しいできるいて説明できる。これらのの物理的意味を説明できる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これでは、これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これでは、これできる。これできる。これでは、これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる。これできる
授業計画 前期	1stQ 2ndQ	- Sa v が v , 週 1 週 2 週 3 週 4 週 週 3 週 週 1 1 週 週 週 週 1 1 3 週 週 1 1 4 週 1 1 5 週 月 1 1 2 月 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	, 本教科は応用数等 2 大会 2 大	対職の範囲>信頼性 学習のほか、 では では できません できません できません できません できません できません できます できます できます できます かい できます かい できます できます かい できます できます できます できます できます できます できます いっぱい かい できます できます できます できます いっぱい かい できます できます できます いっぱい かい できます いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	注工学は確率論を主なる教科であり、紹子習・復習(中間試理学習の成果を評価であり、紹子習の成果を評価を対象をできません。 また はい	な計 験 す	J. 基 、	国項について理 のの学習も含った。 出を求めるのでは、 田語物理をは、 について記した。 に可任任意・、では、 に対するをででででは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでは、 にでいる。 にでは、 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでい。 にでいる。 にでいる。 にでい。 にでい。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでい。	2解している必要があれている必要があれている必要があれてできる。これでいるのの物理ののできる。これではいてはいているのできる。これではいていてはいできる。これにはいてはいていていてはいできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるではいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるでは、これにはいるでは、これにはいるでは、これにはいるでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これには、これにはいは、これにはいるのでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに
授業計画	1stQ 2ndQ	A A A A A A A A A A	, 本教科は応用数等で保証する。	対職の範囲>信頼性 学習時間のほか、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 できない。 では、 できない。 できない。 では、	注工学は確率論を主なる教科であり、新子習・復習(中間試 記学習の成果を評価 MTBF) ビリティ) 景、理論) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	な計 験 す <u>週123直4き5673こが8990第</u> 世保性のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	J. 基 、	国項にでする。 出を求めるのでは、	解している必要があれている。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 記説明できる。 記説明できる。 では説明できる。 では説明できる。 では対すできる。 では特性値を求める。 では神性をできる。 は値を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を対か行える。 と対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、 をがしな、
授業計画	1stQ 2ndQ	A A A A A A A A A A	, 本教科は応用数等 で保証する 3 2 7 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	知識の範囲>信頼性 学習時間のほか、子 学習時間のほか、子 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 で授業を進め、自己 でででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででする。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででる。 でである。 でである。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でですででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でででする。 ででする。 でですな。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででな。 ででなな。 ででする。 で	注工学は確率論を主なる教科であり、新子習・復習(中間試 記学習の成果を評価 MTBF) ビリティ) 景,理論) :,理論)	な計 験 す <u>喝 1 2 3 a 4 き 5 6 7 3 2 ご 8 9 1 0 2 3 2 が 8 9 1 0 2 3 2 が 8 9 1 0 2 3 2 が 8 9 1 0 2 3 2 が 8 9 1 0 2 3 2 が で に</u>	J. 基 、	国項について言いて書きるのでは、 田造のがに対するのがに対する。 田造のがに対するでで頼する東西でで東すのでで東すで東京でで東京でで東京でで東京でで東京でで東京でで東京でで東京でで東京で	2解している必要があれている必要があれている必要があれてできる。これでいるのの物理ののできる。これではいてはいているのできる。これではいていてはいできる。これにはいてはいていていてはいできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるできる。これにはいるでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これには、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これには、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいは、これにはいは、これには、これには、これには、これには、これには、これにはいは、これには、これには、これには、これには、これには

	 等専門学校	開講年度 平成31年度 (2	2019年度)	受業科目	 情報通信工学特論
科目基礎情報			·	•	
科目番号	0005		科目区分	専門 / コ-	
受業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位:	
開設学科		ノベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専1	
	前期		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 工学シリ Compa	: 「基礎 電磁波工学」(電気・電子 J-ズ14 電波工学」安達,佐藤(森 tibility", 2nd ed., Christos Christopou tibility", 2nd ed., Clayton R. Paul (W	ılos(CRC Press).	x,村野(数球 ciples and To "Introduction"	理工学社)参考書:「基礎電気電子 echniques of Electromagnetic on to Electromagnetic
担当教員	森 育子				
到達目標					
伝送線路に関する基	基礎的事項を理	里解して伝送路の回路計算を行うことが	できる.		
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの)目安	未到達レベルの目安
評価項目1		伝送線路に関する応用問題を解く ことができる.	伝送線路に関する基本 ことができる.		伝送線路に関する基本問題を解く ことができない.
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標	10日との間		•		-
教育方法等	· /\	S PI			
既要	解すると 英文資料	情報通信技術を理解するためには高周波 F)定数として扱う必要がある。この授業 とともに、無線通信に不可欠であるアン 4を取り入れて講義することにより、同	テナの基本を理解するこ 分野の英語文献を読み,	ことを目的とで 書き,理解で	する. また, 情報通信工学に関する する能力を養う.
受業の進め方・方法	* 9 へ 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1	D内容は, 学習・教育到達目標 (B) < 十画」における各週の「到達目標」は, ,	ಈ 」ノ,のよびJABEEst この授業で習得する「矢	E/⊊⊥(∠)(ロ)(∠ □識・能力」(と)すいに対心する に相当するものとする.
主意点	標く規でく本数く 的く くを備定,あ教を自授な学中単達考の日られのしずで2を開発な学中単独ができます。何には、10世で2010年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19	単位制に基づき,自己学習を前提として 頁から自己学習に励むこと・適宜英語文i かじめ要求される基礎知識の範囲> D学習には,電気回路論と電気磁気学(いた正弦波交流回路の基礎的な解析法は いた正弦波交流回路の基礎的な解析法は	・ 授業を進め,自己学習の 献を用いる. 共に電気電子工学科,電 既知として扱う. 間試験,定期試験のため 内容である.	D成果を評価で 電子情報工学和	するためにレポート提出を求めるの料)などの教科が基礎となる. 複素
授業計画	l _{vm}	I STALLE I AND	\		
	週	授業内容		との到達目標	
	1週	情報通信工学序説	1. 情		の発展の歴史や応用例などについて知
	2週	集中定数回路によるインピーダンス整			こよる整合回路の設計法を理解してい
1.0	3週	分布定数線路の基礎方程式		布定数回路の	の特性インピーダンスについて理解し
1stQ	4週	分布定数線路の基礎方程式(つづき)	4. 5	布定数線路の	の回路計算ができる.
	5週	無損失線路の基礎方程式と各定数	第4週	旦と同じ	
	6週	反射係数と定在波比	第4週	週と同じ	
	7週	第6週までの内容に関する問題演習	第7週	までの内容を	を理解している.
前期 ———	8週	中間試験	第7週	見と同じ	
ראַלענד	9週	中間試験解説および復習演習	第7週	週と同じ	
	10週	分布定数回路によるインピーダンス整	5. 5 いる		こよるインピーダンス整合を理解して
	11週	スミスチャートの原理	6. フ して	スミスチャー 回路計算や整	トの原理を理解しており,これを利用 合回路の設計を行うことができる.
2ndQ	12週	スミスチャートの原理(つづき)	第11	週と同じ	
	13週	基礎電磁方程式	7.	マクスウェル	の電磁方程式について理解している
			teter a se	油に用い	
	14週	基礎電磁方程式(つづき)		<u>週と同じ</u> 週まずの中容	マナ.T四点カレ ブル・フ
	15週	第14週までの内容に関する問題演習		週ま ごの内容	『を理解している.
l	I T O Nei	İ			
エニッフマキャ		7年翌年2年日第			
	キュラムの	D学習内容と到達目標			지수 1 사기 4 전부기의
分類		D学習内容と到達目標 学習内容 学習内容の到達目様	西示		到達レベル 授業週
分類 評価割合	キュラムの		態度発		到達レベル 授業週 その他 合計

総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
配点	100	0	0	0	0	0	100

担当教員 到達目標	オ 制御と制御	ス) 前期 教科書: <i>J</i>							
授業形態 開設学科 開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 シーケンス制	制御と制御	授業 総合イノベス) 前期 教科書:ノ),「シー							
開設学科 開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 シーケンス制	制御と制御	総合イノベ ス) 前期 教科書: ノ),「シー		科目区分	専門 / コ-	-ス選択			
開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 シーケンス# ルーブリッ	制御と制御	ス) 前期 教科書: ノ),「シー		単位の種別と単位	位数 学修単位:	2			
教科書/教材 担当教員 到達目標 シーケンス# ルーブリ <u>ッ</u>	制御と制御	教科書: ノ),「シー	総合イノベーション工学専攻(環境・資源コース)						
担当教員 到達目標 シーケンス ルーブリ <u>ッ</u>	制御と制御) , 「シー							
到達目標 シーケンス# ルーブリ <u>・</u>	制御と制御					週時間数 2 考書:「シーケンス制御のしくみ 上、下」 青木正夫著(技術評論社 産業図書)			
到達目標 シーケンス# ルーブリ <u>・</u>	制御と制御		ノン人前脚技術」が好学品 他名(6	王未凶百)					
シーケンス制ルーブリッ	制御と制御								
ルーブリッ				/\\ \\ \ TM/27.1 \	/ > ¬ □□0 ===				
	ック	装置の概要を	:把握しており, その基礎となる論理	代数を埋解し,シ	ーケン人回路の読	か書きかできる.			
评価項目1			1						
平価項目1			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
			シーケンス制御と制御装置の概要を説明でき、その知識を応用できる.	シーケンス制御 を説明できる.	と制御装置の概要	シーケンス制御と制御装置の概要 を説明できない.			
評価項目2			論理代数の応用問題を解くことが できる.	論理代数の基本に できる.	問題を解くことが	論理代数の基本問題を解くことができない。			
評価項目3			シーケンス回路を設計することができる.		の読み書きができ	シーケンス回路の読み書きができない.			
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――			•						
		.口 しいが	<u>,s</u>						
教育方法等	र्ज 🔻		^#-\ZED-=\	TT-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	+k=				
既要		この科目は	企業で通信用の電子・光デバイスを配 回路の概念等について講義形式で授	研究開発していた 業を行うものであ	教員か,その経験を る	を沽かし,シーケンス制御の基礎と			
		・すべての	ス回路の概念等について講義形式で授業を行うものである. の内容は, 学習・教育目標(B) <専門> およびJABEE基準 1 (1)(d)(2) a)に対応する.						
受業の進めが	方・方法	一・授業は講	がいられ、チョ・3月日保(レ)・マーンのよりがありに変革す(エ)、ロハマアのかがある。 精義終光、で行う、講義中は集中して聴講する。 計画」における各週の「達成目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする。						
			画」における各週の「達成目標」は の評価方法と基準>習得の度合を中 は概ね均等とする. 試験問題とレポ						
		<俪考>規	め要求される基礎知識の範囲>自動 シ授業で保証する学習時間と、予習 的な学習時間の総計が、90時間に 定の単位制に基づき、自己学習を前 、日頃から自己学習に励むこと.	・復習(中間試験 相当する学習内容 提として授業を進	、定期試験のためである。 である。 め、自己学習の成身	の学習も含む) 及びレポート作成に 果を評価するためにレポート提出を			
授業計画									
		週 授	受業内容		週ごとの到達目標				
		1週 ミ	·ーケンス制御とは:自動制御、フィ	ードバック制御	1. 制御の概念を 方法などを理解し	つかみ, その目的, 制御内容, 制御 ている			
		2週 シ	·ーケンス制御装置の種類:リレー,	I C	2. 制御装置の種 解している.	類を分類でき原理,構造,種類を理			
		3週 有	 頭接点リレーによる制御装置		上記 2				
1	1		我会リレーによる制御装置		上記 2				
			Cによる制御装置		上記 2				
			プログラマブルコントローラ		上記 2				
1	I		・ロックペンルコントローフーーー ・ーケンス制御入出力機器			 D種類と動作を理解している			
	}		間試験		(==,) //(==0)	梩類と動作を埋解している			
		7週 シ			これまでに学習し				
		7週 シ 8週 中	理代数と論理回路について:論理回 基本定理	路,2値論理		種類と動作を埋解している た内容を説明できる. 礎及び基本定理を理解している.			
前期		7週 シ 8週 中 9週 デ			4. 論理代数の基	た内容を説明できる.			
 前期		7週 シ 8週 中 9週 デ 10週 シ	基本定理 ハーケンス図の表し方の原則:制御記器具番号、端子番号、線番号 ハーケンス図の書き方:図記号の位置	号,文字記号	4. 論理代数の基	た内容を説明できる. 礎及び基本定理を理解している.			
		7週 8週 中 9週 10週 11週 毫 12週	基本定理 ハーケンス図の表し方の原則:制御記器具番号、端子番号、線番号 ハーケンス図の書き方:図記号の位置	号,文字記号 ,器具番号の位	4. 論理代数の基 5. シーケンス回	た内容を説明できる. 礎及び基本定理を理解している.			
— 前期 2		7週 ミ 8週 中 9週 デ 10週 ミ 11週 電 12週 各所	基本定理ケンス図の表し方の原則:制御記器具番号,端子番号,線番号ケンス図の書き方:図記号の位置ケンス図の書き方:図記号の位置	号,文字記号 ,器具番号の位	4. 論理代数の基 5. シーケンス回 上記 5 上記 5	た内容を説明できる. 礎及び基本定理を理解している.			
		7週 S 8週 中 9週 計 10週 S 11週 N 12週 A 13週 S	基本定理 アーケンス図の表し方の原則:制御記器具番号,端子番号,線番号 アーケンス図の書き方:図記号の位置 計画路の読み方:反転,直列,並列回路	号,文字記号 ,器具番号の位 ,自己保持,時	4. 論理代数の基5. シーケンス回上記 5上記 56. シーケンス回	た内容を説明できる. 礎及び基本定理を理解している. 路の表現方法を理解している. 四路の設計方法の概要を把握している。			
	2ndQ	7週 5 8週 中 9週 計 10週 > 11週 置 12週 各所 13週 > 14週 モ	基本定理 アーケンス図の表し方の原則:制御記器具番号,端子番号,線番号 アーケンス図の書き方:図記号の位置 連種回路の読み方:反転,直列,並列 図回路 アーケンス回路の設計	号,文字記号 ,器具番号の位 ,自己保持,時	4. 論理代数の基 5. シーケンス回 上記 5 上記 5 6. シーケンス回 7. 各種モータの	た内容を説明できる. 礎及び基本定理を理解している. 路の表現方法を理解している. 四路の設計方法の概要を把握している。			
	2ndQ	7週 5 8週 中 9週 計 10週 > 11週 置 12週 各所 13週 > 14週 モ	基本定理 アーケンス図の表し方の原則:制御記器具番号,端子番号,線番号 アーケンス図の書き方:図記号の位置 種回路の読み方:反転,直列,並列間の路 アーケンス回路の設計 ニータの制御回路:正転,逆転,減電	号,文字記号 ,器具番号の位 ,自己保持,時	4. 論理代数の基 5. シーケンス回 上記 5 上記 5 6. シーケンス回 7. 各種モータの 要性について理解	た内容を説明できる. 礎及び基本定理を理解している. 路の表現方法を理解している.			
2	2ndQ	7週 S 8週 中 9週 請 10週 S 11週 12週 13週 S 14週 T 15週 1 16週 1	基本定理 アーケンス図の表し方の原則:制御記器具番号,端子番号,線番号 アーケンス図の書き方:図記号の位置 種回路の読み方:反転,直列,並列間の路 アーケンス回路の設計 ニータの制御回路:正転,逆転,減電	号,文字記号 ,器具番号の位 ,自己保持,時	4. 論理代数の基 5. シーケンス回 上記 5 上記 5 6. シーケンス回 7. 各種モータの 要性について理解	た内容を説明できる. 礎及び基本定理を理解している. 路の表現方法を理解している. 四路の設計方法の概要を把握している。			
2 Eデルコフ	2ndQ	7週 S 8週 中 9週 請 10週 S 11週 12週 13週 S 14週 T 15週 1 16週 1	基本定理 アーケンス図の表し方の原則:制御記器具番号,端子番号,線番号 アーケンス図の書き方:図記号の位置 種回路の読み方:反転,直列,並列収回路 アーケンス回路の設計 ニータの制御回路:正転,逆転,減電 アンタロック回路	号,文字記号 ,器具番号の位 ,自己保持,時 に圧始動方法	4. 論理代数の基 5. シーケンス回 上記 5 上記 5 6. シーケンス回 7. 各種モータの 要性について理解	た内容を説明できる. 礎及び基本定理を理解している. 路の表現方法を理解している. 四路の設計方法の概要を把握している。			
2	2ndQ	7週 ミ 8週 中 9週 デ 10週 デ 11週 電 12週 を 13週 ミ 14週 モ 15週 イ 16週 イ	基本定理 アーケンス図の表し方の原則:制御記器具番号,端子番号,線番号 アーケンス図の書き方:図記号の位置 連種回路の読み方:反転,直列,並列 に回路 アーケンス回路の設計 ニータの制御回路:正転,逆転,減電 アンタロック回路	号,文字記号 ,器具番号の位 ,自己保持,時 に圧始動方法	4. 論理代数の基 5. シーケンス回 上記 5 上記 5 6. シーケンス回 7. 各種モータの 要性について理解	た内容を説明できる. 礎及び基本定理を理解している. 路の表現方法を理解している. 四路の設計方法の概要を把握している。 制御回路, インターロック回路の必している.			

総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
配点	100	0	0	0	0	0	100

鈴鹿工業高等専門学校		開講年度 平成31年度 (2019年度)		授業科目		応用電子回路論				
	礎情報									
4目番号	<u> </u>	0013	0013			専	専門 / 選択			
受業形態	Ŕ	授業	授業			数学	学修単位: 2			
制設学科	総合イノベーション工学専攻(環境・資源コース)			対象学年	専	専1				
見設期_	没期 後期			週時間数	2					
教科書/教材 教科書:応用電子回路論 近藤一之編著 参考書 Daryanani著(John Wiley & Sons)				: Principles of Ac	tive Net	work S	ynthesis and Design, Gobind			
□当教員	-	近藤一点	<u> </u>							
引達目										
	Sを学ぶため 適用できる		的事項を理解し、ス	†ペアンプを用いて ──	回路を設計するため	かに必要な	\$専門知	識を理解し,オペアンプの応用回路		
レーブ	リック									
					1	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
平価項目	1			ために必要な基礎 ,応用問題を解く	的事項を理解し,	的事項を理解し、基本的な問題を 的事項を理解し		電子回路を学ぶために必要な基础 的事項を理解し,基本的な問題を 解くことができない.		
評価項目2			るために必要な	いて回路を設計す 専門知識を理解し 応用回路の設計に	るために必要な専	るために必要な専門知識を理解し る。 オペアンプの基本回路の設計に , :		オペアンプを用いて回路を設計るために必要な専門知識を理解 , オペアンプの基本回路の設計(適用できない.		
		項目との関]係							
教育方	法等									
既要		学科の「 学習した のオペア する.	電子回路」の授業では,トランジスタの動作やその等価回路を用いて増幅回路の動作を解析することを中心に .この応用電子回路論では,まず基本事項の復習を行う.続いてオペアンプの基本動作を理解し,さらに各種 ンプ応用回路,特に,能動フィルタの特性について理解を深める.また,回路網の解析と合成についても学習							
受業の進	≝め方・方法	すべて・授業は	の内容は,学習・教育到達目標(B) <専門>およびJABEE基準1.2(d)(2)a)に対応する. 講義形式で行う,講義中は集中して聴講する. 計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする.							
主意点			·卜等)理解を深める 授業で補償する学習 ·が90時間に相当す ·評価するためにレオ	560点以上を取得 禁知識の範囲〉木数	松は学科で履修した	:電子回路 える. 別試験のた とした規定 とした規定	格の学習 こめの学 この単位 こと.本	が基礎となる教科である。 習も含む)に必要な標準的な学習時制に基づき授業を進める、自己学習 教科は後に学習するセンサエ学の基		
受業計	· ɪ春ī	一 促となる	教科である.							
又未引		週	授業内容			週ごとの	別幸日極	5		
			メネア3日 オームの法則, キルヒホッフの法則(理論と演習)			1. オー.	ムの法則	川, キルヒホッフの法則を説明でき、		
		2週	テブナンの定理と重	シャ と (本羽)	諸量を求めることができる. 2. テブナンの定理と重ね合わせの理を説明で量を求めることができる.					
		3週	定電圧源と定電流源(理論と演習)		:	3. 定電圧源と定電流源を説明でき、諸量を求めるとができる。				
		4週	交流回路の基礎(理		4. 交流回路の基礎を説明でき、諸量を求めるこ					
3rdQ 後期	3rdQ	5週	オペアンプの基礎	反転増幅回路	できる. 5. オペアンプの基礎について説明できる.					
		6週	オペアンプの基礎	・非反転増幅回路、ボルテージフォロワ) オペアンプの基礎 続き(バッファ,加算回路,減算回 8、積分回路,微分回路)		5. オペアンプの基礎について説明できる.				
		7週	オペアンプのフィノ		 6. オペアンプのフィルタへの応用について説明 る.					
		8週	, オペアンプを用いた1次ローパスフィ 中間試験		ā	これまで学習した内容を説明し、諸量を求める できる。				
		9週	 オペアンプのフィルタへの応用 続き(1) ィルタ,2次フィルタ(Sallen-Key回路)		(1次ハイパスフ (Cela. 6. オペアンプのフィルタへの応用について訪 る.				
		10週	オペアンプのフィルタへの応用 続き () , 正帰還を使ったフィルタの構成法)		(双2次伝達関数	6. オペアンプのフィルタへの応用について る.		Dフィルタへの応用について説明で		
		11週	オペアンプのフィリ の解析, 三つのオク	レタへの応用 続き	(C		アンプの	『のフィルタへの応用について説明で		
	4thQ	12週) 節点方程式の立て方	ちと解き方(PLC Pag		7. 節点方程式の立て方と解き方を説明できる.				
HuiQ		13週	トランジスタとオ/ た解法(RLC Circui	点方程式を使っ	8. トランジスタとオペアンプの回路の節点方程 使った解法を明できる。					
		14週	オペアンプ回路の簡	 3略化した解析(Sin	nplified	(マッパ				
	1 L./E	Analysis of Operational Amplifier Circuits)				フャナで学習した中央も説明できる				

15週

16週

第12週から14週の内容の例題と演習

これまで学習した内容を説明できる.

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標										
分類 分野 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週										
評価割合										
	試験	Ī	課題	相互評価	態度	発表	その他	É	計	
総合評価割合	総合評価割合 100 0 0 0 0 0 100									
配点 100 0 0 0 0 0 100										

	工業高等	 専門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業	養科目	 マイクロプロ	 IセスT学
科目基礎		131 33 1/2	1/13413 1 /2	111111111111111111111111111111111111111		, ,,,,		, , , , _ , _	<u> </u>
<u>17 山坐り</u> 科目番号	CIH+K	0014			科目区分	1	事門 / つー	 -ス選択必修	
授業形態		授業			単位の種別と単位		<u> </u>		
開設学科			/ベーション工学専	攻(環境・資源コー	対象学年		<u>于10年位。</u> 專1	2	
開設期		前期			週時間数		2		
的政规 数科書/教	1++		 義. 教科書は使用	1 +81)	阿山田致	I.			
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(1/2)	柴垣 寛治		UAU					
日当教員		米坦 見流							
到達目標									
用いた応用	用技術につい	が広い分野で いて説明がて	で応用されている技 できる.	術であることを認識	し,各要素技術の	特徴を理	解した上 ⁻	で,デバイスの掣 	製造およびそれらを
レーブリ	<u> </u>								
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レイ	ジルの目	安	未到達レベルの	の目安
評価項目1			半導体製造プロ 要素技術を理解を詳細に説明で	lセスにおける各種 し,それらの概要 きる	半導体製造プロセ 要素技術を概ねす 概要を説明できる	里解し,	ける各種 それらの	半導体製造プロ 要素技術を理解 概要を説明で表	コセスにおける各種 解できず, それらの きない
平価項目2	2		プロセスにおい を用いた技術を	て重要なプラズマ 詳細に説明できる	プロセスにおいて を用いた技術を記	て重要な 说明でき	プラズマ る		ハて重要なプラズマ を説明できない
平価項目3	3		プロセスの現状 切に把握して, 発的に調査でき	と今後の課題を適 関係する資料を自 る	プロセスの現状を ね把握して,関係 できる	と今後の 系する資	課題を概 料を調査	プロセスの現れ 握できず,関係 きない	犬と今後の課題を把 系する資料を調査で
学科の至	到達目標項	目との関	係						
教育方法			-						
既要	<u> </u>	でいくマは、現在	'イクロプロセス・ <u>'</u>	デバイスの高性能化 ナノプロセス技術の コセス技術を紹介し て講義する.	開発が基礎としてる	あり、今	後もさらた	よる発展が見込ま	まれる.この授業で
受業の進め	め方・方法	一・授業は	は講義形式で行う.	・教育到達目標(B) 種の「到達目標」は					<u>-</u> する.
受業計画	<u> </u>	くあらか 関する基	↑じめ要求される基係 【礎知識があれば望	とがある. で60点以上を取得 逆知識の範囲>これ ましいが,必須では 時間と自己学習時間	までの数字, 物埋(ない.			哉が必要となる.	半導体デバイスに
<u> </u>	<u> </u>	週	授業内容			1国プレク)到達目標		
				ナノプロセフにつ					
		1週		・ナノプロセスにつ	U C			の重要性を説明	
		2週	半導体デバイスの					スの製造工程を	
		3週	結晶成長技術・平	坦化技術					ついて説明できる
		4週	成膜技術						ついて説明できる
	1stQ	5週	リソグラフィ技術			3. プロ]セスに必	要な要素技術に	ついて説明できる
		6週	微細加工のための	新技術		3. プロセスに必要な要素技術について説明できる			
		7週	真空技術			3. プロ	1セスに必	要な要素技術に	ついて説明できる
		8週	中間試験			これまで ができる		た内容を理解し	て,問題を解くこと
前期		9週	プラズマの定義			し,説明	できる		セスの重要性を理解
		10週	プラズマの生成と			し,説明	できる		セスの重要性を理解
		11週	プロセスの診断技					断する技術につ	
	2 10	12週	プロセスの診断技	術(2)質量分析				断する技術につ	
	2ndQ	13週	新材料の導入			な技術と	_今後の展	望について説明	
		14週	プロセス技術の展	開		6. デバイスの高性能化に向けた課題を認識し,必要な技術と今後の展望について説明できる.			
	15週 まとめと演習			これまで ができる		に内谷を埋解し	て,問題を解くこと		
	<u> </u>	16週 	 						
	<u>」 // カリキ</u>)学習内容と到達						
類		分野	学習内容	学習内容の到達目	票			到達	レベル 授業週
平価割合	<u> </u>								
	試測		課題	相互評価	態度	発表		その他	合計
8合評価語			0	0	0	0		0	100
<u>。 </u> 法	10		0	0	0	0		0	100
ᇄ	110	U	Į U	IO	10	10		10	1100

	鹿工業高等	事門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科	目 エネルギー	- 移送論
科目基 科目番号	·礎情報	0015			科目区分			:
4日留5 受業形態		授業			単位の種別と単位		/ コース選択必修 単位: 2	:
開設学科		総合イ	ノベーション工学専攻	(環境・資源コー	対象学年	専1		
開設期	<u> </u>	ス) 後期			週時間数	2		
数科書/	数末才		: 「図解 エネルギー〕 参考書は国内, 国外を問	 [学」平田哲夫・			森北出版),参考	
担当教員		関する 藤松 孝		引わす,数多く出	版され,図書館に	も数多く配備	されている.	
^{23 教员} 到達目		豚仏子	ra					
热力学よ			基礎理論, 各種エネル=	ギー利用に関する	専門知識などのエ	ネルギー工学	全般を学ぶことに	より, エネルギー移送
レーブ	リック						1	
			理想的な到達レベ		標準的な到達レイ		未到達レハ	ジルの目安
评価項目	平価項目1		熱力学の第一法則 解し、それらに関 題を解くことがで	する応用的な問 きる.	熱力学の第一法則解し、それらに問題を解くことがで	関する基本的だ できる.	は問解できない	
评価項目	12		内燃・外燃機関, , 蒸気タービンに クルや熱効率の応 くことができる.	おける各種サイ	内燃・外燃機関, , 蒸気タービンド クルや熱効率の基 くことができる.	こおける各種・	ン 内燃・外燃 サイ , 蒸気ター を解 クルや熱交 くことがて	株機関,ガスタービン - ピンにおける各種サー 対率の基本的な問題を施 できない.
平価項目	3		流体力学の各種理 れらに関する応用 ことができる.		流体力学の各種理れらに関する基準 ことができる.	里論を理解した 体的な問題を	, そ 解く 流体力学の い.)各種理論を理解できた
平価項目			熱・風力・水力・ ギーから電気エネ 技術を理解し、そ 用的な問題を解く	ルギーへの変換れらに関する応	熱・風力・水力・ボーから電気エス 技術を理解し、そ 本的な問題を解ぐ	ネルギーへの それらに関す	変換 ボ・風刀・ る基 ギーから電	水力・光・化学エネル 電気エネルギーへの変振 できない.
学科の	到達目標項	項目との関	 具 係		,, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
教育方	法等							
既要		ルギーの 形態を触 する.	ドー問題は今や世界の最か安定確保は地球の環境 対象のでは、新しいは では、新しいは では、またのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	竟保全対策と相ま □ネルギー形態, 	って、極めて重要なエネルギー形態間の	な課題である の変換原理お	. 長期的展望に立 よびそれらの応用	55, 種々のエネルギ- 9を総括的に把握・理角
授業の進	差め方・方法	授業内容 ・授業(・「授業	週の授業内容は(A)<視 容はすべて, (B)<専門 は講義形式で行う. 詳計画」における各週の	>[JABEE基準1 D「到達目標」は	.2(d)(2)a] に相当	当する.		• • •
注意点		工でく前く学く学く授習く学、子勉不あ学期単業あ科自業内備科工情強不あ学期単業の科自業内備科工情強に	保証する学習時間(中間である。		で、目標の達成をる。前期中間およる。前期中間およるを受けること。 、水力学、流体工学、予習・復習に必要がある。 、熱工学、水力等に発展させて、おりまして発展させて、それがあるので、それがあるので、それがあるので、それがあるので、それがあるので、それがあるので、それがあるので、それがあるので、それがあるので、	確認できるレ び前期末試験 学などの科はの科は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	ベルの試験を課すにおいて、再試験 において、再試験 修得が望ましい。 学習時間の総計か などで扱われたました。 成工学専攻にまた 以外の分野にまた	す. 能は行わない. ず, 90時間に相当する 可と関連させながら では, 機械, 電気, 電 がるエネルギー形態の
受業計	画	T.=	T			"		
		週 1週	授業内容 エネルギーの種類と	 その変換		週ごとの到道 エネルギーσ		こついて理解している.
		2週	オイルキーの種類と		休の出能亦ん)	 熱力学σ 	第一法則,第二法	とりいて理解している. 法則を理解し, それら(
						関する計算か	べできる.	
		3週	熱力学の理論(第2法 内燃機関(各種サイク		⊔ <i>∟</i> − <i>)</i>	上記1 2.内燃・外	燃機関の各種サー	 イクルを理解し, それ [,]
	3rdQ	5週	ガスタービン(各種・		ζ)	に関する計算 3. ガスター 関する計算か	- ビンの各種サイク	フルを理解し、それら
 後期		6週	蒸気タービン(蒸気の率)	の状態変化,各種	サイクルと熱効		びボイラの各種*	ナイクルを理解し,それ
		7週	外燃機関(スターリ)	ングエンジン)		上記 2	-	
		8週	後期中間試験			上記1~4	□ 1. \= <u>-</u>	E 11 12 15 / ·
	4.1	9週	火力発電および原子だ	力発電		,原子力,地	ノギーから電気エス !熱,海洋温度差, !関する計算ができ	ネルギーへの変換(火 熱電発電)技術を理 きる.
	4thQ	10週	地熱発電および海洋流	日帝羊卒命		上記 5		

6. 流体力学の各種理論を理解し、それらに関する計算ができる.

10週

11週

流体力学の理論

地熱発電および海洋温度差発電

		12週	風力を	発電(理論,種	重類,変換効率)		7. 風力・水力工 換(風力, 水力, ※ 関する計算ができる	 ネルギーか 皮力発電) る	ら電気工 技術を理	ネルギー 解し, そ	への変 れらに
		13週	水力	発電(理論,種	種類,変換効率)		上記7				
		14週	そのf 池, 熱	他電気エネルキ 熱電発電)	ニーへの変換(太陽	光発電,燃料電	8. 光, 化学エネル (太陽光発電, 燃料 する計算ができる.	レギーから 料電池)技	電気エネがを理解	ルギーへ! !し,それ	の変換らに関
		15週	前期筆	範囲のまとめ・	解説		上記5~8				
		16週									
モデルコ	アカリ	キュラムの	学習	内容と到達	目標						
分類		分野		学習内容	学習内容の到達目標				到達レヘ	ジル 授業	週
評価割合											
	=	式験	課	題	相互評価	態度	発表	その他		合計	
総合評価割	合 1	100	0		0	0	0	0		100	
配点	1	100	0		0	0	0	0		100	

給鹿	工業高等		開講年度 平成31年度 (2	 2019年度)	授業科目	
科目基礎			. 1/30PI3 1/2 1/2/US ± 1/2 (1		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
科目番号		0016		科目区分	専門 / 選抜	7
授業形態		授業		単位の種別と単位		
開設学科		総合イン ス)	/ベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専1	
開設期		前期		週時間数	2	
教科書/教	材	分子軌道	配布プリント,参考書:「化学情報」 データベース利用」笹本光雄著(地人書 道法」廣田 穣著(裳華房)	千原秀昭・時実象館), 「オンライ	一著(東京化学同 <i>)</i> ン・データベース	人),「ケミカルアブストラクトの使 杉山勝行著(アスキー出版), 「
担当教員		長原 滋				
到達目標	Ē					
(文献情報	6,特許情	や材料の開発 報等)が検索	ě・解析および分子設計の有用な手段と をできる.	なることを体得し	, インターネット 	等を利用して必要とする化学情報
ルーブリ	<u> </u>					
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レ	ベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			有機分子の分子軌道計算による物性(紫外可視吸収スペクトル)および反応性(芳香族求電子置換反応,反応中間体の安定性)が予測でき,材料や反応の開発・解析,分子設計に適用できる.	性(紫外可視吸りよび反応性(芳	軌道計算による物 収スペクトル)お 香族求電子置換反 の安定性)が予測	有機分子の分子軌道計算による物性(紫外可視吸収スペクトル)および反応性(芳香族求電子置換反応,反応中間体の安定性)が予測できない.
評価項目2			専攻科特別研究に必要な化学情報 (文献情報,特許情報)等がイン ターネット等を利用して検索でき ,得られた化学情報が活用できる	(女献情報 性	に必要な化学情報 許情報)等がイン 利用して検索でき	専攻科特別研究に必要な化学情報 (文献情報,特許情報)等がイン ターネット等を利用して検索でき ない.
学科の到]達目標]	項目との隊		•		•
教育方法						
	~ \J	化学情封			 検索について学ぶ	
概要		ログラム	」を用いた分子の反応性や物性の予測・	推定を,情報検索	ではインターネッ	ト等を利用した情報検索を行う.
授業の進め	か方・方法	・すべて ・授業に ・「授業	この内容は,学習・教育到達目標(B) は講義およびコンピュータを用いた演習 詳計画」における各週の「到達目標」は	〈専門〉およびJA 形式で行う. この授業で習得す	。BEE基準1.2(d)(2) る「知識・能力」()a)に対応する. こ相当するものとする
注意点		 < < く と さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ	学情報検索結果の発表(各25点満点, 合 得要件> 学業成績で60点以上を取得 いじめ要求される基礎知識の範囲> コン がある. 分子軌道計算については量子 対が英語で書かれているため, 英語科目 習> 授業で保証する学習時間と, 予 資料作成に必要な標準的な学習時間の総 自己学習を前提とした規定の単位制(すること. ンピュータ検索には 学および分子軌道 における学習が基 望・復習(中間試調 計が, 90時間に相	らいてはコンピュー 法の基礎を理解し [・] 礎となる. 食, 定期試験のため 1当する学習内容で	・タやソフトウェアの基本操作ができている必要がある. 情報検索では多の学習も含む) および課題レポートある.
₩₩₩		上.				
授業計画	<u>1</u>	週	拉米古克		週ごとの到達目標	
		1週	授業内容 分子軌道法と分子軌道計算プログラム 分子軌道計算演習1: 有機化合物の最 量	、 安定構造と物理	1. 有機分子の分子 測し, 分子軌道計	・ 軌道計算を行うことにより物性を予 算が材料の開発・解析および分子設 なることを説明できる.
		2週	分子軌道計算演習2:芳香族置換反応6	の主生成物の予測	予測し,分子軌道	・軌道計算を行うことにより反応性を 計算が反応の開発・解析および分子 となることを説明できる.
		3週	分子軌道計算演習2:芳香族置換反応	の主生成物の予測	上記2.	
	1stQ	4週	分子軌道計算演習3:紫外可視吸収ス		上記1.	
		5週	分子軌道計算演習3:紫外可視吸収ス		上記1.	
		6週	分子軌道計算演習4:ダイオキシン類は 間体の安定性		上記2.	
소. 바미		7週	分子軌道計算演習4:ダイオキシン類/ 間体の安定性	以物の酸化分解中	上記2.	
前期		8週	中間試験		これまでに学習し	た内容について説明できる.
	2ndQ	9週	化学情報と情報検索:一次情報,二次,文献情報とファクト情報,特許情報	 控情報,三次情報 提	3. 化学情報および 説明できる:一次 報とファクト情報	情報検索に関する次の事項が簡潔に 情報, 二次情報, 三次情報, 文献情 , 特許情報
		10週	化学情報と情報検索:遡及検索,現状 ピュータ情報検索,オンライン情報検 ,ISSN,CAS登録番号	·索 	3. 化学情報および 説明できる: 遡及 情報検索, オンラ	「情報検索に関する次の事項が簡潔に 検索,現状追従調査,コンピュータ イン情報検索,ISSN,CAS登録番号
		11週	ケミカルアブストラクツ(冊子体)に 習1:化学分野の代表的な二次情報源 ブストラクツ(冊子体)を用いて、「 研究内容に関する一般事項および化学 情報や特許情報などの情報検索を行う	であるケミカルア 特別研究I亅の 物質名から文献	7 4. 必要とする化学情報(文献情報、特許情報等)がっ	
		12週	ケミカルアブストラクツ(冊子体)に 習2	よる文献検索演	上記4.	

	13週	ケミカルアブストラ 習3	ラクツ (冊子体)	による文献検索演	上記4.			
	オンライン情報検索演習: ケミカルアブストラクツ 14週 サービス(CAS),科学技術文献情報データベース (JDreamⅢ),特許情報				上記4.			
	15週 情報検索結果の発表				上記4.			
	16週							
モデルコアカ	リキュラムの	学習内容と到達	目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達	目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	課題レポート	相互評価	態度	発表	その他	合計	†
総合評価割合	50	25	0	0	25	0	100)
配点	50 25			0	25	0	100)

		専門学校	開講年度	平成31年度 (2	2017年/文)	授業科目		
科目基础	楚情報				<u>-</u>			
科目番号		0017			科目区分	専門 / コー	・ス選択必修	
授業形態		授業			単位の種別と単位数	学修単位:	2	
開設学科		総合イノス)	ベーション工学専	攻(環境・資源コー	対象学年	専1		
開設期		前期			週時間数	2		
教科書/教	材	参考書:	現代生命科学(東	京大学生命科学教科	書編集委員会)羊土社			
担当教員		山口 雅裕	ì					
到達目標	票							
細胞の構造	造と機能お	よびタンパク	質,核酸,糖質等	の代謝と機能,遺伝	情報の流れとその発現	に関する専門知	口識を修得し, 生命	科学を理解して
ルーブ!	リック							
			理想的な到達し		標準的な到達レベルの	 D目安	未到達レベルの目	
評価項目:	価項目1			機能や発生の仕組 似、工学的応用に る。	遺伝子の構造・機能・ みについて理解して		遺伝子の構造・機みについて理解し	
評価項目2	2			吸伝達の概要を理解 マネルやイオンポン 目できる.	神経による情報伝達のしている.	D概要を理解	神経による情報伝していない.	
評価項目:	3			別多様性について理 こって遺伝的多様性 ☑説明できる.	遺伝情報と生物多様 解している.	生について理	遺伝情報と生物多解していない.	多様性について理
学科の子	到達目標」	頁目との関	 係					
<u> </u>								
	ムゼ	田左 刍	連に進歩している	ライフサイエヽ.フ ^	 中核となる学問である		・学翌する マのむ	1日什 企業,亞
既要		究所で医	薬品の研究や動物	発生の研究に携わっ	中核となる子向とのる ていた教員が生命の分 &びJABEE基準1(1)(d)	子的基盤につい	ヽて講義形式で行う	ものである.
受業の進	め方・方法	授業は講	義・聴講形式で行	う.	この授業で習得する「	. , . ,		<u> </u>
注意点		一合は先の	試験の得占を60占	ね同じである.合計 び評価基準>中間試験 iと見なす	おける「到達目標」の 点の60%の得点で、巨 食の得点が100点満点中 ること・	標の達成を確認 160点に満たな	忍できるレベルの記い場合は, 再試験	式験を課す. を行い, 合格の場
	南	合は先の <単位取作 <あらかに なる教科 <備考>E	試験の得点を60点 得要件>学業成績で じめ要求される基礎 である.	ね同じである。合計 び評価基準>中間試験 に見なす。 で60点以上を習得する 逆知識の範囲>生物等 した規定の単位制に基	点の60%の得点で、巨 点の60%の得点で、巨 検の得点が100点満点中 ること、 学、化学の知識、本教科 まづき授業を進める、E	標の達成を確認 160点に満たな 4は生物学,生	忍できるレベルの記い場合は,再試験 物化学や分子生物:	ば験を課す. を行い, 合格の場 学の学習が基礎と
	<u>画</u>	合は先の <単位取(<あらか) なる教科 <備考>E 科の全体	試験の得点を60点得要件>学業成績で 得要件>学業成績で じめ要求される基付である。 自己学習を前提とし 像を理解すること	ね同じである。合計 び評価基準>中間試験 に見なす。 で60点以上を習得する 逆知識の範囲>生物等 した規定の単位制に基	点の60%の得点で, 巨 食の得点が100点満点中 ること. 学, 化学の知識. 本教科 基づき授業を進める. E	標の達成を確認 (60点に満たな) は生物学,生	忍できるレベルの記い場合は,再試験 物化学や分子生物:	ば験を課す. を行い, 合格の場 学の学習が基礎と
	画	合は先のはくめる名を表している。	試験の得点を60点 得要件>学業成績で じめ要求される基付である。 自己学習を前提とし 像を理解すること 授業内容	ね同じである。合計 が評価基準>中間試験 に見なす。 で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である。	点の60%の得点で, 巨 食の得点が100点満点中 ること. 学, 化学の知識. 本教科 まづき授業を進める. E	標の達成を確認 信の点に満たな は生物学, 生 間常の勉強に力	忍できるレベルの記い場合は, 再試験 物化学や分子生物: を入れること. す	ば験を課す. を行い, 合格の場 学の学習が基礎と
	画	合は先の く単位の くある教科 ・科の全体 週 1週	試験の得点を60点得要件>学業成績で 得要件>学業成績で じめ要求される基付である。 自己学習を前提とし 像を理解すること	ね同じである。合計 が評価基準>中間試験 に見なす。 で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である。	点の60%の得点で, 巨 象の得点が100点満点中 ること. 学, 化学の知識. 本教科 基づき授業を進める. E 週こ	標の達成を確認 (60点に満たな) は生物学,生間常の勉強に力 (との到達目標) にあや細胞の特	忍できるレベルの記い場合は,再試験 物化学や分子生物:	武験を課す. を行い, 合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教
	画	合は先のは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	試験の得点を60点得要件>学業成績で 以め要求される基礎である。 自己学習を前提とし像を理解すること 授業内容 生命の基礎的な仕	ね同じである。合計 が評価基準>中間試験 に見なす。 で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である。	点の60%の得点で, 巨 食の得点が100点満点中 ること. さ, 化学の知識. 本教科 基づき授業を進める. E 週ご 1. <u>5</u> 2. 系	標の達成を確認 においます により は生物学,生 は生物学,生 は にから は にから は との到達目標 に この いまし との の は に いい は に いい は いい は に いい は いい は いい	忍できるレベルの記い場合は,再試験物化学や分子生物を入れること. する 徴を理解している 造,機能,相互の	武験を課す。 を行い, 合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい
		合は先の くめる くめる くめる を は の り を る る 者 く を る る 考 く は り か る る 考 く あ る 考 き は り り る り る し 。 り る り 。 り る り 。 り 。 り 。 り 。 り 。 り 。 り	試験の得点を60点得要件>学業成績ででめている基準である。 自己学習を前提とし像を理解すること 授業内容 生命の基礎的な仕細胞と遺伝	ね同じである。合計 が評価基準>中間試験 に見なす。 で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である。	点の60%の得点で, 巨 魚の得点が100点満点中 ること. デ, 化学の知識. 本教科 基づき授業を進める. E 週こ 1. <u>4</u> 2. 糸 る	標の達成を確認 (160点に満たない) (160点に満たない) (160点に満たない) (160点に満たない) (160点に対して) (160点に対し	忍できるレベルの記い場合は, 再試験 物化学や分子生物: を入れること. する 徴を理解している 造, 機能, 相互の ゲノム全体の構造	武験を課す。 を行い, 合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい
	画 1stQ	合は先の くは くな は は は いな は の り 数 る 考 全 は り り れ の り れ の り れ り る り る り る し し り り る し る り る り る り る り	試験の得点を60点得要件>学業成績でといる基件を受ける。	ね同じである。合計 が評価基準>中間試験 に見なす。 で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である。	点の60%の得点で, 巨 魚の得点が100点満点中 ること. デ, 化学の知識. 本教科 基づき授業を進める. E 週こ 1. <u>5</u> 3. <u>3</u> 4. <u>3</u>	標の達成を確認を確認を確認をできた。 は生物学、生理学の勉強に力なる。 との到達目標を合か、他胞の特別をしている。 を含めた。 を含めた。 を含めた。 を含めた。	忍できるレベルの記い場合は, 再試験 物化学や分子生物: を入れること. する 徴を理解している 造, 機能, 相互の ゲノム全体の構造	武験を課す. を行い,合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい を理解している
		合は先取が くなる考え 科のの も は位ら教 を は の は の は の は の は の は の は の は の る る る る	試験の得点を60点得要件>学業成績である。 である。自己学習を前提とし像を理解すること 授業内容 生命の基礎的な仕細胞と遺伝	ね同じである。合計 が評価基準>中間試験 に見なす。 で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である。	点の60%の得点で, 巨 魚の得点が100点満点中 ること. 学, 化学の知識. 本教科 基づき授業を進める. E 週2 1. <u>4</u> る。 3. ↓ 4. §	標の達成を確認 (60点に満たない) (160点に満たない) (160点に満たない) (160点に満たない) (160点に満たない) (160点に満たない) (160点に満たの到達目標 (160点にあり) (忍できるレベルの記い場合は, 再試験 物化学や分子生物: を入れること. する 徴を理解している 造, 機能, 相互の ゲノム全体の構造 解している	武験を課す. を行い,合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい を理解している
		合は先取が くない くなる くなが を は位ら が 科 の と は の り る る く は の り る る る る る る 。 る 。 る し 。 り る り る り 。 り る り 。 り る り る り 。 り る り る	試験の得点を60点得要件>学業成績ででめている基件をできる。自己学習を前提とし像を理解すること 授業内容生命の基礎的な仕細胞と遺伝 ゲノムと遺伝子発生	ね同じである. 合計 が評価基準>中間試験 に見なす. で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である.	点の60%の得点で, 巨 魚の得点が100点満点中 ること. デ, 化学の知識. 本教科 基づき授業を進める. E 週こ 1. <u>4</u> 2. 糸 3. 並 4. 勇 5. ネ つて、6. 九	標の達成を確認 にの は は 生物学 、生 は 生物学 、生 は 生物学 、生 は 中 は 中 は 中 に か 知 達 目 標 に 命 や 細胞の 特 値 伝 子 を 含 め た き 生 の 概要 を 理 神 経細胞の 興 種 構 成 さ れ る 脳 が んの 病態 や 原	忍できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物を入れること。する数を理解している。 機能、相互のがしている メカニズムを理解している メカニズムを理解の概要を理解している	武験を課す。 を行い、合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい を理解している
受業計匠		合は先取が くない くない を が科 7 は が 8 4 が 8 4 が 9 4 3 3 4 3 5 3 6 3 7 3 7 3 7 3 7 3 7 3 7 3 7 3 7 3 7	試験の得点を60点得要件>学業成績ででめて、今学業の場合である。自己学習を前提として要解することとを表示の基礎的な仕組胞と遺伝がよりなと遺伝子発生として、一般には、サームと遺伝がした。	ね同じである. 合計 が評価基準>中間試験 に見なす. で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である.	点の60%の得点で、巨 魚の得点が100点満点中 ること・ デ、化学の知識・本教科 基づき授業を進める・E 週ご 1・5 2・8 3・3 5・7 6・カ	標の達成を確認 にの点に満たない は生物学,生 は生物学,生 計の勉強に力 との到達目標 このかる との がた との がた との がた との がた との がた とり にない から とり にない はん の 病態 や 原 とす いい な 異 に 過 に いい な 異 に 過 は な い な 異 に 過 は な い な 異 に 過 は な い な 異 に 過 は な い な 異 に 過 は な い な 異 に 過 は な い な 異 に 過 は な い な 異 に 過 は な が い な 異 に 過 は な い な 異 に 過 は な が い な 異 に 過 は な が い な 異 に 過 は な が い な 異 に 過 は な が な 異 に 過 は な が な 異 に 過 は な が い な 異 に 過 は な が い な 異 に 過 は な が い な 異 に 過 は な が い な 異 に 過 は な が い な 異 に 過 は な が い な 異 に 過 は な な れ な な な れ な な な れ な な な な な な な な	忍できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物を入れること。する。 一般を理解している。 一般を理解している。 一様の構造解している。 「メカニズムを理解している」 「メカニズムを理解している」 「大力の概要を理解している」 「大力を理解している」 「大力を理解している」 「大力を理解している」 「大力を理解している」 「大力を理解している」 「大力を理解している」 「大力を理解している」 「大力を理解している」 「大力を理解している」	武験を課す. を行い, 合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい を理解している し, 神経細胞によ
受業計匠		合は先取で くなる くなる (本) は世の (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	試験の得点を60点得要件 > 学業成績でいめます。 当己学習を前提とし像を理解すること 授業内容 生命の基礎的な仕細胞と遺伝 ゲノムと遺伝子発生 脳の構造と機能がん 栄養と代謝	ね同じである. 合計 が評価基準>中間試験 に見なす. で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である.	点の60%の得点で、巨 魚の得点が100点満点中 ること、 デ、化学の知識、本教科 基づき授業を進める、E 週ご 1. 生 2. 糸 3. ¾ 4. ¾ 5. ネ つて、 6. カ 7. 基	標の達成を確認 にの では との 到達目標 にの かい との 到達目標 にの かい との 到達目標 にの やい との の 地 に との 世 に の と との 他 に と と の 他 に と と の 他 に と と の 他 に と と の 他 に と と の 他 に と と の 他 に と と の 他 に と と の 他 に で ん の 病 態 に ん の 病 態 に ん の な 異 化 過 に れ ま で の 学 習 に れ ま で の 学 習 に れ ま で の 学 習	忍できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物:を入れること.する。 一数を理解している。 造、機能、相互のがしている。 メカニズムを理解している。 メカニズムを理解の概要を理解している。 程を理解している。 程を理解している。 程を理解している。 その、これでは、 をはない。 その、これでは、 をはない。 その、これでは、 をはない。 その、これでは、 その、これでは、 その、これでは、 その、これでは、 その、これでは、 その、これでは、 その、これでは、 その、これでは、 その、これでは、 そのでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	武験を課す. を行い,合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい を理解している し,神経細胞によ いる
受業計匠		合 は に は に に に に に に に に に に に に に	試験の得点を60点得要件/マ学業成績でである。	ね同じである. 合計 が評価基準>中間試験 に見なす. で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である.	点の60%の得点で、巨 魚の得点が100点満点中 ること、 デ、化学の知識、本教科 基づき授業を進める、E 週ご 1. 生 2. 糸 3. ¾ 4. ¾ 5. ネ つて、 6. カ 7. 基	標の達成を確認 (60点に満たない) は生物学,生 は生物学,生 は との到達目標 で の の の の の の の の の の の が の が の が の が の	忍できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物:を入れること. する 数を理解している 造,機能,相互の がノム全体の構造解している アカニズ 単解している フ 世界 している と 理解している 程を理解している 日本を理解している 内容について説明	武験を課す。 を行い、合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解している とは、神経細胞によいる できる。
受業計匠		合 は た 取 い な る は 世 ら か る る 備 の り 利 3 週 3 週 4 週 5 週 6 週 7 週 8 8 9 8 9 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	試験の得点を60点得要体/マ学業成績でである。	ね同じである. 合計 が評価基準>中間試験 に見なす. で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である.	点の60%の得点で、巨 魚の得点が100点満点中 ること、 学、化学の知識、本教科 基づき授業を進める。E 週こ 1. 全 2. 糸 3. 道 4. 多 5. ネ つて 6. ガ 7. 基 8. こ 9. 化	標の達成を確認にある。 標の達成を確認にある。 はは生物学、生 はは生物学、生 はは生物学、生 はなの到達目標 に合わいるの様 を含めた理 に会せの概のののでである。 は本的なでの学 は本的なでの学細 にないまれる。 には、本のないでの学 はないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないでの学 にないないないでの学 にないないないでの学 にないないないでの学 にないないないでの学 にないないないでの学 にないないないないでの学 にないないないないないないない。 にないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	忍できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物:を入れること. する 数を理解している 造,機能,相互の がノム全体の構造解している アカニズ 単解している フ 世界 している と 理解している 程を理解している 日本を理解している 内容について説明	武験を課す. を行い,合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解している と理解している し,神経細胞によいる できる. 理解している
受業計匠		合 は た 取 が 科 過 1 週 2 週 3 週 4 週 5 週 6 週 6 週 7 週 8 週 9 週 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	試験の得点を60点得要件/マ学業成績でである。	ね同じである. 合計 が評価基準>中間試験 に見なす. で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である.	点の60%の得点で、巨 魚の得点が100点満点中 ること、 学、化学の知識、本教科 基づき授業を進める。E 週こ 1. 全 2. 糸 3. 道 4. 多 5. ネ つて 6. ガ 7. 基 8. こ 9. 化	標の達成を確認 (160点に満たない) は生物学,生間常の勉強に力 との到達目の 特別を (14 との到達目の 特別を (14 との) を (15 を) を (15	忍できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物を受けること。する。 一次の場合は、再試験物化学や分子生物を入れること。する。 一次を理解している。 一次の機・の構造解している。 一次の機・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・	武験を課す。 を行い、合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい を理解している し、神経細胞によいる できる。 理解している
受業計匠		合 V k k k k k k k k k k k k k k k k k k	試験の得点を60点得要件へ対象を作りです。 得要件へ対象を対象を可能を関係を理解することを 授業内容を理解することを 授業内容を理解することを 授業内容を理解することを 授業内容を理解することを 授業内容を理解することを 授業内容を生命の基礎的な仕 細胞と遺伝を子発生を 脳の構造と機能がん 栄養と代謝 中間試験 免疫 免疫 生命と環境 生命と環境	ね同じである. 合計 が評価基準>中間試験 に見なす. で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である.	点の60%の得点で、巨 魚の得点が100点満点中 ること・ デ、化学の知識・本教科 基づき授業を進める・E 週こ 1・5 2・3 3・3 4・3 5・7 6・カ 7・1 8・2 9・6 上記 10・1	標の達成を確認 (60点に満たない) は生物学,生間に生物学,生間常の勉強に対して、生間に対して、生間では、生の到達目の特別を含めた理解を対して、生物とのない。 は、本的なのないで、ないのないで、生物とでので、生物と環境のでは、ないで、生物と環境のでは、ないで、生物と環境のでは、ないで、生物と環境のでは、ないで、生物と環境のでは、ないで、生物と環境のでは、ないで、生物と、でいるでは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物とは、ないで、生物をは、ないで、生物とは、ないで、生物をは、ないで、生物をは、ないで、生物をは、ないで、生物をは、ないで、生物をは、ないで、生物をは、ないで、生物をは、ないで、生物をは、ないで、生物をは、生物をは、生物をは、生物をは、生物をは、生物をは、生物をは、生物をは	忍できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物:を入れること。する	成験を課す。 を行い、合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解している を理解している し、、 できる。 理解している
授業計画	1stQ	高は先取が は一年 は は い は は い は い い は い い る る 備 の り 数 考 全 も る る 備 の る る し 過 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り	試験の得点を60点得要件へ対象を作りです。 得要件へ学業成績でいる基準である。 である。 可己学習を前提とした。 授業内容生命の基礎的な仕細胞と遺伝 がした。 がんと遺伝子発生 脳の構造と機能がん 栄養と代謝 中間試験 免疫 免疫 生命と環境	ね同じである. 合計 が評価基準>中間試験 に見なす. で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である.	点の60%の得点で、巨 (東の得点が100点満点中 ること、 デ、化学の知識、本教科 まづき授業を進める、E 週ご 1. <u>5</u> 2. 系 3. 以 4. 多 5. ネ つて 6. ガ 7. ま 8. こ 9. 化 上記 10. 上記 11.	標の達成を確認にいる。 生の との 到達 目の を の との 到達 目 を の 到達 目 胞の と	忍できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物:を入れること。する できる できる できる できる できる できる できる できる できる でき	武験を課す. を行い,合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい を理解している し,かる できる. 理解している
授業計画	1stQ	合 V k k k k k k k k k k k k k k k k k k	試験の得点を60点得要の作とである基本である。	ね同じである. 合計 が評価基準>中間試験 に見なす. で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である.	点の60%の得点で、巨 (東の得点が100点満点中 ること、 学、化学の知識、本教科 まづき授業を進める、E 週こ 1. <u>5</u> 2. 糸 3. 以 4. 引 5. ネ つて 6. ガ 7. 基 8. こ 9. 存 上記 10. 上記 11.	標の達成を確認にいる。 標の連成を確認には生物学、生産の点にに満たなりでは、生物学では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、またののでは、またのでは、生物と、は、生物と、は、生物と、は、生物と、は、生物と、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	型できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物: を入れること. する できる できる できる できる できる アカリ を理解している できる アカリカ できる アカリカ できる アカリカ できる できる できる できる アカリカ できる できる アカリカ できる できる アカリカ できる アカリカ アカリカ アカリカ アカリカ アカリカ アカリカ アカリカ アカリ	武験を課す. を行い, 合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい を理解している し, る できる. 理解している できる. 理解している できる.
受業計画	1stQ	合 は た は た い な に は に に が は に の が れ に が れ に の が れ に の の れ の の の の の の の の の の の の の	試験の得点を60点得要件へ対している。	ね同じである. 合計 が評価基準>中間試験 に見なす. で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である.	点の60%の得点で、巨 (東の得点が100点満点中 ること、 学、化学の知識、本教科 まづき授業を進める、E 週こ 1. <u>5</u> 2. 糸 3. 以 4. 引 5. ネ つて 6. ガ 7. 基 8. こ 9. 存 上記 10. 上記 11.	標の達成を確認にいる。 標の連成を確認には生物学、生産の点にに満たなりでは、生物学では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、またののでは、またのでは、生物と、は、生物と、は、生物と、は、生物と、は、生物と、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	忍できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物:を入れること。する できる できる できる できる できる できる できる できる できる でき	武験を課す。 を行い、合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解している と理解している できる。 理解している できる。 理解している できる。 理解している できる・ できる・ できる・ できる・ できる・ できる・ できる・ なる
受業計画	1stQ 2ndQ	合 は た は た い に は に に に に に に に に に に に に に	試験の得点を60点得要件の場合を10点得要件の表現を10である2回標を10である2回標を12である2回標を12で12を12を12を12を12を12を12を12を12を12を12を12を12を1	福同じである。合計 び評価基準>中間試験 で目なす。 で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である。	点の60%の得点で、巨 (東の得点が100点満点中 ること、 学、化学の知識、本教科 まづき授業を進める、E 週こ 1. <u>5</u> 2. 糸 3. 以 4. 引 5. ネ つて 6. ガ 7. 基 8. こ 9. 存 上記 10. 上記 11.	標の達成を確認にいる。 標の連成を確認には生物学、生産の点にに満たなりでは、生物学では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、またののでは、またのでは、生物と、は、生物と、は、生物と、は、生物と、は、生物と、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	型できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物: を入れること. する できる できる できる できる できる アカリ を理解している できる アカリカ できる アカリカ できる アカリカ できる できる できる できる アカリカ できる できる アカリカ できる できる アカリカ できる アカリカ アカリカ アカリカ アカリカ アカリカ アカリカ アカリカ アカリ	武験を課す。 を行い、合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解している し、る できる。 理解している できる。 理解している かる 解している なきを見している なきない。
受業計 <u>で</u> 前期	1stQ 2ndQ	Control	試験の得点を60点得要の作品を60点得要の作品を60点得要の作品を10点で10点で10点で10点で10点で10点で10点で10点で10点で10点で	福同じである。合計 び評価基準>中間試験 で60点以上を習得す。 で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である。	点の60%の得点で、巨 (京の得点が100点満点中 ること、 学、化学の知識、本教科 まづき授業を進める。E 週こ 1. 全 2. 糸 3. 道 4. 列 5. ネ つて 6. ガ 7. ま 8. こ 9. 存 上記 10. 上記 11. 12. (ここ 13.	標の達成を確認にいる。 標の連成を確認には生物学、生産の点にに満たなりでは、生物学では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、またののでは、またのでは、生物と、は、生物と、は、生物と、は、生物と、は、生物と、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	忍できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物:を入れること・すると、を理解している。 機能、 相互の が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	武験を課す。 を行い、合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい を理解している し、神経細胞によいる できる。 理解している いる なきる。 ないる ないる ないる ないる ないる ないる ないる
受業計 <mark>で</mark> 前期	1stQ 2ndQ	合 は た は た い に は に に に に に に に に に に に に に	試験の得点を60点得要件の場合を10点得要件の表現を10である2回標を10である2回標を12である2回標を12で12を12を12を12を12を12を12を12を12を12を12を12を12を1	福同じである。合計 び評価基準>中間試験 で目なす。 で60点以上を習得す。 逆知識の範囲>生物等 が重要である。	点の60%の得点で、巨 (京の得点が100点満点中 ること、 学、化学の知識、本教科 まづき授業を進める。E 週こ 1. 全 2. 糸 3. 道 4. 列 5. ネ つて 6. ガ 7. ま 8. こ 9. 存 上記 10. 上記 11. 12. (ここ 13.	標の達成を確認にいる。 標の連成を確認には生物学、生産の点にに満たなりでは、生物学では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、生産では、またののでは、またのでは、生物と、は、生物と、は、生物と、は、生物と、は、生物と、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	忍できるレベルの記い場合は、再試験物化学や分子生物:を入れること・すると、を理解している。 機能、 相互の が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	武験を課す。 を行い、合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解している と理解している できる。 理解している できる。 理解している できる。 理解している できる・ できる・ できる・ できる・ できる・ できる・ できる・ なる
受業計 <mark>で</mark> 前期	1stQ 2ndQ	合 は に は に に に に に に に に に に に に に	試験の得点を60点に関係のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年の19年のでは、1000年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19	福同じである。合計が呼価基準>中間試験では見なす。で60点以上を習得すで60点以上を習得すである。 を規定の単位制に基準の単位制に基準知識の範囲>生物等の単位制に基準をある。	点の60%の得点で、巨 (素の得点が100点満点中 ること、 学、化学の知識、本教科 まづき授業を進める、E 週こ 1. 生 2. 糸 3. 減 4. 多 5. ネ 7. 基 8. こ 9. 依 上記 11. 12. (ここ 13.	標の達成を確な 生 間 との 単 との 単 との 単 との 単 との 単 を を 世 に は 生 物 強 は 生 物 強 は 生 物 と 日 常 い と 日 常 い た で は 日 に の い に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	できるし、再試験 物化学や分子生物: でき合は、再試験 物化学や分子生物: を入れること・する 世を理解し、相互の ががった。 できるできるできるできるできるできるできるできる 理解していい、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	武験を課す、を行い、合格の場合ででは、 を理解している を理解している できる。 できる。 できる。 できる。 ないる ないるいる ないるいる ないるいる ないるいる ないるいる ないるいる ないるいる ないるいるいる ないるいる ないるいるいる ないるいるいるいる ないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる
授業計画 デルン 分類 画書	1stQ 2ndQ	Character Ch	試験の 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	福口じである。合計が上海では、一個である。合計ができる。 合計ができる。 一個である。 できる。 できる。 はいまた の単位制に を変わ できる。 が重要である。 は、	点の60%の得点で、巨 (東の得点が100点満点中 ること・ デ、化学の知識・本教科 まづき授業を進める・E 週ご 1・生 2・糸 3・ガ 4・チ 3・ブ 6・ガ 7・基 8・ご 9・休 上記 11・1 12・にご 13・1	標の達成を確な 生 間 との 単 との 単 との 単 との 単 との 単 を を 世 に は 生 物 強 は 生 物 強 は 生 物 と 日 常 い と 日 常 い た で は 日 に の い に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	できるは、再試験 物化学や分子生物: を入れること. する できるは、再試験 物化学や分子生物: を入れること. する できるできる。 機能、 他を理解している を理解していて、 で変異ない。 大力と、 で変異ない。 大力と、 で変異ない。 大力と、 で変異ない。 できるできる。 できる	武験を課す、 を行い、合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解している し、神経細胞によ で理解している できる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
授業計画	1stQ 2ndQ	合 は は は は は は は は は は	試験の得点を60点に関係のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年のでは、1000年の19年の19年のでは、1000年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19	福同じである。合計が呼価基準>中間試験では見なす。で60点以上を習得すで60点以上を習得すである。 を規定の単位制に基準の単位制に基準知識の範囲>生物等の単位制に基準をある。	点の60%の得点で、巨 (素の得点が100点満点中 ること、 学、化学の知識、本教科 まづき授業を進める、E 週こ 1. 生 2. 糸 3. 減 4. 多 5. ネ 7. 基 8. こ 9. 依 上記 11. 12. (ここ 13.	標の達成を確な 生 間 との 単 との 単 との 単 との 単 との 単 を を 世 に は 生 物 強 は 生 物 強 は 生 物 と 日 常 い と 日 常 い た で は 日 に の い に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	できるし、再試験 物化学や分子生物: でき合は、再試験 物化学や分子生物: を入れること・する 世を理解し、相互の ががった。 できるできるできるできるできるできるできるできる 理解していい、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	武験を課す. を行い,合格の場 学の学習が基礎と べての生物化学教 関係を理解してい を理解している し,かる できる. 理解している かる を付示でき,それ 身につけている

 鈴鹿	工業高等	専門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授	業科目	有機化学特論
科目基礎				,	.,		-	
科目番号	ZII JI K	0018			科目区分		専門 / 選	识必修
授業形態		授業			単位の種別と単位	-	学修単位:	
開設学科			/ベーション工学専具	女(環境・資源コー	対象学年		専1	
開設期		前期			週時間数		2	
教科書/教	材	教科書: (廣川書	構造有機化学 齊藤 語)	藤 勝裕著 (三共	出版),参考書:韓	軌道対 税	性の保存	-ウット、ワート、・ホフマン則 伊藤・遠藤著
担当教員		長原 滋						
到達目標	票							
有機分子の	の構造と物情	生の関係およ	び有機化学反応にる	おける反応性や選択	性について,分子	軌道論的	りな観点か	ら理解している.
ルーブリ	Jック							
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レク	ジルの目	安	未到達レベルの目安
評価項目1			有機分子の分子	軌道論的な考察に 発色性,発光性)が予測できる.	有機分子の構造と ,発光性,伝導性 を分子軌道論的な きる.		発色性) の関係	有機分子の構造と物性(発色性 ,発光性, 伝導性, 磁性)の関係 を分子軌道論的な観点から理解し ていない.
評価項目2	2		有機分子の分子合成計画の立案	軌道論的な考察を に適用できる.	有機化学反応にお (芳香族性,結合 状付加反応およて 軌道論的な観点た	S異性, が選択性	閉環・環 :) を分子	有機化学反応における基礎事項 (芳香族性,結合異性,閉環・環 状付加反応および選択性)を分子 軌道論的な観点から理解していな い.
学科の発	引達日標工	頁目との関						
教育方法		<u> </u>	- i-i-					
概要	Д \	有機分子	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		 立案できるように, ら学ぶ.	有機分	子の構造	と物性の関係および有機化学反応に
授業の進む	め方・方法	・授業は	の内容は, 学習・教 は講義形式で行う.	講義中は集中して聴	講する.			')a)に対応する. に相当するものとする.
注意点		れぞれの <単位修 <あらか る必要か)期間毎に評価し, こ 得要件> 学業成績 じめ要求される基礎 である.	これらの平均値を最 で60点以上を取得 楚知識の範囲> 量-	終評価とする. 再記すること. すること. 子化学や分子軌道法	式験は行 ま, およ	うわない. び有機化	題レポートの結果を20%として、そ 学や有機合成化学の基礎を理解してい
注意点		れぞれの <単位の <あ必要か をは に成って に成って に成って に成って に成って と。	期間毎に評価し、 得要件> 学業成績 じめ要求される基礎 がある. 習> 授業で保証す 等な標準的な学習 自己学習を前提と	これらの平均値を最 で60点以上を取得 楚知識の範囲> 量- 「る学習時間と、予覧	終評価とする. 再該すること. すること. 子化学や分子軌道法 望・復習(中間試験 間に相当する学習 に基づき授業を進め	式験は行き、およう、定期であり、課題	行わない. び有機化等 試験のたる ある。 レボートの	学や有機合成化学の基礎を理解してい かの学習も含む)および課題レポート D提出を課すので,自己学習に励むこ
		れぞれの <単位修 <あらか る必要か <自己学)期間毎に評価し, で 得要件> 学業成績 じめ要求される基礎 がある. 翌> 授業で保証す	これらの平均値を最 で60点以上を取得 楚知識の範囲> 量- 「る学習時間と、予覧	終評価とする. 再請すること. 子化学や分子軌道法 習・復習(中間試験 間に相当する学習 に基づき授業を進め	式験は行 ま, お 定 定 で で で 決 ア で 思	でする。 で有機化等 試験のため ある。 レポートの の到達目標	学や有機合成化学の基礎を理解してい かの学習も含む)および課題レポート D提出を課すので,自己学習に励むる
		れぞれの <単位の <あ必要か をは に成って に成って に成って に成って に成って と。	期間毎に評価し、 得要件> 学業成績 じめ要求される基礎 がある. 習> 授業で保証す 等な標準的な学習 自己学習を前提と	ごれらの平均値を最 で60点以上を取得 逆知識の範囲 > 量子 る学習時間と、予覧 寺間の総計が、90時 した規定の単位制(終評価とする。 再請すること、 すること、 子化学や分子軌道法 習・復習(中間試験 間に相当する学習 こ基づき授業を進め	武験は行 よ 、 た 、 た 、 た で さ い り 、 に で ま 題 り 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し り 、 り 、 り 、 り 、 り	が有機化等 試験のため ある。 レポートの の到達目標 の事項にこれ と合物や中	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むる
	重	れて(を) へん(を) へん(を) へん(を) へん(を) へん(を) へん(を) へん(を) できませる。 一切 はい	が期間毎に評価し、	ごれらの平均値を最 で60点以上を取得 逆知識の範囲 > 量子 る学習時間と、予 ・計画の総計が、90時 ・した規定の単位制(は合)(構造論) ・ は合(分子軌道論)	終評価とする。 再請すること、 子化学や分子軌道法 習・復習(中間試験 間に相当する学習 正基づき授業を進め	武 () () () () () () () () () (が有機化等 試験のため ある。 レポートの の到達目標の の当項にする の事項にする の事項にする の事項にする	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるので、自己学習に励むるので、自己学習に励むるのでは、またでは明できる。これで説明できる。
		れて(を) れて(を) れて(を) れて(を) できるが目が成者 とう はいます とう はいます はいます はいます という はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	が期間毎に評価し、	ごれらの平均値を最 で60点以上を取得 逆知識の範囲 > 量子 る学習時間と、予 ・計画の総計が、90時 ・した規定の単位制(は合)(構造論) ・ は合(分子軌道論)	終評価とする。 再請すること、 子化学や分子軌道法 習・復習(中間試験 間に相当する学習 正基づき授業を進め	武 () () () () () () () () () (が有機化等 試験のため ある。 レポートの の到達目標 の合物で中 の事項にでの の事項にでの の事項にでの の事項にで	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるといて説明できる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	国 IstQ	れて(を) へん(を) へん(を) へん(を) へん(を) へん(を) へん(を) へん(を) できませる。 一切 はい	が期間毎に評価し、	これらの平均値を最 で60点以上を取得 使知識の範囲 > 量子 る学習時間と, 予覧 時間の総計が, 90時 けした規定の単位制(結合(構造論) 結合(分子軌道論) 結合(スペクトル)	終評価とする。 再請すること、 子化学や分子軌道法 習・復習(中間試験 間に相当する学習 正基づき授業を進め	武 () 内 () 週 () 1 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 () 月 ()	で有機化等は が有機化等 試験のため ある。 レポートの の到達目標の の当事項に中 の事項にする の事項にする の事項になる の事項になる のアイトル	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるので、自己学習に励むるのででいて説明できる。 では体の構造のいて説明できる。 のビュッケル分子軌道法による取扱いるいて説明できる。
		れてくるへ作べと 週 1週 2週 3週 3週	期間毎に評価し、 福得要件> 学業成績でめます。 学業で保証するる。 習> 授業で保証する。 習> 授業で保証する。 可以では、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一個のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、	これらの平均値を最 で60点以上を取得 使知識の範囲 > 量子 る学習時間と、予算 時間の総計が、90時 にした規定の単位制(結合(横造論) 結合(分子軌道論) 結合(スペクトル) 発色性)	終評価とする。 再請すること、 子化学や分子軌道法 習・復習(中間試験 間に相当する学習 こ基づき授業を進め	武 は行 よ 原 お 定容課 ご 以有 以機 以吸 発 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	で有機化等は 試験のため 対象のよう の到達目標の の事項に の合物などの の事項に のスペクリー 性とクロ	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるので、自己学習に励むるので、自己学習に励むるのでは明できる。のには明できるのでは明できる。これで説明できる。これで説明できる。これで説明できる。これで説明できる。これで記明できる。これで記明できる。これで記明できる。これで記明できる。これで記明できる。これで記明できる。これで記明できる。これで記明できる。これで記明できる。これで記明できる。これで記明できる。これで記明できる。これで記明できる。これではいる。これで記明できる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいる。これではいるではないる。これではいる。これではいる。これではいるではないる。これではいる。これではないる。これではないではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないではないる。これではないる。これではないる。これではないではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではないる。これではなる。これではなる。これではなる
		れてくるのでは、	期間毎に評価し、 得要件 > 学業成績 学業 人	これらの平均値を最 で60点以上を取得 使知識の範囲 > 量子 る学習時間と、予算 時間の総計が、90時 にした規定の単位制(結合(横造論) 結合(分子軌道論) 結合(スペクトル) 発色性)	終評価とする。 再請すること、 子化学や分子軌道法 習・復習(中間試験 間に相当する学習 正基づき授業を進め	武 (大) 内) 週 1. 有 1. (大) 以有 以機 以吸 発 化 で 1. (大) 下収 色 学 1. (大) で 1. (が有機化等 試験のため あるポートの の到達 頂にでいる の事物ではの ののではです。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるといて説明できる。いて説明できる。いて説明できる。いて説明できる。いて説明できる。いとュッケル分子軌道法による取扱いいて説明できる。
		れて イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン	期間毎に評価し、 福 得要件 > 学業成績 学業成績 じめ要求される基礎 ある. 授業で保証す 要な標準的な学習を 自己学習を前提と 授業内容 有機分子の構造と続 有機分子の構造と続 有機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子の物性 (語機分子) を持ちます。	これらの平均値を最 で60点以上を取得 使知識の範囲 > 量子 る学習時間と、予算 時間の総計が、90時 にした規定の単位制(結合(横造論) 結合(分子軌道論) 結合(スペクトル) 発色性)	終評価とする。 再請すること、 子化学や分子軌道法 習・復習(中間試験間に相当する学習 こ基づき授業を進め	武 () () () () () () () () () (でする。 では、 できない。 です 機化等 はいっという はいます できない かいます できない できない できない できない できない できない できない はい かい	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるといて説明できる。 では、これで説明できる。 いて説明できる。 いとユッケル分子軌道法による取扱いるいて説明できる。 ととユッケル方子軌道法による取扱いると電子遷移 ミズムについて説明できる。
		れくくると作くと 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	期間毎に評価し、 得要件> 学業成績 で要件> 学業成績 である。 習> 授業で保証する を要な標準的な学習 自己学習を前提と 有機分子の構造と 有機分子の物性(有機分子の物性(有機分子の物性(方香族性	これらの平均値を最 で60点以上を取得 使知識の範囲 > 量子 る学習時間と、予算 時間の総計が、90時 にした規定の単位制(結合(横造論) 結合(分子軌道論) 結合(スペクトル) 発色性)	終評価とする。 再請すること、 子化学や分子軌道法 習・復習(中間試験間に相当する学習 こ基づき授業を進め	武 (大) 内) 週 1. 1.有 1. 2.3 4.5 においます。 はいかい のうまれ はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	が が 有機化等 試験のため が 対象ポートの の の の の の の の の の の の の の	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるといて説明できる。 では、これで説明できる。 のとユッケル分子軌道法による取扱いのいて説明できる。 いて説明できる。 のとユッケルが子軌道法による取扱いのいて説明できる。 のとこれで説明できる。 の発光について説明できる。 の発光について説明できる。 子軌道論的な観点から説明できる。
授業計画		1 1 2 3 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	期間毎に評価し、	これらの平均値を最 で60点以上を取得 性知識の範囲 > 量子 る学習時間と、予算 時間の総計が、90時 にした規定の単位制(結合(オと) 結合(スペクトル) 発色性) 発光性)	終評価とする。 再請すること、 子化学や分子軌道法 習・復習(中間試験 間に相当する学習 こ基づき授業を進め	武 、 、、、 内、 週 1. 1.有 1. 2.3.4.5.こ6か験 お 定容課 ご以有以機以吸発化芳結れ有らは、 財で題 と下機下化下収色学香合ま機説	が が が が が が が が が が が が が の の の の の の の の の の の の の	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるいて説明できる。 のとユッケル分子軌道法による取扱いついて説明できる。 のとユッケル分子軌道法による取扱いついて説明できる。 を電子遷移 ミズムについて説明できる。 が発光について説明できる。 分発光について説明できる。 が発光について説明できる。 が発光について説明できる。 が発光について説明できる。 の発光について説明できる。 の
授業計画		れて <	期間毎に評価し、 海得要件、 学業成績でめます。 学業で保証する といめる ・ 授業で保証する といる ・ 授業のな 一 授業の を前提と を	これらの平均値を最 で60点以上を取得 を10点以上を取得 を対職の範囲 > 量子 る学習時間と、予算 時間の総計が、90時 にした規定の単位制(結合(オと) は合(スペクトル) 発色性) 発光性)	終評価とする。再請すること、子化学や分子軌道法習・復習(中間試験間に相当する学業を進め	武 5、内) 週 1、1.有 1、2.3.4.5.2.6か7き験 お 定容課 ご以有以機以吸発 化芳結 れ有ら有るは、よ 期で題 と下機下化下収色学 香合 ま機説機.	が が が が が が が が が が が が の の の の の の の の の の の の の	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるいて説明できる。 のとユッケル分子軌道法による取扱いのいて説明できる。 のとユッケル分子軌道法による取扱いのいて説明できる。 を電子遷移 ミズムについて説明できる。 が発光について説明できる。 が発光について説明できる。 が発光について説明できる。 が発光について説明できる。 が発光について説明できる。 が発光について説明できる。 を動道論的な観点から説明できる。 にた内容について説明できる。 を表していて説明できる。
		れくくると作くと 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	期間毎に評価し、	これらの平均値を最 で60点以上を取得 逆知識の範囲 > 量子 ・高学習時間と、予 ・詩間の総計が、90時 ・した規定の単位制(結合(荷造論) ・結合(スペクトル) 発色性) 発光性) 機低導体)	終評価とする。 再請すること・ 子化学や分子軌道法 ・復習(中間試験 ・復習(中間試験 では、	武 () 内 () 週 1 () 1有 1 (2 3 4 5 2 6 6) 7き 8る . 9応験 お 定容課	でででである。 では、	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるいて説明できる。 のとユッケル分子軌道法による取扱いついて説明できる。 のとユッケル分子軌道法による取扱いついて説明できる。 を電子遷移 ミズムについて説明できる。 が発光について説明できる。 分発光について説明できる。 が発光について説明できる。 が発光について説明できる。 が発光について説明できる。 の発光について説明できる。 の
授業計画	1stQ	れくくると作くと 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	期間毎にデー学人権にいる。	これらの平均値を最 で60点以上を取得 で60点以上を取得 控知識の範囲 > 量子 寺間の総計が、90時 計した規定の単位制(結合(((((() () () () () () () (終評価とする。再請すること、子化学や分子軌道法学・復習(中間試験では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	武 5、1007 週 1. 1.有 1. 2.3.4.5.2.6.か 7.き 8.る .9.応明験 お 定容課 ジ以有以機以吸発 化芳 結れ 有ら 有る 閉選 環にでは よ 期で題 と 下機下化下収色学 香合 ま 機能機. 環扒 状おき	でででである。 では、	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるいて説明できる。 のにて説明できる。のヒュッケル分子軌道法による取扱いついて説明できる。と電子遷移 ミズムについて説明できる。 が発光について説明できる。 子軌道論的な観点から説明できる。 た内容について説明できる。 のた、た内容について説明できる。 で気伝導の原理を分子軌道論的な観点から説明できる。 を対したが表別できる。 のないて説明できる。 のないて説明できる。 のないて説明できる。 のないた、および現場反応においた。 のないと光反応)および現場反応において、分子軌道論的な観点から説明できる。
授業計画	1stQ	れくくると作くと 週 1週 週 週 週 週 週 週 週 11週 週 12週 12週 12週 12週	期間毎に「清報 日本	これらの平均値を最 で60点以上を取得 で60点以上を取得 一で50点の範囲 > 量子 ・計画の総計が、90時 計画の総計が、90時 にた規定の単位制に には合(オートル) を合(スペクトル) 発色性) 発色性) 発光性) 機磁性体) 機磁性体)	終評価とする。再請すること、子化学や分子軌道法学、復習(中間試験間に相当する学業を進めままり、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	武 5、大り, 週 1. 1.有 1. 2.3.4.5.2 6.か 7.き 8.る.9.応明 上験 お 定容課 ご 以有以機以吸発化芳結れ有ら有る閉選 環にで記ば 4、期で題 と 下機下化下収色学香合 ま機能機 環沢 状おき 8.	でででである。 では、	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるいて説明できる。 のにて説明できる。のヒュッケル分子軌道法による取扱いついて説明できる。と電子遷移 ミズムについて説明できる。 が発光について説明できる。 子軌道論的な観点から説明できる。 た内容について説明できる。 のた、た内容について説明できる。 で気伝導の原理を分子軌道論的な観点から説明できる。 を対したが表別できる。 のないて説明できる。 のないて説明できる。 のないて説明できる。 のないた、および現場反応においた。 のないと光反応)および現場反応において、分子軌道論的な観点から説明できる。
授業計画	1stQ	れくくると作くと 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	期間毎に「清明 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	これらの平均値を最高で60点以上を取得で60点以上を取得で 1 で 60点の範囲 > 量子 6間の総計が、90時間と、予算 6間の総計が、90時に 6 は 6 は 6 は 6 は 6 は 7 を 1 は 6 は 6 は 7 を 1 は 6 は 7 を 1 は 6 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1 は 7 を 1	終評価とする。再請すること、子化学や分子軌道法学のでと、子化学や分子軌道法学・復習(中間試験間に相当する学業を進める。	武 、 、 、	でででである。 では、	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるいて説明できる。 のにて説明できる。のヒュッケル分子軌道法による取扱いついて説明できる。と電子遷移 ミズムについて説明できる。 が発光について説明できる。 子軌道論的な観点から説明できる。 た内容について説明できる。 のた、た内容について説明できる。 で気伝導の原理を分子軌道論的な観点から説明できる。 を対したが表別できる。 のないて説明できる。 のないて説明できる。 のないて説明できる。 のないた、および現場反応においた。 のないと光反応)および現場反応において、分子軌道論的な観点から説明できる。
授業計画	1stQ	れくくると作くと 週 1週 週 週 週 週 週 週 週 11週 週 12週 12週 12週 12週	期間毎に「清報時間 を	これらの平均値を最 で60点以上を取得 で60点以上を取得 一で50点の範囲 > 量子 ・計画の総計が、90時 計画の総計が、90時 にた規定の単位制に には合(オートル) を合(スペクトル) 発色性) 発色性) 発光性) 機磁性体) 機磁性体)	終評価とする。再請すると、不可能を表現である。のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「	武 5、大り, 週 1. 1.有 1. 2.3.4.5.2 6.か 7.き 8.る.9.応明 上験 お 定容課 ご 以有以機以吸発化芳結れ有ら有る閉選 環にで記ば 4、期で題 と 下機下化下収色学香合 ま機能機 環沢 状おき 8.	でででである。 では、	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるいて説明できる。 のにて説明できる。のヒュッケル分子軌道法による取扱いついて説明できる。と電子遷移 ミズムについて説明できる。 が発光について説明できる。 子軌道論的な観点から説明できる。 た内容について説明できる。 のたは導の原理を分子軌道論的な観点から説明できる。 を対したの容について説明できる。 のため容について説明できる。 のないて説明できる。 のないていて説明できる。 のないていていていていていていていていていていていていていていていていていていて
授業計画	1stQ	れくくると作くと 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	期間毎に下学成績では、	これらの平均値を最高で60点以上を取得で60点以上を取得で 1 で 60点以上を取得	終評価とする。再請すると、不可能を表現である。のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「	武 () 内 の 週 1 1.有 1 2.3.4.5.2 6.か 7.き 8.る . 9.応明 上 上 上験 お 定容課 ご 以有 以機 以吸 発 化 芳 結 れ 有ら 有る 閉選 環にで 記 記 記 に ま 期で題 と 下機 下化 下収 色 学 香 合 ま 機説 機 . 環択 状おき 8.8.9.	でででである。 では、	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるいて説明できる。 のにて説明できる。のヒュッケル分子軌道法による取扱いついて説明できる。と電子遷移 ミズムについて説明できる。 が発光について説明できる。 子軌道論的な観点から説明できる。 た内容について説明できる。 のたは導の原理を分子軌道論的な観点から説明できる。 を対したの容について説明できる。 のため容について説明できる。 のないて説明できる。 のないていて説明できる。 のないていていていていていていていていていていていていていていていていていていて
授業計画	1stQ	れくくると作くと 週 1週 2週 3週	期間毎に「清明 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	これらの以上を取得意で60点で60点で第四 一名学習時間と、 90時間と 9時間と 9時間と 90時にした規定の単位制(終評価とする。再請すると、不可能を表現である。のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「	武 () 内 の 週 1 1.有 1 2.3.4.5.2 6.か 7.き 8.る . 9.応明 上 上 上験 お 定容課 ご 以有 以機 以吸 発 化 芳 結 れ 有ら 有る 閉選 環にで 記 記 記 に ま 期で題 と 下機 下化 下収 色 学 香 合 ま 機説 機 . 環択 状おき 8.8.9.	でででである。 では、	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるいて説明できる。 のにて説明できる。のヒュッケル分子軌道法による取扱いついて説明できる。と電子遷移 ミズムについて説明できる。 が発光について説明できる。 子軌道論的な観点から説明できる。 た内容について説明できる。 のた、た内容について説明できる。 で気伝導の原理を分子軌道論的な観点から説明できる。 を対したが表別できる。 のないて説明できる。 のないて説明できる。 のないて説明できる。 のないた、および現場反応においた。 のないと光反応)および現場反応において、分子軌道論的な観点から説明できる。
授業計画	1stQ	れくくると作くと 週 1週 2週 3週	期間毎に「清報時間 を	これらの以上を取得意で60点で60点で第四 一名学習時間と、 90時間と 9時間と 9時間と 90時にした規定の単位制(終評価とする。 再請すること・ 子化学や分子軌道法 子化学や分子軌道法 習・復習(中間試験 間に相当する学習 工基づき授業を進め	武 () 内 の 週 1 1.有 1 2.3.4.5.2 6.か 7.き 8.る . 9.応明 上 上 上験 お 定容課 ご 以有 以機 以吸 発 化 芳 結 れ 有ら 有る 閉選 環にで 記 記 記 に ま 期で題 と 下機 下化 下収 色 学 香 合 ま 機説 機 . 環択 状おき 8.8.9.	でででである。 では、	学や有機合成化学の基礎を理解していたの学習も含む)および課題レポートの提出を課すので、自己学習に励むるいて説明できる。 のにて説明できる。のヒュッケル分子軌道法による取扱いついて説明できる。と電子遷移 ミズムについて説明できる。 が発光について説明できる。 子軌道論的な観点から説明できる。 た内容について説明できる。 のた、た内容について説明できる。 で気伝導の原理を分子軌道論的な観点から説明できる。 を対したが表別できる。 のないて説明できる。 のないて説明できる。 のないて説明できる。 のないた、および現場反応においた。 のないと光反応)および現場反応において、分子軌道論的な観点から説明できる。

	試験	課題レポート	相互評価	態度	発表	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
配点	80	20	0	0	0	0	100

鈴原	鹿工業高 等	等專門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科目	総合イノベーション工学実験 (1年次)	
科目基	礎情報							
科目番号	-	0028			科目区分	専門 /	必修	
授業形態	Ĭ.	実験・調			単位の種別と単位	ž数 学修単	位: 2	
開設学科	4	総合イノ ス)	ノベーション工学専攻	ζ(環境・資源コー	対象学年	専1		
開設期		通年			週時間数 1			
教科書/勃	教材	教科書	: 実験テーマ毎にテキ	-スト(実験手引き	書)等を配布する.			
担当教員	į	近藤 邦	和,下野 晃,和田 憲幸	,山口 雅裕,箕浦 弘	人,西村 一寛			
できると えて継続 ・伝達・	いて用いら ともに, 専 もい・自律的 討論するこ	門分野以外の に学習し、	の分野の実践的技術の 習得した知識をもとに	D体験を通して必要	な基礎的知識を身に	こ付けた上で,	警察を論理的にまとめて報告することが 習得した知識・能力を超える問題に備 に進め,成果・問題点等を論理的に記述	
<u>ルーノ</u>	`リック		理想的な到達レ		標準的な到達レベ		 未到達レベルの目安	
				グルの日女 グループ内で協調	グループ内で協調		<u></u>	
評価項目]1		して他分野の実際	験に取り組み,他 いて的確な図や文	験に取り組め、他 いて図や文章を用	ので他が好め 記分野の実験に 引いて報告でき	(大) 他分野の実験に取り組むことができず,他分野の実験について図や文章を用いて報告できない.	
学科の	到達目標	項目との関	月 係					
教育方	法等							
概要		の発見で くりに 術者とし カ,課 から第1	とその解決法のテサイ	「ンを体験する、後) Oために解決すべき ン(意欲,情熱,チ *続的・自律的に学 5第15週では、企業	期は機械設計と加」 課題の発見とその角 ヤレンジ精神など) 習できる能力,プレ でものづくりに関れ	L技術に関連し 解決法のデザィ を涵養し,こ レゼンテーショ つってきた3人	的実験技術を体験し身に付ける. 前期別か, その実現のために解決すべき課題して, 緩やかな制約条件の下でのものづかを体験する. この過程を通して, 技れまで学んできた学問・技術の応用的週か技術講師が、ものづくり(理科教材・の技術講師が、ものづくり(理科教材・	
授業の進	並 め方・方法	・内容(・授業 ・「授業	は,学習・教育到達目 十画に記載のテーマに 業計画」における各週	標(B)<専門><展 ついて,個人ある の「達成目標」は	開>, JABEE 基準1 いは,数名で構成し この授業で習得する	l.2(d), (e), _ン た班に分かれ る「知識・能力	(h)に対応する. lて実験や製作を行う. j 」に相当するものとする.	
注意点		実験を7288に1982に1982に1982に1982に1982に1982に1982に1	70%, ④理科教材のほうにより評価する。 うことが確認できるような 過い評価方法および 理科教材の評価方法および 作品を20%として10 多得要件>与えられた。 実験の計画・実施に	開発を30%とする. 発表や報告書に求め うに設定する. 評価基準>前期は, の点満点で成績を3的 実験デーマの、必ず指 当たっては,必ず指	後期は、達成目標るレベルは、100点 実験テーマにおい 9%として成績を評 ではする。前後期の学 情で全て提出した 間導教員に報告し、	9~14の達成原 気法により60点 て各自に課せ でではるでは、 でではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	こより評価する. 評価の重みは①~③の 度を発表(30%),報告書(50%)および作 気以上の得点を取得した場合に目標を達 られた実験操作・作業およびレポートを は、発表の内容を30%,報告書を て学業成績を評価する. 以上を取得すること. うこと. 器具・装置の使用に当たっては と深く関係する教科である.	
授業計	· <u>岡</u>	T _{res}	运光中 空		Ţ,	田ブレのかち	⊐ ##	
		1週	実験についての諸法	主意と安全講習	3	により身に付い 2.他分野の3	3 信 以外の分野の基礎的知識を自主的な学習 けることができる。 実験技術を体験し、その技術や考え方を 3.行った基本的な実験等について ・考察をまとめ、レポートにすることが	
		- >=						
	1stQ	2週	①ガラス細工,白素		3	理解できる. , 目的・結果 できる.	実験技術を体験し、その技術や考え方を 3.行った基本的な実験等について ・考察をまとめ、レポートにすることが	
	1stQ	3週	①ガラス細工,白素	熱電球等の作成	3	2.他分野のヨ 理解できる. , 目的・結果	実験技術を体験し,その技術や考え方を 3.行った基本的な実験等について ・考察をまとめ,レポートにすることが	
	1stQ	3週 4週	①ガラス細工,白素 ①ガラス細工,白素	熱電球等の作成 熱電球等の作成		2. 他分野の 理解できる. , 目的・結果 できる. 上記、1、2、 上記、1、2、	実験技術を体験し,その技術や考え方を3.行った基本的な実験等について・考察をまとめ,レポートにすることが3	
	1stQ	3週	①ガラス細工,白素 ①ガラス細工,白素 ②水の分析 ききれ	熱電球等の作成 熱電球等の作成 kとEDTA標準溶液の		2. 他分野の 理解できる. , 目的・結果 できる. 上記、1、2、	実験技術を体験し,その技術や考え方を3.行った基本的な実験等について・考察をまとめ,レポートにすることが3	
前期	1stQ	3週 4週	①ガラス細工,白素 ①ガラス細工,白素 ②水の分析 ききれ	熱電球等の作成 熱電球等の作成	の調製	2. 他分野の 理解できる. , 目的・結果 できる. 上記、1、2、 上記、1、2、	実験技術を体験し,その技術や考え方を3.行った基本的な実験等について・考察をまとめ,レポートにすることが33	
前期	1stQ	3週 4週 5週	①ガラス細工,白素 ①ガラス細工,白素 ②水の分析 ききれ ②水の分析 滴定に 定	熱電球等の作成 熱電球等の作成 kとEDTA標準溶液の	フ調製 - ターの硬度測	2.他分野の記 理解できる. , 目的・結果 できる. 上記、1、2、 上記、1、2、 上記、1、2、	実験技術を体験し,その技術や考え方を 3.行った基本的な実験等について ・考察をまとめ,レポートにすることが 3 3	
前期	1stQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週	①ガラス細工,白素 ①ガラス細工,白素 ②水の分析 ききれ ②水の分析 滴定に定 ③ゾル-ゲル法によ ③シリカゲルの水外	熱電球等の作成 熱電球等の作成 KとEDTA標準溶液の こよるミネラルウォ るシリカゲルの合成 が吸着量測定	の調製 - クーの硬度測 ・ .	2. 他分野の記 理解できる. , 目的・結果 できる. 上記、1、2、 上記、1、2、 上記、1、2、 上記、1、2、	実験技術を体験し,その技術や考え方を 3.行った基本的な実験等について ・考察をまとめ,レポートにすることが 3 3 3	
前期	1stQ	3週 4週 5週 6週 7週	①ガラス細工,白素 ①ガラス細工,白素 ②水の分析 ききれ ②水の分析 滴定に定 ③ゾル-ゲル法によ ③シリカゲルの水分 実験器具と実験室の	熱電球等の作成 熱電球等の作成 KとEDTA標準溶液の こよるミネラルウォ るシリカゲルの合成 が吸着量測定	の調製 - ターの硬度測 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	2. ### 1	実験技術を体験し、その技術や考え方を3.行った基本的な実験等について・考察をまとめ、レポートにすることが333333333333333333333333333333333333	
前期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	①ガラス細工,白素 ①ガラス細工,白素 ②水の分析 ききれ ②水の分析 滴定に定 ③ゾル-ゲル法によ ③シリカゲルの水分 実験器具と実験室の	熱電球等の作成 熱電球等の作成 KとEDTA標準溶液 こよるミネラルウォ るシリカゲルの合成 分吸着量測定 D整理	の調製 - ターの硬度測 式 - イアの討論	2. mmのののでは、 1、2、	実験技術を体験し、その技術や考え方を3.行った基本的な実験等について・考察をまとめ、レポートにすることが333333333333333333333333333333333333	

		13週	④理科	教材の開発 製作			上記4、5、6	、7	
		14週	4理科	教材の発表準備			8. 理科教材 夫した発表を ができる.	の開発の発表 することがで	長において,理解しやすく工でき,的確な討論をすること
		15週	④理科	教材の開発 発表			上記、8		
		16週							
		1週	工作機	械の取り扱いの講習			9. テーマを 続的に学習す		準備すべき事柄を認識し,継 きる.
		2週	工作機	械の取り扱いの講習			上記、9		
		3週	3 次元(CADソフトの取り扱い	いの講習		上記、9		
	3rdQ	4週	アイデ	ィアの討論			, その解決に 11. テーマ ることができ	向けて自律的 のゴールを る.	で解決すべき課題を把握し 外に学習することができる。 意識し,計画的に仕事を進め 呈で自ら創意・工夫すること
		5週	製作物の	のスケッチの作成等			上記、10、1	1、12	
		6週	CADソ	フトを用いた設計お	よび製作		上記、10、1	1、12	
後期		7週	CADソ	フトを用いた設計お	よび製作		上記、10、1	1、12	
		8週	製作				上記、10、1	1、12	
		9週	製作				上記、10、1	1、12	
		10週	製作				上記、10、1	1、12	
		11週	製作				上記、10、1	1、12	
		12週	製作				上記、10、1	1、12	
	4thQ	13週	製作				上記、10、1		
		14週	発表会				13. 発表会 することがで	において, 理 き, 的確な記	里解しやすく工夫した発表を 寸論をすることができる.
		15週	報告書	の作成			14. 報告書	を論理的に記	記述することができる.
		16週							
モデルコ	コアカリ	キュラム	の学習内	容と到達目標					
分類		分野	<u>=</u>	学習内容 学習内容	8の到達目標				到達レベル 授業週
評価割合	_ 								
		前期レポー	-ト	前期教材開発・発 表・作品	後期発表	後期幸	B告書	作品	合計
総合評価語	割合	35		15	15	25		10	100
配点		35		15	15	25		10	100

		等專門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	非破壊検査工学
科目基礎	楚情報						
科目番号		0035			科目区分	専門/選	
授業形態		授業			単位の種別と単位	数 学修単位	: 2
開設学科		総合イノ/ス)	ベーション工学専攻	(環境・資源コー	- 対象学年	専1	
 開設期		前期			週時間数	2	
加取和 教科書/教	·**	参考書:		(社) 日本非破	<u></u>		
担当教員	(12)	郎著(産					
^{担当教員} 到達目標		一 木水 正見	i				
部材中に存		々の欠陥に関 る.	して,それらが安全	上われわれに与え	える影響を理解し,核	食出手法の原理や	p実際, また安全保証システム等にて
ルーブリ	ノック						
			理想的な到達レイ		標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1		しいて理解でき ね	○及ぼす影響につ 皮壊力学的考察が 复雑な問題へ応用	欠陥が材料強度へいて理解でき,破できる.	及ぼす影響につ 壊力学的考察が	欠陥が材料強度へ及ぼす影響にないて理解でき、破壊力学的考察ができない。	
評価項目2	2			3非破壊検査手法 より複雑な問題	内部欠陥に対する について理解して	非破壊検査手法 いる.	内部欠陥に対する非破壊検査手流について理解していない.
評価項目3			について理解し, へ応用できる.	る非破壊検査手法 より複雑な問題	表面欠陥に対する について理解して		表面欠陥に対する非破壊検査手流について理解していない.
学科の至	到達目標	項目との関	係				
教育方法	去等						
概要		響を埋解 . さらに,	するとともに,材料 . 検出された欠陥に	あるいは機械構造 対する強度評価法	5物中に存在する種々 ちについても,その根	の欠陥を非破境 既略を理解する.	の活用法も含めて講義形式の授業を れらが構造物の破壊強度へ及ぼす影響的に検出する評価手法について学ぶ
授業の進め	め方・方法	・すべて(の内容は, 学習・教 計画」における各调	「育到達目標(B) !の「到達目標 に	<専門>および Jが はこの授業で習得する	ABEE基準基準 1 5「知識・能力	.2(d)(2)a)に対応する. に相当するものとする。
注意点		<学く三、<授なく自の単業あ角弾自業学備己工で習考学業の子学にで習考学業別の対象のででででである。	得要件〉 で60点以上を取得す で60点以上を取得す と初等関数の微分の 学習が基礎とが 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	「ること・知識の範囲> 知識の範囲> 対分,ならびに材料 教科である・ 予習・復習(中間間に相当する学習・ 単位制に基づき抄手法を中心に紹介	引試験,定期試験のた 習内容である。 受業を進め,課題提出 でする.各自興味を持	¥に必要なことか ための学習も含む ♂を求めるので・	「らは適宜補足する、本教科は材料等」
14231K=1-		と良い.	本教科は後に学習す	る物性工学の基礎	堂となる教科である。		
授業計画	<u> </u>	I.m. T	IБ.W. I. С		Ι,		
			授業内容	5=T/III ~ 10TM5		週ごとの到達目村 1. 357世徳4会本	•
			非破壊検査・非破壊 材料・構造物中に有		.\7		非破壊評価の概略を把握できる. 勿中に存在する欠陥について理解で:
		3週	欠陥が材料強度へ及	はず影響			歯度へ及ぼす影響について理解でき
	1stQ	4週	き裂材に関する破壊	表力学的考察		4. き裂材に関	する破壊力学的考察ができる.
		5週	き裂材の余寿命評価	ī		上記 4	
		6週	放射線透過試験の概	要		5. 放射線透過	式験について理解できる。
		7週	放射線透過試験の実	際		上記 5	
前期		8週	中間試験			上記1~5	
		9週	超音波探傷試験の概	要		6. 超音波探傷詞	式験について理解できる。
		10週	超音波探傷試験の実	際		上記 6	
		11週	超音波探傷試験の応	用(可視化手法の	の理論と実際)	上記 6	
	2540	12週	表面探傷試験法の概	要		7. 表面探傷試験	検法について理解できる.
	2ndQ	13週	表面探傷試験法の実	際		上記 7	
		14週	表面探傷試験(浸透	整探傷試験・磁粉排	深傷試験)の実際	上記 7	
		15週	中間試験以降の範囲	のまとめ・解説		上記6~7	
		16週					
	- 	キュラムの	学習内容と到達	日橝			
モデルニ	11/11リ	<u> 1 д / д о , </u>					
モデル: ^{分類} 評価割る		分野		<u>ロル</u> 学習内容の到達目	標		到達レベル 授業週

	試験	合計
総合評価割合	100	100
配点	100	100

		等專門学校	│ 開講年度 平成31年度(2019年度)		科目	流体力学特論
科目基礎	 楚情報						
科目番号		0036		科目区分	Ę	専門 / コ・	
<u></u>		授業	単位の種別と単			<u>, —</u> 学修単位:	
開設学科			ベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	Ę	身1	
開設期		前期		週時間数	2	2	
教科書/教材 教科書			: ノート講義 参考書:"FUNDAMEN	NTALS OF FLUID	MECHAN	ICS", Br	ruce R. Munson et. Al. , (WILEY)
担当教員		近藤 邦和]				
到達目標							
	料書を参考	にして学習し	,静水力学,連続の式,ベルヌーイ <i>の</i>)方程式,運動量の	法則およ	び" Cont	rol Volume "の概念を理解でき,
ルーブリ							
<u> </u>	777		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レ	~ II		未到達レベルの目安
評価項目1	 L		「流体力学」に関する英語の専門 用語が十分理解できている。	「流体力学」に	関する英語		「流体力学」に関する英語の専門
評価項目2	2		静水力学について理解し、応用問	用語が理解できる 静水力学についった。	て理解し,		用語が理解できていない. 静水力学について理解できている
			題を解くことができる。	な問題を解くこの			<i>ل</i> ١.
評価項目3	3		連続の式,ベルヌーイの方程式を 理解し,応用問題を解くことがで きる.	連続の式, ベル 理解し, 基本的が ができる.	スーイの) な問題を角	対性式を解くこと	連続の式,ベルヌーイの方程式を 理解できていない.
評価項目4	1		運動量の法則を理解し, 応用問題 を解くことができる.	運動量の法則を理 問題を解くこと			運動量の法則を理解できていない.
評価項目5	5		"Control Volume"の概念を十分理解できている.	! "Control Volum きる.	ie"の概念	を理解で	"Control Volume"の概念を理解 きていない.
 学科の至]達目標]	 項目との関	•				
<u></u> 教育方法							
ᄭᅜᄭᄺ	→ 17	流休力			理論的に	取り扱う	
概要		「流体力 一イの方	学特論」では,英語の教科書を参考に 程式」, 「運動量の法則」について	して、流体力学に	おいて重	要な「静	正流体」, 「連続の式」, 「ベルラ 力を身につける. さらに, 英語での
でサ るな:	** **	・すべて	の知識も身につける。 の内容は学習・教育到達目標(B)<専	門>とJABEE基準	1.2(d)(2)a)に対応	<u></u>
女乗の進め	か方・方法 	・「授業	輪講形式で行い演習を課す.^´ 計画」における各週の「到達目標」に 標の評価方法と基準>	この授業で習得す	る「知識	・能力」	に相当するものとする.
関係する. 各試験 〈学業成績の評価 中間試験と定期試 に達していない 注意点 験の成績を再試験 〈単位修得要件〉 〈あらかじめ要求 〈自己学習〉 習時間の総計が、 習時間の総計が、			」の重みは概ね均等とするが、1,2は基礎知識として他の問題にも含まれる。5については全ての問題(各試験において、合計点の60%の得点で、目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。の評価方法および評価基準> の評価方法および評価基準> 定期試験の2回の試験の平均点を80%、課題の評価を20%として評価する。ただし、中間試験で60点ない者には再試験を課し、再試験の成績が中間試験の成績を上回った場合には、60点を上限として中間。再試験の成績で置き換える場合がある。 要件>課題を全て提出し、学業成績で60点以上を取得すること。 め要求される基礎知識の範囲>本教科は水力学や流体工学の学習が基礎となる教科である。 >授業で保証する学習時間(中間試験を含む)と、予習・復習および演習レポート作成に必要な標準的な等計が、90時間に相当する学習内容である。 計が、90時間に相当する学習内容である。 式の背景にある、物理的意味を理解することが重要である。授業は輪講形式で行うので、各自担当箇所を完成の場合では、また単位制を前提とし、自宅での学習の時間を保証するための演習問題を課題とするので、期日まで				
		<あらか <自己学 習時間の <備考>	得要件>課題を全て提出し, 学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲>本教 習>授業で保証する学習時間(中間試 総計が, 90時間に相当する学習内容 数式の背景にある, 物理的意味を理解	で60点以上を取 (科は水力学や流体 (験を含む)と,予 である. (することが重要で)	工学の学 習・復習 ある. 授	習が基礎 および演 業は輪講	となる教科である. 習レポート作成に必要な標準的な学 形式で行うので,各自担当箇所を予
14271K=1 —		 	得要件>課題を全て提出し, 学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲>本教 習>授業で保証する学習時間(中間試 総計が, 90時間に相当する学習内容 数式の背景にある, 物理的意味を理解	で60点以上を取 (科は水力学や流体 (験を含む)と,予 である. (することが重要で)	工学の学 習・復習 ある. 授	習が基礎 および演 業は輪講	となる教科である. 習レポート作成に必要な標準的な学 形式で行うので,各自担当箇所を予
授業計画	<u> </u>	<	得要件>課題を全て提出し, 学業成績じめ要求される基礎知識の範囲> 本教習>授業で保証する学習時間(中間と終計が, 90時間に相当する学習内容で数式の背景にある, 物理的意味を理解ること. また単位制を前提とし, 自発出すること.	で60点以上を取 (科は水力学や流体 (験を含む)と,予 である. (することが重要で)	工学の学習・復習 ある. 授 保証する	習が基礎および演業は輪講ための演	となる教科である. 習レポート作成に必要な標準的な学 形式で行うので,各自担当箇所を予 習問題を課題とするので,期日まて
授業計画	<u> </u>	<	得要件>課題を全て提出し,学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲>本教 習>授業で保証する学習時間(中間試 総計が,90時間に相当する学習内容 数式の背景にある,物理的意味を理解 ること.また単位制を前提とし,自宅	で60点以上を取 (科は水力学や流体 (験を含む)と,予 である. (することが重要で)	工学の学習・復習 ある. 授 保証する 週ごとの	習が基礎および演業は輪講ための演	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学 形式で行うので,各自担当箇所を予 習問題を課題とするので,期日まで
授業計画	<u> </u>	<	得要件>課題を全て提出し, 学業成績じめ要求される基礎知識の範囲> 本教習>授業で保証する学習時間(中間と終計が, 90時間に相当する学習内容で数式の背景にある, 物理的意味を理解ること. また単位制を前提とし, 自発出すること.	で60点以上を取 (科は水力学や流体 (験を含む)と,予 である. (することが重要で)	工習 あま 学・ る. す の学習 授る ガーン で で で で で で で で で で	習が基礎および演業は輪講ための演型達目標を付けます。	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学 形式で行うので,各自担当箇所を予 習問題を課題とするので,期日まで
授業計画		<	得要件>課題を全て提出し, 学業成績じめ要求される基礎知識の範囲> 本教習>授業で保証する学習時間(中間部 (中間部) (中間	で60点以上を取 (科は水力学や流体 (験を含む)と,予 である. (することが重要で)	工習 あま 学・ る. す 学習 授る ガン ガン ガン ガン ボン ボン ボン ボン ボン ボン ボン ボ	習が基礎は 業は輪湾 ための 到達目学」 な力学に	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学 形式で行うので,各自担当箇所を予 習問題を課題とするので,期日まで
授業計画		マラス できます できます マラス できます できます できます できます できます いっぱい かいかい かいかい かい かい かい かい かい かい かい かい かい か	得要件>課題を全て提出し, 学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲> 本教 習>授業で保証する学習時間(中間 総計が, 90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある, 物理的意味を理解 ること. また単位制を前提とし, 自宅 出すること. 授業内容	で60点以上を取 採は水力学や流体 採験を含む)と、予 である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	工習 学・ る証 する 型 で し で し で し で の で の で の で の で の で の で う に う に う い う に う ら う に う ら う に う ら う 、 う ら う ら う ら う 、 う ら う ら う ら う ら	習が基礎演業により、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学 形式で行うので,各自担当箇所を予 習問題を課題とするので,期日まで
授業計画	1stQ	<あら己的	得要件>課題を全て提出し, 学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲> 本教 習>授業で保証する学習時間(中間 総計が, 90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある, 物理的意味を理解 ること. また単位制を前提とし, 自宅 出すること. 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field	で60点以上を取 採は水力学や流体 採験を含む)と、予 である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	工習 学・ る証 が で で で で で で で で で で で で で	習が基礎は 業に 対 業に 対 達は 軸演 対 達は 軸演 を 対 学 に で 2 2 2	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学 形式で行うので,各自担当箇所を予 習問題を課題とするので,期日まで に関する英語の専門用語が理解でき
授業計画		< あらこは < あらこは < あらこは < あらこは < まず まず < まず まず < まず	得要件〉課題を全て提出し,学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲〉本教 習〉授業で保証する学習時間(中間訪 総計が,90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある,物理的意味を理解 ること.また単位制を前提とし,自宅 出すること. 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field Pressure Variation in a Fluid at Re	で 6 0 点以上を取 (科は水力学や流体 (科は水力学や流体 である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	工習 学 で る 記 が で の の の で の の の の の の の の の の の の の	習が基礎 業は 全 全 は を か 会 の 到達 目標 は 大 大 大 大 大 の で の で は の で は の で は の で に の で し の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	となる教科である。 習レボート作成に必要な標準的な常 形式で行うので,各自担当箇所を予 習問題を課題とするので,期日まで 【 に関する英語の専門用語が理解でき
授業計画			得要件〉課題を全て提出し、学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲〉本教 習〉授業で保証する学習時間(中間 総計が,90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある,物理的意味を理解 ること、また単位制を前提とし,自宅 出すること。 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field Pressure Variation in a Fluid at Re Manometry	で 6 0 点以上を取 (科は水力学や流体 (科は水力学や流体 である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	T習 あ保 選 る 選 で	習がまは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学 形式で行うので,各自担当箇所を予 習問題を課題とするので,期日まで に関する英語の専門用語が理解でる
		Saperate	得要件>課題を全て提出し、学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲> 本教 習>授業で保証する学習時間(中間 総計が、90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある、物理的意味を理解 ること、また単位制を前提とし、自宅 出すること。 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field Pressure Variation in a Fluid at Re Manometry Hydrostatic Force on a Plane Surfa Newton's Second Law F=ma Along a Streamline	で 6 0 点以上を取 (科は水力学や流体 (科は水力学や流体 である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	工習 あ保 週 1 る 2 上上上上 3 応 上記 3 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元	習お 業は 軸演 型体 力学 に 2 2 2 2 の 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学 形式で行うので,各自担当箇所を予 習問題を課題とするので,期日まて に関する英語の専門用語が理解でる
		Saperate	得要件>課題を全て提出し、学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲> 本教 習>授業で保証する学習時間(中間 総計が,90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある,物理的意味を理解 ること・また単位制を前提とし,自宅 出すること・ 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field Pressure Variation in a Fluid at Re Manometry Hydrostatic Force on a Plane Surfa Newton's Second Law F=ma Along a Streamline 前期中間試験	で 6 0 点以上を取 (科は水力学や流体 (科は水力学や流体 である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	工習 あ保 週 1 る 2 上上上 1 3 応上 上 1 3 応上 記 1 へ 1 未 2 1 上 1 3 応上 記 1 連で 3 へ 1 ま 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	習がまは	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学 形式で行うので,各自担当箇所を予 習問題を課題とするので,期日まて に関する英語の専門用語が理解でる
		Saperate	得要件>課題を全て提出し、学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲> 本教 習>授業で保証する学習時間(中間 総計が、90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある、物理的意味を理解 ること・また単位制を前提とし、自宅 出すること・ 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field Pressure Variation in a Fluid at Re Manometry Hydrostatic Force on a Plane Surfa Newton's Second Law F=ma Along a Streamline 前期中間試験 中間試験の解答と試験範囲の総復習	で60点以上を取 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	工習 あ保 週 1 る 2 上上上上 3 応上上上上の復	習お 業た ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	となる教科である. 習レポート作成に必要な標準的な学形式で行うので、各自担当箇所を予習問題を課題とするので、期日まで に関する英語の専門用語が理解であいて理解し、問題に応用できる
		Sample 得要件>課題を全て提出し、学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲>本者 習>授業で保証する学習時間(中間 総計が,90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある,物理的意味を理解 ること・また単位制を前提とし,自宅 出すること・ 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field Pressure Variation in a Fluid at Re Manometry Hydrostatic Force on a Plane Surfa Newton's Second Law F=ma Along a Streamline 前期中間試験 中間試験の解答と試験範囲の総復習 Conservation of Mass—The Contin	で 6 0 点以上を取 採料は水力学や流体 採験を含む)と、予 であることが重要で での学習の時間を st ace	工習 あ保 週 1る2 上上上上3応上上上用5の復 . す ど 「 静 1 1 1 1 連で 3 ~ ~ 1 その 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	習お 業た ・ 対 は は ・ 対 は ・ は で は ・ が は ・ が は ・ が れ で し ・ が れ で も ・ が も ・ が れ で も ・ が も	となる教科である. 習レポート作成に必要な標準的な学習しまで行うので、各自担当箇所を学習問題を課題とするので、期日まで、明日までは、に関する英語の専門用語が理解であれて理解し、問題に応用できる	
	1stQ	Sample 得要件>課題を全て提出し、学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲>本者 習>授業で保証する学習時間(中間 総計が,90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある,物理的意味を理解 ること・また単位制を前提とし,自宅 出すること・ 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field Pressure Variation in a Fluid at Re Manometry Hydrostatic Force on a Plane Surfa Newton's Second Law F=ma Along a Streamline 前期中間試験 中間試験の解答と試験範囲の総復習 Conservation of Mass—The Contir	で 6 0 点以上を取れ 対は水力学や流体 対験を含む)と、予 である。 ですることが重要で での学習の時間を st ace	工習 あ保 週 1る2 上上上上 3応上上上用5 上の復 . す ど 「 静 1 1 1 連で 3 ~~ 1 その 2	習お 業た ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学形式で行うので、各自担当箇所を予習問題を課題とするので、期日まで に関する英語の専門用語が理解であいて理解し、問題に応用できる	
授業計画		Sala Sala	得要件〉課題を全て提出し、学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲〉本著 習〉授業で保証する学習時間(中間 総計が,90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある,物理的意味を理解 ること・また単位制を前提とし,自宅 出すること・ 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field Pressure Variation in a Fluid at Re Manometry Hydrostatic Force on a Plane Surfa Newton's Second Law F=ma Along a Streamline 前期中間試験 中間試験の解答と試験範囲の総復習 Conservation of Mass—The Contir Derivation of the Linear Momentu	で 6 0 点以上を取れ 対は水力学や流体 対験を含む)と、予 であることが重要で での学習の時間を st ace duity Equation(1) muity Equation(2) m Equation	工習 あ保 週 1る2 上上上 3応上上上用5 上上の復 . す ど 「 静 1 1 1 連で 3 ~~ . 記記記 記 記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記	習お 業た 型達 大 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学形式で行うので、各自担当箇所を予習問題を課題とするので、期日まで に関する英語の専門用語が理解であいて理解し、問題に応用できる
	1stQ	Solution	得要件〉課題を全て提出し、学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲〉本書 習〉授業で保証する学習時間(中間 総計が、90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある、物理的意味を理解 ること、また単位制を前提とし、自宅 出すること. 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field Pressure Variation in a Fluid at Re Manometry Hydrostatic Force on a Plane Surfa Newton's Second Law F=ma Along a Streamline 前期中間試験 中間試験の解答と試験範囲の総復習 Conservation of Mass—The Contin Derivation of the Linear Momentu Application of the Linear Momentu	で60点以上を取れは水力学や流体は水力学や流体できる。 である。 である。 である。とが重要ででの学習の時間を での学習の時間を ははy Equation(1) uity Equation(2) m Equation Im Equation(1)	工習 あ保 週 1る2 上上上 3応上上上用5 上上上上の復 . す ど 「 静 1 1 1 1 連で 3 ~~ 記記記記	習お 業た ・ 対 は は ・ 対 は は ・ 対 は は か が は ・ 対 は は か が は ・ 対 は は の が は ・ が は す 、 5 ・ 4 、 5 ・ 5 ・ 6 ・ 6 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学形式で行うので、各自担当箇所を予習問題を課題とするので、期日まで に関する英語の専門用語が理解できないて理解し、問題に応用できる
	1stQ	Solution	得要件〉課題を全て提出し、学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲〉本教 習〉授業で保証する学習時間(中間記 総計が、90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある、物理的意味を理解 ること・また単位制を前提とし、自宅 出すること・ 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field Pressure Variation in a Fluid at Re Manometry Hydrostatic Force on a Plane Surfa Newton's Second Law F=ma Along a Streamline 前期中間試験 中間試験の解答と試験範囲の総復習 Conservation of Mass—The Contir Conservation of the Linear Momentu Application of the Linear Momentu Application of the Linear Momentu	で60点以上を取れは水力学や流体は水力学や流体できる。 である。 である。 である。とが重要ででの学習の時間を での学習の時間を ははy Equation(1) uity Equation(2) m Equation Im Equation(1)	工習 あ保 週 1る2 上上上上3応上上上用5 上上上上上学・ る証 ご 記記記記 . 用記記記記で. 記記記記記記 記で. 記記記記記 記記 記記 記記 担	習お 業た 型体 力 2 2 2 3 3 3 よい ntrol Vol 4 4 5 5 4 4 5 5 5 5 6 7 5 6 7 5 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な学形式で行うので、各自担当箇所を予習問題を課題とするので、期日まで に関する英語の専門用語が理解できないて理解し、問題に応用できる
	1stQ	Solution	得要件〉課題を全て提出し、学業成績 じめ要求される基礎知識の範囲〉本書 習〉授業で保証する学習時間(中間 総計が、90時間に相当する学習内容で 数式の背景にある、物理的意味を理解 ること、また単位制を前提とし、自宅 出すること. 授業内容 Pressure at a Point Basic Equation for Pressure Field Pressure Variation in a Fluid at Re Manometry Hydrostatic Force on a Plane Surfa Newton's Second Law F=ma Along a Streamline 前期中間試験 中間試験の解答と試験範囲の総復習 Conservation of Mass—The Contin Derivation of the Linear Momentu Application of the Linear Momentu	で60点以上を取れは水力学や流体は水力学や流体できる。 である。 である。 である。とが重要ででの学習の時間を での学習の時間を ははy Equation(1) uity Equation(2) m Equation Im Equation(1)	工習 あ保 週 1る2 上上上 3応上上上用5 上上上上の復 . す ど 「 静 1 1 1 1 連で 3 ~~ 記記記記	習お 業た 型体 力 2 2 2 3 3 3 よい ntrol Vol 4 4 5 5 4 4 5 5 5 5 6 7 5 6 7 5 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7	となる教科である。 習レポート作成に必要な標準的な特別で行うので、各自担当箇所を計習問題を課題とするので、期日まで、期日までは、関する英語の専門用語が理解できないて理解し、問題に応用できるがルヌーイの方程式を理解し、問題により、問題によりには、関連を理解し、問題によりには、関連を理解し、問題によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標 到達レベル 授業週				ベル 授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	発表	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
配点	80	20	0	0	0	0	100

	 第工業高等	 専門学校	開講年度	业时41年度7 .				
 科目基例		、」」		平成31年度 (2	-017十/又]]	受業科目	複合材料工学_	
<u>17 口坐</u> 科目番号		0037			科目区分	専門 / コ-	 - ス選択	
授業形態		授業			単位の種別と単位数		学修单位: 2	
開設学科			ベーション工学専攻	(環境・資源コー	対象学年	専1		
開設期		後期			週時間数	2		
教科書/教	数材	教科書: 吾一(古名	「基礎からわかるFR ⇒書院)	P」 強化プラス	チック協会 (コロナ社	ロナ社)参考書:「複合材料の力学序説」 福田博		
担当教員		民秋 実						
到達目	標							
複合材料 る.	工学に関する	基礎理論を理	里解し,種々の条件の	の下で複合材料の	材料特性値を求めるこの	とができ, 複	合材料の設計に応り	用することができ
ルーブ	リック						.	
			理想的な到達レベ	いの目安	標準的な到達レベルの	目安	未到達レベルの	目安
評価項目	1		複合材料工学に関 応用することがで		複合材料工学に関する理解している.	基礎理論を	複合材料工学に「理解していない.	関する基礎理論を
評価項目	2		応用的な複合材料 求めることができ		基本的な複合材料の材 求めることができる.	料特性値を	複合材料の材料とができない.	特性値を求めるこ
評価項目	3		複合材料の設計にできる.	応用することが	複合材料の設計に使うる.	ことができ	複合材料の設計(ない.	こ使うことができ
学科の	到達目標項	目との関係	系					
教育方法	 法等							
概要		複合材料はプラスチッ	は様々な分野で使用で	ー されている先端材 力学的特性,強度	料である.複合材料工学 計算,使用方法についる	 ≠では, 代表的 ご学習する.	りな複合材料である	るガラス繊維強化
授業の進	め方・方法	・授業は詩	講義・渾習形式で行う	う、講義中は集中) く専門>およびJABE して聴講する. この授業で習得する「タ			
注意点		, 目標の過 く 注 していた , 60点を , 単位修作 く カ学は十分	達成を確認できるよう 真の評価方法および診 よい学生については、 上限として中間試験を との要求される基礎な かに理解している必ず	うに設定する. 平価基準>後期中間 ・それを補うため の成績を再試験の で提出し、学業成利 可識の範囲>本教利 要がある.	る重みは同じである. 記記験と学年末試験の平の補講に参加し, 再試調成績で置き換えて評価責で60点以上を取得する。	均点で評価す 食により中間 する. 期未試 こと. 弾性学の学習	る。ただし中間記 ば験の成績を上回。 験については再試 が基礎となる教科	験において60点に った場合には 験を行わない。 であり,特に材料
	.	, <達 , < < 力 < が <	を確認できるよう 動学生については、 上限として中間試験 と関としての課題を が要件>全ての課題を がで理解している必ず は関係で保証する学 なる。 、教科は後に学習する	うに設定する. 平価基準>後期中間、それを補うため、の成績を再試験の ・足出し、学業成績 ・関盟の範囲>本教利 要がある。 ・習時間のほか、うる物性工学と強く	別試験と学年末試験の平の補講に参加し、再試験 の補講に参加し、再試験の場合で置き換えて評価	均点で評価す 対により中間 する、期末試 うこと・ 弾性学の学習 定期試験のた 己学習を前提	る。ただし中間記 試験の成績を上回 検については再試 が基礎となる教科 めの学習も含む) として授業を進め	験において60点に った場合には 験を行わない. であり,特に材料 に要する学習時間
注意点	画	大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	達成を確認できるようでは、 質の評価方法および記念い学生については、 上限として中間試験。 理件>全ての課題を とめ要求される基礎を との要求される基礎を との要求される必らでは、 第>授業で保証する学 よる。 、教科は後に学習する。 まために課題提出を変	うに設定する. 平価基準>後期中間、それを補うため、の成績を再試験の ・足出し、学業成績 ・関盟の範囲>本教利 要がある。 ・習時間のほか、うる物性工学と強く	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試験の確構に参加し、再試験成績で置き換えて評価での点以上を取得する。 はは材料力学や材料学、 予習・復習(中間試験、 関連する教科である、自電卓を用意し、日頃の自	均点で評価す 食により中間 する. 期末試 ること、 弾性学の学習 定期試験のた 己学習を前提 日学習に励	る、ただし中間記 試験の成績を上回- 鉄については再試 が基礎となる教科 めの学習も含む) として授業を進め ごと・	験において60点に った場合には 験を行わない. であり,特に材料 に要する学習時間
	画	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	を成を確認できるよう。 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関すると、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 を関するとは、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、 をしな、	うに設定する. 平価基準>後期中間、それを補うため、の成績を再試験の ・足出し、学業成績 ・関盟の範囲>本教利 要がある。 ・習時間のほか、うる物性工学と強く	間試験と学年末試験の平 の補講に参加し,再試 成績で置き換えて評価 責で60点以上を取得する は材料力学や材料学, 予習・復習(中間試験, 即連する教科である. 自 電卓を用意し,日頃のE	均点で評価す 検により中間 する、別末試 でと、 弾性学の学習 定期試験のた 己学習を前提 自己学習に励い	る。ただし中間記 試験の成績を上回: 検については再試 が基礎となる教科 めの学習も含む) として授業を進め	験において60点に った場合には 験を行わない. であり,特に材料 に要する学習時間
	画	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	達成を確認できるようでは、 質の評価方法および記念い学生については、 上限として中間試験。 理件>全ての課題を とめ要求される基礎を との要求される基礎を との要求される必らでは、 第>授業で保証する学 よる。 、教科は後に学習する。 まために課題提出を変	うに設定する。 平価基準>後期中間 それを補うため の成績を再試験の に提出し、学業成利 知識の範囲>本教科 要がある。 学習時間のほか、予 る物性工学と強く 求めるので、関数は	間試験と学年末試験の平の補講に参加し、再試施 の補講に参加し、再試施 が議で置き換えて評価 責で60点以上を取得する 外は材料力学や材料学、 予習・復習(中間試験、 別連する教科である、自 電卓を用意し、日頃の自 週ご 1.	均点で評価するという。 はいり申問記では、 はいり申問記でである。 はいるという。 で評価するとの で記しまり申問記でする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 で記しまする。 での到達目標である。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。 での力といずる。	る。ただし中間記 試験の成績を上回: 検については再試 が基礎となる教科 めの学習も含む) として授業を進め こと・	験において60点にった場合には 録を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果
	画	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	を確認できるようできるようでは、 を確認できるようでは、 を関するとしていました。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	うに設定する。 平価基準>後期中間 それを補うため。 の成績を再試験の 足提出し、学業成績 知識の範囲>本教 要がある。 学習時間のほか、うる物性工学と強く 財数があるので、関数が のがあるので、関数が	間試験と学年末試験の平 の補講に参加し,再試購 成績で置き換えて評価 責で60点以上を取得する 料は材料力学や材料学, 予習・復習(中間試験, 即連する教科である。自 電卓を用意し,日頃の国 1. 法則) 3.	均点で評価するとの到達目の一般により明末就でででである。 第一次 では、明末就である。 第一次 では、明末就では、明末に、明末に、明末に、明末に、明末に、明末に、一次の登場である。 では、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次に、一次に、一次に、一次に、一次に、一次に、一次に、一次に、一次に、一次に	る。ただし中間記 試験の成績を上回 検については再試 が基礎となる教科 めの学習も含む) として授業を進め ひこと。 いて説明できる。 について説明がこ	験において60点に った場合には 験を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 っ、自己学習の成果 算ができる。 きる。
	画	目標	を成を確認できるようできるようでは、またい学生については、 はい学生については、 はい学生については、 はい学生については、 はい学生については、 はい学生についる基礎を、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいるが、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、	うに設定する。 平価基準>後期中間 それを補うため。 の成績を再試験の 足提出し、学業成績 知識の範囲>本教 要がある。 学習時間のほか、うる物性工学と強く 財数があるので、関数が のがあるので、関数が	間試験と学年末試験の平 の補講に参加し,再試購 成績で置き換えて評価 責で60点以上を取得する 料は材料力学や材料学, 予習・復習(中間試験, 即連する教科である。自 電卓を用意し,日頃の国 1. 法則) 3.	均点で評価で調明を 対点により期末ではいます。 対していますができます。 対していますができます。 対していますができます。 はいますができますができます。 はいますができますができます。 はいますができますができます。 はいますができますができます。 はいますができますができます。 はいますができますができますが、 はいますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますが、 はいますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますが、 はいますができますができますができますができますができますができますができますができ	る。ただし中間記 試験の成績を上回: 検については再試 が基礎となる教科 めの学習も含む) として授業を進め こと・	験において60点に った場合には 験を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 っ、自己学習の成果 算ができる。 きる。
	画 3rdQ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を成を確認できるようできるようでは、 ない評価方法おびによります。 は、日本のには、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、日本のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 連基準 > 後期中間 で、それを補うためで、一般では、一般ででは、一般ででは、一般ででは、一般では、一般では、一般では、	間試験と学年未試験の平 の補講に参加し、再試講 成績で置き換えて評価 責で60点以上を取得する は材料力学や材料学、 のといるでは、では、 のは対料力学や材料学、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	均点で評価で調明を表すると、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては	る、ただし中間記	験において60点に った場合には 験を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 っ、自己学習の成果 算ができる。 きる。
		日学に 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を成を確認できるようでは、 はい学生については、 上限として中間試験を はい学生については、 上限として中間試験を との要求される基礎を がといるが、 ない学業で保証する今まる。 、教科は後に学習する。 ない、教科は後に学習する。 ないでは、 、教科は後に学習する。 ないでは、 では、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では、	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試調の補講に参加し、再試調の補講に参加し、再試調度で60点以上を取得する。	均点で評価が 対により期末 対にるとり期末 ができます。 で評価が はることができます。 で評価が ででではます。 でではまする。 でではまする。 でではまする。 でではまする。 でではまする。 でではまする。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、まずる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る、ただし中間記	験において60点に った場合には 綾を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 算ができる。 できる。 できる。
		目標のでは、	を成を確認できるようできるようできるができませた。 はい評価にいていていていました。 はいましていていまでできませる。 はいました。 はいまするというでは、 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では、	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試購の構講に参加し、再試開成績で置き換えて評価での点以上を取得する。	均点で評価がます。 で評価がます。 で評価がます。 とり 期まずると がままずる という では いっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	る。ただし中間計	験において60点に った場合には 綾を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 算ができる。 できる。 できる。
授業計[1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を確認できるようできるようできるようでは、	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では、	間試験と学年未試験の平 の補講に参加し,再試購 成績で置き換えて評価 責で60点以上を取得する は材料力学や材料学, 予習・復習(中間試験, 別連する教科である。自 電卓を用意し,日頃の自 温ご 1. 法則) 3. 4. 上記 5. がで 6. 7.	均点に 対点により 関点に 関いで にる。と で評価で 関いで にる。と でいる。と でいる。と では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る。ただし中間記式験の成績を上回計議院の成績を上回計議院については再試が基礎となる教科がの学習も含む)として授業を進めること。 いて説明できる。	験において60点に った場合には 綾を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 算ができる。 できる。 できる。
授業計[日学 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を確認できるようできるようできるよう。 ない評価方法が記述といるできるが、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまで	うに設定する。 平価基準>後期中間 ・ 受ける。 ・ では、 では、 では、 では、 でれた では、	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試験ので補講に参加し、再試験ので開き換えて評価でいる。 成績で置き換えて評価でいる。 はなが料力学や材料学、 を習・復習(中間試験、 別連する教科である。自電中を用意し、日頃の自 週ご 1. 法則) 3. 3. 4. 上記 5. がで 6. 7. これで	均点に 対点により 関点に 関いで にる。と で評価で 関いで にる。と でいる。と でいる。と では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る、ただし中間記述験の成績を上回計 域験の成績を上回計 が基礎となる教科 めの学習も含む) として授業を進め かいて説明できる。 かについて説明がていて説明がていて説明がていて説明がていて説明がていた。 はについて説明がていた。 はについて説明がていた。 はだモーメントについたがは、または、 はが関性を求めることを計算できる。 た内容を説明し、	験において60点につた場合には 対象を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 の、自己学習の成果 算ができる。 きる。 こことができる。 ことができる。
授業計		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を確認できるようでは、 は、学生のでは、 は、学生のでは、 は、学生のでは、 は、学生のでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないうでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないりでは、 は、ないいいいは、 は、ないいいいいいいがしいいいいいいがし、 は、ないいいがし、 は、ないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	うに設定する。 平価基準>後期中間 ・ 受ける。 ・ では、 では、 では、 では、 でれた では、	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試験ので補講に参加し、再試験のでではでき換えて評価ででの点以上を取得する。	均点ようで評価値間でいます。 はいる。と学 定期 は 2 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で	る、ただし中間記式験の成績を上回引 対験の成績を上回引 検については再試 が基礎となる教科 めの学習も含む) として授業を進め いて説明できる。 について説明ができる。 について説明ができる。 について説明ができる。 について説明ができる。 について説明ができる。 について説明ができる。 について説明ができる。 について説明ができる。	験において60点につた場合にはは 対象を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 の、自己学習の成果 一覧ができる。 一つることができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。
授業計[1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を成を確認されています。 意の評価に対しています。 意の評価をはいます。 意の評価をはいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 を表しいます。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では を で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	間試験と学年末試験の平の補講に参加し、再試験ので補講に参加し、再試し、再評価で60点以上を取得するででは材料力学や材料学、表習・復習(中間試験、関連する教科である。自電中を用意し、日頃の記法則) 2.33.4.上記 5.かで 6.7. これで 8. 上記 9.	均点ない。 対象の はいき ではいる とりにる とう でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます	る。ただし中間記	験において60点に うた場合には 検を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 算ができる。 できる。 できる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。
授業計[1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を成を確認されています。 はい学しにています。 はい学しとするよびによいできるよびには、 はい学しとではいます。 はい学しいでは、 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいます。 はいではいまする。 はいではいます。 はいではいまする。 はいではいまする。 はいではいまする。 はいではいまする。 はいではいまする。 はいではいまする。 はいではいまする。 はいではいまする。 はいではいまする。 はいではいまする。 はいではいまする。 はいではいまする。 はいではいないないないないないないないないないないないないないないないないないな	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では を で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試調に参加し、再試調に参加し、再試調度で60点以上を取得する。	均にる。とで 対にる。とで 対にる。とで 対にる。とで 対にる。とで 対にる。とで 対にる。とで 対にる。とで 対にる。とで 対にる。とで 対にる。とで がでいり期。ので がでいり期。のでは がでいります。で がでいります。で でいり期。のでは でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいります。で でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりでで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりで でいりでで でいりで でいりでで でいりでで でいりでで でいりでで でいりでで でいりでで でいりでで でいりでで でいりでで でいりでで でいりでで でいりででで でいりででで でいりででで でいりでで でいりででで でいりででで でいりででで でいりででで でいしいでで でいしいでで でいしいでで でいででで でいでで でいででで でいでででで でいでででで でいででででで でいででででで でいででででででで でいでででででで でいででででで でいでででででで でいでででででででで	る。ただし中間記	験において60点に うた場合には 検を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 算ができる。 できる。 できる。 とができる。 諸量を求めること できる。
	3rdQ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を成を確認されています。 またのできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできる。 またのできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では、	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試調に参加し、再試調に参加し、再試調で60点以上を取得するで60点以上を取得する。	均にる。と 関点にる。と 関点にる。と 関点にる。と 関語で 関語で 関語で 関語で 関語で 関語で 関語で 関語で	る。ただし中間記	験において60点に うた場合には 験を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 算ができる。 できる。 できる。 とができる。 諸量を求めること できる。 ことができる。
授業計[3rdQ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を成のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるとでは、これでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いま	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では、	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試調の補講に参加し、再試調の補講に参加し、再試調度で60点以上を取得する。	均にる。とででは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことででは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	る。ただし中間記	験において60点に った場合には 験を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 一覧ができる。 一覧できる。 一覧できる。 できる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。
授業計[3rdQ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を成を確認されています。 またのできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできるよび記念のできる。 またのできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では、	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試調の補講に参加し、再試調の補講に参加し、再試調度で60点以上を取得する。	均にる。とででは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことででは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	る。ただし中間記	験において60点に った場合には 験を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 一覧ができる。 一覧できる。 一覧できる。 できる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。
授業計[3rdQ 4thQ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を成立のできるよう。 は、学生のできるよう。 は、学生のできるよう。 は、学生のできるよう。 は、学生のでは、まない学生のできるよう。 は、と、と、まないできた。 は、と、と、まないでする。 は、と、まないでする。 は、と、まないでは、は、まないできた。 できないでする。 は、と、まないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 は、と、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないで	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では 要準 > 後期中間 ・ では 要準 > 後期中間 ・ では 要準 > 後期中間 ・ では 表する。 ・ では 表する。 ・ では 表する。 ・ では まずる。 では まずる。 ・ では まずる。 では まず	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試調の補講に参加し、再試調の補講に参加し、再試調度で60点以上を取得する。	均にる。とででは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことででは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	る。ただし中間記	験において60点に った場合には 験を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 一覧ができる。 一覧できる。 一覧できる。 できる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。
授業計i 後期	3rdQ 4thQ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を成ができません。 を成ができません。 ない学とへないできません。 はい学とへできません。 はい学とへできません。 はい学とへできません。 はい学とのできません。 はい学とのできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいではいいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできまません。 はいできまません。 はいできまません。 はいできまません。 はいできまません。 はいできまません。 はいできまません。 はいできまません。 はいできまません。 はいできまません。 はいできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では 要準 > 後期中間 ・ では 要準 > 後期中間 ・ では 要準 > 後期中間 ・ では 表する。 ・ では 表する。 ・ では 表する。 ・ では まずる。 では まずる。 ・ では まずる。 では まず	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試調に参加し、再試調に参加し、再試調度で60点以上を取得する。	均にる。とででは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことででは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	る。ただし中間記述験の成績を上回で 対験の成績を上回で 強については再試が基礎となる教科 めの学習も含む) として説明できる。 について説明で説明が がアング率を計算で が行こる。 についてできる。 た内容を説明し、 換が行える。 の材料特性を計算で た力問題を計算で のの材料特性を計算で について説明で	験において60点に った場合には 綾を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 一覧ができる。 一覧できる。 一覧できる。 一覧を求めることができる。 できる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。
授業計[3rdQ 4thQ	日学しての後が、	を成ができません。 を成ができません。 ない学とへないできません。 はい学とへできません。 はい学とへできません。 はい学とへできません。 はい学とへできますできません。 はい学とへできますできません。 はいできません。 はいではいでは、 はいでは、 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできないできない。 はいできないできない。 はいできない。 はいできないできないできないできないできないできないできないできないできないできな	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では、	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試調に参加し、再試調に参加し、再試調度で60点以上を取得する。	均にる。とででは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことででは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、ことでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	る。ただし中間記述験の成績を上回で 対験の成績を上回で 強については再試が基礎となる教科 めの学習も含む) として説明できる。 について説明で説明が がアング率を計算で が行こる。 についてできる。 た内容を説明し、 換が行える。 の材料特性を計算で た力問題を計算で のの材料特性を計算で について説明で	験において60点につた場合にはは 験を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 の、自己学習の成果 一覧ができる。 できる。 できる。 ことができる。 さきる。 さきる。 きる。 きる。 きる。 きる。 きる。 きる。 きる。
授業計成 受業計成 受難 がいい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	3rdQ 4thQ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を成ができません。 を成ができません。 ない学とへないできません。 はい学とへできません。 はい学とへできません。 はい学とへできません。 はい学とへできますできません。 はい学とへできますできません。 はいできません。 はいではいでは、 はいでは、 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできません。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできまない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできない。 はいできないできない。 はいできないできない。 はいできない。 はいできないできないできないできないできないできないできないできないできないできな	うに設定する。 平価基準 > 後期中間 ・ では、	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試調に参加し、再試調に参加し、再試調度で60点以上を取得する。	均にると学 定 己己 と 複 応フ 複 4 せき 複 はまき 応 8 直 実 積 積 複 にると学	る。ただし中間記述験の成績を上回で 対験の成績を上回で 強については再試が基礎となる教科 めの学習も含む) として説明できる。 について説明で説明が がアング率を計算で が行こる。 についてできる。 た内容を説明し、 換が行える。 の材料特性を計算で た力問題を計算で のの材料特性を計算で について説明で	験において60点につた場合には 検を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 算ができる。 きる。 さことができる。 さとができる。 さとができる。 さとができる。 さきる。 さきる。 きる。 さきる。 きる。 きる。
授業計成 受業計成 受難 がいい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	3rdQ 4thQ コアカリキ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を成立のできるよう。 は、大きないできない。 ない学とへないできるよう。 は、大きないできない。 は、大きないできない。 は、大きないできない。 は、大きないできない。 は、大きないできない。 は、大きないできない。 は、大きないできない。 は、大きないできない。 ないできない。 は、大きないできない。 は、大きないできない。 ないできないできない。 は、大きないできない。 ないできないできない。 は、大きないできない。 は、大きないできない。 は、たっというでは、 は、たっというないは、 は、たっというないは、 は、たっというないは、 は、たっというないは、 は、たっというないは、 は、たっというないは、 は、たっというないは、 は、たっというないは、 は、たっというないは、 は、たっといいでは、 は、たっといいいでは、 は、たっといいでは、 は、たっといいでは、 は、たっといいでは、 は、たっといいでは、 は、たっといいいでは、 は、たっといいでは、 は、たっといいいは、 は、たっといいいいは、 は、たっといいいいは、 は、たっといいいいは、 は	うに設定する。中価は関連を表現中間では関連を表現中間では基準を対象を表現中間では基準を通りでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	間試験と学年未試験の平の補講に参加し、再試調に参加し、再試調に参加し、再試調で60点以上を取得するで60点以上を取得する。	均にると学 定 己己 と 複 応フ 複 4 せき 複 はまき 応 8 直 実 積 積 複 にると学	る、ただし中間記 試験の成績を上回: 試験の成がでは再試 が基礎となる教科 めの学習も含む) とこと・ いて説明できる・ についいて説明が説明が可 がについで率を計算する・ にでついで率を説明し、 性を計算を説明し、 性を対した。 の材料特性を計算で にた力問題を記する。 では、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明できる。 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た内容を説明し、 は、た力間題を表します。 は、た力間のできる。 は、た力間のできる。 は、た力間のできる。 は、た力間のできる。 は、た力にないで、 は、た力にないで、 は、た力にないで、 は、た力にないで、 は、力間のできる。 は、力間のできる。 は、力間のできる。 は、力にないで、 は、力にないで、 は、力にないで、 は、力にないで、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが	議院において60点に うた場合には 様を行わない。 であり、特に材料 に要する学習時間 り、自己学習の成果 算ができる。 きることができる。 さることができる。 さきる。 さきる。 さきる。 さきる。 できる。 さきる。 できる。 できる。 できる。 できる。

		専門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科目		
科目基础		13131K	VIJ ET4614	1 1 1-20 - 1 12 (2	1/×/			
科目番号		0040			科目区分	専門 /	· 選択	
授業形態		授業			単位の種別と単位		道位: 2	
開設学科			ベーション工学専攻	(環境・資源コー	対象学年	専1		
開設期		後期			週時間数	2		
教科書/教	女材	ノート講	義 適宜,資料を配付	寸する.		•		
担当教員		小林 達正	E					
到達目	票							
材料の性! する.	質をコント[コールする組	1織制御技術に不可欠	では相変態の基本的	概念を把握し, 実	用材料の問題が	解決に適用できる応用力の修得を目標と	
ルーブ!	リック							
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レイ	ベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目	1		平衡状態図の基礎し,各種状態図をに応用できる.	楚についての理解 様々な現象の理解	平衡状態図の基礎でいる.	楚について理角	平衡状態図の基礎を理解していない.	
評価項目:	2		についての理解し	匀質核生成モデル ン,それをもとにい 料の凝固現象につ	均質核生成,不均について理解して	匀質核生成モラ ている.	デル 均質核生成,不均質核生成モデル について理解していない.	
評価項目:	3		理解し,それをも	告と理論について とにいくつかの物 ついて考察できる	固・液界面の構造 について理解して	造と理論との関 ている.	関係 固・液界面の構造と理論との関係 について理解していない.	
評価項目。	4		· 一方向凝固におい ついての理論を 用できる.	ナる溶質の分布に 里解し, それを応	一方向凝固におい ついての理論を5		「に 一方向凝固における溶質の分布に ついての理論を理解していない.	
評価項目:	5		融液からの単結は 理解し, それを		融液からの単結。 理解している.	晶製造法につい	NT 融液からの単結晶製造法を理解していない.	
評価項目(6		法について理解し	とエネルギの計算 」, いくつかのモ ハてエネルギーを	位相界面の構造の算法について理解	ヒエネルギー <i>0</i> 解している.)計 位相界面の構造とエネルギーについて理解していない.	
評価項目	7		マルテンサイト3 イト変態につい 応用できる.	変態およびベイナ て理解し, それを		ト変態およびベイナ いて理解している. マルテンサイト変態およびベイ イト変態について理解していな		
学科の発	到達目標項	頁目との関						
教育方法								
概要		験者が担	、企業の研究所にお 当し,材料の性質をこる応用力の修得を目	コントロールする組	料・航空宇宙機器 1織制御技術に不可	用新素材・機能 「欠な相変態の	能性無機材料等の研究に携わった企業経 基本的概念および実用材料の問題解決に	
授業の進	め方・方法	・すべて ・授業は	の内容は,学習・教 、質問を受け付けな	で 有到達目標 (B) がら、理解の度合	いを確認できる演	習を含め、講話	(d)(2)(a)に対応する. 義形式で進める. り」に相当するものとする.	
注意点		達 8 5 % も	評価する. 授業計画 小テストを15%と る.その場合, 再試 ・ 換えるものとする。 ・ 得要件>学業成績で じめ要求される基礎	iの「到達目標」に して評価する。た 食の成績が該当する 6 0点以上を取得3 知識の範囲>本教科 送〉本科で学習し	関する重みは概ねだし、中間試験が だし、中間試験が 試験の成績を上回 すること: 外の学習には、基礎 た関連科目の復習:	均等とし,中 6 0 点に達し 1った場合には 壁材料学、材料 をしっかり行い	間試験および定期試験で出題し,目標の間・期末の2回の試験の平均点を ていないものには再試験を1回のみ課す,60点を上限として成績を再試験の成 は観機学、結晶解析学、鉄鋼材料の学習だけ、日頃の勉強に力を入れること、本教	
授業計画	<u> </u>	T _V EE	157 W - 1 CO		I	(国式)しの割(生		
		週 1週	授業内容 成分系, 2成分系都	らよび3成分系状態		週ごとの到達 1 平衡状態	目標 図の基礎について説明できる.	
		2週	についての復習 成分系,2成分系制			1. 平衡水忠 上記1	四ツ坐虎に フィーの の	
		3週	についての復習 状態図に関する小う	 - スト		上記1		
	2540	4週	均質核生成および不		īT	2. 均質核生	成,不均質核生成モデルについて説明で	
	3rdQ	5週	 純金属の凝固(固・ 成)	液界面, 結晶成長	速度, 欠陥の生	きる。 3. 固・液界面の構造について説明できる.		
後期		6週	合金の凝固 ― 紫	超モデルと溶質の	分布	4. 一方向凝固 ·	固における溶質の分布について説明でき	
		7週	合金の凝固 ― 糺		組織	<u>.</u> 上記4		
		8週	中間試験					
		9週	融液からの単結晶製	<u>製造法</u>		5. 融液から	の単結晶製造法について説明できる.	
	4thQ	10週	位相界面の構造とコ	ニネルギー		6. 位相界面	の構造とエネルギーについて説明できる	
	1		// In-man - Ista			上記6		
		11週	位相界面の構造と 位相界面の構造と			上記6		

13週		マルテンサイト変態	 !およびベイナイト	変態	7. マルテンサイ ての理解	ト変態およ	びベイナ	イト変態につ	いい
	14週 マルテンサイト変態およびベイナイト変態				7. マルテンサイト変態およびベイナイト変態についての理解				
	15週 金属材料破損事故原因の金属学的究明に関する演習問 題				上記1~7				
	16週								
モデルコアカ	リキュラムの	学習内容と到達	目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目	標			到達レヘ	ジル 授業週	
評価割合									
	試験	課題	相互評価	態度	発表	その他		合計	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0		100	
配点	100	0	0	0	0	0		100	

鈴居	第工業高等		· 開講年度 平成31年度 (2				
科目基	礎情報						
科目番号		0041		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	{	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	1	総合イ <i>ノ</i> ス)	ノベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専1		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教	 数材	ノート訓	構義		•		
担当教員		和田 憲	 幸				
到達目			•				
多電子原		態,電子が同	関与する機能材料(磁性,発光,吸収,レ	ーザー)の発現, 結晶	場理論に基づき8面体結晶場のd電子のエネルギー		
ルーブ	リック						
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの	D目安 未到達レベルの目安		
評価項目	1		多電子原子の電子状態,電子が関 与する機能材料(磁性,発光,吸収 ,レーザー)の発現,結晶場理論に 基づき8面体結晶場のd電子のエネ ルギー状態を詳しく説明でき,そ れらの問題を解ける.	多電子原子の電子状態与する機能材料(磁性レーザー)の発現、基づき8面体結晶場のルギー状態を簡単におらの基礎問題を解じた。	結晶場埋論に , レーサー)の発現,結晶場埋論に d電子のエネ 基づき8面体結晶場のd電子のエネ 说明でき,そ ルギー状態を説明できず,それら		
学科の	到達目標」	項目との関	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		·		
<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>							
ירים עיי	/ // 1	其陸重	子化学は「光お上7K磁性に思ちまる名乗=				
既要		d電子の 体配位し	電子状態を理解するために,多電子の量 」た1つのd電子をもつ金属イオンのエネ	子数,結晶場理論,摂 ルギー状態を求め,そ	動法を用いてシュレーディンガー方程式から8面 れらの知識を深める.		
授業の進	め方・方法	・授業(ての内容は,学習・教育到達目標(B)<専 は,質問を受け付けながら,理解の度合い 詳計画」における各週の「到達目標」はこ	ハを確認できる演習を1	含め,講義形式で進める.		
注意点		行われた <単位修 <あらか いる必要 <自己学	3い。 5得条件>学業成績で60点以上を取得する かじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 長であり,無機化学や量子化学の知識があ き習>授業で保証する学習時間と、予習・	ること. は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま 復習(中間試験)定期	試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問		
	画	行われた <単位値 <ある必 いる 目の と 題の を に る の を る の を も の も の も も ろ も ろ り る ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ	就績の評価方法および評価基準>後期中間 よい。 8得条件>学業成績で60点以上を取得する かじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 長であり,無機化学や量子化学の知識がある き習>授業で保証する学習時間と、予習・	ること. は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま 復習(中間試験)定期	の平均点で評価する. なお,各試験とも再試験は (重積分を含む)三角関数,指数関数を理解してる. 司試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である. た,本教科は,機能物質を研究するための基礎と		
	画	行われた <単位値 <ある必 いる 目の と 題の を に る の を る の を も の も の も も ろ も ろ り る ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ	減値の評価方法および評価基準>後期中間	ること。 引は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま 復習(中間試験,定其 総計が,45時間に相当 ることが重要である。ま)(重積分を含む)三角関数,指数関数を理解して る。 試験のための学習も含む)及び適時与える演習問		
	画	行	議員の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 終刊を件>学業成績で60点以上を取得する Nじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 是であり,無機化学や量子化学の知識がは 学習>授業で保証する学習時間と,予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 外である。	ること. は、数学の微分・積5 あればより理解が深ま: 復習(中間試験,定其 総計が、45時間に相当 いことが重要である. ま	(重積分を含む)三角関数,指数関数を理解してる。 る. 引試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 た,本教科は,機能物質を研究するための基礎と		
	<u>画</u>	行 <	議員の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 終刊条件>学業成績で60点以上を取得する いじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識が を習>授業で保証する学習時間と、予習・ ボート作成に必要な標準的な学習時間の 数式の背景にある物理的意味を理解する 料である。	ること. は、数学の微分・積5 あればより理解が深ま: 復習(中間試験,定其 総計が、45時間に相当 いことが重要である. ま)(重積分を含む)三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 た,本教科は,機能物質を研究するための基礎と との到達目標 を電子原子の量子数が分かる。		
	曲	行くのでは、 行くのでは、 行りができる。 日のできる。 日できる。 日でも。 	議員の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 終得条件>学業成績で60点以上を取得する いじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識が を習>授業で保証する学習時間と,予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 外である。 授業内容 多電子原子と量子数	ること、 は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま 復習(中間試験,定其 総計が、45時間に相当 ことが重要である。 週ご)(重積分を含む)三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 た,本教科は,機能物質を研究するための基礎と との到達目標 を電子原子の量子数が分かる。		
	画	行くいく題	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 終得条件>学業成績で60点以上を取得する かじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識が を習>授業で保証する学習時間と,予習・ 間>授業で保証する学習時間と,予習・ であている要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 対である。 授業内容 多電子原子と量子数 多電子原子と量子数	ること、 (は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま 復習(中間試験,定其 総計が、45時間に相当 ることが重要である。 週ご 1.3 上記 2.6	(重積分を含む) 三角関数, 指数関数を理解してる。 引試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問する学習内容である。 また, 本教科は, 機能物質を研究するための基礎と との到達目標 予電子原子の量子数が分かる。		
	画 1stQ	行 くいく題 に が といく の に の の で の で の の で の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の<	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 終得条件>学業成績で60点以上を取得する 心必要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識が を習>授業で保証する学習時間と,予習・ 者と関係で表面を関係をである。 を関係している。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子	ること、 は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま、 復習(中間試験、定其 総計が、45時間に相当 ことが重要である。 a	(重積分を含む) 三角関数, 指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問する学習内容である。 だた, 本教科は, 機能物質を研究するための基礎と との到達目標 空電子原子の量子数が分かる。 1 弦気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 話晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャル		
		で イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 終得条件>学業成績で60点以上を取得する かじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識がる と習>授業で保証する学習時間と,予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 対である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル	ること、 は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま。 復習(中間試験、定其 総計が、45時間に相当 こことが重要である。 a	(重積分を含む) 三角関数, 指数関数を理解してる。 る. 目試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問する学習内容である。 たた, 本教科は, 機能物質を研究するための基礎と との到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。		
		行< に付けるに付けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対けるに対ける<!--</td--><td>議員の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 等得条件>学業成績で60点以上を取得する いじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識がは 学習>授業で保証する学習時間と,予習・ ボート作成に必要な標準的な学習時間の終 教式の背景にある物理的意味を理解する 斗である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル</td><td>ること、 は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま。 復習(中間試験,定其 総計が、45時間に相当 ることが重要である。 1 1. 多 上記 2. 優子のエネルギー状 3. d 4. 糸 が分</td><td>(重積分を含む) 三角関数, 指数関数を理解してる。 る. 目試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問する学習内容である。 たた, 本教科は, 機能物質を研究するための基礎と との到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。</td>	議員の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 等得条件>学業成績で60点以上を取得する いじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識がは 学習>授業で保証する学習時間と,予習・ ボート作成に必要な標準的な学習時間の終 教式の背景にある物理的意味を理解する 斗である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル	ること、 は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま。 復習(中間試験,定其 総計が、45時間に相当 ることが重要である。 1 1. 多 上記 2. 優子のエネルギー状 3. d 4. 糸 が分	(重積分を含む) 三角関数, 指数関数を理解してる。 る. 目試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問する学習内容である。 たた, 本教科は, 機能物質を研究するための基礎と との到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。		
受業計		行 < vu < 題 < が は が は か は が は か は か は か は か は か は か は	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 終得条件>学業成績で60点以上を取得する 心必要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり,無機化学や量子化学の知識がる と習>授業で保証する学習時間と,予習・ は一、ではに必要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 対である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子 態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル 摂動法	ること、 はは、数学の微分・積分 あればより理解が深ま。 復習(中間試験,定其 総計が、45時間に相当 ることが重要である。 す 1. 多 上記 2. 極 のエネルギー状 3. d 4. 糸 が分 レ 上記 5. 糸 めら	(重積分を含む) 三角関数, 指数関数を理解してる。 る. 別試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問する学習内容である。 だた, 本教科は, 機能物質を研究するための基礎と との到達目標 の電子原子の量子数が分かる。 1 2気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 ・ 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーがすれる。		
受業計		では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	議員の評価方法および評価基準>後期中間 はい、 を得条件>学業成績で60点以上を取得する かじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり,無機化学や量子化学の知識がる き習>授業で保証する学習時間と,予習・ ボート作成に必要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 斗である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル 括晶場理論と8面体配位のポテンシャル 提動法 中間試験	ること、 はは、数学の微分・積分 あればより理解が深ま。 復習(中間試験、定其 総計が、45時間に相当 ることが重要である。 記 1. 多 上記 2. 敬 2. 敬 2. 敬 2. 敬 2. 敬 2. 私 2. 私 5. よ からことが 上記 とが 上記	(重積分を含む) 三角関数, 指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問する学習内容である。 また, 本教科は, 機能物質を研究するための基礎と との到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーがあれる。 1, 2, 3, 4		
受業計		Total Control Cont	議員の評価方法および評価基準>後期中間 はい、 等得条件>学業成績で60点以上を取得する いじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識がな 学習>授業で保証する学習時間と,予習・ ボート作成に必要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 斗である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル 括晶場理論と8面体配位のポテンシャル 摂動法 中間試験 摂動法	ること、 (は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま。 復習(中間試験、定其 総計が、45時間に相当 ることが重要である。 1.多 上記 2. 例 2. 例 4. 糸分 レ 上記 上記 上記	(重積分を含む) 三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 また,本教科は,機能物質を研究するための基礎と との到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 弦気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーがあれる。 1,2,3,4		
受業計		行 v v v v b u v v v v b u v v v v v v v v	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい、 等得条件>学業成績で60点以上を取得する いじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識がる 達習>授業で保証する学習時間と、予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の系 教式の背景にある物理的意味を理解する 斗である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャリ 摂動法 中間試験 摂動法 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ	ること、 (は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま。 復習(中間試験,定其 総計が、45時間に相当 ことが重要である。する 1.3 上記 2. 値 4. 糸分 し 上記 ルギー 上記	(重積分を含む) 三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 また,本教科は,機能物質を研究するための基礎と との到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 弦気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーがあれる。 1,2,3,4		
受業計		Total Control Cont	議員の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 経験性>学業成績で60点以上を取得する かじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識がる と習>授業で保証する学習時間と,予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 学である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル 摂動法 特晶場理論と8面体配位ののポテンシャル 長動法 結晶場理論と8面体配位のの電子の工名 結晶場理論と8面体配位のの電子の工名 結晶場理論と8面体配位のの電子の工名	ること、 (は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま。 復習(中間試験,定其 総計が、45時間に相当 にことが重要である。する 1.3 上記 2. 位 とのエネルギー状 3. d 4. 糸分 し 上記 ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー	(重積分を含む) 三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 たた、本教科は、機能物質を研究するための基礎といる。 との到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 弦気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャリかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーが変れる。 1,2,3,4 5 5 5		
受業計		行くくいく題くな 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 経験性>学業成績で60点以上を取得する 心め要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識がる と習>授業で保証する学習時間と,予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の終数式の背景にある物理的意味を理解する 学である。 授業内容 多電子原子と量子数 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル 摂動法 特晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ	ること、 (は、数学の微分・積分 あればより理解が深ま 復習(中間試験、定其 総計が、45時間に相当 のことが重要である。 1. 多 上記 2. 敬 2. 敬 とが 上記 ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー	(重積分を含む) 三角関数, 指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問する学習内容である。 また, 本教科は, 機能物質を研究するための基礎と との到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 技気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 は晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 は晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーがあれる。 1, 2, 3, 4 5 5		
受業計	1stQ	Total Control Cont	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 経験性>学業成績で60点以上を取得する 心め要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり,無機化学や量子化学の知識がる と習>授業で保証する学習時間と,予習・ 状力である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子 態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャリ 持動法 特晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ	ること、 はは、数学の微分・積分 あればより理解が深ま。 復習(中間試験、定其 総計が、45時間に相当 ることが重要である。 3 1. 多 上記 のエネルギー状 3. d 4. 糸分 上記 ルレ 上記 ルギー 上記 ルギー 上記 ルギー 上記 ルギー 上記	(重積分を含む) 三角関数, 指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問する学習内容である。 また, 本教科は, 機能物質を研究するための基礎ととの到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 諸晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーが変れる。 1, 2, 3, 4 5 5 5 5		
受業計	1stQ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 経験性>学業成績で60点以上を取得する 心め要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり,無機化学や量子化学の知識がる と習>授業で保証する学習時間と,予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 対である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル 技動法 特晶場理論と8面体配位のポテンシャル 長動法 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ	ること、 はは、数学の微分・積5 あればより理解が深ま 復習(中間試験、定其 総計が、45時間に相当 ることが重要である。 1.3 上記 2. 極 2. 極 2. を かし 上記 ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー	(重積分を含む) 三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 また,本教科は,機能物質を研究するための基礎と との到達目標 多電子原子の量子数が分かる。 1 弦気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーがあれる。 1,2,3,4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		
授業計	1stQ	To a control of the control of t	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 経験性>学業成績で60点以上を取得する 心め要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり,無機化学や量子化学の知識がる と習>授業で保証する学習時間と,予習・ 状力である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子 態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャリ 持動法 特晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ	ること、 はは、数学の微分・積5 あればより理解が深ま 復習(中間試験、定其 総計が、45時間に相当 ることが重要である。 1.3 上記 2. 極 2. 極 2. を かし 上記 ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー	(重積分を含む) 三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 また、本教科は、機能物質を研究するための基礎と との到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 弦気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーがされる。 1,2,3,4 5 5 5 5 5		
授業計	1stQ 2ndQ	行	議会の評価方法および評価基準>後期中間 はい、 等得条件>学業成績で60点以上を取得する いじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識がは 達習>授業で保証する学習時間と、予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の終 教式の背景にある物理的意味を理解する 斗である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子 態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャリ 摂動法 中間試験 摂動法 中間試験 摂動法 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ	ること、 はは、数学の微分・積5 あればより理解が深ま 復習(中間試験、定其 総計が、45時間に相当 ることが重要である。 1.3 上記 2. 極 2. 極 2. を かし 上記 ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー	(重積分を含む) 三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 また、本教科は、機能物質を研究するための基礎と との到達目標 多電子原子の量子数が分かる。 1 弦気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーがおれる。 1,2,3,4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		
授業計	1stQ 2ndQ	行	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 経験性>学業成績で60点以上を取得する 心め要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり,無機化学や量子化学の知識がる と習>授業で保証する学習時間と,予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 対である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャル 技動法 特晶場理論と8面体配位のポテンシャル 長動法 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ	ること、 はは、数学の微分・積5 あればより理解が深ま 復習(中間試験、定其 総計が、45時間に相当 ることが重要である。 1.3 上記 2. 極 2. 極 2. を かし 上記 ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー ルギー	(重積分を含む) 三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 また、本教科は、機能物質を研究するための基礎と との到達目標 多電子原子の量子数が分かる。 1 弦気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーがおれる。 1,2,3,4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		
注意点 授 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1stQ 2ndQ	行	議会の評価方法および評価基準>後期中間 はい、 等得条件>学業成績で60点以上を取得する いじめ要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識がは 達習>授業で保証する学習時間と、予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の終 教式の背景にある物理的意味を理解する 斗である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子 態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャリ 摂動法 中間試験 摂動法 中間試験 摂動法 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のd電子のエネ	ること、 (は、数学の微分・積分 (は、数学の微分・では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、ないでは、では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	(重積分を含む) 三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 また、本教科は、機能物質を研究するための基礎と との到達目標 多電子原子の量子数が分かる。 1 弦気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーがおれる。 1,2,3,4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		
受業計	1stQ 2ndQ	Total Control Cont	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 をいいの要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識がる と習>授業で保証する学習時間と、予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 学である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子 態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャリ 摂動法 結晶場理論と8面体配位ののポテンシャリ 摂動法 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ	ること、 (は、数学の微分・積分 (は、数学の微分・では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、ないでは、では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	(重積分を含む) 三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む)及び適時与える演習問する学習内容である。 また,本教科は,機能物質を研究するための基礎と をの到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 技気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 結晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャリかる。 4 結晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーが変れる。 1,2,3,4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		
受業計	1stQ 2ndQ	Total Control Cont	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい。 をいいの要求される基礎知識の範囲>本教科 要であり、無機化学や量子化学の知識がる と習>授業で保証する学習時間と、予習・ ポート作成に必要な標準的な学習時間の終 数式の背景にある物理的意味を理解する 学である。 授業内容 多電子原子と量子数 電子スピンと磁気特性 多面体配位した遷移金属イオンのd電子 態 結晶場理論と8面体配位のポテンシャリ 摂動法 結晶場理論と8面体配位ののポテンシャリ 摂動法 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ 結晶場理論と8面体配位のの電子のエネ	ること、 (は、数学の微分・積分 (は、数学の微分・では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、ないでは、では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	(重積分を含む) 三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問する学習内容である。 また,本教科は,機能物質を研究するための基礎と との到達目標 空電子原子の量子数が分かる。 1 弦気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
受業計	1stQ 2ndQ コアカリ=	Total Control Cont	議の評価方法および評価基準>後期中間 はい に	ること、 (は、数学の微分・積分 (は、数学の微分・では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、ないでは、では、 (を) では、数学の微分・では、 (を) では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	(重積分を含む) 三角関数,指数関数を理解してる。 記試験のための学習も含む) 及び適時与える演習問する学習内容である。 また,本教科は,機能物質を研究するための基礎と をの到達目標 を電子原子の量子数が分かる。 1 対気特性の発現原因を理解できる。 電子のエネルギーを理解できる。 は晶場理論から8面体配位したd電子のポテンシャルかる。 4 は晶場理論から8面体配位のd電子のエネルギーが引れる。 1,2,3,4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		

鈴鹿工業高等専	鈴鹿工業高等専門学校		令和02年度 (2	2020年度)	授業科目	英語総合 Ⅱ		
科目基礎情報								
科目番号	0053			科目区分	一般 / 必	修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	数 学修単位	:: 1		
開設学科	総合イノベー ス)	ション工学専攻	ζ(環境・資源コー	対象学年	専2			
開設期	前期			週時間数	1	1		
教科書 : Julius Caesar (Cambridge School Shakespeare) (英語) ペーパーバック Richard Andrews (編集), Rex Gibson (編集), その他								
担当教員 松尾 江津子								
지수다 표		·			·			

到達日標

1. 【英語運用能力の基礎固め:英語コミュニケーション】

母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(繰り返しや相槌、ジェスチャー、アイコンタクトなどのボディランゲージ)を適切に用いながら、積極的にコミュニケーションを図ることができる。また、日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができ、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりである文章を英語で書くことができる。
2. 【英語運用能力向上のための学習:英語コミュニケーション】 100語程度のまとまりの

き換えるものとする。

2. 【央語連用能力向上のための学習:英語コミュニケーション】 自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聴き取ることができる。関心のあるトピックや自分の専門分野での英語を使う場面(プレゼンテーション、ディスカッションやディベートなど)を想定して、学生自らが準備活動や情報収集を行い、母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもちながら、主体的な態度で教室内外での日常的な質問や応答など英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。また、関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。 3. 【グローバリゼーション・異文化多文化理解】 それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と思連付けて説明に、解釈できる。

それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明し、解釈できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取り、その内容の把握を他に適用することができる。	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取り、その内容を把握することができる。	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取り、その内容を把握することができない。
評価項目 2	関心のあるトピックや自分の専門 分野に関する論文やマニュアルな どの概要を把握し、必要な情報を 読み取り、その内容の把握を他に 適用することができる。	関心のあるトピックや自分の専門 分野に関する論文やマニュアルな どの概要を把握し、必要な情報を 読み取り、その内容を把握するこ とができる。	関心のあるトピックや自分の専門 分野に関する論文やマニュアルな どの概要を把握し、必要な情報を 読み取り、その内容を把握するこ とができない。
評価項目 3	それぞれの国の文化や歴史に敬意 を払い、その違いを受け入れる寛 容さが必要であることを認識しな がら、その国の生活習慣や宗教的 信条、価値観などの基本的な事象 を自分たちの文化と関連付けて説 明、解釈の適用ができる。	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事家を自分たちの文化と関連付けて説明し、解釈できる。	それぞれの国の文化や歴史に敬意 を払い、その違いを受け入れる寛 容さが必要であることを認識しな がら、その国の生活習慣や宗教的 信条、価値観などの基本的な事象 を自分たちの文化と関連付けて説 明も、解釈もできない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

英語 I ~ V で学習した英語力を活用し、より高度な英語のリーディング力を養うことを目指す。具体的には、William Shakespeare のJulius Caesar を精読することで、読解力の向上、文法事項・語彙・慣用表現などの知識の強化をねらいとする。また、英文を理解し内容を楽しむと同時に、その文章を生み出した歴史や文化、社会について学び、教養を身に付けることを目的とする。テキストは、Cambridge School Shakespeare という学生向けのテキストを使用する。シェイクスピアの原文はそのまま書き換えなしのノーカットで右ページに、左ページには語の簡単な注釈や、劇のテーマ、作品理解へのヒントとなる解説などが英語で書かれている。科学・技術を研究する本校の学生にも、イギリスの歴史や文化、レトリックを学び、かつ今や全世界で各地の歴史風土と結びつき、"グローカル"な変化を遂げているシェイクスピア劇の教養を身に付け、世界に羽ばたいてほしい。 概要

授業の進め方・方法

・すべての内容は, 学習・教育目標(A) <視野> [JABEE基準1(2)(a)] 及び(C) <英語> [JABEE基準1(2)(f)] に

「授業計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする.

・<到達目標の評価方法と基準>「授業計画」の「到達目標」 $1\sim6$ の習得の度合いを中間試験、定期試験、 ・ (学業成績の評価方法と基準) 「対議: 10 「到達日標」「100日時の度日では中間記録、た知記録、「70人下、 課題により評価する、評価における「知識・能力」の重みの目安は1~5を90%。6を10%とする、試験問題や課題の レベルは、百点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。 ・ <学業成績の評価方法および評価基準>中間、期末の2回の試験の平均点を70%とし、小テスト及びその他課題(発表を含む)等の評価を30%とし、その合計点で評価する。ただし、各定期試験で60点に達していない者には再試験を課すこともあり、再試験の成績が本試験の成績を上回った場合には、60点を上限としてその試験の成績を再試験の成績で置

注意点

き換えるものとする。
・<単位修得要件>学業成績で60点以上を取得すること。
・<単位修得要件>学業成績で60点以上を取得すること。
・<あらかじめ要求される基礎知識の範囲>TOEIC 400点程度、COCET2600終了程度の語彙知識。
・<レポート等>授業に関連した小テスト及び課題(レポート等)を課す。
・<備考>授業は輪読、及び発表形式で行い、ブレイリーディングを行うことも検討する。毎回の予賞
文を辞書を引いて読んでくること。授業には必ずテキストと英和辞典(電子辞書可)を用意すること _毎回の予習は、テキストの英

授業計画

 大术们口							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	序論(授業の進め方、勉強の仕方、評価方法)	授業の進め方を理解できる.			

		2週	Julius Caesar Act 1		2.作品および解析 び慣用表現おび解析 3.作品および解析 て,適切な表現で 4.作品の 5.作品および解析 5.作品およびの 6.作品および解析 6.作品および解析 6.作品および解析	でのテーマを理解できる。 税に使われる単語・熟語の意味およできる。 の内容に関する英語の問いに対し 多えることができる。 Eしい発音で音読することができる 税に含まれる語法、英語表現のいく 別な英語表現ができる。 りにおける議論を自分の問題として 見を持ち、表明することができる。	
		3週	Julius Caesar Act 1		上記1~6		
		4週	Julius Caesar Act 1		上記1~6		
		5週	Julius Caesar Act 2		上記1~6		
		6週	Julius Caesar Act 2		上記1~6		
		7週	Julius Caesar Act 3		上記1~6		
		8週	中間試験		上記 1~6		
		9週	中間試験の解答解説		上記1~6		
		10週	Julius Caesar Act 3		上記1~6		
		11週	Julius Caesar Act 3		上記1~6		
	2ndQ	12週	Julius Caesar Act 4		上記1~6		
	Znaq	13週	Julius Caesar Act 4		上記1~6		
		14週	Julius Caesar Act 5		上記1~6		
		15週	Julius Caesar Act 5		上記1~6		
		16週					
モデルコ	アカリキ	ユラムの	学習内容と到達目標				
分類		分野	学習内容 学習内容の到達目標	## 		到達レベル 授業週	
評価割合							
	·	·	定期試験	小テスト・課題		合計	
総合評価割	合		70	0		70	
配点			70	3 0		70	

鈴鹿工業高等		開講年度	令和02年度 (2	2020年度)	授業科目	技術英語Ⅱ
科目基礎情報	7 1 117 1X		XI+20Hrti	2020十汉)		以例入品品
科目番号	0054			科目区分	一般 / !	以修
授業形態	授業			単位の種別と単位		
開設学科		・ション工学専攻	ズ(環境・資源コー		専2	<u>u. 1</u>
開設期	後期			週時間数	1	
教科書/教材		its downloaded	d from Internet fi	le storage. 2. Mate	-	outed in class.
担当教員	Lawson Mich					
到達目標						
The objective of this	course is to in	ncrease the sti	ıdents' ability to	give an advanced-l	evel oral pre	esentation in English.
ルーブリック		10. 0000 0.10 000	<u> </u>	<u> </u>	0.0.0.0.p.c	20011641011 111 2119110111
<i>N</i> 2222	Ŧ		ベルの日安	標準的な到達レベル	11.の日安	未到達レベルの目安
評価項目1	これ二科十七二で調をできる	うとは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	やも、 を 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	母うやこう という はいかっこ はいかっこ とり はいから でいるに シェスボ なっ 日 自 を 日 とり	ち基(面ュ相ク適ユな関係のコレンタをミきない。 とすいな用いなヨスボがらをこうとは、アゲ極のといるでは、アゲーのにでいるでは、アゲーのにでいるでは、アゲーのとがには、アゲーのとがには、アゲーのとがでは、アゲーのとがでは、アゲーのとがでは、アゲーのとがでは、アゲーのとがでは、アゲーのとがでは、アゲーのとができる。 して、アゲーのにででは、アゲーのに、アゲーのに、アゲーのにでいな。では、アゲーのにででは、アゲーのにでは、アゲーのに、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは、アゲーのは
評価項目2		自分野などの事門分野などの事門分野などの事門分野などの事門分野などの事所のある分別できる。 自分の事門分野などの多事柄にの語となる事が見話など、根表では、大学は、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学に、大学に、大学に、大きの事プレン・プラーン・グラーン・グラーン・グラーン・グラーン・グラーン・グラーン・グラーン・グ		自分の専門分野などの表面を対して、 自分の内容や対話などの表面を対して、 自力の内容を対して、 自力の内容を対して、 自力の内容を対して、 自力の内容を対して、 自力の内容を対して、 自力の内容を対して、 をでして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、		す程し 専レヨて集をがの円こるの度が、
評価項目3	を 名 た 作 そ 氏	を払い, その違(容さが必要である がら, その国の 言条, 価値観な	文化や歴史に敬意いを受け入れる寛まとを記させることを認識しな生活習慣やのな事象とのと見連付けて説ができる。	それぞれの国の文代を払い、その違いをさが必要であるが必要の国の生信 信義分析をあるがら、 価値観などを自分たちの文化明し、解釈できる。	を受け入れる〕 ことを認識した 話習慣や宗教に の基本的な事態と関連付けて	寛 を払い、その違いを受け入れる寛な 容さが必要であることを認識しなり がら、その国の生活習慣や宗教的 信条、価値観などの基本的な事象
学科の到達目標項	目との関係					
教育方法等						
概要	English-lang PowerPoint	Juage presenta slide transitior	ation skill by focu: n, the use of elect	sing on group coop cronic mail as a too	eration, scri I for revision	er to further develop students' pt/PowerPoint file coordination, and development, and advanced rization and speaker transition.
授業の進め方・方法	1			ning and education	al goals (C)	<english> (JABEE Standard 1(1)f)</english>
注意点	Students' Er given on the earned 60% <学業成績の Students are understandi classroom. F grade—for e <単位修得要 Students mu <あらかじめ A good comability to cor <レポートな PowerPoint の PowerPoint < 備考>	e 15th week of of the total p of the total p im 方法および e required to g ng of the cour failure to mee each infraction 件> ust obtain at le要求される基礎mand of basic nverse in Engli ど> Students updates. Studocuments.	sentation ability verticals. Students ooints possible which is sent at the deadlines for the deadlin	will have attained to ich includes the 1 ' entation". The total cluding classroom or these assignment otal possible points a practical level of prough their first fix kly assignments, sid to obtain an ema	the goal of the Main" presed I time necessitime and stutes will result in order to reading and ye years at Such as, topic	sary for students to acquire an idy/presentation time outside of the in a 10% reduction of the final receive 1 credit.
	You may contact me at: lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp.					

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
		1週	Assign students to small groups. Introduce course/Assign Main Presentation topic selection. Discuss the theoretical and practical use of email exchange as a tool for revision and development.	Students will learn about Main Presentation topic selection. Discuss the theoretical and practical use of email exchange as a tool for revision and development.
		2週	Discuss group cooperation techniques for outline creation. Assign Outline draft 1. Groups submit 1st draft outlines to the teacher via email attachment. Teacher notes areas for improvement.	1. To learn group cooperation through an analysis of group selection techniques and an in-class lecture regarding the importance of teamwork. 2. To acquire script/PowerPoint file coordination and PowerPoint slide transition skill through lectures and practical application as they create effective presentations. 3. To learn advanced script and PowerPoint revision techniques through lectures and electronic mail exchange with the teacher. 4. To develop advanced practical presentation techniques by being required to memorize scripts and by focusing on physical aesthetics, such as smooth speaker transition. 5. To further improve their ability to give an effective English-language oral presentation with the use of PowerPoints.
	3rdQ	3週	Discuss how 1st draft outlines can be improved. Groups submit 2nd draft outlines to the teacher via email attachment. Teacher notes areas for improvement.	$1{\sim}5$ listed above.
		4週	Class time is spent discussing how the 2nd draft outlines can be improved. Groups submit 3rd draft outlines to the teacher via email attachment. Teacher notes areas for improvement.	$1{\sim}5$ listed above.
		5週	Class time is spent discussing how the 3rd draft outlines can be improved. Groups submit 4th draft outlines to the teacher via email attachment. Teacher notes areas for improvement.	$1{\sim}5$ listed above.
		6週	Class time is spent discussing how the 4th draft outlines can be improved. Groups submit final draft outlines to the teacher via email attachment. Teacher makes final improvements on the outlines.	$1{\sim}5$ listed above.
後期		7週	Discuss group cooperation techniques for PowerPoint creation, script/PowerPoint file coordination, and slide transition. Groups submit 1st draft PowerPoints to the teacher via email attachment. Teacher notes areas for improvement.	$1{\sim}5$ listed above.
		8週	Class time is spent discussing how the 1st draft PowerPoints can be improved. Groups submit 2nd draft PowerPoints to the teacher via email attachment. Teacher areas for improvement.	$1{\sim}5$ listed above.
		9週	Class time is spent discussing how the 2nd draft PowerPoints can be improved. Wednesday: Groups submit 3rd draft PowerPoints to the teacher via email attachment. Teacher notes areas for improvement.	$1{\sim}5$ listed above.
		10週	Class time is spent discussing how the 3rd draft PowerPoints can be improved. Wednesday: Groups submit fourth draft PowerPoints to the teacher via email attachment. Teacher notes areas for improvement.	$1{\sim}5$ listed above.
		11週	Class time is spent discussing how the 4th draft PowerPoints can be improved. Wednesday: Groups submit final draft PowerPoints to the teacher via email attachment. Teacher makes final improvements on the PowerPoints.	$1{\sim}5$ listed above.
	4thQ	12週	Discuss advanced presentation techniques such as complete script memorization and speaker transition. Groups practice their presentations using a computer and projector in the classroom while the teacher teaches presentation skills based on weaknesses observed during these practice sessions.	$1{\sim}5$ listed above.
		13週	Discuss advanced presentation techniques such as complete script memorization and speaker transition. Groups practice their presentations using a computer and projector in the classroom while the teacher teaches presentation skills based on weaknesses observed during these practice sessions.	$1{\sim}5$ listed above.
		14週	Discuss advanced presentation techniques such as complete script memorization and speaker transition. Groups practice their presentations using a computer and projector in the classroom while the teacher teaches presentation skills based on weaknesses observed during these practice sessions.	$1{\sim}5$ listed above.

		15週	Students make audio/visual ro	their presentations om and are judged l rs, guest judges, and	in the by native-	$1\sim5$ listed above.			
		13,65	English speake members of th	rs, guest judges, and e English departmen	d select it.	1~5 listed above.			
		16週							
モデルコ	アカリキ	ュラムの	学習内容と到	達目標					
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	票			到達レベル	授業週
評価割合									
			試験		課題		合計		
総合評価割	合		90		10		100		
配点			90		10		100		

鈴鹿工業高等専	 門学校	開講年度	令和02年度 (2	(020年度)	授業科目	言語表現学特論
科目基礎情報			,	,		
科目番号(0057			科目区分	一般/選	
授業形態				単位の種別と単位数	対 学修単位:	: 2
	総合イノベー ス)	ション工学専攻	(環境・資源コー	対象学年	専2	
開設期	後期			週時間数	2	
教科書/教材	教科書:「日	本近代文学選	増補版」(アイブし	 ノーン)参考書:「「	電子辞書」	
担当教員	石谷 春樹					
到達目標						
日本近代文学の中で,代表,日本近代文学に関する理	長的な作家の作 関解と認識を決	作品を中心に取り 深めることを目標	ン上げて,作品を分析 悪とする.	斤することを学び,作	品に込められた	作者の心情を読み味わうことにより
ルーブリック						
	Ŧ	里想的な到達レ/	ベルの目安	標準的な到達レベル		未到達レベルの目安
評価項目1			代表する作品の中 品の分析ができる	日本近代文学を代表する作品の中 で、基本的な作品の分析ができる		日本近代文学を代表する作品の中で、基本的な作品の分析ができない.
評価項目2				・ 基本的に作品中の作者の心情を読しみ味わうことができる。		基本的に作品中の作者の心情を読み味わうことができない.

基本的に日本近代文学に関する理 解と認識を深めることができる. 基本的に日本近代文学に関する理 解と認識を深めることができない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

評価項目3

概要	これまで学んできた国語の学習を基礎として、さらに、日本近代文学における代表的な作品の理解を深める. 具体的には、講義によって作品を丁寧に読み分析する方法を身につけ、研究発表によって問題解決能力の養成と表現力の向上を目指す. そのうえで、現代における文学の意義と言語表現の果たす役割ついて考えることを目標とする.
授業の進め方・方法	・すべての内容は学習・教育到達目標JABEE基準1(2)の(a)および(f),学習・教育到達目標(A)の〈視野〉および(C)の〈発表〉に対応する. ・全ての授業は講義・演習形式で行う. 授業中は集中して講義に耳を傾けること. ・授業計画における各週の「到達目標」は,この授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする.
注意点	〈到達目標の評価方法と基準〉下記授業計画の「到達目標」1~6を網羅した問題を,定期試験と研究発表・レポート等で出題し,目標の達成度を評価する。達成度評価における各到達目標の重みは概ね均等とする。合計点の60%の得点で,目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。〈学業成績の評価方法および評価基準〉定期試験の結果を60%,研究発表の結果を20%,レポート等の結果を20%として,全体の平均値を最終評価とする。ただし,再試験を行わない。〈単位修得要件〉与えられた課題レポート等をすべて提出し,学業成績で60点以上を取得すること。〈あらかじめ要求される基礎知識の範囲〉近代文学を中心とした日本文学史の基礎知識。〈自己学習・レボートなど〉授業における学習時間と試験勉強を含めた予習及び復習,そして課題レポート準備に必要な標準的学習時間の総計が,90時間に相当する学習内容である。〈「備考」授業中は講義に集中し,内容に対して積極的に取り組むこと。出された課題は、期日を守って必ず提出・実施すること、文学は作者の表現した作品を読み、作者の気持ちを考えることである。そこで授業を通して、人の気持ちを考えることを大切にするため、他人に対する思いやりのある行動を心がけること。

応用的に日本近代文学に関する理 解と認識を深めることができる.

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	本授業の概要および学習内容の説明	1. 作品を一字一句丁寧に読み,作品を読解することができる。 2. さまざまな視点から作品の細部を分析し,自らが問題点を探し,その問題点について考察することができる。 3. 自らの問題点から結論を導く中で,これまでの研究史を把握したうえで,論理的な証明方法によって自分の意見を述べることができる。 4. 自らの作品解釈をもとにした研究成果を,発表することができる。 5. 研究発表において質疑応答などの討論を通して,相手の意見を理解し,自分の意見を伝えることができる。。また,討論を通して文学を学ぶ意義について考えることができる。。また,討論を通して,レポートを作成することができる。6. 研究発表を通して,レポートを作成することができる。
		2週	研究発表の具体例	上記1~6と同じ.
		3週	ごんぎつね (新美南吉)	上記1~6と同じ.
		4週	やまなし(宮沢賢治)	上記1~6と同じ.
		5週	羅生門(芥川龍之介)	上記1~6と同じ.
		6週	鼻(芥川龍之介)	上記1~6と同じ.
		7週	骨拾い (川端康成)	上記1~6と同じ.
		8週	伊豆の踊り子 (川端康成)	上記1~6と同じ.
	4thQ	9週	刺青(谷崎潤一郎)	上記1~6と同じ.
		10週	檸檬(梶井基次郎)	上記1~6と同じ.

	11週	城の単	奇にて (志賀道	亘哉)		上記1~6と同じ.		
	12週	セメン	ント樽の中の手	=紙(葉山重樹)		上記1~6と同じ.		
	13週	落下≨	ⓒ (金子光晴)			上記1~6と同じ.		
	14週	注文0	D多い料理店	(宮沢賢治)		上記1~6と同じ.		
	15週	まとぬ	b			これまで学んだことを復習 研究方法を自分の専門分野	して,文学を学 に生かすことが	が意義及び できる.
	16週							
モデルコア	'カリキュラ』	ムの学習	内容と到達	目標				
分類	分	野	学習内容	学習内容の到達目	·····································		到達レベル	授業週
評価割合								
		試験		課題	爭	表	合計	
総合評価割合		60		20	2	0	100	
配点		60		20	2	0	100	

鈴鹿	三二業高等	等專門学校	開講年度	令和02年度	(2020年度)	授業科目	海外語学実習 [
科目基礎		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1.13213 1 1.22	71-181-2	(==== + ,>=)	32021311				
<u>17口坐以</u> 科目番号	<u>М</u> †П1—	0058			科目区分	一般 / i	整択			
<u>170日7</u> 授業形態		実験・実習	2		単位の種別と単位					
開設学科				攻(環境・資源コ-		專2	Z. I			
 開設期		集中			週時間数					
////////////////////////////////////				: 海外語学実習の	1 1 2					
<u>3011日/30</u> 担当教員	(1/)	全学科 全			, JIC					
<u></u>	=	1 2 3 10 22								
現地での外	- 外国語環境	 との密接な接触 に,発表資料を		 的に活躍できる人 伝えられる.	として必要な資質と乳		を体得し,それらを日報や報告書にま			
ルーブリ	Jック									
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	1									
評価項目2	2									
評価項目3	3									
学科の至	到達目標」	項目との関(系							
		= 2231	-							
<u>教育カル</u> 概要	U TJ	海外におり	 \アグローバリ <i>ナ</i> \フ		カの向 トを図る					
TW.SZ			-			ドナバ (C) ノ	 英語>[JABEE基準1(2)(f) に対応する			
		・内合は,	子白・秋月封建は	∃(宗(A) \悦ヨ'/ [JADEE埜华I(2)(d)]d	D&O'(C) <	央語/[JADEC基準1(2)(I) に対応する			
		・「授業語・次の海外・次の海外・、報告書、 【実習プロ	†画」における各↓ ト語学実習対象プ[発表資料を作成し]グラム】鈴鹿工美	週の「到達目標」(コグラム(以下, 実 」,発表を行う. 業高等専門学校、イ	はこの授業で習得する 習プログラム), 内容 他の高等専門学校、国	5 「知識・能力」 および期間で 立高等専門学	に相当するものとする. 実務上の問題点と課題を体験し,日報 交機構及び営利団体又は公共団体等の			
授業の進め	め方・方法	期間か主催 会に諮りす 内容	筆する実習プログラ 《認を得るものとす	ラムとする。宮利は	団体乂は公共団体等の)機関か主催す	る実習プログラムの場合は、教務委員ち, 海外語学実習の目的にふさわしい			
		【日報】年	日以上15日以下 日日、日報を作成すること。 日本を作成すること。 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日							
							ミロック という			
注意点		マ ハママ マラ マ	「の評価方法およて 股告書かまび発表し 関告書とが発表し 関サスポートが でいめどマートのでは、 のというでは、 のというでは、 のとし、単位修約 でいるが、 のとし、単位修約 のとし、単位修約	バ評価基準 > 「海外 こより成績を評価。 『「可」以上を取構 壁知識の範囲 > 心得 好日,作成し,報 な副主任に提出する な副主任の関始するは 学実習をは当幺の 学実習をは当該学	する. 引すること. 引けること. 引ける間の厳守(10分前 言書と作成し,実習指 ううち,海外語で ううちには、海外語で 場合には、評定書を 手とする。評定書を最	準」に定められ 集合)、挨拶、 導責任者の様氏 あ目的にふさる と習の単位を含 と終日に受け取	に配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 「を受けて、実習終了後に、2年学生は 「表の準備をすること。 しい内容であること。 しい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場ったら、2年学生は専攻主任に1年学生			
				_·· +===/11 , / , /	メモ帳(手帳), 日報,	実習先から指定	定されている物, 評定書を持参すること			
₩₩₩	5 1				メモ帳(手帳),日報, 	美智先から指え	Eされている物,評定書を持参すること 			
授業計画	<u> </u>	. 油	平		×七帳(手帳), 日報,		Eされている物,評定書を持参すること			
授業計画		週 排	受業内容		×七帳(手帳),日報, 	週ごとの到達目 1. 国際的に活躍	Eされている物, 評定書を持参すること 標 壁できる人として必要な資質が分かり			
授業計画			受業内容		×七帳(手帳),日報, j	週ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得	だされている物, 評定書を持参すること 標 望できる人として必要な資質が分かり			
授業計画	国	1週 2週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, , , ,	周ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原	だされている物, 評定書を持参すること標 標 曜できる人として必要な資質が分かり できる. 紫覚が分かり, それらを体得できる.			
授業計画		1週 2週 3週	受業内容		×七帳(手帳), 日報,	<u> </u>	だされている物, 評定書を持参すること標 標 曜できる人として必要な資質が分かりできる. 感覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる.			
授業計画	1stQ	1週 2週 3週 4週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, , , , , ,	周ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 1. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 数覚が分かり, それらを体得できる. 全日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる.			
授業計画		1週 2週 3週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, , , , , ,	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 蒸覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
授業計画		1週 2週 3週 4週 5週 6週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, , , , , ,	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 蒸覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, , , , , ,	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 蒸覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, , , , , ,	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 薬覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, , , , , ,	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 薬覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, , , , , ,	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 薬覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, , , , , ,	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 薬覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, j	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 蒸覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
	1stQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, j	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 蒸覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
	1stQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, j	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 薬覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
	1stQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, j	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 薬覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
	1stQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, j	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 薬覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
授業計画 前期	1stQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, j	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 蒸覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
前期	1stQ 2ndQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 1週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, j	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 蒸覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
	1stQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15週 3週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, j	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 蒸覚が分かり, それらを体得できる. 全を日報にまとめることができる. 全を報告書にまとめることができる. 全を発表資料にすることができる.			
前期	1stQ 2ndQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 1週	受業内容		X 七帳(手帳), 日報, j	過ごとの到達目 1. 国際的に活路 それらを体得 2. 実践的国際原 3. 体得したこと 4. 体得したこと 5. 体得したこと	だされている物, 評定書を持参すること標理できる人として必要な資質が分かりできる. 数覚が分かり, それらを体得できる. 全日報にまとめることができる. 全報告書にまとめることができる.			

	6週							
	7週							
	8週							
	9週							
	10週							
	11週							
4+4-0	12週							
4thQ	13週							
	14週							
	15週							
	16週							
アカリキ	ニュラムの	学習内容と?	到達目標					
	分野						到達レベル	授業週
ì	•						•	
			海外語学実習成績評価基		슫	計		
恰			100		1	00		
			100		1	00		
		7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 アカリキュラムの 分野	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 アカリキュラムの学習内容と 分野 学習内容	7週 8週 9週 10週 11週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 アカリキュラムの学習内容と到達目標 学習内容の到達目標 学習内容の到達目標 100 第分語学実習成績評価を 100	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 アカリキュラムの学習内容と到達目標 学習内容 学習内容の到達目標 学習内容 学習内容の到達目標 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 7カリキュラムの学習内容と到達目標 学習内容の到達目標 学習内容の到達目標 常外語学実習成績評価基準 合	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 アカリキュラムの学習内容と到達目標 分野 学習内容の到達目標 分野 学習内容の到達目標 分野 学習内容の到達目標 合計 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 7カリキュラムの学習内容と到達目標 分野 学習内容の到達目標 対策 対策 対策 対策 対策 対策 対策 対

211121	11. 業局等	等門学校	開講年度	令和02年度	(2020年度)	授	業科目	海外語学実習 Ⅱ		
科目基礎			,							
<u>17 山坐り</u> 科目番号	~ II J⊤IX	0059			科目区分		 一般 / 選	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
授業形態		実験・実習	3		単位の種別と単位	立数	<u> </u>			
開設学科			<u>-</u> ベーション工学専兵	文(環境・資源]			専2	. 2		
 開設期		集中			週時間数					
<u>//i版//ii</u> 教科書/教				·海外語学実習の	1,					
担当教員	(1)/1	全学科 全		· /4/1111 J \ 1-V	אונ ניכ					
<u></u>		1 - 1 1 1 - 1 - 1								
現地での外	- 外国語環境	 との密接な接角 に,発表資料を		 的に活躍できる <i>。</i> 伝えられる.	人として必要な資質と	実践的国	国際感覚を	体得し,それらを日報や報告書にま		
ルーブリ	Jック									
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レ/	ベルの目	安	未到達レベルの目安		
評価項目1	1									
評価項目2	2									
評価項目3	3									
学科の発	到達目標」	項目との関係	 系							
<u>3 1 1 2 2 2</u> 教育方法		1/4//								
<u>教育ノル</u> 概要	ᅜᄀ	海从にも		1日昭を恙い話学台	 能力の向上を図る.					
W女			-			lお トァ゙	(C) / #	語>[JABEE基準1(2)(f) に対応する		
		.		` '						
		・次の海外 , 報告書, 【実習プロ	ト語学実習対象プ[発表資料を作成し]グラム】鈴鹿工賞	コグラム(以下, ! し, 発表を行う. 業高等専門学校、	実習プログラム), 内線 他の高等専門学校、	容および 国立高等	期間で実 等専門学校	に相当するものとする. 務上の問題点と課題を体験し、日報 機構及び営利団体又は公共団体等の		
授業の進め	め方・方法	期間か主催 会に諮りす 内容	質する実習プログラ く認を得るものとす	ラムとする。宮木 する。【内容】専	引団体乂は公共団体等の	の機関カ	^主催する	実習プログラムの場合は、教務委員 , 海外語学実習の目的にふさわしい		
		【日報】毎	6日以上23日以下 毎日、日報を作成すること。 毎外語学実習終了後に、報告書を作成し提出すること。 冬了後に課外語学実習発表会を開催するので、発表資料を作成し、発表準備を行うこと							
		び発表の項 <学業成績 日報 . 軒	9目を総合して評価	価する. 評価に対 が評価基準>「海	寸する達成目標の各項	目の重み	メは同じで	習状況, 実習態度, 日報, 報告書お。 ある. に配点に従って, 実習状況, 実習態度		
注意点		<あらかじ <レポート 専攻主任に <備考>専 学年末休業 合に限るも	要件>総合評価で め要求される基礎 など>日報は,毎5 1年学生は専攻 以科学生が参加出 鎖期間中に海外語等 5のとし、単位修行	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 得の学年は当該学	面する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し, 実習指 ること. 発外語学: のうち, 海外語学 5場合には、海外語学: 対場をできる。評定書をご	前集合), 貨導責任 発表資料 関の目の単 最終日に	挨拶, ま 者の検印: および発! にふさわ! ú位を含め ご受け取っ	られなど) を受けて,実習終了後に,2年学生は 表の準備をすること. しい内容であること. ること無く課程修了が認められる場 たら,2年学生は専攻主任に1年学生		
		<あらかじ <レポート 専攻主任に <備考>専 学年末休業 合に限るも	要件>総合評価で め要求される基礎 など>日報は,毎5 1年学生は専攻 以科学生が参加出 鎖期間中に海外語等 5のとし、単位修行	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 得の学年は当該学	面する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し, 実習指 ること. 発外語学: のうち, 海外語学 5場合には、海外語学: 対場をできる。評定書をご	前集合), 貨導責任 発表資料 関の目の単 最終日に	挨拶, ま 者の検印: および発! にふさわ! ú位を含め ご受け取っ	られなど) を受けて,実習終了後に,2年学生は 表の準備をすること. しい内容であること. ること無く課程修了が認められる場 たら,2年学生は専攻主任に1年学生		
	<u> </u>	マルカリー マルカリー マルカリー マルボー マルボー マルボー マルガラ マルガラ マルカ	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 ・ 1年学生は、専攻 ・ 1年学生が参加出 ・ 1年では、 ・ 1年では ・ 1年で ・ 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 得の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること.発表会用に予 のうち,海外語学等 3場合には、海外語学 メモ帳(手帳),日報,	前集合), 手導責任 発表資料 習の目 実習の単 最終日の 実習先	挨拶, ま者の検印のおいでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままままままままままま	が礼など) を受けて,実習終了後に,2年学生は 表の準備をすること。 しい内容であること。 ること無く課程修了が認められる場 たら,2年学生は専攻主任に1年学生 されている物,評定書を持参すること		
		マルカリー マルカリー マルカリー マルボー マルボー マルボー マルガラ マルガラ マルカ	要件>総合評価で め要求される基礎 など>日報は,毎5 1年学生は専攻 以科学生が参加出 鎖期間中に海外語等 5のとし、単位修行	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 得の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用にそ のうち,海外語学実習 5場合には、海外語学 メモ帳(手帳),日報,	前等導送表 (1) (任料的 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	挨拶、お 者のが発い およいで は位を はい を きかり が り り り り り り り り り り り り り り り り り り	が礼など) を受けて,実習終了後に,2年学生は 表の準備をすること。 い内容であること。 ること無く課程修了が認められる場 たら,2年学生は専攻主任に1年学生 されている物,評定書を持参すること		
	画	マール	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 ・ 1年学生は、専攻 ・ 1年学生が参加出 ・ 1年では、 ・ 1年では ・ 1年で ・ 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 得の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること.発表会用にそ のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 が場合には、海外語書を メモ帳(手帳),日報,	前集舎 計算責資料 引表 引 引 引 引 引 引 の は 表 い に 表 い り に 表 い り の は 表 い る り の り ま る と る ろ り り に り る り に り こ こ し こ り こ り こ り に り り り り り り り り り り り り り	挨拶、ま 者の検印で および発乳にふささり は位をり取っ でいた。 かり指定 の到達目標 のである。	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。 しい内容であること。 ること無く課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参すること まないる物,評定書を持参すること		
	国	マルカルトに マルカートに マルカート マリカート マリカート マリカート マリカート マリカート マリカート マリカート マリカート マリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカート フリカー フリカー フリカー フリカー フリカー フリカー フリカー フリカー	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 ・ 1年学生は、専攻 ・ 1年学生が参加出 ・ 1年では、 ・ 1年では ・ 1年で ・ 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 得の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること.発表会用にそ のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 が場合には、海外語書を メモ帳(手帳),日報,	前集青資料 合任料 高 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会	挨拶、お 者の様の およいさき にいさきの は位受けい で受ら が り の り に を は で り に で り に で り り に で り り り り り り り り り	が礼など) を受けて,実習終了後に,2年学生は 表の準備をすること。 しい内容であること。 ること無く課程修了が認められる場 たら,2年学生は専攻主任に1年学生 されている物,評定書を持参すること できる人として必要な資質が分かり できる。		
		マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 ・ 1年学生は、専攻 ・ 1年学生が参加出 ・ 1年では、 ・ 1年では ・ 1年で ・ 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 全 計 等 責 資 で で に に に に に に に に に に に に に	挨拶、は 者のように にいるされた にいるされた は位受けられて かりの の の の の の の の の の の の の の の の の の の	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。 しい内容であること。 しい内容であること。 さこと無く課程修了が認められる場 たら,2年学生は専攻主任に1年学生 されている物,評定書を持参すること できる人として必要な資質が分かり できる。 覚が分かり,それらを体得できる。 を日報にまとめることができる。		
	国 IstQ	マール である できます できます できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 で、1年学生は、専攻 攻科学生が参加出 期間中に海外語等 5のとし、単位修名 E任に提出すること	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍養養の 自責資目の自に が日本の自然を の目の自に には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	挨拶検発 者およいさ含い に位をける かりを 知りに体際 にが かりを りした した した した した した した した した した した した した し	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。 しい内容であること。 しい内容であること。 さること無く課程修了が認められる場 たら,2年学生は専攻主任に1年学生 されている物,評定書を持参すること できる人として必要な資質が分かり できる人として必要な資質が分かり できる人として必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり		
		マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 で、1年学生は、専攻 攻科学生が参加出 期間中に海外語等 5のとし、単位修名 E任に提出すること	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であること、まること無く課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 にきる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を報告書にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。		
		Control of the co	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 で、1年学生は、専攻 攻科学生が参加出 期間中に海外語等 5のとし、単位修名 E任に提出すること	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であることまく課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することができる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。を報告書にまとめることができる。		
授業計画		マース と	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 で、1年学生は、専攻 攻科学生が参加出 期間中に海外語等 5のとし、単位修名 E任に提出すること	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であること、まること無く課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 にきる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を報告書にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。		
授業計画		Control of the co	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 で、1年学生は、専攻 攻科学生が参加出 期間中に海外語等 5のとし、単位修名 E任に提出すること	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であることまく課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することができる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。を報告書にまとめることができる。		
授業計画		Control of the co	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 で、1年学生は、専攻 攻科学生が参加出 期間中に海外語等 5のとし、単位修名 E任に提出すること	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であることまく課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することができる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。を報告書にまとめることができる。		
授業計画		V	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 で、1年学生は、専攻 攻科学生が参加出 期間中に海外語等 5のとし、単位修名 E任に提出すること	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 育 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であることまく課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することができる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。を報告書にまとめることができる。		
授業計画		Control of the co	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 で、1年学生は、専攻 攻科学生が参加出 期間中に海外語等 5のとし、単位修名 E任に提出すること	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 育 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であることまく課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することができる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。を報告書にまとめることができる。		
授業計画		V	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 で、1年学生は、専攻 攻科学生が参加出 期間中に海外語等 5のとし、単位修名 E任に提出すること	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 育 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であること、まること無く課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 にきる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を報告書にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。		
授業計画	1stQ	V	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 で、1年学生は、専攻 攻科学生が参加出 期間中に海外語等 5のとし、単位修名 E任に提出すること	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 育 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であること、まること無く課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することできる人として必要な資質が分かりできる。 にきる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。 を報告書にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。		
授業計画	1stQ	V	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 ・ 1年学生は、専攻 ・ 1年学生が参加出 ・ 1年では、 ・ 1年では ・ 1年で ・ 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 育 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であることまく課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することができる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。を報告書にまとめることができる。		
授業計画	1stQ	V	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 ・ 1年学生は、専攻 ・ 1年学生が参加出 ・ 1年では、 ・ 1年では ・ 1年で ・ 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 育 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。 しい内容であること。 しい内容であること。 さこと無く課程修了が認められる場 たら,2年学生は専攻主任に1年学生 されている物,評定書を持参すること 変きる人として必要な資質が分かり できる。 見が分かり,それらを体得できる。 を報告書にまとめることができる。 を発表資料にすることができる。		
授業計画	1stQ	V	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 ・ 1年学生は、専攻 ・ 1年学生が参加出 ・ 1年では、 ・ 1年では ・ 1年で ・ 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 育 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であることまく課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することができる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。を報告書にまとめることができる。		
授業計画	1stQ	V	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 ・ 1年学生は、専攻 ・ 1年学生が参加出 ・ 1年では、 ・ 1年では ・ 1年で ・ 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 育 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であることまく課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することができる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。を報告書にまとめることができる。		
<u>授業計</u>	1stQ 2ndQ	V- Paragraph Paragraph	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 ・ 1年学生は、専攻 ・ 1年学生が参加出 ・ 1年では、 ・ 1年では ・ 1年で ・ 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 育 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であることまく課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することができる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。を報告書にまとめることができる。		
<u>授業計</u>	1stQ	V 中 V 学合は . 週 1 50 ポ主考末限攻 らポ主考末限攻 (50 ポ主考末限攻) 1 1 50 週 週 週 月 月 週 週 月 月 週 月 月 月 月 月 月 月 月 月	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 ・ 1年学生は、専攻 ・ 1年学生が参加出 ・ 1年では、 ・ 1年では ・ 1年で ・ 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 育 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。しい内容であること。しい内容であることまく課程修了が認められる場たら,2年学生は専攻主任に1年学生されている物,評定書を持参することができる人として必要な資質が分かりできる。 を日報にまとめることができる。を報告書にまとめることができる。		
注意点	1stQ 2ndQ	V- Paragraph Paragraph	要件>総合評価で め要求されるよ を > 日報は、専攻 ・ 1年学生は、専攻 ・ 1年学生が参加出 ・ 1年では、 ・ 1年では ・ 1年で ・ 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で 1年で	『「可」以上を取 歴知識の範囲 > 心 毎日、作成し、報 は副主任にログラム は来るプロリカする 学実習を開始する 学の学年は当該学	画する. 得すること. 得(時間の厳守(10分前 告書も作成し,実習指 ること. 発表会用に多 のうち,海外語学実習 が場合には、海外語学 学年とする。評定書を メモ帳(手帳), 日報,	前籍 育 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 の 四 図 の 四 図 の と し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	挨の 接のよびさきない 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が礼など)を受けて,実習終了後に,2年学生は表の準備をすること。 しい内容であること。 しい内容であること。 さこと無く課程修了が認められる場 たら,2年学生は専攻主任に1年学生 されている物,評定書を持参すること できる人として必要な資質が分かり できる人として必要な資質が分かり できる人として必要な資質が分かり できる人として必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり できるとして必要な資質が分かり できるともできる。		

	6週							
	7週							
	8週							
	9週							
	10週							
	11週							
4+4-0	12週							
4thQ	13週							
	14週							
	15週							
	16週							
アカリキ	ニュラムの	学習内容と?	到達目標					
	分野						到達レベル	授業週
ì	•						•	
			海外語学実習成績評価基		슫	計		
恰			100		1	00		
			100		1	00		
		7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 アカリキュラムの 分野	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 アカリキュラムの学習内容と 分野 学習内容	7週 8週 9週 10週 11週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 アカリキュラムの学習内容と到達目標 学習内容の到達目標 学習内容の到達目標 100 第分語学実習成績評価を 100	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 アカリキュラムの学習内容と到達目標 学習内容 学習内容の到達目標 学習内容 学習内容の到達目標 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 7カリキュラムの学習内容と到達目標 学習内容の到達目標 学習内容の到達目標 常外語学実習成績評価基準 合	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 アカリキュラムの学習内容と到達目標 分野 学習内容の到達目標 分野 学習内容の到達目標 分野 学習内容の到達目標 合計 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 7カリキュラムの学習内容と到達目標 分野 学習内容の到達目標 対策 対策 対策 対策 対策 対策 対策 対

	2上業局等	專門学校	開講年度	令和02年度(2	2020年度)	授業科目	海外語学実習Ⅲ			
科目基礎		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1.13213 1.12	11-12-1-2 (-		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
科目番号	~117TK	0060			科目区分	一般 /	選択			
授業形態		実験・実	習		単位の種別と単					
開設学科			ー ベーション工学専攻	又(環境・資源コー	対象学年	専2	12.			
開設期		集中			週時間数					
教科書/教	 (材	教科書:		海外語学実習の手		•				
担当教員		全学科 全								
到達目標	<u> </u>	1								
現地での名	外国語環境。	との密接な接 に 発表資料		 りに活躍できる人と デュられる	して必要な資質と	実践的国際感覚	がを体得し, それらを日報や報告書にま			
<u> </u>		ic, higgi	TETPINO, CITE	47C 54CO.						
10 2 's	<i>)</i>		田相的 お到達し	ベルの日安	煙淮的北到法1.	ベルの日字	未到達レベルの目安			
評価項目:	1		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安 		大到達D/ VD/D目女			
評価項目2 評価項目3										
		TOLAE	 <i> </i>		1		1			
		頁目との関	11杀							
教育方法	去等									
概要			いてグローバルな視							
		・内容は	, 学習・教育到達目	目標(A) <視野>[]A	ABEE基準1(2)(a)]および(C) <	´英語>[JABEE基準1(2)(f) に対応する			
受業の進む	め方・方法	【実習ブ 期間が主 内容 【期間】 【日報】	ログラム】鈴鹿工業 催する実習プログラ 承認を得るものとす 24日以上 毎日、日報を作成す	にいます。 高等専門学校、他 のとする。営利団 でる。【内容】専攻 でること。	の高等専門学校、 体又は公共団体等 科生が参加出来る	国立高等専門学 の機関が主催す	実務上の問題点と課題を体験し、日報校機構及び営利団体又は公共団体等のる実習プログラムの場合は、教務委員ち、海外語学実習の目的にふさわしい			
		【課題】	毎日,「日報を作成すること。 毎外語学実習終了後に,報告書を作成し提出すること。 冬了後に課外語学実習発表会を開催するので,発表資料を作成し,発表準備を行うこと							
		び発表の <学業成 , 日報,	項目を総合して評価 績の評価方法および 報告書および発表に	5する.評価に対す 『評価基準>「海外記 こより成績を評価す	る達成目標の各項 語学実習成績評価! る.	目の重みは同じ	である.			
注意点		びく、くく専の成、修か一任が保持を	項目を総合して評価 積の評価方法および 程要件と総合評あるとが発表で であまるでいる。 であるといるでは、 ではいるでは、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではなが、 ではなが、 ではなが、 ではなが、 ではなが、 ではなが、	面する.評価に対す 評価基準>「海外記 こより成績を評価す に可」の単囲>心場に 知識の範囲>心得(知まではし,出するご を関するのでは を関するのでは を関するのでは を関いまするのでは を関いまするのでは を関いまする場合では を関いまする。	る達成目標の各項 語学実習成績評の各項 まる。ことがでは、10分 までは、一次では、10分 いまでは、一次では、10分 は、10分 により、一次では、10分 により、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は、10分 は 10分 は 10分 も 10分 は 10分 も 10 も 10分 も 10 も 10分 も 10分 も 10分 も 10分 も 1	目の重みは同じ 基準」に定めら 前集合), 挨拶, 指導責任者の検 そ表資料おこふさ 実習の単位を含まる。	である。 れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 はめること無く課程修了が認められる場			
		びく,くく専く学合の成,修か一任、小体のの成,修か一任、小体の	項目を総合して評価 積の評価方法および 報告書および発表で 場要件と総合評る場合 じめ要求されるよう いなどとはも いて、 はは はは はは はは はは は は は は は は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じ 基準」に定めら 前集合), 挨拶, 指導責任者の 発表資料およふさ 選支習の単位を 最終日に受け 最終日に受け	,である。 れた配点に従って,実習状況,実習態度 お礼など) 印を受けて,実習終了後に,2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。			
		びく,くく専く学合の成,修か一任、小体のの成,修か一任、小体の	項目を総合して評価 積の評価方法および 報告書および発表で 場要件と総合評る場合 じめ要求されるよう いなどとはも いて、 はは はは はは はは はは は は は は は は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じ 基準」に定めら 前集合), 挨拶, 指導責任者の 発表資料およふさ 選支習の単位を 最終日に受け 最終日に受け	である。 れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 めること無く課程修了が認められる場 であること無く課程修了が認められる場			
	<u> </u>	びく,くく専く学合の成,修か一任、小体のの成,修か一任、小体の	項目を総合して評価 積の評価方法および 報告書および発表で 場要件と総合評る場合 じめ要求されるよう いなどとはも いて、 はは はは はは はは はは は は は は は は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じ 基準」に定めら 前集合), 挨拶, 指導責任者の 発表資料およふさ 選支習の単位を 最終日に受け 最終日に受け	れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 はあること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。			
	<u>a</u>	びく,くくは、一年の成,修か一任、「株の成」を対して、「はいか」を持ち、「はいか」を持ち、「はいか」を持ち、「はいか」を持ち、「はいか」を対している。	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 りなど、 とは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じ 直とでしています。 「はいった」を 前には、はいった。 には、はいった。 には、はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はい。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はいった。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい	、である。 れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 おしい内容であること。 はったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 目標 躍できる人として必要な資質が分かり			
	a	びく、くく専く学合は別の成。修か一任、外への成。修か一任、外への成。修か一任、外へのの成。修か一任、外への副のの成。修か一任、外への副ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 りなど、 とは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じ 基準」(こと 前集合 情等 情等 音等 音等 音等 音等 音等 音等 音等 音等 音等 音	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は発表の準備をすること。 わしい内容であること。 わしい内容であること。 おめること無く課程修了が認められる場 いったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 目標 躍できる人として必要な資質が分かり 景できる。			
	a	びく, くく専く学合は 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 りなど、 とは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じ 基準」(こま) 新集合」(大学校 指導表質的に位を はないるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 おめること無く課程修了が認められる場 いったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 目標 曜できる人として必要な資質が分かり まできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。			
	<u>a</u>	びく、くりには、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切で	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 りなど、 とは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は ま は ま ま ま ま ま ま ま ま	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすることと。 けしい内容であることと。 けめること無く課程修了が認められる場合ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 目標 曜できる人として必要な資質が分かり 景できる。 とを日報にまとめることができる。			
	1stQ	びく、くちには、一切のでは、一切のでは、一切のでは、できまり、「はいった」を表しています。 できる はい	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 りなど、 とは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は 集合 は は が は が が が が が が が が が が が が が が が	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 おめること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 目標 曜できる人として必要な資質が分かり まできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを田報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。			
		びく、くり、くく専く学合は 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 りなど、 とは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は ま は ま ま き ま き き き き	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
		びく、くちには、一切のでは、一切のでは、一切のでは、できまり、「はいった」を表しています。 できる はい	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 りなど、 とは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は ま は ま ま き ま き き き き	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
		びく、くり、くく専く学合は 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 りなど、 とは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は ま は ま ま き ま き き き き	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 おめること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
受業計画		びく、くくは、後か一任八郎 はいました はいま	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 との要が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は ま は ま ま き ま き き き き	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 おめること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
受業計画		びく、くり、 (をか) (任人) (をか) (をか) (をか) (をか) (をか) (をか) (をか) (をか	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 との要が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は ま は ま ま き ま き き き き	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
受業計画		び条学日単あレ政備年に専 ・ママウラ は	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 との要が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は ま は ま ま き ま き き き き	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
受業計画		びく, くく専く学合は 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 との要が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は ま は ま ま き ま き き き き	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
受業計画	1stQ	びく、くく専へ学合は 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 との要が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は ま は ま ま き ま き き き き	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
受業計画		びく、くちには、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切では、一切では、一切では、	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 との要が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は ま は ま ま き ま き き き き	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
受業計画	1stQ	びく, くく専く学合は 週 1週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 との要が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は ま は ま ま き ま き き き き	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
受業計画	1stQ	びく, くく専く学合は 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 との要が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は は ま は は ま は ま	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 しまできる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
受業計画	1stQ	びく, くく専く学合は 週 1週 週週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 との要が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は は ま は は ま は ま	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 しまできる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
授業計画	1stQ	で () () () () () () () () () (項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要される会評価基 での要がまでは、 との要が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は は ま は は ま は ま	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 しまできる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
授業計画	1stQ	びく, くく専く学合は 週 1週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要されるを との要されるようで とのなど、日本学生が参加出 は、1年学生が参加出等 は、1年学生が参加出等 は、単ること は、単ること	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は は ま は は ま は ま	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 しまできる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
授業計画	1stQ 2ndQ	びく, くく 専 マ学合は 週 1週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要されるを との要されるようで とのなど、日本学生が参加出 は、1年学生が参加出等 は、1年学生が参加出等 は、単ること は、単ること	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は は ま は は ま は ま	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 しまできる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
注意点	1stQ	びく, くく専く学合は 週 1週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要されるを との要されるようで とのなど、日本学生が参加出 は、1年学生が参加出等 は、1年学生が参加出等 は、単ること は、単ること	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は は ま は は ま は ま	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は 発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場 ったら、2年学生は専攻主任に1年学生 されている物、評定書を持参すること。 理できる人として必要な資質が分かり いまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを日報にまとめることができる。 とを報告書にまとめることができる。 とを発表資料にすることができる。			
授業計画	1stQ 2ndQ	びく, くく 専 マ学合は 週 1週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	項目を総合して評価 積の評価が表示で 報告書および発表で 報告書お総合に その要されるを との要されるようで とのなど、日本学生が参加出 は、1年学生が参加出等 は、1年学生が参加出等 は、単ること は、単ること	面する.評価に対す 評価基準>「海外語 こより成績を評価する に可」の範囲>心得(知識の範囲) 報告 知ま任に提出する を実習を開始する場合 を実習を開始する場合 を実習を開始する場合。	る達成目標の各項 語学実 記書学実 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	目の重みは同じます。 は は は は は は は は は は は は は ま は は ま は ま	である。れた配点に従って、実習状況、実習態度 お礼など) 印を受けて、実習終了後に、2年学生は発表の準備をすること。 わしい内容であること。 かること無く課程修了が認められる場合である。 されている物、評定書を持参すること。 世帯できる人として必要な資質が分かりまできる。 感覚が分かり、それらを体得できる。 とを田報にまとめることができる。			

		7週							
		8週							
		9週							
		10週							
		11週							
	411.0	12週							
	4thQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
モデルニ]アカリ=	Fユラムの	学習内容と	到達目	標				
分類		分野	学習内容		習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合	<u> </u>			•				•	
				海外語	学実習成績評価基準		合計		
総合評価害	 合			100			100		
配点				100			100		

		専門学校	開講年度	令和02年度 (2	2020年度)	授業科目	目 ┃国際インターンシップ I				
科目基礎	楚情報										
科目番号		0074			科目区分	一般 /	一般 / 選択				
授業形態		実験・実	習		単位の種別と単位		学修単位: 2				
開設学科		総合イノス)	/ベーション工学専攻	文(環境・資源コー	対象学年	専2					
開設期		集中			週時間数						
教科書/教	 (材	教科書:	特になし,参考書:	インターンシップ	<u> </u>	•					
担当教員											
到達目標		1122									
国際的に			食する実務上の問題 _に	 点と課題を体験し,	体験したことを日	報や報告書に	まとめ,それらをもとに,発表資料を作				
		11.91									
ルーブリ	ノツン		TM+0.45 () T() + (I#3444 1 - 745 + 1						
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レイ	いいの目安	表 未到達レベルの目安 キャップ				
評価項目1											
評価項目2	2										
評価項目3	3										
学科の発	到達目標耳	頁目との関]係								
<u> </u>											
	시	++-/+:-==-	(奴段オフ中郊 L^m	明上と無時ナルや							
既要			「経験する実務上の問 は,学習・教育到達目			(0) #==	34BEE #\#				
受業の進む	め方・方法	・次のイ作とでは、一次のイルでは、一次のイルでは、一次のイルでは、一次のイルを関すると、「対しては、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを	ンターンシップ機ト に成し、発表を行う・ 機関】学生の指導が指 いは国立高等専門等 専攻科生が従事でき 1週間以上の期間実 毎日 日報を作成で	間(以ト,実習機関) ヨ当可能な企業また学校機構の主催する きる実務のうち,国 施したよ合においる	この授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする. , 内容および期間で実務上の問題点と課題を体験し,日報,報告書,発 は公共団体の機関で専攻科分科会の推薦により校長が選定して委属した 海外インターンシップ先とする. 際インターンシップの目的にふさわしい業務 て,実働10日以上19日以下 作成し提出すること. ンシップ発表会を開催するので,発表資料を作成し,発表を行うこと.						
		発表の項	目を総合して評価す	『クト記録表計画の 『お、評価に対する	「知葉日伝」1~00	り首待兵ってま 冬頃日の重みに)務状況,勤務態度,日報,報告書およる				
		務態度位のポー学ンでである。 (日報 , 報告書およて 得要件 > 総合評価で じめ要求される基領 トなど > 日報は , 毎 年は専攻主任に , 14 インターンシップの こと , 実習機関の規	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成績 評価する. すること. すること. き間の厳守(10分育 書も作成し, 実と! に提出すること. 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(「評価基準」に 前集合), 挨拶, 消導責任者の検 発表会用に発 発のうち、国際 こ受け取った。	定められた配点に従って、勤務状況、算 お礼など) 印を受けて、インターンシップ終了後に 表資料および発表の準備をすること。 インターンシップの目的にふさわしい ら、2年学生は専攻主任または1年学生は 帳)、日報、実習先から指定されている				
	 到	務態位のポークランでは、1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 評価する. 評価すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出すること. 注が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き,筆記用!	「評価基準」に 対集合)、挨拶 兵導責任者の検 発表会用に発 のうち、国際 こ受け取ったら 具、メモ帳(手	定められた配点に従って,勤務状況,輩 お礼など) 印を受けて,インターンシップ終了後に 表資料および発表の準備をすること。 インターンシップの目的にふさわしい 5,2年学生は専攻主任または1年学生は 帳),日報,実習先から指定されている				
		務態度位のポー学ンでである。 (日報 , 報告書およて 得要件 > 総合評価で じめ要求される基 确 上なさ > 日報は , 14 インターンシップの こと . 実習機関の規 任に提出すること .	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 評価する。 すること: 時間の厳守(10分育 書も作成し,実習指 に提出すること: 注が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き,筆記用!	「禁合)、挨拶 が集合)、挨拶 が集合)、挨拶 が集合)、挨拶 が発表会用に発 がいったが でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいま。 でいま。 でいま。 でいま。 でいま。 でいます。 でいま。 でいま。 でいま。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でい	定められた配点に従って,勤務状況,輩お礼など) 印を受けて,インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすることにインターンシップの目的にふさわしい誇ら、2年学生は専攻主任または1年学生は帳),日報,実習先から指定されているに関係。				
		務態はいいでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円の	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 評価する。 すること、 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出すること、 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き,筆記用!	「禁合)、挨拶 前集合)、挨拶 消導責任者の検 発表会用に発 のうち、」国際 ででいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	定められた配点に従って,勤務状況,輩お礼など) 印を受けて,インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること。インターンシップの目的にふさわしい覧ら,2年学生は専攻主任または1年学生は帳),日報,実習先から指定されている。 目標 理できる技術者が経験する実務上の問題ことができる.				
	<u> </u>	務態位のポ年考を副主	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 評価する. 評価する. 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出することま 近事できる実的 . 評定書を最終日(の手引き,筆記用!	i評価基準」に 対集合)、挨拶 消導責任者の検 発表会用に国際 のでけ取った。 ででいました。 のではないでは、 のではないでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	定められた配点に従って,勤務状況,輩お礼など) 印を受けて,インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること。 ・インターンシップの目的にふさわしい等 方,2年学生は専攻主任または1年学生は 帳),日報,実習先から指定されている 目標 に躍できる技術者が経験する実務上の問題 ことができる。 「感覚が分かり,それらを体得できる。				
		務態位のポ年考を マンス インス インス インス インス インス インス インス インス インス イ	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 データンシップの成線 評すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出すること: 上が従事書を表案日 の手引き, の手引き,	「無合」、 前集合)、挨拶, 消導責任者の検発表会用に発い 充っち、、、のでけ取ったら、 のでけ取ったら、 のでは取ったら、 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないできる。 のではないではないではないできる。 のではないできる。 のではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	定められた配点に従って,勤務状況,輩お礼など) 印を受けて,インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・インターンシップの目的にふさわしい詩。2年学生は専攻主任または1年学生は帳),日報,実習先から指定されている。 目標 に躍できる技術者が経験する実務上の問題ことができる。 とを日報にまとめることができる。				
	直 IstQ	務 終 は は は は は に は に に に に に に に に に に に に に	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 アーンシップの成線 すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出すること: にが詳書を まが評定きる実的 の手引き,	前集合)、挨拶検 消導責任者の分 が 消導表うちない が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	定められた配点に従って,勤務状況,輩お礼など) 印を受けて,インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること。 (インターンシップの目的にふさわしい) (5)2年学生は専攻主任または1年学生は 帳)、日報,実習先から指定されている。 目標 に選できる技術者が経験する実務上の問題 ことができる。 に必要的なかり、それらを体得できる。 にとを日報にまとめることができる。				
		務 () () () () () () () () () (日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
		務 終 は は は は は に は に に に に に に に に に に に に に	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って,勤務状況,輩お礼など) 印を受けて,インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること。 (インターンシップの目的にふさわしい) (5)2年学生は専攻主任または1年学生は 帳)、日報,実習先から指定されている。 目標 に選できる技術者が経験する実務上の問題 ことができる。 に必要的なかり、それらを体得できる。 にとを日報にまとめることができる。				
		務 (日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画		務 (マーマン (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水)	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画		務 (* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画		務 (* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画		務 終 単 あ し 2 備 で な で り ボ 年 考 あ し 2 備 で な の 3 週 3 週 3 週 3 週 6 週 6 週 6 週 6 週 6 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画		務 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画	1stQ	務 は な に で な で な で な で な で な で な の の の の の の の の の の の の の	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画		務 (を (を (を (を) (を) (で (を) (で (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画	1stQ	務 は な に で な で な で な で な で な で な の の の の の の の の の の の の の	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画	1stQ	務単の ・	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画	1stQ	務 (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画	1stQ	務 (日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画	1stQ	務 (日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画	1stQ	務等 / ペーク /	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画	1stQ 2ndQ	務等 / ペーク /	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画	1stQ	務 < < < , を	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
注意点 受業計 類	1stQ 2ndQ	務 < < > へ	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				
受業計画	1stQ 2ndQ	務 < < < , を	日報,報告書およて得要件>総合評価でいる。 得要件>総合評価でいる。 りなで、日報は,14インターンシット は専攻主任に、14インターンシットのでは、のでは、14インターとのでは、14インターとのでは、14年のが、14年のが、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは、14年のでは	評価基準 > 「イング が発表により成績を 「可」以上を取得で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ターンシップの成線 すする. すること: 時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出するる実の に対策定書を最い。 の手引き,筆記用!	打集合人の	定められた配点に従って、勤務状況、事お礼など) 「印を受けて、インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること・・・インターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。」 「クターンシップの目的にふさわしい。 「クターンシップを開発している」 「クターンシップ終了をいることができる。 「とを報告書にまとめることができる。」 「とを発表資料にすることができる。				

		8週								
		9週								
		10週								
		11週								
	4+60	12週								
	4thQ	13週								
		14週								
		15週								
		16週								
モデルニ]アカリキ	Fユラムの	学習	内容と致	到達	目標				
分類		分野		学習内容		 学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合	ì									
					国際	インターンシップ評価基準		合計		
総合評価害	総合評価割合							100	·	
配点	·				100			100		

科目基礎		専門学校		令和02年度 (2	2020年度)	授業科	目 国際インターンシップ Ⅱ				
	楚情報										
科目番号		0075	·		科目区分	一般	一般 / 選択				
授業形態		実験・実	習		単位の種別と単位		学修単位: 4				
開設学科			/ベーション工学専攻	文(環境・資源コー	対象学年	専2					
開設期		集中			週時間数						
教科書/教	 (材	教科書:	特になし,参考書:	インターンシップ	<u> </u>	•					
担当教員			・ンシップ 担当教員								
		1122	<i>>>>></i>								
国際的に流			食する実務上の問題点	点と課題を体験し,	体験したことを日	報や報告書に	まとめ,それらをもとに,発表資料を				
ルーブ!											
<u>'V </u>	<i></i>		理想的な到達レ	ベルの日字	標準的な到達レイ		未到達レベルの目安				
			生活的は到底し	/ VIVIDES	保华的は到底レ/	<u> </u>	女 ・ ・				
评価項目1											
平価項目2											
評価項目3											
学科の至	到達目標耳	頁目との関	[係								
教育方法	 去等										
既要	· · · -	技術者が	 『経験する実務上の問	問題点と課題を体験	 する.						
			<u>、 学習・教育到達</u> 目			(C) / 芹部・	1AREE 其淮				
受業の進め	め方・方法	機関ある 【内容】 【期間】 【日報】	いは国立局等専門写 専攻科生が従事でき 2週間以上の期間実 毎日 日報を作成す	『校機構の王催する きる実務のうち,国 施した場合におい tること	、 内容および期間で実務上の問題点と課題を体験し、日報、報告書、 は公共団体の機関で専攻科分科会の推薦により校長が選定して委属して 海外インターンシップ先とする。 割際インターンシップの目的にふさわしい業務 て、実働20日以上29日以下 作成し提出すること。 ・ンシップ発表会を開催するので、発表資料を作成し、発表を行うこと。						
注意点		<学業成 務態度, 	日報,報告書およて 得悪件>総会証価で	「評価基準>「インダ が発表により成績を 「可し!ソトを取得す	ターンシップの成績 評価する.	評価基準」(こ定められた配点に従って,勤務状況,				
·····································	5 1	, 2年子: <備考> 務である 専攻副主	生は専以土仕に,ゴインターンシップの うこと.実習機関の規	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分育 書も作成し, 実習指 に提出すること. 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(発表会用に発 のうち,国際 こ受け取った	が、お礼など)				
受業計画	<u></u>	, 2年字: <備考>: 務である 専攻副主 , 評定書	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分育 目の厳守(10分育 日に提出すること・ 上が従事できる実務・ 評定書を最終日(の手引き,筆記用!	発表会用に発 のうち,国II こ受け取った き,メモ帳(き	表負料およい発表の準備をすること。 祭インターンシップの目的にふさわし ら,2年学生は専攻主任または1年学生 手帳),日報,実習先から指定されてい				
授業計画	<u> </u>	, 2年子: <備考> 務である 専攻副主	生は専攻王任に、14 インターンシップの こと、実習機関の規 任に提出すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 に提出すると。 にが従事できる実教 ・評定書を最終日(の手引き,筆記用!	発表会用に発 のうち, 国 こ受け取った 具, メモ帳(見 週ごとの到達	表負料および発表の準備をすること。 察インターンシップの目的にふさわしい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 「手帳」,日報,実習先から指定されてい 「世標」				
受業計画		, 2年字: 〈備であっ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し,実習指 にに提出すること。 にが従事できる実務 ・評定書を最終日 の手引き,筆記用	発表会用に実 のうち、国 こ受け取った 具、メモ帳(週ごとの到達 1. 国際的に 点を体験する	議員科および発表の準備をすること、 祭インターンシップの目的にふさわし、 ら、2年学生は専攻主任または1年学生 F帳),日報,実習先から指定されてい 建目標 活躍できる技術者が経験する実務上の 5ことができる。				
		, 2年字 (備考) (である 専攻副主 東政記書 週 1週 2週	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 皆も作成し,実習指 に提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き,筆記用)	発表会用に表 のうけ、国 のうけ、のた こでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	議員科および発表の準備ですること、 察インターンシップの目的にふさわしら、2年学生は専攻主任または1年学生 F帳)、日報、実習先から指定されてい 登目標 話躍できる技術者が経験する実務上の おことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。				
受業計画	画	, 2年字: 〈備であっ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 皆も作成し,実習指 に提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き,筆記用)	発表会用に表 のうけ、国 のうけ、のた こでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	議員科および発表の準備をすること、 祭インターンシップの目的にふさわし、 ら、2年学生は専攻主任または1年学生 F帳),日報,実習先から指定されてい 建目標 活躍できる技術者が経験する実務上の 5ことができる。				
受業計画		, 2年字 (備考) (である 専攻副主 東政記書 週 1週 2週	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実教 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用)	発表会用に表 の表 の表 のできます。 のできます。 のできます。 のできます。 のできます。 のできまます。 のできます。 のできます。 のできままます。 のできます。 のできままます。 のできます。 のできままままます。 のできまままます。 のできまままます。 のできまままます。 のできままままます。 のできままままます。 のできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	議員科および発表の準備ですること、 察インターンシップの目的にふさわしら、2年学生は専攻主任または1年学生 F帳)、日報、実習先から指定されてい 登目標 話躍できる技術者が経験する実務上の おことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。				
受業計画	国 IstQ	, 2年字 (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会用に 第で表言 で表言 で表言 の受け取った は では、 の一型 では、 の一型 では、 の一型 では、 の一型 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	(表負料および発表の準備ですること)、 家インターンシップの目的にふさわしい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 種目標 話躍できる技術者が経験する実務上の らことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。				
受業計画		, 2年字) , (備である事 東文明主書 週 1週 2週 3週 4週	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表質科および発表の準備ですること)に表質科がより発表の準備ですることに 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい を目標 話躍できる技術者が経験する実務上の のことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。				
受業計画		, 2年字 (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー・ (イー (イー・ (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イー (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ (生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表質科および発表の準備ですること)に表すのにのさわい。 祭インターンシップの目的にふさわい。 ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
		, 2年字/ , 4備である。 専攻副主書 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表質科および発表の準備ですること)に表すのにのさわい。 祭インターンシップの目的にふさわい。 ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
		7. 2年字) 7. 4 7. 4 7. 4 7. 3 7. 3 7	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
		7、 7、 7、 7、 7、 7、 7、 7、 7、 7、	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
		7、 7、 7、 7、 7、 7、 7、 7、 7、 7、	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
		, 2年字/ , 2年字/ , 7備である主書 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
		, 2年字/ , 2年字/ , 7年 2 2 3 3 4 3 3 3 3 4 3 3 3 4 3 3 3 4 3 3 3 4 3 3 3 4 3 3 3 3 4 3 3 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
	1stQ	7. 2年字/2 イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イ	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
	1stQ	, 2年字/A (構で) 2 (構で) 3 (現する) 3 (日本) 4 (日本) 4 (日	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
	1stQ	, 2年字 2 名	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
	1stQ	, 2年字/A (構で) 2 (構で) 3 (現する) 3 (日本) 4 (日本) 4 (日	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
	1stQ	, 2年字 2 名	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
	1stQ	, 2年字 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
	1stQ	, 2年字 / 2	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
前期	1stQ 2ndQ	, 2年字 / 2 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
前期	1stQ	, Z備で	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
受業計画 前期	1stQ 2ndQ	, Z備で	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				
前期	1stQ 2ndQ	, Z備で	生は専以土仕に、「なインターンシップの インと、実習機関の対 任に提出すること・ を持参すること・	‡子生は専以副土仕 内容は, 専攻科学生 則を厳守すること	時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 にに提出すること。 上が従事できる実務 . 評定書を最終日(の手引き, 筆記用!	発表会 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	(表負料および発表の準備ですること)に 家インターンシップの目的にふさわい ら、2年学生は専攻主任または1年学生 手帳)、日報、実習先から指定されてい 重目標 話躍できる技術者が経験する実務上の なことができる。 祭感覚が分かり、それらを体得できる。 ことを日報にまとめることができる。 ことを報告書にまとめることができる。 ことを発表資料にすることができる。				

		8週								
		9週								
		10週								
		11週								
	4+60	12週								
	4thQ	13週								
		14週								
		15週								
		16週								
モデルニ]アカリキ	Fユラムの	学習	内容と致	到達	目標				
分類		分野		学習内容		 学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合	ì									
					国際	インターンシップ評価基準		合計		
総合評価割合					100			100	·	
配点	·				100			100		

鈴鹿	工業高等	専門学校	開講年度	令和02年度	(2020年度)	授	業科目	総合イノベーション工学輪講
科目基礎	情報							
科目番号		0043			科目区分		専門 / 必	修
授業形態		演習			単位の種別と単	単位数	学修単位	: 2
開設学科		総合イノ/ス)	ベーション工学専攻	(環境・資源コ	対象学年		専2	
開設期		前期			週時間数		2	
教科書/教			S指導教員に委ねる	. 参考書: 各指:	尊教員に委ねる.			
担当教員		全学科 全		, , , , , , , , ,	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
到達目標	<u> </u>		3,5,5					
		THU 소등소국	かんままなこってしま	~ + ± <u>A</u> =#.1 + :		んかつロ	<i>でかし</i> ー=×□□→	- フ-45-4-ナ-4ナーヘフ-12-45-ブ-ナ-フ
		国内外の論又(り快系を付うことT	いでき, 輪講した	論又の内谷を論理	的かつ明	催に説明 9	る能力を持つことができる.
ルーブリ	リック		理想的な到達レー	ベルの日安	標準的な到達し	- ベルのE	 目安	未到達レベルの目安
評価項目1			- 生心の から 1 定 レー	<u> </u>	水中のなり達し	7 7007		バゴ 足レーマルの日文
評価項目2								
評価項目3								
F 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		5口 トの問						
字科の主 教育方法		目との関	<u> </u>					
	1	#+ DITT 277 /			±.+±	***********	T石 ナ.T田4刀 I	目にの刑党科ウナタフトレナニ
概要		特別研究(, その内容 礎を培う.	と 関連した国内外の 学をまとめて紹介す	篇又などを講読でる能力を培う	を或いは輪読してき さらに,質疑応答?	を本的事」などによ	頃を埋解し り内容を発	, 最近の研究動向を知るとともに 緑させ, 特別研究を進める上での基
授業の進め		全(特と、特1,2路3,ヤ4,白,5.料サ機 く容場く成くくくて1別と最別・気くエく電ル、有質遺く、イ材 到に合学績単あ備で1別と最別・気くエく電ル、有質遺く、イ材 到に合学績単あ備のに研も新研く液電学電磁リ生機化伝材セク料 達よに業を位ら考内対究にの究機視気・子エア物光学・料ラル・1 目り目成評修かと記述する	学売を 学売を 大の大工 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学化 で紹たし学れ で紹たし学れ で紹たし学れ で紹たし学れ で紹たし学れ で紹たし学れ で紹たし学れ で紹たし学れ で紹たし学れ で紹たし学れ で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で紹たし で で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	達要おにもが、近岸では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	門、就を夕分すが、大学では、「「「「大学」」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」」、「大学」、「大学) 国とす。大工電夕路ク、応ジ学化材芯結 ~レ の る 英 外て文 計制回ン電 、 学料用晶 3ポ 輪 基語 の不献	> 論可検 幾工外識計報 反物セ にん 、得の よ 知く 文欠索 援学電 測工 応)ス 材学熱 度レ び 職務 資なの エ・子画・学 有・工 料・表 をべ そ な 教 教立方 工応が像環・ 機分学 独無伽 続け ら ひきかい ジャー・ の は かい	[JABEE基準1(2)(d)(2)a),(f), 講読或いは輪読し,研究動向を知る の理解力と発表能力を培う.また
授業計画	<u> </u>							
		週	受業内容			_	の到達目標	
		1週				に英文	(論文) の語	する国内外(海外のものについては特 倫文の講読あるいは輪読ができる.
		2週				いて論	主文の調査な	
	1ctO	3週				3. 講読 ること ができ	だができ,指	輪読した論文について,内容をまとめ 指導教員に内容を明確に説明すること
	1stQ	4週				,,, ,,		
		5週						
		6週						
前期		7週						
133/43		8週						
		9週						
		10週						
		11週						
		12週						
	2ndQ	13週						
		14週						
		15週						
		16週						
エギリー	1アカリチ		 学習内容と到達	日煙				
モナルー	11 11リイ	-エノムの-	ナ白N分C到廷	口伝				

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合						
		輔	論講・レポート	合計		
総合評価割合		1	.00	100		
配点		1	.00	100		

鈴鹿	工業高等	 専門学校	開講	年度	令和02年	度 (2	020年度)	授業科	目 総合イノベーション工学実験 (2年次)
科目基礎									(21///
科目番号	CIITIA	0044					科目区分	専門	
授業形態		実験・実	 習				単位の種別と単位		#位: 2
開設学科		総合イノ ス)	ベーションコ	L学専攻	ズ(環境・資源	E-	対象学年	専2	
開設期		前期					週時間数	2	
教科書/教	材	教科書:	各指導教員(こ委ねる	5. 参考書: 各		 対員に委ねる.		
担当教員		全学科 全							
到達目標		•							
専門分野の	の実験技術の		て専門的な		がを修得し, タ	先行研究	究について調査・賞	学修を踏まえ	て, 実施した実験等について, 目的・結
ルーブリ	Jック		理想的な到達レベルの目安				1#*/# 45 +> 7 **\ 1		
===/========			埋想的な	到達レ/	ベルの目安		標準的な到達レベ	いの目安	未到達レベルの目安
評価項目1									
評価項目2									
評価項目3			ır						
	列達目標項	目との関	<u>係</u>						
教育方法	5等								
概要		専攻科特 工学,電 行う.	別研究と, a 子情報工学,	また,学 生物応	全位授与申請 <i>0</i> 5用化学,材料	かための 科工学を)学修成果レポート)野の研究室におい	、作成の準備 ハて, これま	として, 配属された機械工学, 電気電子 での研究を一層進展させるための実験を
授業の進め		国つた実1.用、2.工気3シー4、白、5.リ く価きくくく報くンけめ験く工機、学化くスチζ有質遺ぐサ 到する学単あ告備、るには機学械電、学電テャ生機化伝材イ 達るよ業位ら書考測と必特権、工気情等予ムル物光学子牂ク 目.う成修か作み	定と要別江弾作電報 情、リ応化,エ江ル 標レに績得じ成実なもな研学性法子科 報情ア用学生学学 ,のポ設の要めに験とに基究>学,工学 工報リ化,理,>非 評一定評件要関のを,礎の:,精学, 学工イ学過学生:鉄 価トす価>求す計行デをテ材表密>粕 >学テ>酸,物材材 汚領る汚学さる画,	ハー養-料面加:ド : イ:匕ゃ工料斗 去こ 去業へま,夕うマカ改工高情 電無等化物理学工 , と求 お成る礎実技の・に学質 ,電報 子線 学化学 ,学合 基め よ績基的施機整 関ウ , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	「哲理」機・破・甲では、 「大き」、 「・「・」、 「・」、 「・」、 「・・」、 「・・」、 「・・」、 「・・」、 「・・」、 「・・」、 「・・・」、 「・・・・・・・・・・	卅乍(で,熟代電レ)デ泉(学化)幾丁成1計百~冬取~の究成()、複プツエネ(バネ)、学微材業長1画点(自得集)が開)、以合学と子学・イツ・プリ、牧科砂索)に(語)で)、甘瀬・丁・・ブト・ブト・ブリッ教 がきごう はいきいき しょうしき かいしょう かいしょう アイ・ブラック はいいしょう はいしょう かいしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう アイ・アイ・アイト アイ・アイ・アイト アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	能している。 では、	たなる学、70路部 工工 学、学とでの得 を 節 共ど ・ 「 、	、文献調査、追試などに基づき、取り組み立て、コンプラミング、シミュルーシにより、コンガラミング、シミカを身るは度学、計算力学、有限要素法、計算機援流、液体の微粒化、機械力学、精密工学、砂ずみ解析等の性、放電物理、固体電子工学、集積回路処理工学、制御工学、電磁工学、高周波回路、生体工学、制御工学、自然言語処理、人工知能、消機工学、理論有機化学、有機合成化学分子移動工学、投合材料、表面処理、材料、電気化学、投合材料、表面処理、材料、工学、工学、投合材料、表面処理、材料、工学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学
授業計画	<u> </u>								
		週	授業内容				j	周ごとの到達	目標
		1週		_		_	Τ:	1. 先行研究(こついて継続的学修を進めることができる
		2週							D設計, 測定器具の自作, 組み立て, プロシミュレーション, 測定準備の具体的作
								業を進めるこ 3. 行った基2	ことができる。 本的な実験等について、目的、結果、考察
	3週 1stQ							をまとめレオ	ペートにすることができる. 書に基づいて、指導教員に成果の内容を明
前期		4週 5週						確に説明する	らことができる. 究方針について展望を述べることができる
		6週							
		7週							
		8週							
		9週							
		10週							
	2ndQ	11週							
	1	エエグロ							

12週

		13週						
		14週						
		15週						
		16週						
モデルニ]アカリキ	ユラムの	学習内容と到	達目標				
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	票		到達レベル	授業週
評価割合	<u> </u>							
			実験操作・作業	Ě	レポート	合計		
総合評価害	合		70		30	100		•
配点			70		30	100		

科目基礎		専門学校	開講年度	令和02年度 (2	2020年度)	授業科目	特別研究Ⅱ
	楚情報				T	T	
科目番号 受業形態		0045			科目区分 単位の種別と単位	専門 / 必 数 学修単位	
		実験・実習総合イノベ		【(環境・資源コー			L: /
開設学科		ス)			対象学年	専2	
親親 25	-1-1	通年	****************		週時間数	3.5	
效科書/教 3当教員	(材	教科書: 各全学科 全教		5. 参考書:各指導	教員に委ねる.		
⊇ヨ教員 別 達 目標	=	土子科 土名	以貝				
寺別研究] 5,問題:	II のテーマに 点を明確化し	」それを解決す	事項を理解し,研 る能力,創造性を 身に付けている.	T究のプロセスを通 発揮し計画的に仕	して高度な専門知識 事ができる能力, 評	戦と実験技術なら 命理的に意思伝送	らびに継続的・自律的に学習できる能 産・討論・記述する能力, 英語による
レーブリ	ノック		TM+946+>70+1		1#2# 45 + 2 7#2# 1 - 2#	W 604	
平価項目1	1		理想的な到達レ/	ヘルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安
平価項目2							
F価項目3							
		 目との関係	<u> </u>				-
対育方法			`				
<u>~ 13 / 1 / 1</u>	ᅛᄭ	研究の遂行	を通して 内田ル		料工学に関する専門		版を総合的に応用する能力 研究を進
要		な文草表現	を通りて, 心帯で 具体的な課題を設 力, 英語による基 ンできる技術者を	本的なコミュニケ	付工子に関する等に 的・自律的に学習す ーション能力を育成	加蔵と大談技術 「る能力、創造力 対し、解決すべき	析を総合的に応用する能力,研究を進 り,プレゼンテーション能力,論理的 き課題に対して創造性を発揮し,解決
授業の進め方・方法 「ジー・方法」 「ジー・方法」 「ジー・方法」 「ジー・方法」 「ジー・方法」 「スチ く 有質遺 、 1 、 1 、 1 、 1 、 1 、 1 、 1 、 1 、 1 、		3シー4, 白, 5料サ機・ ベスチ < 有質遺 < , イ材後 到す 0 学の ・ スチ < 有質遺 < , イ材後 到す 0 学の ・ リ が 化 , エリ	期末に特別研究論文を提出するとともに 目標の評価方法と基準>下記授業計画の 1~8に関する重みは特別研究Ⅱ成績評 かるを取得した場合に目標を達成した 成績の評価方法および評価基準>「専攻 が特別研究論文(70%),最終発表(多得要件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>研究: も書作成に関する基礎的知識。 ▶特別研究Ⅱは学科で学んだ卒業研究お。		トワーク、通信伝送 パロイオテクリーク バイオテクリーク バイオテクリーク 科学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学、 大大学 大学、 大学、 大学、 大学、 大学、 大学、 大学、 大学、	記せず、自然言語処理、 人工知能、 バ 工学、理論有機化学、有機合成化学 子移動工学、生化学、分子生物学、蛋 分離工学、粉体工学、分子遺伝学 度、材料プロセス、金属材料、無機材 機材料、電気化学、表面処理、材料リ ル理工学、環境科学、蛋白質工学、有 を発表、特別研究論文の内容により評	
		<あらかじ よる報告書 <備考> 特	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績評 (30%)(こより100g ること・ テーマに関する周辺 よび特別研究 I に続]の基礎的事項(続いて行われるも	こついての知見,或いはレポート等に
注意点		<あらかじ よる報告書 <備考>特 学科を含む 遂行する.	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で 3年間で1つのテ	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績詞 (30%) により100g ること. テーマに関する周辺 よび特別研究 I に続 とになる. 長期間に	2の基礎的事項(もいて行われるも こ亘るのでしった	こついての知見,或いはレポート等に らのであり,基本的には2年間或いは いりとした計画の下に自主的に研究を
	画	くあのかじまいた書くある報子を含む。学科でする。週授授授	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績詞 (30%) により100g ること. テーマに関する周辺 よび特別研究 I に続 とになる. 長期間に	2の基礎的事項(もいて行われるも こ	こついての知見, 或いはレポート等に ちのであり, 基本的には2年間或いは かりとした計画の下に自主的に研究を 標 3上で解決すべき具体的な課題を設定
		くあのかじまくよの指名をする学遂行す週1週	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で 3年間で1つのテ	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績詞(30%) により100gであると、 テーマに関する周辺よび特別研究 I に続とになる. 長期間に	②の基礎的事項に たいて行われるも 三国るのでしった 週ごとの到達目 1. 研究を進める し、課題遂行の 2. 研究上の問題	こついての知見、或いはレポート等に 5のであり、基本的には2年間或いは かりとした計画の下に自主的に研究を 標 3上で解決すべき具体的な課題を設定 ために自発的に学習することができる 重点を把握し、その解決の方策を考え
		くあのかじ書くよの指名をするで学遂行す週1週2週	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で 3年間で1つのテ	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績詞(30%) により100gであると、 テーマに関する周辺 よび特別研究 I に続とになる、長期間に	②の基礎的事項に たいて行われるも 三国るのでしった 過ごとの到達目 1. 研究を進める し、課題遂行の 2. 研究上の問題 ることができる 3. 研究のゴール	こついての知見,或いはレポート等に 5のであり,基本的には2年間或いは かりとした計画の下に自主的に研究を 標 3上で解決すべき具体的な課題を設定 ために自発的に学習することができる 重点を把握し,その解決の方策を考え
	直 1stQ	くあのかじまくよの指名をする学遂行す週1週	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で 3年間で1つのテ	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績詞(30%) により100gであると、 テーマに関する周辺 よび特別研究 I に続 とになる、長期間に	②の基礎的事項に たいて行われるも 三国るのでしった 過ごとの到達目 1. 研究を進める し、課題遂行の 2. 研究上の問題 ることができる 3. 研究のゴール ができる。 4. 研究の過程で	こついての知見,或いはレポート等に 5のであり,基本的には2年間或いは かりとした計画の下に自主的に研究を 標 3上で解決すべき具体的な課題を設定 ために自発的に学習することができる 重点を把握し,その解決の方策を考え
		くあの分子くよの名様名をするとするでは、とするでは、とするでは、とするでは、とするでは、とするでは、とするでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、<td>要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で 3年間で1つのテ</td><td>「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お</td><td>科特別研究の成績詞(30%) により100gであると、 テーマに関する周辺 よび特別研究 I に続 とになる。長期間に</td><td>②の基礎的事項に 続いて行われるも 三国るのでしった。 過ごとの到達目 1. 研究を進行の し、課題遂行のの 2. 研究上の問題 3. 研究のゴールができる。 4. 研究の過程できる。 5. 最終発表にも</td><td>こついての知見、或いはレポート等に 5のであり、基本的には2年間或いは かりとした計画の下に自主的に研究を 標 3上で解決すべき具体的な課題を設定 ために自発的に学習することができる 重点を把握し、その解決の方策を考え を意識し、計画的に研究を進めることができる ではないできる</td>	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で 3年間で1つのテ	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績詞(30%) により100gであると、 テーマに関する周辺 よび特別研究 I に続 とになる。長期間に	②の基礎的事項に 続いて行われるも 三国るのでしった。 過ごとの到達目 1. 研究を進行の し、課題遂行のの 2. 研究上の問題 3. 研究のゴールができる。 4. 研究の過程できる。 5. 最終発表にも	こついての知見、或いはレポート等に 5のであり、基本的には2年間或いは かりとした計画の下に自主的に研究を 標 3上で解決すべき具体的な課題を設定 ために自発的に学習することができる 重点を把握し、その解決の方策を考え を意識し、計画的に研究を進めることができる ではないできる
受業計画		Superior	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で 3年間で1つのテ	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績詞(30%) により100gであると、デーマに関する周辺よび特別研究 I に続とになる、長期間に	②の基礎的事項に たいて行われるも 三国るのでしった 過ごとの到達目 1. 研究を進める し、課題遂行の 2. 研究上の問題 ることができる。 3. 研究のゴールができる。 4. 研究の過程できる。 5. 最終発表にき	こついての知見、或いはレポート等に 5のであり、基本的には2年間或いは かりとした計画の下に自主的に研究を 標 3上で解決すべき具体的な課題を設定 ために自発的に学習することができる 重点を把握し、その解決の方策を考え を意識し、計画的に研究を進めることができる ではいて、理解しやすく工夫した発表を 、的確な討論をすることができる。
受業計画		くよの名の (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で 3年間で1つのテ	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績語(30%) により100gであっと。 テーマに関する周辺 よび特別研究 I に続 とになる. 長期間に	②の基礎的事項に 続いて行われるも 三国るのでしった 過ごとの到達目 1. 研究を進める し、課題遂行の 2. 研究上の問題 ることができる。 3. 研究のゴールができる。 4. 研究の過程できる。 5. 最終発表におきることができる。 5. 最終発表におきる。	こついての知見、或いはレポート等に 5のであり、基本的には2年間或いは かりとした計画の下に自主的に研究を 標 3上で解決すべき具体的な課題を設定 ために自発的に学習することができる 連点を把握し、その解決の方策を考え を意識し、計画的に研究を進めることが 3いて、理解しやすく工夫した発表を 、的確な討論をすることができる。 いて、英語による概要説明ができる。
受業計画		Su	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で 3年間で1つのテ	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績語(30%) により100gであっと。 テーマに関する周辺よび特別研究 I に続とになる。 長期間に	2の基礎的事項(続いて行われるも 三国るのでしった 過ごとの到達目 1. 研究を進める し、課題遂行の 2. 研究できる。 3. 研究の過程できる。 4. 研究の過程できる。 5. 最終発表におすることができる。 5. 最終発表におすることができる。 5. 最終発表におすることができる。 5. 最終発表におすることができる。 5. 最終発表におります。 6. 最終発表におります。 7. 特別研究論文	こついての知見、或いはレポート等に 5のであり、基本的には2年間或いは かりとした計画の下に自主的に研究を 標 3上で解決すべき具体的な課題を設定 ために自発的に学習するごとができる 連点を把握し、その解決の方策を考え を意識し、計画的に研究を進めることが できる。 ではいて、理解しやすく工夫した発表を 、的確な討論をすることができる。 のいて、英語による概要説明ができる。 なを論理的に記述することができる。
受業計画		くよの性性くよの性性くよの情報をするできるが告める対象をはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいますはいま	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で 3年間で1つのテ	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績語(30%) により100gであっと。 テーマに関する周辺よび特別研究 I に続とになる。 長期間に	2の基礎的事項に 続いて行われるも 三国るのでしった 過ごとの到達目 1. 研究を進める し、課題遂行の 2. 研究上の問題 ることができる。 4. 研究の過程できる。 最終発表におきる。 5. 最終発表におきる。 5. 最終発表におきる。 7. 特別研究論3	こついての知見、或いはレポート等に 5のであり、基本的には2年間或いは かりとした計画の下に自主的に研究を 標 3上で解決すべき具体的な課題を設定 ために自発的に学習することができる 連点を把握し、その解決の方策を考え を意識し、計画的に研究を進めることが 3いて、理解しやすく工夫した発表を 、的確な討論をすることができる。 いて、英語による概要説明ができる。
受業計画		Su	要件>学業成績で め要求される基礎 作成に関する基礎 別研究Ⅱは学科で 3年間で1つのテ	「60点以上を取得す 知識の範囲>研究 酌知識。 「学んだ卒業研究お	科特別研究の成績語(30%) により100gであっと。 テーマに関する周辺よび特別研究 I に続とになる。 長期間に	2の基礎的事項(続いて行われるも 三国るのでしった 過ごとの到達目 1. 研究を進める し、課題遂行の 2. 研究できる。 3. 研究の過程できる。 4. 研究の過程できる。 5. 最終発表におすることができる。 5. 最終発表におすることができる。 5. 最終発表におすることができる。 5. 最終発表におすることができる。 5. 最終発表におります。 6. 最終発表におります。 7. 特別研究論文	こついての知見、或いはレポート等に 5のであり、基本的には2年間或いは かりとした計画の下に自主的に研究を 標 3上で解決すべき具体的な課題を設定 ために自発的に学習するごとができる 連点を把握し、その解決の方策を考え を意識し、計画的に研究を進めることができる。 でもの創意・工夫を発揮することができる。 のの確な討論をすることができる。 ので、英語による概要説明ができる。 なを論理的に記述することができる。

		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
		1週					
		2週					
		3週					
		4週					
	3rdQ	5週					
		6週					
		7週					
		8週					
後期		9週					
		10週					
		11週					
		12週					
	4thQ	13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルー	アカリキ		学習内容と到達	 幸月標			
分類	., ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル 授業週
評価割合	<u> </u>	1,225		13 11 31 7 13 12 1			13.5
61 IM 03 F	1		論文		発表	合計	
総合評価害			70		30	100	
配点	<u>ı — </u>		70		30	100	
HUM					130	100	

鈴鹿	工業高等	専門学校	│ 開講年度 令和02年度 (2	2020年度)	授業科目	海洋環境学	
科目基礎	*************************************						
科目番号		0046		科目区分	専門 / 3	コース必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数	文 学修単位	±: 2	
開設学科		総合イノベス)	(一ション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専2		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材	 材	教科書:特	。 『になし/参考書:海洋の物理学(共立		ぶ海洋学(朝		
担当教員		山田 二久》	· 欠	,			
到達目標	<u> </u>	•					
		 バ循環の什組み	・ ・ ・ を理解し、地球における海洋の役割	と人間活動が海洋に	与える影響に		
ルーブリ	ーー ニック						
<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	, , ,		理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベノ	の日安(良)	未到達レベルの目安(不可)	
			大洋、地球スケールの海洋循環に	大洋、地球スケール			
評価項目1			ついて,理論的に理解することが	ついて、その仕組み	を定性的にす	こ 大洋、地球スケールの海洋循環の 里 仕組みを理解できない.	
評価項目2			できる。 潮汐等の沿岸域の循環について ,理論的に理解することができる	解できる。 潮汐等の沿岸域の作 、その仕組みを定性 る。	情環について 生的に理解で		
評価項目3			ー 海洋環境の変動と気象変動や海洋 環境問題についての関係性を説明 することができる.	る。 気象変動や海洋環境 きる。			
 学科の到	達日煙で	 目との関係	*			•	
<u>,1100年</u> 教育方法		<u> </u>	IV.				
既要	A ***	海洋の流れ は,海洋の についても	水温と海流の分布や変動を決定づけ	なぜ存在しているのかるため、気象や海洋	かについて数	式に基づいて理解する.これらの循環 って極めて重要であり,それらの関連	
授業の進め	b方・方法	・すべて <i>の</i> ・「授業計	が投業内容は,学習・教育到達目標(E 画] における各週の「到達目標」は 義形式で行う.	3)<専門>およびJAE この授業で習得する	BEE基準1(2) 「知識・能力	(d)(2)a)に対応する. 」に相当するものとする.	
注意点		<学業成績 評価する. <単位修得 <あらかじ	再試験は実施しない. 要件>学業成績で60点以上を取得	験, 定期試験の2回の すること.		点を80%,課題の平均点を20%で 物理,化学等の理科の一般的な基礎知	
	.	く評くく識く授,く学価単あ.自業9備とでの考りででの考りでのでの考りでの考りででの考りでである。	「の評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない. 提供>学業成績で60点以上を取得	験,定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数章 ,予習・復習及びレ7	学的な知識,	物理,化学等の理科の一般的な基礎知	
		く評くく識く授,く数学価単あ、自業9備学,会で0分、己で0考,人数で10米の時、2世の時、2世の時、2世の時、2世の時、2世の時、2世の時、2世の時、2世	回評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 理学と学業成績で60点以上を取得 必要求される基礎知識の範囲>偏微 > Eする学習時間(中間試験を含む)と 引に相当する学習内容である。 出等の基礎知識については授業時に復	験, 定期試験の2回のすること. 分がわかる程度の数等 , 予習・復習及びレス 習しながら進める.	学的な知識, ! ポート作成に	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知 必要な標準的な学習時間の総計が	
	<u> </u>	く評くく識く授,く数学価単あ、自業9備学,会職を修か、学保時と数には、と、教権・経済のでの考り、のでの考り、のでのでのでは、といいのでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般	「即評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。「存在のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の評価を表現では、日本の評価を表現である。「日本の評価を表現できます。」「日本の評価を表現である。」「日本の評価を表現である。」「日本の評価を表現である。」「日本の評価を表現である。」「日本の評価を表現である。」「日本の評価を表現である。」「日本の評価を表現である。」	験, 定期試験の2回ですること. すること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレス 習しながら進める.	学的な知識, ** ポート作成に、 ごとの到達目	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知 必要な標準的な学習時間の総計が 関標	
	1	く評べくさい。 学価単あ、自業9備学 で0名、力学の時次、 で0名、 で0名、 が関する。 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10名、 で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る で10る	 「の評価方法および評価基準>中間試再試験は実施しない。 「課理件>学業成績で60点以上を取得とめ要求される基礎知識の範囲>偏微器 「会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社	験, 定期試験の2回ですること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレア 習しながら進める. 週 1. 理	学的な知識, ** ポート作成に、 ごとの到達目	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知 必要な標準的な学習時間の総計が 関標	
		く評べく識く授,く数 学価単あ.自業9備学, 女数 週 1週 2週 2週 2週 2週 2週 2週 2週 2週 2週 2週 2週 2週 2週	回評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 理学と学業成績で60点以上を取得 必要求される基礎知識の範囲>偏微 なとである。 はではできる学習時間(中間試験を含む)と はに相当する学習内容である。 との基礎知識については授業時に復 となったである。 との性質 は、流体)の運動方程式、静水圧の レイノルズ方程式、地衡流	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 週 1.理 対式, 連続の式 2.	学的な知識, ポート作成に ごとの到達 が が が 解する。	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知 必要な標準的な学習時間の総計が 関標	
	<u>1</u>	く評くく識く授,く数 場、得じ、整調性 がよ、自業9備学, 数 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	回評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 理学と学業成績で60点以上を取得 必要求される基礎知識の範囲>偏微 学とである学習時間(中間試験を含む)と 別に相当する学習内容である。 と と と と と と と の と の と の と の と の と の と	験, 定期試験の2回のすること. 分がわかる程度の数な , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 週 1. 理 の式, 連続の式 2.	学的な知識, ポート作成に ごとの到達 が が が 解する。	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知 必要な標準的な学習時間の総計が 関標 詳環境にどのように関連しているかを	
	ıı 3rdQ	く評べくささい。(本) というでは、(本) と	回評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 理学と学業成績で60点以上を取得 必要求される基礎知識の範囲>偏微 なとである。 はではできる学習時間(中間試験を含む)と はに相当する学習内容である。 との基礎知識については授業時に復 となったである。 との性質 は、流体)の運動方程式、静水圧の レイノルズ方程式、地衡流	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 週 1.理 対式, 連続の式 2. り式, 連続の式 上 3.	学的な知識, ポート作成に ごとの到達目 水の性質が海解する. 海水の運動の 記2 過去から現在	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 図標 日標 日本となる仕組みを理解する.	
		く評べく識く授,<数(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(「の評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 課要件>学業成績で60点以上を取得 必め要求される基礎知識の範囲>偏微 認> 目では、一般である。 「会別である」とのは、 「会別である。 「会別ではいまする。 <	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレク 習しながら進める. 過 1.理 の式, 連続の式 2. の式, 連続の式 上 3.解 (※) 4.	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学の可達目である。 でとの到達目水の性質が海解する。 海水の運動の記2 過去から現在する。	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 関標 詳環境にどのように関連しているかを の元となる仕組みを理解する. までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次	
		く評べく識く授,<数週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	 「の評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 課理件>学業成績で60点以上を取得 必め要求される基礎知識の範囲>偏微 認> 目する学習時間(中間試験を含む)と 別に相当する学習内容である。 選等の基礎知識については授業時に復 要業内容 「流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 事業(流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 「流体」の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 型しながら進める. 型式, 連続の式 2. 対式, 連続の式 上 3解 流) 4.生	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 型標 12 13 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	
受業計画		 く評べく識く授,く数 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	 「の評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 課要件>学業成績で60点以上を取得 必め要求される基礎知識の範囲>偏微 認> とする学習時間(中間試験を含む)と 別に相当する学習内容である。 選等の基礎知識については授業時に復 要業内容 「流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 事洋(流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 「滅と海の関わり 「無上風によってできる流れ(エクマン 	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数な , 予習・復習及びレフ 習しながら進める. 図 1.理 の式, 連続の式 2. の式, 連続の式 上 3.解 流) 4. 生	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 型標 12 13 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	
受業計画		 く評へく識く授, く数 担遇 日遇 日週 日間 日間<td>回評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 再試験は実施しない。 事理件>学業成績で60点以上を取得 必要求される基礎知識の範囲>偏微 記> とする学習時間(中間試験を含む)と 間に相当する学習内容である。 2等の基礎知識については授業時に復 要業内容 ※の性質 再洋(流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 再洋(流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 無対に流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 無対に流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流</td><td>験, 定期試験の2回ですること、 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 図 1.理 の式, 連続の式 2. の式, 連続の式 上 3.解 4.生 5.る 上</td><td>学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学 ポート作成に ごとの 性質 が 変 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td><td>物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 型標 12 13 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17</td>	回評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 再試験は実施しない。 事理件>学業成績で60点以上を取得 必要求される基礎知識の範囲>偏微 記> とする学習時間(中間試験を含む)と 間に相当する学習内容である。 2等の基礎知識については授業時に復 要業内容 ※の性質 再洋(流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 再洋(流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 無対に流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 無対に流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流	験, 定期試験の2回ですること、 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 図 1.理 の式, 連続の式 2. の式, 連続の式 上 3.解 4.生 5.る 上	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学 ポート作成に ごとの 性質 が 変 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 型標 12 13 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	
受業計画		 く評べく識く授,<数 り備学の考り り備学 り備学 り備学 り間 り間 り間 り間 り間 り間 り間 り /ul>	で評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 再試験は実施しない。 理学と学業成績で60点以上を取得 必要求される基礎知識の範囲>偏微 の要求される基礎知識の範囲>に相当する学習内容である。 理等の基礎知識については授業時に復 受業内容 をの性質 解学(流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 解学(流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 を関と海の関わり 関上風によってできる流れ(エクマン 風成循環とスベルドラップ平衡 個位保存則と西岸強化	験, 定期試験の2回のすること. すること. 分がわかる程度の数さ , 予習・復習及びレフ 習しながら進める. 週 1.理 対式, 連続の式 2. 対式, 連続の式 2. 対式, 連続の式 4. 生 5.る	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学 ポート作成に ごとの到達が 変更 できる。 できる	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 関標 詳環境にどのように関連しているかを の元となる仕組みを理解する. までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次 関解する. ばがどのように循環しているかを理解す	
受業計画		く評べく識く授,<数	で評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 理学と学業成績で60点以上を取得 必め要求される基礎知識の範囲>偏微 記 記する学習時間(中間試験を含む)と 記に相当する学習内容である。 理等の基礎知識については授業時に復 要業内容 の性質 事詳(流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 事詳(流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 要詳(流体)の運動方程式,か像流 を関と海の関わり 更上風によってできる流れ(エクマン 風成循環とスベルドラップ平衡 過位保存則と西岸強化 世界の海水の分布と深層循環 気候変動と海(大気海洋相互作用,炭	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 週 1.理 の式, 連続の式 2. か式, 連続の式 2. か式, 連続の式 4. 生 5.る 上 6. 素循環, 地球温 7.	学的な知識, ポート作成に ご水解する の性る。 運動が 記2 か、マ関のよっ 記5 属に記5 属における 気候による	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 標 詳環境にどのように関連しているかを の元となる仕組みを理解する. までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次 解する. がどのように循環しているかを理解す に組みについて理解する.	
受業計画		く評べく識く授,<数	で評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 再試験は実施人で60点以上を取得 必め要求される基礎知識の範囲>偏微 記 記に相当する学習時間(中間試験を含む)と 記に相当する学習内容である。 理等の基礎知識については授業時に復 要業内容 の性質 事洋(流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 事洋(流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 類と海の関わり 更上風によってできる流れ(エクマン 風成循環とスベルドラップ平衡 配保存則と西岸強化 世界の海水の分布と深層循環 気候変動と海(大気海洋相互作用,炭	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 一式, 連続の式 2. 一式, 連続の式 2. 一式, 連続の式 4. 生 流) 4. 生 5.る 上 6. 素循環, 地球温 7. 8.	学的な知識, デポート作成に、ボート作成に、ボート作成に、があります。 ではる ではる ではる ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が は標 活洋環境にどのように関連しているかを の元となる仕組みを理解する. までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次 がどのように循環しているかを理解する. 調がどのように循環しているかを理解する. 組みについて理解する. 海の役割を理解する.	
受業計画	3rdQ	 く評べく識く授,く数 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	で評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 再試験は実施人で60点以上を取得 必め要求される基礎知識の範囲>偏微 記 記 記に相当する学習内容である。 理等の基礎知識については授業時に復 要業内容 の性質 解学(流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 解学(流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 解学(流体)の運動方程式,神水圧のレイノルズ方程式,地衡流 解と海の関わり 要上風によってできる流れ(エクマン 風成循環とスベルドラップ平衡 配保存則と西岸強化 世界の海水の分布と深層循環 気候変動と海(大気海洋相互作用,炭 優化)	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 週、 1理 対式, 連続の式 2. 対式, 連続の式 4. 生 3解 4.生 5.る 上 6. 素循環, 地球温 7. 8. 9.	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学 ポート作成に ご水解する 運動の 運動の 運動の 選動を で シーマの関係 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 個標 洋環境にどのように関連しているかを 対元となる仕組みを理解する. までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次 解する. がどのように循環しているかを理解す 組みについて理解する. 海の役割を理解する.	
授業計画		 く評べく識く授,く数 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	で評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 再試験は実施しない。 理要件>学業成績で60点以上を取得 必め要求される基礎知識の範囲>偏微 記> こする学習時間(中間試験を含む)と 間に相当する学習内容である。 理等の基礎知識については授業時に復 要業内容 との性質 の性質 の性質 の性質 のでが、の運動方程式、静水圧の レイノルズ方程式、地衡流 のである。 理等の基礎知識については授業時に復 を変換を の性質 のである。 理等の基礎知識については授業時に復 の性質 の性質 のである。 理等の基礎知識については授業時に復 の性質 のは、一位である。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでののでは、 のでののである。 のでののでは、 のでののでは、 のでののでのでは、 のでのでのでのでのでは、 のでのでのでののでのでの	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数型 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 型式, 連続の式 2. の式, 連続の式 上 3.解 4.生 5.る 上 6. 素循環, 地球温 7. 8. 9.	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学 ポート作成に ご水解する 運動の 運動の 運動の 選動を で シーマの関係 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 標 詳環境にどのように関連しているかを 対元となる仕組みを理解する。 までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次 説がどのように循環しているかを理解する。 組みについて理解する。 過かについて理解する。 過かを理解する。 しみを理解する。 しみを理解する。 しみを理解する。	
授業計画	3rdQ	September Appendix Append	で評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 再試験は実施しない。 理要件>学業成績で60点以上を取得 必め要求される基礎知識の範囲>偏微 記> こする学習時間(中間試験を含む)と 間に相当する学習内容である。 理等の基礎知識については授業時に復 要業内容 (流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 事详(流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 事は(流体)の運動方程式,神の流 を関と海の関わり 更上風によってできる流れ(エクマン 風成循環とスベルドラップ平衡 過位保存則と西岸強化 世界の海水の分布と深層循環 気候変動と海(大気海洋相互作用,炭 優化) 事洋波動 明汐 可弯の循環と環境問題	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数型 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 型式, 連続の式 2. の式, 連続の式 上 3.解 4.生 5.る 上 6. 素循環, 地球温 7. 8. 9.	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学光一ト作成に一 ごとの性る.	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 標 詳環境にどのように関連しているかを か元となる仕組みを理解する. までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次 解する. がどのように循環しているかを理解す 組みについて理解する. 海の役割を理解する. はみを理解する. はみを理解する. はみを理解する.	
授業計画	3rdQ	 く評べく識く授,く数 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	の評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 再試験は実施しない。 事業件>学業成績で60点以上を取得 め要求される基礎知識の範囲>偏微 記> こする学習時間(中間試験を含む)と 間に相当する学習内容である。 2等の基礎知識については授業時に復 要業内容 の性質 再详(流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 再详(流体)の運動方程式,静水圧のレイノルズ方程式,地衡流 を関と海の関わり 更上風によってできる流れ(エクマン 風成循環とスベルドラップ平衡 位保存則と西岸強化 世界の海水の分布と深層循環 気候変動と海(大気海洋相互作用,炭 気化) 再洋波動 明汐 内容の循環と環境問題 日本周辺の海洋環境と海洋生態系 日由研究発表(口頭)	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレク 習しながら進める. 過 1.理 の式, 連続の式 2. の式, 連続の式 上 3.解 3.解 4.生 5.る 上 6. 素循環, 地球温 7. 8. 9.	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学代一ト作成に対しています。 できない できない できない できない できない できない できない できない	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 標 詳環境にどのように関連しているかを の元となる仕組みを理解する。 までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次 2解する。 がどのように循環しているかを理解する。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	
注意点 授業計画	3rdQ	 く評べく識く授,く数 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	で評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 再試験は実施しない。 需要件>学業成績で60点以上を取得 必要求される基礎知識の範囲>偏微 引> 言する学習時間(中間試験を含む)と 引に相当する学習内容である。 理等の基礎知識については授業時に復 要業内容 の性質 再洋(流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 再洋(流体)の運動方程式,静水圧の レイノルズ方程式,地衡流 を関と海の関わり 毎上風によってできる流れ(エクマン 配成循環とスベルドラップ平衡 配保存則と西岸強化 世界の海水の分布と深層循環 配候変動と海(大気海洋相互作用,炭 優化) 再洋波動 明汐 四湾の循環と環境問題 日本周辺の海洋環境と海洋生態系	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレク 習しながら進める. 過 1.理 の式, 連続の式 2. の式, 連続の式 上 3.解 3.解 4.生 5.る 上 6. 素循環, 地球温 7. 8. 9.	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学光一ト作成に一 ごとの性る.	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 標 詳環境にどのように関連しているかを の元となる仕組みを理解する。 までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次 解する。 がどのように循環しているかを理解する。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	
授業計画	3rdQ 4thQ	く評べく識を行う。 学価単あ.自業9備学 1 1 3 3 4 5 6 6 7 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 1 2 2 2	で評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 再試験は実施人で60点以上を取得 必め要求される基礎知識の範囲> 偏微 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数学 , 予習・復習及びレク 習しながら進める. 過 1.理 の式, 連続の式 2. の式, 連続の式 上 3.解 3.解 4.生 5.る 上 6. 素循環, 地球温 7. 8. 9.	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学代一ト作成に対しています。 できない できない できない できない できない できない できない できない	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 標 詳環境にどのように関連しているかを の元となる仕組みを理解する。 までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次 解する。 がどのように循環しているかを理解する。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	
授業計画	3rdQ 4thQ	 く評べく識く授,く数 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	で評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 理要件>学業の績で60点以上を取得 必め要求される基礎知識の範囲>と偏微 はまする学習時間(中間試験を含む)と である。 と可しては授業時に復 の性質 の性質 の性質 の性質 の性質 の性質 のは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数型 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 型式, 連続の式 2. 対式, 連続の式 4. 生 5.る 上 6. 素循環, 地球温 7. 8. 9.	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学代一ト作成に対しています。 できない できない できない できない できない できない できない できない	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 標 詳環境にどのように関連しているかを の元となる仕組みを理解する。 までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次 説がどのように循環しているかを理解する。 組みについて理解する。 はみを理解する。 はみを理解する。 はみを理解する。 はみを理解する。 はみを理解する。 はみを理解する。 はみを理解する。 はまるの関係を理解する。 生態系の関係を理解する。 生態系の関係を理解する。	
受 業 計画	3rdQ 4thQ	く評べく識を行う。 学価単あ.自業9備学 1 1 3 3 4 5 6 6 7 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 1 2 2 2	で評価方法および評価基準>中間試 再試験は実施しない。 再試験は実施人で60点以上を取得 必め要求される基礎知識の範囲> 偏微 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	験, 定期試験の2回の すること. 分がわかる程度の数型 , 予習・復習及びレス 習しながら進める. 型式, 連続の式 2. 対式, 連続の式 4. 生 5.る 上 6. 素循環, 地球温 7. 8. 9.	学的な知識, 学的な知識, 学的な知識, 学代一ト作成に対しています。 できない できない できない できない できない できない できない できない	物理, 化学等の理科の一般的な基礎知必要な標準的な学習時間の総計が 標 詳環境にどのように関連しているかを の元となる仕組みを理解する。 までの人類と海のかかわりについて理 の仕組みを理解し、それと海洋の一次 2解する。 がどのように循環しているかを理解する。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	

総合評価割合	120	60	0	0	0	120	300
基礎的能力	40	20	0	0	0	40	100
専門的能力	40	20	0	0	0	40	100
分野横断的能力	40	20	0	0	0	40	100

鈴鹿			開講年度	令和02年度 (2	.UZU T /又 /	בענו	業科目 1	移動現象論	
科目基礎	楚情報				•	•			
科目番号		0047			科目区分		専門 / コー	-ス選択必修	
授業形態		授業			単位の種別と単位	立数	学修単位:	2	
開設学科		総合イノ ス)	ベーション工学専攻	(環境・資源コー	対象学年		専2		
 開設期		前期			週時間数		2		
教科書/教	· (材	教科書:	なし, ノート講義参	考書:「Transpor	t Phenomena(2	2nd Edi	ion)] Bir	d, Stewart, Li	ightfoot (Wiley)
旦当教員		船越 邦夫	₹	·					
到達目標	票								
運動量移動 导し,装置	動・熱移 置内の運	動・物質移動に 動量・熱・物質	関する相似性を理解 の移動過程の計算に	し, これらの移動 利用できる.	過程を記述する微	分方程式	だを導出ある	るいは利用する	ための基礎知識を習
<u>ルーブ!</u>	<u> </u>								
			理想的な到達レベ		標準的な到達レイ			未到達レベル	
平価項目1	1		運動量移動に関す を解くことができ		運動量移動に関す を解くことができ		的な問題	運動量移動に とができない	関する問題を解くこ
平価項目2	2		熱伝導に関する応 くことができる	5用的な問題を解	熱伝導に関する基 くことができる	基礎的な	問題を解	熱伝導に関す できない	る問題を解くことが
平価項目3	3		物質移動に関する 解くことができる		物質移動に関する 解くことができる	る基礎的 る	な問題を	物質移動に関 ができない	する問題を解くこと
学科の登	到達目標	頭目との関	係						
教育方法									
既要		移動現象 移動の類 に関する る.	論は,運動量,熱,物似性を学ぶとともに,研究を担当していた。	物質が様々な過程 , 移動現象を記述 教員が, その経験	を通じて移動する。 する微分方程式の を活かし,運動量	現象であ 導き方を 移動や熱	る. 本講郭 学ぶ. この 移動, 物質	遠では,運動量 0科目は研究所 質移動について	移動・熱移動・物質 で分散型エネルギー 授業を行うものであ
受業の進む	め方・方	去 ・授業は	の授業内容は,学習 講義形式で行う. 計画」における各週0	•	•				レオス
注意点		ない. <単位修	得要件> 学業成績 ⁻	で60 点以上を取得	引すること.				ンベルの試験を課す、 験の再試験は実施し) や物理(力学
		ない. (4) (4) (4) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	得要件> 学業成績 じめ要求される基礎 (物質の状態)は十	で60 点以上を取得知識の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語のでは理解していること。 「情報処理応用」、実験ので望いでは、実際のでは、学習時間と、予習	すること、 教科は、教養教育 ものとして講義を ・化学設計製図、 ・ ましい・ ・ 復習(中間試験	科目の数 進め, 専 化学工学	文学(微分・ 評門科目であ * I (3, 4 ⁴ は験のための	・積分学の基礎 5る物理化学 I 年), 化学工学	験の再試験は実施し)や物理(力学 (相平衡,熱力学 ☆Ⅱ,化学工学Ⅲ,反
	<u></u>	ない単あ、一位ら化物学では、一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一	得要件> 学業成績 じめ要求される基礎 (物質の状態)は十 化学耳(反応速度論) および応用化学コーク 習>授業で保証する 総計が、45 時間に相 項> 数式の背景にな	で60 点以上を取得知識の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語のでは理解していること。 「情報処理応用」、実験ので望いでは、実際のでは、学習時間と、予習	すること、 教科は、教養教育さ ものとして講義を 化学設計製図、 ましい。 ・復習(中間試験 である。 で分に理解するこ	科目の数 進め、専 化学工学 、定期記 とが重要	文学(微分・ 『門科目であ ・I (3,44 『験のための	・積分学の基礎 ある物理化学 I 年), 化学工学 D学習も含む)	験の再試験は実施し)や物理(力学 (相平衡,熱力学 ☆Ⅱ,化学工学Ⅲ,反
	ച	ない。 くく)、 くく)、 い単あ、 が学己間 でといった では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	得要件> 学業成績 じめ要求される基礎 (物質の状態)は十 化学II (反応速度論 および応用化学コー 設置>授業で保証する。 総計が、45時間に相 項> 数式の背景に 授業内容 授業の概要	で60 点以上を取得知識の範囲> 本第分に理解しているうり、情報処理応用,入実験の履修が望著習時間と,予習目当する学習内容である物理的意味を	すること、 教科は、教養教育 ちのとして講義を 化学設計製図、、 ましい・ ・復習(中間試験 である・ でからに理解するこ	科目ので 連出ので 東京学工 東期 記 上が重要 週ごとの 1. New	文学(微分・ で で で で に に に に に に に に に に に に に	・積分学の基礎 ある物理化学 I 年), 化学工学 D学習も含む)	験の再試験は実施し)や物理(力学 (相平衡,熱力学 ・Ⅱ,化学工学Ⅲ,反 に必要な標準的な学
	<u> </u>	なくと、 (修か学理、学の事) 過 1 週	得要件〉 学業成績 では要求される基礎 (物質の状態)は十分 化学II(反応速度論 および応用化学コーク 習と授業 (不知事) 総計が、45時間に相 項と数式の背景にを 授業内容 授業内容 授業の概要 Newton の粘性法則 flux	で60 点以上を取得知識の範囲> 本第分に理解している。),情報処理応用,乙実験の履修が望等習時間と、予習問当する学習内容である物理的意味を変し、剪断応力の物理	すること。 教科は、教養教育だちのとして講義を ものとして講義を ・化学設計製図、 ・ましい。 ・復習(中間試験 である。 ・た分に理解するこ ・の意味、運動量	科目の数 連め、工 定期 を が重 型 1. News 1. News	文学(微分・ 評門科目では 注 I (3,44 試験のための 語である。 D到達目標 ton の粘性できる。	・積分学の基礎 ある物理化学 I 年),化学工学 D学習も含む)	験の再試験は実施し) や物理(力学(相平衡,熱力学 ・Ⅱ,化学工学Ⅲ,反 に必要な標準的な学 ・流れの圧力損失につい
		ない。単のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般の	得要件〉 学業成績 じめ要求される基礎 (物質の状態) は十 化学耳(反応速度論 および応用化学コー 器子授業で保証する。 総計が、45時間に相 項〉 数式の背景に 授業内容 授業の概要 Newton の粘性法則 flux 円管流れの圧力損失	で60 点以上を取得知識の範囲> 本調の範囲> 本調分に理解しているう),情報処理応用,又実験の履修が望いと習時間と当る学習時間と当る物理的意味を対し、剪断応力の物理	すること. 教科は、教養教育 ものとして講義を ・化学設計製図, ・・復習 (中間試験 である. でかたに理解するこ 的意味, 運動量 流・乱流, Re 数	科目の、 単地学工 定期 週ごとで 1. New 1. New 2. 円管	文学(微分・ は は は は は は は は に である。 の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の の も の も の の も の の も の の の も の の の も に の の の の の の の の の の の の の	・積分学の基礎 ある物理化学 I 年),化学工学 D学習も含む) 法則,円管内流 流体の流動状態	験の再試験は実施し) や物理(力学(相平衡,熱力学をII,化学工学III,反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失について説明できる
		は い 単あ、 い 上 で い 上 で で で で で で で で で で で で で	得要件> 学業成績 じめ要求される基礎 (物質の状態)は十 (物質の状態)は十 化学II(反応速度論 および応用化学コーラ 総計が、45時間に相 項> 数式の背景に 授業内容 授業の概要 Newton の粘性法則 flux 円管流れの圧力損失 一次元,二次元,三	で60 点以上を取得知識の範囲> 本調の範囲> 本調分に理解している。),情報処理応用,天験の履修が望習時間と習明当する学習時間と習明当する学習時間を変換をある物理的意味を対し、剪断応力の物理,流れの機構:層次元的流れの連続	すること. 教科は、教養教育 ものとして講義を ・化学設計製図, ・・復習 (中間試験 である. でかたに理解するこ 的意味, 運動量 流・乱流, Re 数	科佳化学 定 期 重 とい 週 1、Rews で 1 1、説明 管 2、 更 通 3、 連続	文学(微分・ は門科目では は I (3,44 は験のための をである。 の到達目標 ton の粘性できる。 内を流れる の式, Bern	・積分学の基礎 ある物理化学 I 年), 化学工学 D学習も含む)	験の再試験は実施し) や物理(力学(相平衡,熱力学をⅡ,化学工学Ⅲ,反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失について説明できる。
	1stQ	なくく))応く習く 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	得要件〉 学業成績 でめ要求される基礎 (物質の状態)は十分 化学II(反応速度論) および応用化学コーク 習〉授業 45 時間に相 項〉 数式の背景にを 授業内容 授業の概要 Newton の粘性法則 flux 円管流れの圧力損失 一次元,二次元,三 運動方程式,運動量	で60 点以上を取得知識の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語分に理解している。),情報処理応用,乙実験の履修が望智時間と習りである物理的意味を変わる物理的意味を変わる。	すること。 教科は、教養教育育 ものとして講義を ・ 化学設計製図、 ・ ましい・ ・ も図(中間試験 がある・ 理解するこ 的意味、運動量 流・乱流、Re数 の式	科佳化学 定期 重 と の 見	文学(微分・ は門科目では は I (3,44 は験のための をである。 の到達目標 ton の粘性できる。 内を流れる の式, Bern	・積分学の基礎 ある物理化学 I 年), 化学工学 D学習も含む)	験の再試験は実施し)や物理(力学 (相平衡, 熱力学 ・Ⅱ, 化学工学Ⅲ, 反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失につい 態について説明できる
		は い 単あ、 、 大 で い 単あ、 、 大 工 自 時 注 週 1 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 週 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	得要件〉 学業成績 で必要求される基礎 (物質の状態)は十分 化学II(反応速度論 および応用化学コーク 習と授業で保証する 総計が、45時間に相 類大の背景にな 授業内容 授業の概要 Newton の粘性法則 flux 円管流れの圧力損失 一次元,二次元,三 運動方程式,運動量 Bernoulliの式,管所	で60 点以上を取得知識の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語分に理解している。), 情報処理応用, 天襄時間と習時間と習時間と習内容である物理的意味を対し、剪断応力の物理, 流れの機構:層次元的流れの連続保存則の応用	すること、 教科は、教養教育 ものとして講義を ・化学設計製図、、 ・しい・・ ・ある、 ・をある、 ・をあるに理解するこ 的意味、運動量 流・乱流、Re 数 の式 ー損失	科進化 , と 週 1. C 2. 3 4. 上 3 4. 上 3 4. 上 3 4 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	文学(微分・ で料目でする: I (3,44 は験のための である. D到達目標 tonのも 内を流れる の式、Berr 方程式、運	・積分学の基礎 ある物理化学 I 年),化学工学 D学習も含む) 法則,円管内 流体の流動状態 noulliの式につ 動量保存則にご	験の再試験は実施し) や物理(力学(相平衡,熱力学はII,化学工学III,反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失について説明できる。 ついて説明できる。
		なくく))応く習く 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	得要件〉 学業成績 でめ要求される基礎 (物質の状態)は十分 化学II(反応速度論) および応用化学コーク 習〉授業 45 時間に相 項〉 数式の背景にを 授業内容 授業の概要 Newton の粘性法則 flux 円管流れの圧力損失 一次元,二次元,三 運動方程式,運動量	で60 点以上を取得知識の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語分に理解している。), 情報処理応用, 天襄時間と習時間と習時間と習内容である物理的意味を対し、剪断応力の物理, 流れの機構:層次元的流れの連続保存則の応用	すること、 教科は、教養教育 ものとして講義を ・化学設計製図、、 ・しい・・ ・ある、 ・をある、 ・をあるに理解するこ 的意味、運動量 流・乱流、Re 数 の式 ー損失	科進化 , と 週 1. C 2. 3 4. 上 3 4. 上 3 4. 上 3 4 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	文学(微分・ で料目でする: I (3,44 は験のための である. D到達目標 tonのも 内を流れる の式、Berr 方程式、運	・積分学の基礎 ある物理化学 I 年), 化学工学 D学習も含む)	験の再試験は実施し) や物理(力学(相平衡,熱力学はII,化学工学III,反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失について説明できる。 ついて説明できる。
受業計画		は い 単あ 、 工 直 に で で で で で で で で で で で で で	得要件〉学業成績 で必要求される基礎 (物質の状態)は十分 化学II(反応速度論 および応用化学コーク 総計が、45時間に相 類字 数式の背景に変 授業内容 授業の概要 Newtonの粘性法則 flux 円管流れの圧力損失 一次元,二次元,三 運動方程式,運動量 Bernoulliの式,管理 流下液膜流れのshell 化 課題レポート作成	で60 点以上を取得知識の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語分に理解している。), 情報処理応用, 天襄時間と、予容を予容を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	すること。 教科は、教養教育育 ものとして講義を ・化学設計製図、 ・ましい・ ・復習(中間試験 があるに理解するこ 的意味、運動量 流・乱流、Re 数 の式 ー損失 ance による定式	科進化 , と 週 1.c x m で で で が ご N i i i i i i i i i i i i i i i i i i	文学(微分・ 文学(微分・ 文学 I (3,44 は は は は は は に である。 の 力到達目標 できる。 の 大たが、 の 大たが、 の 大れる の 大程式, 運 で で で で で の た の の た の の で の で ある。 の で ある。 の で ある。 の で で ある。 の で で で ある。 の で で で ある。 の で で で で で で で で で で で で で	・積分学の基礎ある物理化学IF),化学工学の学習も含む) 法則,円管内流体の流動状態 moulliの式について説明でた内容を説明す	験の再試験は実施し) や物理(力学 (相平衡,熱力学 注II,化学工学III,反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失につい 態について説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。
受業計画		は い 単あ 、 工 直 に で で で で で で で で で で で で で	得要件〉学業成績 で必要求される基礎 (物質の状態)は十分 化学II(反応速度論 および応用化学コーク 総計が、45時間に相 類字 数式の背景に変 授業内容 授業の概要 Newtonの粘性法則 flux 円管流れの圧力損失 一次元,二次元,三 運動方程式,運動量 Bernoulliの式,管理 流下液膜流れのshell 化 課題レポート作成	で60 点以上を取得知識の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語分に理解している。), 情報処理応用, 天襄時間と、予容を予容を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	すること。 教科は、教養教育育 ものとして講義を ・化学設計製図、 ・ましい・ ・復習(中間試験 があるに理解するこ 的意味、運動量 流・乱流、Re 数 の式 ー損失 ance による定式	科進化 , と 週 1 て 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 · 4 · 4 · 5 · 5 · 5 · 5 · 6 · 6 · 6 · 6 · 6 · 6	文学(微分・ 文学(微分・ でででででででする。 でのである。 でででででである。 ででででででいる。 でででででででいる。 でででででででいる。 でででででででいる。 ででででででいる。 ででででででいる。 でででででいる。 でででででいる。 でででででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 で	・積分学の基礎ある物理化学IF),化学工学の学習も含む) 法則,円管内流流体の流動状態の可以について説明できるを説明すいて説明できる。	験の再試験は実施し) や物理(力学 (相平衡, 熱力学 はI, 化学工学III, 反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失について説明できる。 ついて説明できる。 できる。 ることができる。
受業計画		は い 単あ 、 工 直 に で で で で で で で で で で で で で	得要件〉学業成績 得要件〉学業成績 (の要求される基礎) (物質の状態)は十一 化学II(反応速度論) および応用化学コース 経計が、45時間に相 授業内容 授業内容 授業の概要 Newtonの粘性法則 flux 円管流れの圧力損失 一次元,二次元,三 運動方程式,運動量 Bernoulliの式,管理流下液膜流れのshell 化 課題レポート作成 伝熱の機構:伝導, 伝導伝熱:Fourier (で60 点以上を取得知識の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語の	すること、 教科はとりで ものとして がおのに ましい。 ・では からでで からでで からでで からでで からでで からでで からでで から	科進化 , と 週 1.て 2.・3.4.上 5. こ 6.7. で 1. で 1. で 1. で 2.・3.4.上 た こ 2. で 3.4.上 た こ 2. で 4. で 5. で 4. で 5. で 5. で 6.7.	文学 (微分・ 文学 (微分・ 文学 (・積分学の基礎ある物理化学IF),化学工学の学習も含む) 法則,円管内流流体の流動状態の可能について説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できる。	験の申試験は実施し)や物理(力学 (相平衡, 熱力学 ・II, 化学II, 反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失について説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 できる。 「ることができる。
受業計画		は な く く)) 応 と で の い 単あ ・ 、 工 百時注 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	得要件〉学業成績 で必要求される基礎 (物質の状態)は十分 化学II(反応速度論 および応用化学コーク 総計が、45時間に相 類字 数式の背景に変 授業内容 授業の概要 Newtonの粘性法則 flux 円管流れの圧力損失 一次元,二次元,三 運動方程式,運動量 Bernoulliの式,管理 流下液膜流れのshell 化 課題レポート作成	で60 点以上を取得知識の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語。	すること、 教科は、教養教育 行のとして講義を がのといい。 ましい。 であるに理解するこ 的意味, 運動量 流・乱流, Re 数 の式 一損失 ance による定式 尊伝熱	科進化 , と 週 1.て 2. 3.4上 5. こ 6.7 7. (6.7 7.7)	文学 (微分・ 文学 (微分・ 文学 I (3,44) 計算 I (3,44) 計算 のための である。 の到達目標 tonの表。 内を流れる の式式, Berri 方程式, 運 でして、 でに学習して、 の機構について、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、	・積分学の基礎ある物理化学IF),化学工学の学習も含む) 法則,円管内流流体の流動状態の可以について説明できるを説明すいて説明できる。	験の申試験は実施し)や物理(力学 (相平衡, 熱力学 ・II, 化学II, 反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失について説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 できる。 「ることができる。
受業計画		は い 単あ、、 工 直 で い で い で の で で で の で で で の で で の で で で の で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	得要件〉学業成績 得要件〉学業成績 で必要求され感)はも 化学耳(反応応度 化学耳(反応応学 で応用化保証間に 習習〉授業 45 時背景に 授業内容 授業の概要 Newton の粘性法則 flux 円管流れの圧力損失 一次元,二次元,三 運動方程間の式,管 流下液膜流れのshel 化 課題レポート作成 伝熱の機構:伝導, 伝導伝熱:Fourier の 多層平板,単一円管	で60 点以上を取得知識の範囲> 本る: 分に類別> 本る: 分に理解処理にない では では では できます できます できます できます できます できます できます できます	すること、 教科はとの (大) 教養教養 (大) 教養教養 (大) がい。 (中間試験) でなかに (大) では (大) でな (大) では (大) でな (大) でな	科進化 , と 週 1.て 2. 3.4上 5. こ 6.7 7. (6.7 7.7)	文学 (微分・ 文学 (微分・ 文学 I (3,44) 計算 I (3,44) 計算 のための である。 の到達目標 tonの表。 内を流れる の式式, Berri 方程式, 運 でして、 でに学習して、 の機構について、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のに対して、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、 のにが、	・積分学の基礎である物理化学IF),化学工学の学習も含む) 法則,円管内が流体の流動状態の可能について説明できるいて説明できる。	験の申試験は実施し)や物理(力学 (相平衡, 熱力学 ・II, 化学II, 反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失について説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 できる。 「ることができる。
受業計画	1stQ	は な く く)) 応 と で の に し ら に い 単 あ 、 、 工 自 時 注 の に り) に と で の に り) の に り の に の に り の の の の の の の の の の の の の	得要件〉学業基準で (物質I(欠いでは)でも でも要のでは では では では では では では では では では	で60 点以上を取得知識の範囲> 本る が の	すること、 教科はとり、 が科のという。 がおいる。 かいでいる。 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。	科進化 , と 週 1.て 2.・3.4 上 5. こ 6.7 7.8.上 9. の,工 期 重 と w明 管 続動 1. 下 ま熱伝導流 8 射	文学 (微分 striple of the conference of the confer	・積分学の基礎をある物理化学I等である物理化学工学の学習も含む) 法則、円管内流流体の流動状態の可能はできる。 について説明できる。 に説明できる。 に説明できる。 に説明できる。	験の再試験は実施し)や物理(力学 (相平衡,熱力学 ・II,化学工学III,反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失につい 態について説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。
受業計画		は (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	得要件〉学業成績 (学工人) 学業成績 (物質の大態) とは (物質の大態) とは (物質の大態) とは (物質の大態) とは (化学工人) に応用化学は (化学工人) とは (化学工人) とは (化学工人) とは (化学工人) とは (大学工人) とな (大学工人) とな (で60 点以上を取得知識の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語の前側と可能していた。	すること、 教科はとり、 が科のという。 がおり、 がおり、 がたかい。 からで、 からで、 からで、 からで、 からで、 からで、 からで、 からで、	科進化 , と 週 1 て 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10 ·	文学 (微分 striple of the conference of the confer	・積分学の基礎I ある物理化学工学 の学習も含む) 一注 一注 一注 一注 一注 一注 一注 一注 一注 一注	験の再試験は実施し)や物理(力学 (相平衡,熱力学 ・II,化学工学III,反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失につい 態について説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。
受業計画	1stQ	は な く く)) 応 と で の に し ら に い 単 あ 、 、 工 自 時 注 の に り) に と で の に り) の に り の に の に り の の の の の の の の の の の の の	得要件〉学業基準で (物質I(欠いでは)でも でも要のでは では では では では では では では では では	で60 点以上を取得知識の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語の範囲> 本語の前側と可能していた。	すること、 教科はとり、 が科のという。 がおり、 がおり、 がたかい。 からで、 からで、 からで、 からで、 からで、 からで、 からで、 からで、	科進化 , と 週 1.て 2.・3.4.上 5. こ 6.7 7.8.上 9.0. 11. 12.	文学(微分では 文学(微分では では、また。 では、また。 では、また。 では、また。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 での後に、での後に、での後に、での後に、での後、は、このでのは、このでは、は、このでは、は、このでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・積分学の基礎I ・ 積分学の基礎I ・ 方る物理化学工学 の学習も含む) ・ 法則, 円管内 ・ 流体の流動状態 ・ 加工説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。	験の申試験は実施し)や物理(力学(相平衡,熱力学・ は「、化学工学Ⅲ,反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失につい 態について説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ることができる。 る。
受業計画	1stQ	は (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	得要件〉学業成績 (学工人) 学業成績 (物質の大態) とは (物質の大態) とは (物質の大態) とは (物質の大態) とは (化学工人) に応用化学は (化学工人) とは (化学工人) とは (化学工人) とは (化学工人) とは (大学工人) とな (大学工人) とな (で60 点以上を取得知識の範囲>」からに知識の解用>」からに理解処理である。),情報の解し理応的望い。 ・ 実験の限と、予容である物理的意味を予留を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	ますること、 教科のと、教 教育を が科のといい。 にしいました。 にはいい。 にはのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでのでのででは、 のでのでのでのでのでででででででででででででででででででででででででででで	科進化 , と 週 1 て 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 の 1 工 期 重 と ws で 管 続動 1 下 ま 熱伝 導流 射物 1 の 1 正 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	文学(微分では 文学(微分では では、また。 では、また。 では、また。 では、また。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 のができる。 での後に、での後に、での後に、での後に、での後、は、このでのは、このでは、は、このでは、は、このでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・積分学の基礎I ・ 積分学の基礎I ・ 方る物理化学工学 の学習も含む) ・ 法則, 円管内 ・ 流体の流動状態 ・ 加工説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。	験の申試験は実施し)や物理(力学(相平衡,熱力学(相平衡,熱力学)では、化学工学Ⅲ,反に必要な標準的な学 元れの圧力損失について説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 こことができる。 ることができる。 ることができる。 る。。。。
受業計画	1stQ	はくく)) 応く習く 週 1週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	得要件〉学業成績 得要件〉学業成績 であっている。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 では、 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で60 点以上を取得知識の範囲>」からに知識の解用>」からに理解処理である。),情報の解し理応的望い。 ・ 実験の限と、予容である物理的意味を予留を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	ますること、 教科のと、教 教育を が科のといい。 にしいました。 にはいい。 にはのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでのでのででは、 のでのでのでのでのでででででででででででででででででででででででででででで	科進化 , と 週 1 て 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 の 1 工 期 重 と ws で 管 続動 1 下 ま 熱伝 導流 射物 1 の 1 正 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	文学(微分では 文学(微子では では、まためのです。 では、またのでは、またのでは、またでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・積分学の基礎I ・ 積分学の基礎I ・ 方る物理化学工学 の学習も含む) ・ 法則, 円管内 ・ 流体の流動状態 ・ 加工説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。	験の申試験は実施し)や物理(力学(相平衡、熱力学(相平衡、熱力学)では、化学工学Ⅲ、 に必要な標準的な学 流れの圧力損失について説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ることができる。 ることができる。 る。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。
受業計画	1stQ	は な く く)) 応 と で り) 心 ら に り) 心 ら で り) に り) に り り し に り り し に り り し の り し の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の の の の の の の の の の の の の	得要件字では 得要件字では が関係では でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは では でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは でもないでは ではないでは でもないでは でもないでは でもないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないではな ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは ではないでは	で60 点以上を取得 知識の範囲> いる 分に理解していた 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体	ますること、 教科のと、教 教育を が科のといい。 にしい。 にしい。 にはのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでは、 のでのでのでのでは、 のでのでのでのでのでのででは、 のでのでのでのでのででのででででででででででででででででででででででででで	科進化 , と 週 1 て 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 の 1 工 期 重 と ws で 管 続動 1 下 ま 熱伝 導流 射物 1 の 1 正 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	文学(微分では 文学(微子では では、まためのです。 では、またのでは、またのでは、またでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・積分学の基礎I ・ 積分学の基礎I ・ 方る物理化学工学 の学習も含む) ・ 法則, 円管内 ・ 流体の流動状態 ・ 加工説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。	験の申試験は実施し)や物理(力学(相平衡、熱力学(相平衡、熱力学)では、化学工学Ⅲ、 に必要な標準的な学 流れの圧力損失について説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ることができる。 ることができる。 る。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。
受業計画が期	1stQ	は な く く)) 応 と 習 と 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	得要件> 学成績 得要件> 学表域 (中学) (中学) (中学) (中学) (中学) (中学) (中学) (中学)	で60 点以上を取得 知識の範囲> いる 分に理解していた 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体	割すること、 教科のと、教 教教のの おいました。 おいました。 おいました。 おいました。 でたかい。 の意味、運動量 の式・ 一損失による定式 りには、 の式・ 一間には、 の式・ 一間には、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	科進化 , と 週 1 て 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 の 1 工 期 重 と ws で 管 続動 4 下 ま 熱伝 導流 射物 1 の 1 正 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	文学(微分では 文学(微子では では、まためのです。 では、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またでのでは、またでのでは、またでのでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また	・積分学の基礎I ・積分学の基礎I ・方る物理化学工学 の学習も含む) ・法則、円管内が 流体の流動状態 ・ 加速 できるができるができるができるができるができるができるができるができるができるが	験の申試験に実施し)や物理(力学(相平衡、熱力学(相平衡、熱力学)に 「に必要な標準的な学 に必要な標準的な学 にのいて説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 こことができる。 ることができる。 る。。
受業計画	1stQ 2ndQ	は な く く)) 応 と で り) 心 ら に り) 心 ら で り) に り) に り り し に り り し に り り し の り し の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の の の の の の の の の の の の の	得要件> 学成績 得要件> 学表域 (中学 II (小学 II (小) II (で60 点以上を取得 知識の範囲>本る。 分に開発している。 分に情報処理が関係を予格 。 、実験の間とと習らでである。 、変を問題を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、のでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	割すること、 教科のと、教 教教のの おいました。 おいました。 おいました。 おいました。 でたかい。 の意味、運動量 の式・ 一損失による定式 りには、 の式・ 一間には、 の式・ 一間には、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	科進化 , と 週 1 て 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 の 1 工 期 重 と ws で 管 続動 4 下 ま 熱伝 導流 射物 1 の 1 正 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	文学(微分では 文学(微子では では、まためのです。 では、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またでのでは、またでのでは、またでのでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また	・積分学の基礎I ・積分学の基礎I ・方る物理化学工学 の学習も含む) ・法則、円管内が 流体の流動状態 ・ 加速 できるができるができるができるができるができるができるができるができるができるが	験の申試験は実施し)や物理(力学(相平衡,熱力学・ は「、化学工学Ⅲ,反 に必要な標準的な学 流れの圧力損失につい 態について説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ついて説明できる。 ることができる。 る。
受業計画	1stQ 2ndQ	は な く く)) 応 と 習 と 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	得要件> 学成績 得要件> 学表域 (中学 II (小学 II (小) II (で60 点以上を取得 知識の範囲とする。 分に理解していたので)、「情報の配置と習意味をできる。)、「特別の理解していたので 学習時のででである。 」、「のでは、のででは、のででは、のででは、のででは、のででは、のででは、のででは	割すること、 教科のと、教 教教のの おいました。 おいました。 おいました。 おいました。 でたかい。 の意味、運動量 の式・ 一損失による定式 りには、 の式・ 一間には、 の式・ 一間には、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ 一間に、 の式・ のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	科進化 , と 週 1 て 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 工 1 い で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 工 1 い で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 3 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 · 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3	文学(微目 (・積分学の基礎I ・積分学の基礎I ・方る物理化学工学 の学習も含む) ・法則、円管内が 流体の流動状態 ・ 加速 できるができるができるができるができるができるができるができるができるができるが	験の再試験は実施し)や物理(力学(相平衡・熱力学)では、化学工学Ⅲ、人で学Ⅲ・反に必要な標準的な学 「に必要な標準的な学 「なれの圧力損失について説明できる。」 「こことができる。」
注意 受 ボッカー デカー デカー デカー デカー デカー デカー デカー デカー デカー デ	1stQ 2ndQ	は な く い 単あ, 工 百時注 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	得要件文式表表的 学業 人名 大小	で60 点以上を取得 知識の範囲>本る。 分に開発している。 分に情報処理が関係を予格 。 、実験の間とと習らでである。 、変を問題を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、変を表現である。 、のでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、ないでは、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ますること、 教養を 対科(とと)、 教養教養の、 がおけい。 にしい。 にしい。 にはいるので、 にはなるので、 にはなるので、 にはなるので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 ので、	科進化 , と 週 1 て 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 工 1 い で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 工 1 い で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 2 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 3 · 3 · 4 上 5 · こ 6 7 · 7 · 8 上 9 · 0 · 1 正 記 で 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3	文学(微分では 文学(微子では では、まためのです。 では、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またでのでは、またでのでは、またでのでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また	・積分学の基礎I ・ 積分学化学工学 の基準I ・ 方る物理化学工学 の学習も含む) ・ 法則, 円管内 ・ 流体のの式別について説明ではいて説明できる。 ・ て説明できる。 ・ て説明できる。	験の再試験は実施し)や物理(力学(相平衡・熱力学をIII、化学工学III、反に必要な標準的な学に必要な標準的な学のいて説明できる。 このいて説明できる。 こることができる。 こることができる。 こることができる。 こることができる。 こることができる。 こることができる。 こることができる。 ころことができる。

鈴鹿	 工業高等	 専門学校	開講年度 令和02年度	 ま(2020年度)		生体機能工学	
科目基礎			1-10 1 /2		1 22 22 12 1 1 1	-	
科目番号	ATOLL	0048		科目区分	寅闁 / 一		
授業形態		授業		単位の種別と単			
開設学科			ベーション工学専攻(環境・資源)		専2	. 4	
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教	 材	教科書·			参考書:「細胞の分子生物学」ALBERTS/ JOHNSON/ LEWIS 監訳 ニュートンプレス 第5版 ほか		
担当教員		今田 一姐		深 監訳 ニュート	ノノレ人 先3放 は		
型当教员 到達目標	 5	<u> ЭШ Я</u>	r .				
		ハ#+/#トントントイト/トイト	に思えて専門の東頂ナエ四級」		ヒロナファレがブー	+ 7	
		グ特似で機能	に関する専門的事項を理解し, バ	17アクノロシーへ加	心用することかでき	<u>්</u> වේ.	
ルーブリ	リツク				— —	1	
評価項目1			埋想的な到達レベルの目安 様々な生体分子がどのような棒 をつくるか説明できる.	標準的な到達レ 構造 代表的な生体分 きる.	<u>√ベルの目安</u> ト子について説明で	未到達レベルの目安 代表的な生体分子について説明できない。	
評価項目2			生体分子の応用例を挙げ、どの うな特性が用いられているのか 明できる.		例を挙げることが	生体分子の応用例を挙げることだできない.	
評価項目3			分子レベル捉えることによって 命現象が応用できる可能性を訪 できる.	「生 生命現象を分子 ことができる.	・レベルで説明する	生命現象を分子レベルで捉える。 とができない.	
学科の到	」達目標項	目との関	 係				
教育方法							
概要		生体を構子となっ機能を理	成する核酸,タンパク質,多糖, て全く異なった作用をすることが 解した後,超分子のバイオテクノ		は, それぞれ独立し ここでは, 初めに いて学ぶ.	って働いているだけでなく, 生体超分 生体分子および生体超分子の構造と	
		・すべて				a)に相当する.	
授業の進め	方・方法	・授業は	講義形式で行う.			•	
			計画」における各週の「到達目標				
		一により評	価する. 1~14に関する重みは同じ	ゅ・能力」1~14の音0 じである. 合計点の60	骨の度合いを中间 0%の点数を得る。	試験,期末試験,小テスト,レポー ことによって目標の達成が確認できる	
		ーレベルの	試験を課す.			%, レポートの評価を30%として評	
		する. た	順の計画力法のより計画基準フ後期 だし,前期中間において60%に達	していない学生には	月試験の干巧を70	76, レバートの計画を30%として計 再試験の成績が前期中間試験の成績 だし前期中間試験を無断欠席した学	
注意点		上回った	場合には,60点を上限として再試験を実施しない。	験の成績で置き換える	るものとする. たた	だし前期中間試験を無断欠席した学会	
注思只		/ 畄位修:	験を実施しない、また前期末試験 得要件>学業成績で60点以上を取行	倶すスァレ			
		1<あらか	じめ要求される基礎知識の範囲>オ	k教科の学習には 生	物化学,基礎細胞	生物学,微生物学,分子生物学,細	
		上子, 生 <自己学	物化子工子,タンハク質化子,生 習>授業で保証する学習時間と,予	彻情報上子,生体材料 B習・復習(中間試験	4上子,分于生命7 ,定期試験,小テ	4学(専攻科)の習得が必要である。 ストのための学習も含む)およびレ	
		一卜作成	に必要な標準的な学習時間の総計	が、90時間に相当する	る学習内容である.	,	
122.W.=1	-	<注思事	頃>各項目でキーワードをあげる <i>0</i>	Je, chbicone	必り 理解りること		
授業計画]	I.m	Issault I etc		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		
		週	授業内容		週ごとの到達目		
		1週	生体分子とその機能・性質(1)タン	ンパク質, 核酸 	例について説明*		
		2週	生体分子とその機能・性質(2)糖,	脂質	て説明できる.	の性質や相互作用,その応用例につ	
		3週	タンパク質のスイッチとモーター		3. タンバク質の て説明できる.	機能制御,モータータンパク質につ	
	3rdQ	4週	生体膜を介した物質の移動		4. 生体膜におけ	る物質の移動について説明できる.	
		5週	酵素反応とその利用			類と応用例を説明できる.	
		6週	環境バイオテクノロジー		6. 生物学的な排 て説明できる.	水処理法および汚染物質除去法につ	
		7週	食品生産・農業と微生物バイオテ	クノロジー	7. 食品生産・農 げて説明できる.	業における微生物応用について例を	
		8週	後期中間試験				
後期		9週	細胞内の相転移と相分離		8. 細胞内におけできる.	る相分離現象について例を挙げて説	
		10週	生物機能の医療への応用(1)			の例を挙げて説明できる.	
		11週	生物機能の医療への応用(2)			生するしくみと免疫による認識につい	
		12週	生体機能を使った検出			サーや生体物質を使った検査につい [、] できる.	
	4thQ	13週	遺伝現象の利用			突然変異,ゲノム編集,交配,遺(
		14週	進化と生物多様性				
		15週	バイオミメティクス			ティクスについて例を挙げて説明で	
		16週					
<u> </u>	· アカリオ		 学習内容と到達目標		•		
<u>ファレ_</u> 分類	17 7177	分野				到達レベル 授業週	
ᄼᆚᄌᅜ		ノノナゴ	ナロ11日 ナ日11分の判)	エロ'体		エコメモレ゙ソレ コス未煙	

評価割合				
	試験	レポート	小テスト	合計
総合評価割合	70	30	0	100
配点	70	30	0	100

鈴鹿	工業高等	専門学校	開講年度 令和02	 年度 (2020年度)	授業科	
科目基礎		*		,		
<u> </u>		0049		科目区分	専門	/ 選択
授業形態		授業		単位の種別と単	位数 学修	· 単位: 2
開設学科		総合イノ/ ス)	ベーション工学専攻(環境・	資源コー 対象学年	専2	
開設期		前期		週時間数	2	
教科書/教	材	「分子生物	物学講義中継 Part2」井出	利憲 著 (羊土社)		
担当教員		山口 雅裕				
到達目標	票					
			過程における分子機構の認識 動きを担っているかについて		身に付け、さら	に、それらの分子がどのように統合, †
ルーブリ	<u> </u>		1			1
			理想的な到達レベルの目安		ベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	L		細胞内シグナル伝達の概要 て理解し,実際の生命現象 つけて説明できる.	ででつい 細胞内シグナル て理解している	伝達の概要に う.	つい 細胞内シグナル伝達の概要について理解していない.
評価項目2	2		細胞接着・細胞骨格の概要 て理解し,細胞増殖との関 明できる.	ででいる 細胞接着・細胞 では 一個 できます こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん しんしん こうしん はいいい こうしん はいいい こうしん はいいい こうしん はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい こうしん はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はい		つい 細胞接着・細胞骨格の概要について理解していない.
評価項目3	3		細胞周期の概要ついて理解 の制御機構について説明で		ついて理解し	てい 細胞周期の概要ついて理解していない.
学科の至	引達目標項	目との関	係			
教育方法	 去等					
概要		って(情報表では、	報を伝達しあって)遺伝,発 機能発現や相互作用解析の 子集合の過程における分子機	生,分化などの機能をして 基礎となるタンパク質の, 構の認識を理解できるよう	こいるかを解明 分子レベルの うにする. この	れらのタンパク質がどのように協調しますることに焦点が移ってきている.この相互作用について学び,細胞内外の情報科目は,企業・研究所で医薬品の研究が構について講義形式で行うものである.
授業の進め	か方・方法	すべての「 授業は講覧 「授業計画	内容は学習・教育目標(B) 義・聴講形式で行う. 画」における各週の「到達目 ⁾	<専門>, JABEE基準1(標」は、この授業で習得す	1) (d)(2)a)に tる「知識・能力	相当する. ユーに相当するものとする
授業計画		<単位取役	試験については再試験を行わま 事要件>学業成績で60点以上を じめ要求される基礎知識の範 遺伝子工学、生体材料工学、 技科書以外に補助的にプリント	を習得すること	学, 細胞工学, 引していること 義に含めるこ。	生物化学工学, タンパク質化学, 生物・ ・ とがある.
<u> 大夫</u> 司世	<u> </u>	週			週ごとの到達	₹□#
		1 1	短素的各 細胞におけるシグナル伝達		1. 細胞は外部	部からのシグナルを受容し, それによっ
				7.		が誘導されることを理解している. ブナルを受容する4種類の受容体を理解
			代表的な細胞内シグナル伝達 		ている. 3. 細胞間シ	ブナルを伝達する因子について理解して
			サイトカインとその受容体・		る. 4. サイトカ	インとそれが伝達する細胞内シグナルに
	1stQ				5. 生理的再生	
				シグナル伝達		性に説明できる。 スケードが増殖に与える影響を説明でき
		7週		シグナル伝達(2)リン脂	i 7. リン脂質(きる	Dカスケードが増殖に与える影響を説明
前期			望が3000 - 1 増殖因子受容体からの細胞内	シグナル伝達(3)まとめ	2 増殖田子	受容体からの細胞内シグナル伝達を説明
		9週	細胞接着(1)			田胞接着の様式の構造について説明でき
		10週	細胞接着(2)		10. 細胞接着	の制御とシグナルについて説明できる
		11週	細胞骨格		11. 微小管,	アクチン線維,中間径線維の働きにつ
	2ndQ		細胞周期(1) 概論		て説明できる 12. 細胞周期 きる.	。. 進行を司る分子群について簡単に説明
		13週	細胞周期(2) 各期で起き	る こと	1	の各期で起きることについて簡単に説
		14週				りの監視について説明できる.
			タンパク質の分解			で質分解について説明できる
		16週	· · ·			
モデルニ	コアカリキ	テュラムの				
		分野				到達レベル 授業週

評価割合									
	試験	課題	相互評価	態度	発表	その他	合計		
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100		
配点	50	50	0	0	0	0	100		

新藤正 葉高等専門学校 開講年度 令和02年度 (2020年度) 授業科目 センサ工学 秋日昼夕 日本の作用の 秋日屋夕 日本の作用の 秋日屋夕 日本の作用の 日本の作用	
料目区分	
接続	
開設学科 総合	
報知 後期 後期	
報刊書 報刊 19	
担当教員 翻進目標	 新聞計)
到達目標 人間とロボットの対応からセンサの位置づけを理解し、センサの定義、権類、基本構成、動作原理を学ぶとともに、センサを有効に認め回路接換を修得することから、センサの応用技術を理解できる。 ループリック 理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 センサに関する基本的な問題が解ける。 センサに関する応用的な問題が解けてきる。 ループリック 理想的な到達レベルの目安 センサに関する基本的な問題が解けてきる。 ループリック を業界における生産現場はもとより、大学等の研究機関において物理情報の検出、測定、解析を行う場合も、は上途があを知っておくことは重要である。この科目では、センサの歴史と役割、センサの種類、基本構成、動作などともに、センサを有効に活動するための回路技術・センサの歴史と役割、センサの種類、基本構成、動作などともに、センサを有効に対当するための回路技術・センサの歴史と役割、センサの種類、基本構成、動作などともに、センサを存成が見解臭している者が思身として著り担当する。 「選手権の基づっておくことは重要である。この科目では、センサの歴史と役割、センサの理由、基本構成、動作がとともに、は、サンサの理由を学が、全15週のうち、第1度 は近極の重ながには著りました。とおが、対理は特別などもに、は、世の権制を取得した場合は、マルトによいが選挙が進からあるようにお客では、のは他に対して場合は、マルトによいが選挙があるようにお客では、日本語の連成目標のでは、単立などの情報を取得した場合は、マルトによいが選挙があるようにお客では、日本語の連成目標のでは、中間は対したが表した。といの主義を表現中間、学年末の2回の試験の平均点で評価する。再試験を実施し、60点を上限として評価する。再試験を実施し、60点を上限として評価する。単位を開始をである。マルカンサの要な構造に関連すると対的なである。「日本語のにといの理由、本の主の主が表し、自然を表現をしている。「日本語のにというなどを表している。」「日本語のにというなどを表している。」「日本語のにというなどというなどを表している。」「日本語のにというなどを表している。」「日本語のにというなどを表している。」「日本語のにというなどを表している。」「日本語のにというなどを表している。」「日本語のにというなどを表している。」「日本語のにというなどを表している。」「日本語のには、またというなどを表している。」「日本語のになり、表面を表している。」「日本語のになり、表面を表している。」「日本語のなどのでは、表面を表している。」「日本語のになり、表面を表している。」「日本語のになり、表面を表している。」「日本語のになり、表面を表しいの主意、表現中間、実施しいの主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中間、「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現中による。「本の主意、表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	/IIAJTIT/
田田と口ボットの対応からセンサの位置づけを理解し、センサの定義、種類、基本構成、動作原理を学ぶとともに、センサを有効に対めの回路技術を修得することから、センサの応用技術を理解できる。 ループリック 理想的な到達レベルの目安	
理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 大到達レベルの目安 センサに関する応用的な問題が解しておいて関する基本的な問題が解しておいて関する問題が解りる。	 舌用するた
評価項目	
学科の到達目標項目との関係 教育方法等 歴業界における生産現場はもとより、大学等の研究機関において物理情報の検出、測定、解析を行う場合も、現技術を知っておくことは重要である。この科目では、センサの機類、基本構成、動物がとともに、センサの発力であるとは重要である。この科目では、センサの発現、だり対の機類、基本構成、動物がとともに、センサを有効に治用するための凹路技術、センシングが用技術を学ぶ、全15週のうち、第1週の内容は学者・教育到達目標(A)〈視野〉に相当し、第2週~衆16週の内容は学者・教育到達目標(A)〈視野〉に相当し、第2週~衆16週の内容は学者・教育到達目標(B)・・	
少名の	経1ナたい
教育方法等 歴学界における生産現場はもとより、大学等の研究機関において物理情報の検出、測定、解析を行う場合も、連技術を知っておくごとは重要である。この科目では、センサの歴史と役割、センサの種類、基本構成、動物、とともに、センサを有効に活用するための回路技術、センシンの応用技術を学ぶ、全15週のうち、第1道は全葉で通信用の電子・光デバイスを研究開発していた者が担当する。 ・第1週の内容は学習・教育到達目標(A)〈視野〉に相当し、第2週〜第16週の内容は学習・教育目標(B)・第2週〜第16週の内容は学習・教育目標(B)・第2週〜第16週の内容は学習・教育目標(B)・第2週〜第16週の内容は学習・教育目標(B)・1 授業は講義形式で行う。 ・「授業計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする。 <到達目標の評価方法と基準〉授業計画の達成目標の1〜6の確認を中間試験、現来試験、課題レポートによ、1〜6に関する重かは同してある。試験問題のレベルは、自点法により60点以上の得点を取得した場合に成したことが確認である。 <学菜成資料価方法と基本が評価基準〉後期中間、学年本の2回の試験の平均点で評価する。再試験を実施し、60点を上限として評価する。 <学菜成資料の評価方法とはび評価基準〉を規中的、学年本の2回の試験の平均点で評価する。再試験を実施し、60点を上限として評価する。 <学菜の評価を指示して新聞の報告が入りの時間に相当する学習内容である。 <単位修得要件と学業成構で60点以上を取得すること、「多のかしめ要求にの報告を表しての事まして、「のまと、「限として、「のまと、「限として、「のま」」を関する。 「担心を関すれる基本が関する学習内語である。」 「担心を関すれるといで要を進め、日頃から自己学習に励むこと。 「担心を関すれる基本が対象のである。」 「担心を関する学習に関する。 「は、関連して、「のま」は、「のま」に必要な様では、「のま」は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」との事は、「のま」といましまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまし、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「のま」といまして、「の	<u> </u>
機要 選集界における生産現場はもとより、大学等の研究機関においてもソウの歴史と役割、センサの機類、基本構成、動外、広ともに、てもソを有効に活用するための回路技術、センシング応用技術を学ぶ、全15週のうち、第1週では全集で通信用の電子・光テバイスを研究開発していた者が担当する。 第1週の内容は学習・教育到種目標(A) 〈機野〉に相当し、第2週~第16週の内容は学習・教育目標(B)・	
機要	
#	作原理を学
	<専門>に
週 授業内容 週ごとの到達目標	を基礎知識が
1週 人間からロボットへ,センサの定義 1. 人間とロボットの対応,センサの定義である。	
2週 光センサの種類, ホトダイオード	
3rdQ	を説明でき
3週 ホトトランジスタ, CCD 1	
3rdQ 1	
5週 電磁誘導, センサと指示計器の違い, 磁電効果, ホー 3. 磁気センサについて説明できる. 6週 磁気抵抗効果, 磁気インピーダンス効果	
(後期 (後期	
後期	
後期 8週 後期中間試験 9週 後期中間試験確認,圧力センサ 4.圧力センサ,温度センサについて説明で 10週 測温抵抗体,サーミスタ 同上 11週 感温フェライト,IC温度センサ,赤外線センサ 同上 12週 熱電対,位置センサ 同上 13週 位置センサのつづき,超音波センサ 5.位置センサ,超音波センサについて説明できる。 15週 湿度センサ,ガスセンサ 同上	
9週 後期中間試験確認,圧力センサ 4.圧力センサ,温度センサについて説明で 10週 別温抵抗体,サーミスタ 同上 11週 感温フェライト,I C温度センサ,赤外線センサ 同上 12週 熱電対,位置センサ 同上 13週 位置センサのつづき,超音波センサ 5.位置センサ,超音波センサについて説明できる。 15週 湿度センサ,ガスセンサ 同上 15週 湿度センサ,ガスセンサ 15週 湿度センサ,ガスセンサ 同上 15週 湿度センサ,ガスセンサ 同上 15週 湿度センサ,ガスセンサ 150 湿度センサ,ガスセンサ 150 湿度センサ,ガスセンサ 150 湿度センサ,ガスセンサ 150 湿度センサ,ガスセンサ 150 湿度センサ,ガスセンサ 150 湿度センサ 150 湿度を浸度を含またを含またを含またを含またを含またを含またを含またを含またを含またを含また	
10週測温抵抗体, サーミスタ同上11週感温フェライト, I C温度センサ,赤外線センサ同上12週熱電対, 位置センサ同上13週位置センサのつづき, 超音波センサ5. 位置センサ, 超音波センサについて説明できる。14週振動センサ信. 振動センサ, 湿度センサ, ガスセンサ(明できる。15週湿度センサ, ガスセンサ同上	
11週 感温フェライト, I C温度センサ,赤外線センサ 同上 12週 熱電対,位置センサ 同上 13週 位置センサのつづき,超音波センサ 5.位置センサ,超音波センサについて説明できる。 15週 湿度センサ,ガスセンサ 同上	<u> できる.</u>
12週熱電対, 位置センサ同上13週位置センサのつづき, 超音波センサ5. 位置センサ, 超音波センサについて説明できる。14週振動センサ6. 振動センサ, 湿度センサ, ガスセンサのできる。15週湿度センサ, ガスセンサ同上	
4thQ 13週 位置センサのつづき,超音波センサ 5.位置センサ,超音波センサについて説明を含む。 14週 振動センサ 6.振動センサ,湿度センサ,ガスセンサに可できる。 15週 湿度センサ,ガスセンサ 同上	
14週 振動センサ 6. 振動センサ, 湿度センサ, ガスセンサ(明できる) 15週 湿度センサ, ガスセンサ	
14週 加速できる。 15週 湿度センサ,ガスセンサ 同上	
	について訪
16週	
分類 分野 学習内容の到達目標 到達レベル	
評価割合	
試験合計	
総合評価割合 100 100 100	
ᄴᅜ머ᄤᄞᄆ	
配点 100 100	

		等専門学村	交 開講年月	度 令和02年度	(2020年度)	授業和	科目 [電気理論特調	â	
科目基础										
科目番号		0052			科目区分		門 / 選択			
授業形態		授業		+/ /	単位の種別と単	単位数 学位	修単位: 2	2		
開設学科		総合イ ス)	ノベーション工学	専攻(環境・資源)	対象学年	専2	2			
開設期		前期			週時間数	2				
教科書/教	数材	服藤憲	司著「グラフ理論	による回路解析」系	除北出版					
担当教員		西村 高	志							
到達目	標									
電気回路	網を有向	グラフで表現	し行列を用いて定	式化でき,具体的原	問題へ応用すること	ができる.				
ルーブリ	リック									
			理想的な到達	レベルの目安	標準的な到達し	ノベルの目安		未到達レベル	の目安	
評価項目	1		ク.閉路.カッ	きとその要素(木,し トセットなど)を む用することができ	里解 ク.閉路.カット	こその要素(x ・セットなど)	木,リン を理解	グラフの定義 ク,閉路,カッ できない.	とその要素(木,リン トセットなど)を理解	
評価項目	2		有向グラフを ,カットセッ 題へ応用でき	接続行列や閉路行 ト行列へ定式化でき る.	列 有向グラフを掛け、カットセット			有向グラフを ,カットセット い.	接続行列や閉路行列 〜行列へ定式化できな	
評価項目	3		でき,リンク	の法則を行列で表 電流と木の枝電流の 流則を理解でき,問題	関してルーハックの	流と木の枝雷	流の関	でき,リンク電	の法則を行列で表現 『流と木の枝電流の関 記則を理解できない.	
評価項目4 学科の到達目標項目との関				カットセット方程式 入でき,実際の電気 応用できる.	、接 閉路方程式,力 に回 点方程式を用い 網の解析ができ	いて実際の電気	程式,接	閉路方程式,力 点方程式を用 網の解析がで	フットセット方程式,接 いて実際の電気回路 きない.	
学科の	到達目標	頭目との	関係							
教育方法	<u></u> 法等							<u> </u>		
概要		電気回	路網解析へ応用で	きる能力を習得する	F法の一つにグラフ5 3.この科目は企業で まについて講義形式	電子ビーム点	5用機器(の研究開発を行	はこの方法を習得し, うっていた教員が, そ	
授業の進	め方・方	技業内	容は、グラフ理論の理論による回路を	一般論から始め、クロボの解注を習得る	ブラフの行列表現とまする. 授業方法は教科	キルヒホッフ	の法則の	D行列表現を理	解する. そして最後に	
		1		住式の解法で首件。 よび評価基準>期ま		音で用いて1	」(八), 地	且供白で11フ.		
授業計	西	1 1 1		50日岡坐牛/ 州/	KENDY CHIM 9 O.					
汉未口口	<u>"</u>	週	授業内容			週ごとの至	達日樗			
		1週	授業概要			1. グラフ		用いた回路網解		
		2週	グラフ理論(1)			る.	1の字美	ナレオナの胆	 係を理解できる.	
		3週	グラフ理論(1) グラフ理論(2)					アン開水の気		
		4週	グラフ理論(2)			4. 閉路と	カット1	セットの関係。	空ができる。 双対グラフと双対回	
	1stQ	5週	有向グラフの行	列耒租(1)		路に関して		きる. 路行列に関して	理解できる	
				. ,					と閉路行列の関係を	
		6週	有向グラフの行	. ,		理解できる		w トセット行	川の関係, 三つの行列	
		7週	有向グラフの行	列表現(3) 		の関係を理	と解できる	る	·	
		8週	キルヒホッフの	法則の行列表現(1))	8. キルヒ できる.	ニホッフの	の法則と電流則	の行列方程式を理解	
前期		9週	キルヒホッフの	法則の行列表現(2))	9. リンク 義の電流則	電流とオリを理解 ⁻	<の枝電流の関 できる.	係, カットセットと広	
		10週	キルヒホッフの	法則の行列表現(3))	10. 閉路	路電流の	定義, 電圧則の		
		11週	回路方程式の解	法(1)_		セットと広義の電圧則を理解できる。 11. 変数変換, 閉路方程式を理解できる。				
		12週	回路方程式の解	 法(2)					方程式を理解できる	
	2ndQ	13週	回路方程式の解	法(3)		13. グラ ことができ	ラフ理論 きる.	による回路方程	呈式の解法を説明する	
14週 演習(1)						1 4. グラフ理論による回路網解析を実際の電気I へ応用できる.				
		15週	演習(2)			14. グラ		による回路網解	解析を実際の電気回路	
		16週								
	コアカリ		の学習内容と至						T	
		分野	学習内容	学習内容の到達] 目標			到達	達レベル 授業週	
分類										
分類 評価割る				1.	1			1	1 -	
評価割る		武験	課題	相互評価	態度	発表		その他	合計	
	割合	試験 100 100	課題 0 0	相互評価 0 0	態度 0 0	発表 0 0		その他 0 0	合計 100 100	

鈴鹿	工業高	 等専門学校	交 開講年	F度 令和0)2年度 (2	 2020年度)	授	業科目		
科目基礎					, ,					
科目番号	ACTION IN	0061				科目区分		専門 / 選択	 !必修	
授業形態		授業				単位の種別と単	4位数	学修単位: 2		
開設学科		総合イ ス)	ノベーションエ	学専攻(環境	・資源コー	対象学年		専2		
開設期		前期				週時間数		2		
教科書/教	·····································	参考書	「電気・電子材料	 料」,中澤達5		コロナ社)	·			
担当教員		伊藤 明		. <u>-</u> ,						
到達目標	票	•								
		材料,超電導	材料,半導体,	光・電子材料の	の基礎知識	を理解し, 新素材	オとして	, それらのt	2ンサ用材料と	しての特性を理解し
ルーブリ	Jック									
,, ,			理想的な至		 安	標準的な到達し	ベルの目		未到達レベル	
評価項目1	1			関する応用的		各種材料に関す解ける.				する問題が解けない
学科の発	到達目標	票項目との	 関係							
<u>教育方法</u>		<u> </u>	× 3 / 1							
概要		認知さ	れるようになっ	た.科学技術の	のあらゆる?	分野での基盤をな	ょすもの	としての材料	4を新しい観点	に,材料の重要性が で見直し,材料およ 上げ,その特性を中
授業の進め	め方・方	法 ・授業	は講義形式で行	う.	` '	専門>およびJAB この授業で習得す		. , . ,		とする.
注意点		きくはるくくく、すのくる学、、単あ自まる総備よ業6(位うごた学計考)	うに設定する。 成績の評価なと りに りに 多得条件>学業所 のに 多のを では でと では でき では できれば でいる では では では では では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	および評価基準でのでは、 なる基準では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	き>中間試験 ノポートを リ上を取得する がで行うない いた験にである は対容である。 は対容である はいればいる はいればいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる には	後,定期試験の2[実施した場合には すること: うよび化学の一般 い分野での素材等 どして自己学習の ばしなのための学習。	回の試験は、試験は のな基礎について の成果に 習も含む	の平均点で認 の結果を809 ^桂 知識. には各自参考 対する評価を り及びレポー	平価する. 再記 6, 課題(レボ・ 文献などにより 2実施すること - ト作成に必要	, レポートにより評価)を各10%とする 成したことが確認で 、験を実施した場合に ート)を20%で評価す つ学習してもらいたい もある, 授業で保証 な標準的な学習時間 かにレポート提出を求
授業計画	画									
320210212		週	授業内容				调ごと	の到達目標		
		1週	磁性体の種類	,磁気モーメ	ント				する基礎的事項	を理解している.
		2週		化過程, (BH)						 見を理解している.
		3週	磁気モーメン	トの合成と反	磁界,磁気	 ī異方性				ラーニュー
		4週				滋性材料,半硬				いて理解している.
	1stQ	5週				率の周波数特性	3. 誘	電材料に関す	する基礎的事項	を理解している
		6週	圧電体, 焦電	体, 圧電体・	焦電体の応	用例,磁性材料	4 名	-種誘雷材料の		いて理解している.
				新しい心用展!	開					
		7週	超電導材料				5. 超	電導材料に	対する基礎的事	耳を理解している.
- ⊁4+⊓		9週	中間試験 中間試験の確	認, シリコン	の結晶成長		6. シ いる.	・リコン, 化台		基礎的事項を理解して
前期		10週	化合物半導体	の結晶成長				・リコン, 化台		基礎的事項を理解して
		11週	半導体発光素	子 I			7. 光ファイバーに関する基礎的事項を理解している			事項を理解している
	2ndQ	12週	半導体発光素	子Ⅱ			7. 光ファイバーに関する基礎的事項を理解している			
13週 受光素子						9. 受 いる.	9. 受光素子の原理に関しての基礎的事項を理解している.			
14週 発光素子						8. 発 いる.	光素子の原理	理に関しての基	基礎的事項を理解して	
15週 機能性炭素材 16週				料			10. 機能性炭素材料の基礎的事項を理解している.			
	1	1	クル図子ので	·到達日煙						
<u></u>	<u> </u> アカリ	Jキュラム/		ᅩᆚᅮᆜᄭᅑ						
	コアカリ	ノキュラム(2の到達口#	=			피발	幸レベル、「極業油
分類		ノキュラム(分野			字の到達目	一			到這	全レベル 授業週
分類	a	分野	学習内	容学習内容		-	▽ ⟨±		,	
分類 評価割合	<u> </u>	分野試験	学習内 課題	容学習内容相互評		態度	発表		その他	合計
分類	割合	分野	学習内	容学習内容		-	発表 0 0		,	

鈴鹿	工業高等		開講年度 令和02年度 (2	2020年度)	授業科目	データ処理システム	
科目基础							
科目番号	ACTION IN	0062		科目区分	専門 / 道	· 强択必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位			
開設学科		総合イノ ス)	/ベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専2		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教	·····································	「MATL	AB対応 ディジタル信号処理」 樋口i	龍雄 川又政征	共著(森北出版)		
担当教員		青山 俊引	Д				
到達目標	票						
ディジタ できる.]	ル信号処理 IoTシステ <i>L</i>	に関する基礎 4の概略を理	壁論を理解し,フィルタ設計に必要な 解し、簡易的なシステムを設計、実装で	専門知識を習得し ごきる.	, FIRフィル	タおよびIIRフィルタの設計に応用	
ルーブ!	ノック						
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レイ	ベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1			離散時間フーリエ変換を計算でき , その振幅スペクトルを図示でき る	離散時間フーリ	工変換を計算でる	離散時間フーリエ変換を計算できない	
評価項目2	2		DFTを計算でき、その振幅スペクトルを図示できる	DFTを計算できる	3	DFTを計算できない	
評価項目:	3		ディジタルフィルタの基本的な特性を理解し,応用できる	ディジタルフィル 性を理解している	レタの基本的な特 る	ディジタルフィルタの基本的な特性を理解していない	
評価項目	4		Z変換を計算でき,応用できる	Z変換を計算でき	5 る	Z変換を計算できない	
評価項目!			FIRフィルタを理解し,設計できる	FIRフィルタを理		FIRフィルタを理解していない	
評価項目(5		IIRフィルタを理解し,設計できる	IIRフィルタを理	解している	IIRフィルタを理解していない	
評価項目	7		IoTシステムについて理解し、設計 、実装できる	IoTシステムにつ	いて理解してい	る IoTシステムについて理解していない	
学科の3	到達目標了	項目との関	1 11 1			·	
教育方法	_ 去等	-					
授業の進	め方・方法	すべての <到達目 上記の「 みは同じ	MATLABによるプログラミングを通していた教員が、その経験を生かし、うか内容は、学習・教育到達目標(B)<専門機の評価方法と基準>「知識・能力」1~12の習得の度合いをいてある、試験問題とレポート課題のレバ確認できるように設定する。	引>およびJABEE基 中間試験、期末試	基準1.2(d)(1)に 験およびレポー	対応する. トにより評価する. $1 \sim$ 12に関する重	
注意点		く適 . く与く規でく 様で しらきの日の がい しんき はんしき はんしき はんしき はんしき はんしき はんしき はんしん はんしん	ネ績の評価方法および評価基準> シるレポートの提出をしていなければな。 ネ得要件> ュた課題レポートを全て提出し,学業成績	漬で60点以上を取 受業を進め,自己	, 得すること. 学習の成果を評(面するためにレポート提出を求めるの	
授業計画	—————————————————————————————————————	12 24	-文法, フクラハ文法の全に石品でもし			風しての、のが主なしい。	
JX X DIE		週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	序論:ディジタル信号処理とその目的 説明	,MATLAB使用		 	
		2週	離散時間信号と離散時間フーリエ変換		2. 離散時間信	号に対して離散時間フーリエ変換を求め クトルを図示することができる	
		3週	離散フーリエ変換(DFT)、離散フペクトル解析	ーリエ変換とス		ı)のDFTを求め,振幅スペクトルを	
		4週	高速フーリエ変換(FFT)			里,利点を説明することができる.	
	3rdQ 離散時間システムとディジタルフィル 領域表現)			タの基礎1(時間	5. ディジタル: パルス応 答を求めること	フィルタの単位ステップ応答,単位イン ができる.	
後期			離散時間システムとディジタルフィル領域表現)	夕の基礎2(時間			
7週		7週	z変換		7. 信号のz変換 きる. 与えられ とができる.	, ディジタルフィルタ出力のz変換がで たX(z)に対して逆z変換x(n)を求めるこ	
		8週			上記7		
		9週	周波数選択性ディジタルフィルタおよ	び設計仕様		ッ特性をもつディジタルフィルタを設計 とができる.	
	4thQ	10週	FIRフィルタの設計:窓関数法				
i	1 1				9. 窓関数法により FIR フィルタの設計ができる. 10. 間接設計法 (インパルス不変変換法および双 1 ½ z変換法) により IIR フィルタを設計できる.		

		12週	ΙΙΙ	Rフィルタの	設計2:直接設計法		11. 直接設計法に	よりIIF	R フィルタを設	計できる.
		13週 IoTシステムの基礎と仕組み					12 IoTシステムの基礎を理解する			
		14週	IoTデバイスの利用				上記12			
	15週 IoTデバイスの構築とセキュリティ				きとセキュリティ		上記12			
	16週									
モデルコ	アカリキ	ユラムの	学習	内容と到達	目標					
分類		分野	学習内容学習内容の到達目標			5 5			到達レベル	授業週
評価割合										
				験		レポート		合計		
総合評価割	総合評価割合)		40		100		
配点			60)		40		100		

会 会 き	 E工業高等	専門学 校	- 1 阅播化度 1会和0.7化度 (海羊机口		
 科目基础		寸 门	開講年度 令和02年度(2020年度)	授業科目		ンターフェース
科目番号	WC I I T T K	0063		科目区分	専門 / コー	 -ス選択必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位:		
開設学科			ベーション工学専攻(環境・資源コー	- 対象学年	専2		
開設期		ス) 前期		週時間数	2		
	6 1.1	11111111	 	1 = 11 101			
教科書/教 	双材	フェース	、」 加藤隆 (オーム社)		. 10 (21		
担当教員	_	箕浦 弘力	<u> </u>				
到達目標						/	_ W nn - ++ 1
原理を説	明でき,関連	り・心埋的特 重する先端技	性を基礎として,種々のヒューマン〜 統について理解している.	インターノエー人を評値 	することかで	き,現在用いられて	ている機器の 基 本
ルーブ!	ノツク		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル		未到達レベルの	
			人間の生理特性・認知特性につい				
評価項目:	1		て理解し、応用することができる	人間の生理特性・認 て説明できる.	知特性につい 	人間の生理特性て説明できない。	・認知特性につい
評価項目2	2		インターフェースの評価方法を理解し、実践できる.	インターフェースの 明できる.		明できない.	スの評価方法を説
評価項目:	3		入出力機器の基本原理や関連する 先端技術について理解し、問題点 等を論ずることができる.	身の回りの機器の基 する先端技術につい			の基本原理や関連 ついて説明できな
学科の狂	到達目標項	目との関	係				
教育方法	去等						
既要		「ものの 学ぶ.	使いやすさ」を意識した人間と機器と	このインターフェースの	設計の指針を,	身近なものや先続	端技術を例に挙げ
授業の進む	め方・方法	講義形式]の内容は,学習・教育到達目標(B) < で授業を行う. 画」における各週の「到達目標」はこ				_
主意点		ける各造 点を取成 く学 5 0 % くあらか	標の評価方法と基準>各週の到達目標 の到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 横の評価方法および評価基準>定期試 「で評価する、再試験は実施しない、 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報	試験問題とレボート課 8できるように設定する 験を50%, 課題(小 [:] すること.	題のレベルは, - テスト・プレゼ	100点法により	060点以上の得 パート)の平均点
	画	け点 < を < し < と	の到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 横の評価方法および評価基準>定期試 いで評価する、再試験は実施しない、 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習>総学習時間は90時間であり、適宜 高機能な機器を開発する上で、いかに うな問題の解決のためのいくつかの引	試験問題とレボート 器できるように設定する 験を50%, 課題(小 すること・ 基礎があれば十分であ [レポートを課す・ 利用し易くそれを作る)	題のレベルは, テスト・プレゼ る.新しい教科 かということは	100点法により シテーション・レージンテーション・レージンであり、特に要求ははで重要な問題	260点以上の得 パート)の平均点 なされる基礎知識な なとなる、この講義
	画	け点 < を < くし < で るを学 5 単あに自備そ を 1 で ら で こ 考 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 横の評価方法および評価基準>定期試 いで評価する、再試験は実施しない、 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習>総学習時間は90時間であり、適宜 高機能な機器を開発する上で、いかに うな問題の解決のためのいくつかの引	試験問題とレポート課題できるように設定する験を50%,課題(小すること・ 基礎があれば十分であること・ までがあれば十分であることでは、 まである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	題のレベルは, テスト・プレゼ る.新しい教科 かということは	100点法により シテーション・レ であり、特に要す 非常に重要な問題 く挙げて説明するの	260点以上の得 パート)の平均点 なされる基礎知識な なとなる、この講義
	画	け点 < を < くし < で て	の到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 横の評価方法および評価基準>定期試 「で評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 「できる。 習>総学習時間は90時間であり、適宜 高機能な機器を開発する上で、いかに うな問題の解決のためのいくつかのま にしい。	試験問題とレポート課 8できるように設定する 験を50%,課題(小 すること. 基礎があれば十分である では、 利用し易くそれを作る。 芸法を学んでほしい. 真 週2	題のレベルは、 ・	100点法により ファーション・レージンテーション・レージ であり、特に要求 であり、特に要求 ま常に重要な問題 (挙げて説明する)	260点以上の得 パート)の平均点 なされる基礎知識な なとなる、この講義
	<u></u>	けるを マを マを マを マを マを マを マを マを マを マ	回到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 横の評価方法および評価基準>定期試 で評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習>総学習時間は90時間であり、適宜 高機能な機器を開発する上で、いかに う機能は機器を開発する上で、いかのま はしい。	試験問題とレポート 器できるように設定する 験を50%,課題(小・すること・ 基礎があれば十分である にレポートを課す・ 利用し易くそれを作る・ 三法を学んでほしい・ 週こ	題のレベルは、 テスト・プレゼ る. 新しい教科 かということは 体的な例を多く でとの到達目標 人間の知覚とに れてきる。	100点法により ファーション・レージンテーション・レージ であり、特に要求 であり、特に要求 ま常に重要な問題 (挙げて説明する)	の60点以上の得 パート)の平均点 さされる基礎知識な をされる基礎知識な をなる。この講義ので、興味を持っ
		けん を は を は に は に は に は で で で で で で で で で で で で で	回到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 横の評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習多総学習時間は90時間であり,適宜 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの引 ほしい。	試験問題とレポート 器できるように設定する 験を50%,課題(小すること・ 基礎があれば十分である にリポートを課す・ 利用し易くそれを作る・ 会話を学んでほしい・ 過ご	題のレベルは、 テスト・プレゼ る. 新しい教科 かということは 体的な例を多く <u>でとの到達目標</u> 人間の知覚と 说明できる。	100点法により (シテーション・レー であり、特に要求 非常に重要な問題 (挙げて説明するな 	の60点以上の得 パート)の平均点 さされる基礎知識な をされる基礎知識な をなる。この講義ので、興味を持っ
	画	け点 < を < しく < で T 週 1 週 2 週 3 週 3 週 3 週 3 回 3 回 3 回 3 回 3 回 5 回 5 回 5 回 5 回 5 回	回到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 横の評価方法および評価基準>定訓 で評価する。再試験は実施しない、 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習>総学習時間は90時間であり,適宜 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの言 ほしい。 授業内容 人間の感覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性	試験問題とレボート 器できるように設定する 験を50%,課題(小すること・ 基礎があれば十分である。 [レポートを課す・利用し易くそれを作る: 注法を学んでほしい・ 見る こと・ 過ご しょう ここ しょう	題のレベルは、 テスト・プレゼ る. 新しい教科 かということは 体的な例を多く <u>「との到達目標</u> 人間の知覚と 説明できる。 ご1 デザインの目	100点法により (シテーション・レー であり、特に要求 非常に重要な問題 (挙げて説明するな 	0 6 0 点以上の得 パート)の平均点 される基礎知識な ほとなる. この講義 ので, 興味を持つ 認知と理解につい
	画 1stQ	けん は は な で で で で で で で で で で で で で	の到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 した場合に目標を達成したことが確認 横の評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 じきる。 習う総学習時間は90時間であり,適宜 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの ほしい。 授業内容 人間の感覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計	試験問題とレボート 器できるように設定する 験を50%,課題(小・ すること・ 基礎があれば十分である にレポートを課す・ 利用し易くそれを作る に法を学んでほしい・ しまる と と と は、 と は、 と は、 と は、 と に は、 と に に に に に に に に に に に に に に に に に に	題のレベルは、 テスト・プレゼ る. 新しい教科 かということは 体的な例を多く でとの到達目標 人間の知覚と 説明できる。 ごと できる。	100点法により シェアーション・レデアーション・レデアあり、特に要求 はまな であり は 学がて 説明する であり、生理特性、 標とユーザ特性に	の60点以上の得いポート)の平均点でれる基礎知識ないで、興味を持つで、興味を持つで、興味を持つで、明ないで、関係を持つで、別のでは明できる
		け点 < を < しく < で T 週 1 週 2 週 3 週 3 週 3 週 3 回 3 回 3 回 3 回 3 回 5 回 5 回 5 回 5 回 5 回	回到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 横の評価方法および評価基準>定訓 で評価する。再試験は実施しない、 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習>総学習時間は90時間であり,適宜 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの言 ほしい。 授業内容 人間の感覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性	試験問題とレボート 器できるように設定する 験を50%,課題(小・ すること・ 基礎があれば十分である にレポートを課す・ 利用し易くそれを作る に法を学んでほしい・ しまる と と と は、 と は、 と は、 と は、 と に は、 と に に に に に に に に に に に に に に に に に に	題のレベルは、 テスト・プレゼ る. 新しい教科 かということは 体的な例を多く でとの到達目標 人間の知覚と 説明できる。 ごと できる。	100点法により シェアーション・レデアーション・レデアあり、特に要求 はまな であり は 学がて 説明する であり、生理特性、 標とユーザ特性に	0 6 0 点以上の得 パート)の平均点 される基礎知識な ほとなる. この講義 ので, 興味を持つ 認知と理解につい
		けん は は な で で で で で で で で で で で で で	の到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 した場合に目標を達成したことが確認 横の評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 じきる。 習う総学習時間は90時間であり,適宜 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの ほしい。 授業内容 人間の感覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計	試験問題とレポート課題できるように設定する 家できるように設定する 験を50%,課題(小 すること・ 基礎があれば十分である では、 利用し易くそれを作る。 三法を学んでほしい・ りまる。 1. て記 上記 2. 上記 3. る.	題のレベルは、テスト・プレゼる。新しい教科かということとの到達目標でしている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100点法により シテーション・レデであり、特に要求 手常に重要な問題、挙げて説明するの 感覚、生理特性、 標とユーザ特性に ースの設計と評価	の60点以上の得いポート)の平均点でれる基礎知識ないで、興味を持つで、興味を持つで、興味を持つで、明ないで、関係を持つで、別のでは明できる
受業計画		け点くをくいくくでて 過 1週 2週 3週 4週 5週	の到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 した場合に目標を達成したことが確認 横の評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 じきる。 習う総学習時間は90時間であり,適宜 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの ほしい。 授業内容	試験問題とレボート 器できるように設定する 験を50%, 課題(小 すること・ 基礎があれば十分である。 「レポートを課す・ 利用し易くそれを作る。 法を学んでほしい・ 上記される。 上記される。 と、 上記される。 と、 上記される。 と、 と、 と、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	題のレベルは、デスト・プレゼる。新しい教科かということは体的な例を多く でとの到達目標人間できる。 ごとの到達目標である。 ごとの到達目標できる。 ごとの到達目標できる。 ごとの到達目標できる。	100点法により シテーション・レデであり、特に要求 手常に重要な問題、挙げて説明するの 感覚、生理特性、 標とユーザ特性に ースの設計と評価	の60点以上の得いポート)の平均点でれる基礎知識ないで、興味を持つで、興味を持つで、関いて説明できるについて説明できるについて説明でき
受業計画		け点くをくしくくでて 週 週 週 週 週 3 週 4 週 5 週 6 週 6 週 6 週 6 週 6 週 6 週 6 週 6 週 6	回到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 はの評価方法および評価基準>定期 がで評価する。再試験は実施しない、 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習>総学習時間は90時間であり、適宜 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの引 ほしい。 授業内容 人間の感覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計 インターフェースの評価 人間と人間のインターフェース	試験問題とレポート 器できるように設定する 験を 5 0 %, 課題 (小・ すること・ 基礎があれば十分である。 にレポートを課す・ 利用し易くぞれを作る。 法を学んでほしい・ 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記される。 上記	題のレベルは、 テスト・プレゼ る. 新しい教科 かというのを多く でとの到達目標 人間できる。 ごとの到できる。 ごとの到達目標 は明できる。 では「デザインの目がことは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	100点法により シテーション・レデであり、特に要求 手常に重要な問題、挙げて説明するの 感覚、生理特性、 標とユーザ特性に ースの設計と評価	の60点以上の得いポート)の平均点でれる基礎知識ないで、興味を持つで、興味を持つで、関いて説明できるについて説明できるについて説明でき
受業計画		け点くをくしくくでて 過 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	回到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 はの評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習>総学習時間は90時間であり,適宜 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの引 ほしい。 授業内容 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計 インターフェースの評価の実践	試験問題とレポート 認できるように設定する 験を 5 0 %, 課題 (小 すること・ 基礎があれば十分である。 にレポートを課す・ 利用し易くぞれを作る。 三法を学んでほしい・ 上記 2・ 上記 4・ 上記 上記	題のレベルは、 テスト・プレゼ る. 新しい教科 かといな例を多く ごと間知知知る。 ごと間できる。 ごとはですインの目 ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	100点法により シテーション・レデであり、特に要求 手常に重要な問題、挙げて説明するの 感覚、生理特性、 標とユーザ特性に ースの設計と評価	の60点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないで、興味を持った。 この講義ので、興味を持った。 この講義ので、明味を持った。 このに説明できる について説明できる について説明でき
授業計画		け点くを マを マを マを マを マを でて 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	回到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 した場合に目標を達成したことが確認 病の評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習 > 総学習時間は90時間であり,適度 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの にはしい。 授業内容 人間の感覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計 インターフェースの評価 人間と人間のインターフェース インターフェースの評価の実践 キーボード・マウスの種類と入力方 ディスプレイの種類と表示方法	試験問題とレポート 認できるように設定する 影を 5 0 %, 課題 (小 すること、 基礎があれば十分である にレポートを課す、 利用し易くそれを作る。 三法を学んでほしい、 上記 と、 上記 と、 上記 上記 上記 上記	題のレベルは、 テスト・プレゼ る. 新しい教科 か体的な例を多く との到達目覚と、 説明ののののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	100点法により シテーション・レーク であり、特に要する。 ま常に重要な問題、挙げて説明する。 感覚、生理特性、 標とユーザ特性に ースの設計と評価 意思疎通を良好に	の60点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないで、興味を持った。 この講義ので、興味を持った。 この講義ので、明味を持った。 このに説明できる について説明できる について説明でき
授業計画		け点くをくいくくでて 週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	回到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 した場合に目標を達成したことが確認 病の評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 じきる。 習為終学習時間は90時間であり,適宜 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの ほしい。 授業内容 人間の感覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計 インターフェースの評価 人間と人間のインターフェース インターフェースの評価の実践 インターフェースの評価の実践 キーボード・マウスの種類と入力方	試験問題とレポート 認できるように設定する 験を 5 0 %, 課題 (小 すること・ 基礎があれば十分である ではしい・ 利用し易くそれを作る。 三法を学んでほしい・ 上記 と・ 上記 上記 上記 上記	題のレベルは、 テスト・プレゼ る. 新しい教科 か体的な例を多く <u>といる例のの</u> 一人間できる。 では、 一人間できる。 では、 一人間できる。 では、 一人間できる。 では、 一人間できる。 一人間できる。 では、 一人間できる。 一人間できる。 一人間できる。 一人間できる。 一人間できる。 一人間できる。 一人間できる。 一人間できる。 一人間できる。 一人間できる。 一人間できる。 一人にいる。 一人間できる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一人にいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一つにいる。 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一 一 一 一 一 一 一	100点法により シテーション・レーク であり、特に要するの まずに重要な問題 (挙げて説明するの 感覚、生理特性、原とユーザ特性に 一スの設計と評価 意思疎通を良好に の入出力機器の原	の60点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないで、関となる。この講義ので、興味を持ついいて説明できる。について説明できるであるに必要な点理が説明できる。
授業計画	1stQ	け点くを マを マを マを マを マを でて 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	回到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 した場合に目標を達成したことが確認 病の評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習 > 総学習時間は90時間であり,適度 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの にはしい。 授業内容 人間の感覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計 インターフェースの評価 人間と人間のインターフェース インターフェースの評価の実践 キーボード・マウスの種類と入力方 ディスプレイの種類と表示方法	試験問題とレポート 認できるように設定する 影を 5 0 %, 課題 (小 すること、 基礎があれば十分である にレポートを課す、 利用し易くそれを作る。 三法を学んでほしい。 1	題・アスト・プレゼ る・新しい教科 か体的な例を多く でとの別のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	100点法により シテーション・レーク であり、特に要するの まずに重要な問題 (挙げて説明するの 感覚、生理特性、原とユーザ特性に 一スの設計と評価 意思疎通を良好に の入出力機器の原	の60点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないで、興味を持った。 この講義ので、興味を持った。 認知と理解について説明できる について説明できる でついて説明できる でついて説明できる アラ為に必要な点である。 マスの概要を理解
授業計画		け点くをくしくでて 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 11週	の到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成した生産を放した場合に目標を達成した単準>定が確認がで評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得じめ要求される基礎知識の範囲>情報にできる。 習>総学習時間は90時間であり,適宜高機能な機器を開発する上で,いかにましい。 授業内容 人間の極覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計 インターフェースの評価 人間と人間のインターフェース インターフェースの評価の実践 キーボード・マウスの種類と入力方法 ディスプレイの種類と表示方法 プリンタの種類と印刷方法 プリンタの種類と印刷方法	試験問題とレポート 認できるように設定する 影を 5 0 %, 課題 (小 すること、 基礎があれば十分である にレポートを課す、 利用し易くそれを作る。 三法を学んでほしい。 1	題・アスト・プレゼ る・新しい教科 か体的な例を多く でとの間では、 が体の到ののでは、 が体のの間では、 が体のの間では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	100点法により シテーション・レークであり、特に要求 非常に重要な問題 く挙げて説明するの 一家覚、生理特性、 標とユーザ特性に 一スの設計と評価 意思疎通を良好に の入出力機器の原	の60点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないで、興味を持った。 この講義ので、興味を持った。 認知と理解について説明できる について説明できる でついて説明できる でついて説明できる アラ為に必要な点である。 マスの概要を理解
授業計画	1stQ	け点くを マを マを マを マを マを マを でて 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 11週 11週 11週 11週	回び達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 した場合に目標を達がしたことが確認 はの評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習>総学習時間は90時間であり,適宜 高機能な機器を開発する上で,いかに 言はしい。 授業内容 人間の感覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計 インターフェースの評価 人間と人間のインターフェース インターフェースの評価の実践 キーボード・マウスの種類と表示方法 プリンタの種類と印刷方法 ビジュアルインターフェース	試験問題とレポート 記談問題とレポート 記できるように設定する 験を 5 0 %, 課題 (小) すること. 基礎があれば十分である にレポートを課す. 利用し易くそれを作る。 三法を学んでほしい. 1. こと。 上記 も. 上記 も. 上記 も. 上記 も.	題・アスト・プレゼ る・新しい教科 か体がな例を多く では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次では	100点法により シテーション・レークであり、特に要求 非常に重要な問題 く挙げて説明するの 一家覚、生理特性、 標とユーザ特性に 一スの設計と評価 意思疎通を良好に の入出力機器の原	の60点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないで、興味を持った。 この講義ので、興味を持った。 認知と理解について説明できる について説明できる でついて説明できる でついて説明できる アラ為に必要な点である。 マスの概要を理解
授業計画	1stQ	け点くをくいく くしく でて	の到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達成したことが確認 した場合に目標を達成したことが確認 はの評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習>総学習時間は90時間であり,適度 高機能な機器を開発する上で,いかに うな問題の解決のためのいくつかの にはしい。 授業内容 人間の感覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計 インターフェースの評価 人間と人間のインターフェース インターフェースの評価の実践 キーボード・マウスの種類と入力方 ディスプレイの種類と表示方法 プリンタの種類と印刷方法 ビジュアルインターフェース マルチユーザインターフェース	試験問題とレポート 記談問題とレポート 認できるように設定する 験を 5 0 %, 課題 (小 すること. 基礎があれば十分である にレポートを課す. 利用し易くそれを作る。 三法を学んでほしい. 1. ここ。 上記。 上記。 上記。 上記。 上記。 上記。 上記。 上記	題・アスト・プレゼ る・新しい教科 か体がな例を多く では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次では	100点法により シテーション・レークであり、特に要求 非常に重要な問題 く挙げて説明するの 一家覚、生理特性、 標とユーザ特性に 一スの設計と評価 意思疎通を良好に の入出力機器の原	の60点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないでは、この講義ので、興味を持っいいて説明できる。について説明できるでいいで説明できる。
受業計画	1stQ 2ndQ	け点くをくいくくでて 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 113週 113週 113週 113週 113週 113週 113週 113週 113週 113週	の到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達めばしたことが確認 はの評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 で評価する。再試験は実施りない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習う総学習時間は90時間であり 、適宜 高機能な機器を開発する上で 、いかに うな問題の解決のためのいくつかの にもい ・ 授業内容 人間の基理特性・認知と理解 ・ デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計 ・ インターフェースの評価 人間と人間のインターフェース ・ インターフェースの評価の実践 ・ オーボード・マウスの種類と入力方 ・ ディスプレイの種類と表示方法 ・ ブリンタの種類と印刷方法 ・ ビジュアルインターフェース ・ マルチユーザインターフェース ・ 大端技術とインターフェース ・ 先端技術とインターフェース ・ 大端技術とインターフェース ・ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	試験問題とレポート 記談問題とレポート 記できるように設定する 験を 5 0 %, 課題 (小) すること. 基礎があれば十分である にレポートを課す. 利用し易くそれを作る。 三法を学んでほしい. 1. こと。 上記 も. 上記 も. 上記 も. 上記 も.	題・アスト・プレゼ る・新しい教科 か体がな例を多く では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次では	100点法により シテーション・レークであり、特に要求 非常に重要な問題 く挙げて説明するの 一家覚、生理特性、 標とユーザ特性に 一スの設計と評価 意思疎通を良好に の入出力機器の原	の60点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないでは、この講義ので、興味を持っいいて説明できる。について説明できるでいいで説明できる。
受業計画	1stQ 2ndQ	けんぐ	の到達目標の重みの概以したことが確認した場合に自標を達とが確認した場合に有機である。 はした場合にの目標を達とな評価を進りない。 得要件>学業成績で60点以上を取割。 で評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取割。 で言る。 高機能な機器を開発する上で、いかに言いませい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にはしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にはしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言いました。 一方な問題の解決のためのいくつかの言いました。 一方な問題の解決のためのいくつかの言いました。 一方な問題の解決のためのいくつかの言いました。 一方な問題を関係と知道を表示方は 一方とリンターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方に対していますによります。 「方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象	試験問題とレポート まであるように設定する。 まであること、 基礎があれば十分である。 にレポートを課す。 利用し易くそれをい。 利用し易くそれをい。 1 に 1 に 2 に 上言。 4 に 上言。 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に	題・アスト・プレゼ る・新しい教科 か体がな例を多く では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次では	100点法により アンテーション・レーであり、特に要求 非常に重要な問題 (挙げて説明するな 感覚、生理特性、 標とユーザ特性に 一スの設計と評価 意思疎通を良好に の入出力機器の原 いたインターフェで	の 6 0 点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないでは、 この講義ので、 興味を持っいいて説明できる。 について説明できる・ について説明できる・ ロースの概要を理解きる・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
受業計画	1stQ 2ndQ	け点くをくいくくでて 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 113週 113週 113週 113週 113週 113週 113週 113週 113週 113週	の到達目標の重みの概ね均等である。 した場合に目標を達めばしたことが確認 はの評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 で評価する。再試験は実施りない。 得要件>学業成績で60点以上を取得 じめ要求される基礎知識の範囲>情報 できる。 習う総学習時間は90時間であり 、適宜 高機能な機器を開発する上で 、いかに うな問題の解決のためのいくつかの にもい ・ 授業内容 人間の基理特性・認知と理解 ・ デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計 ・ インターフェースの評価 人間と人間のインターフェース ・ インターフェースの評価の実践 ・ オーボード・マウスの種類と入力方 ・ ディスプレイの種類と表示方法 ・ ブリンタの種類と印刷方法 ・ ビジュアルインターフェース ・ マルチユーザインターフェース ・ 大端技術とインターフェース ・ 先端技術とインターフェース ・ 大端技術とインターフェース ・ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	試験問題とレポート まであるように設定する。 まであること、 基礎があれば十分である。 にレポートを課す。 利用し易くそれをい。 利用し易くそれをい。 1 に 1 に 2 に 上言。 4 に 上言。 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に	題・アスト・プレゼ る・新しい教科 か体がな例を多く では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次では	100点法により アンテーション・レーであり、特に要求 非常に重要な問題 (挙げて説明するな 感覚、生理特性、 標とユーザ特性に 一スの設計と評価 意思疎通を良好に の入出力機器の原 いたインターフェで	の60点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないで、興味を持って、興味を持って、明味を持っていて説明できる。について説明できる。であるに必要な点である。であるに必要な点である。
授業計画 サイン サイン サイン サイン サイン サイン サイン カス	1stQ 2ndQ	け点くをくくしくででて 週 1週 2週 3週 4週 5週 113週 143 153 163 153 153 153 153 153 153 153 153 153 15	回選目標の重みの概以したことでが確認した場合に目標を達めばしたとことが確認したとうで評価する。再試験は実施しない、得要件>学業成績で60点以上を取得できる。習>総学習時間は90時間であり、適宜高機能な機器を開発する上で、いかにうな問題の解決のためのいくつかの可信しい。 授業内容 人間の感覚と知覚 人間の感覚と知覚 人間の生理特性・認知と理解 デザイン目標とユーザ特性 対話型システムの設計 インターフェースの評価 人間と人間のインターフェース インターフェースの評価の実践 キーボード・マウスの種類と入力方法 ディスプレイの種類と表示方法 ブリンタの種類と印刷方法 ビジュアルインターフェース マルチユーザインターフェース スリチューザインターフェース マルチューザインターフェース 大端技術とインターフェース 先端技術とインターフェース 大端技術とインターフェース 大端技術とインターフェース 学習内容と到達目標 学習内容 学習内容の到達目標	試験問題とレポート記録であるように設定するように設定するように設定する。 まであること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	題・アスト・プレゼ また。	100点法により (アンテーション・レーであり、特に要す (学がでご説明するのでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	0 6 0 点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないで、興味を持つで、関係を持つにいて説明できるについて説明できるについて説明できる。 正ついて説明できる。 理が説明できる。 ースの概要を理解きる。 バル 授業週
注意点 授 デカ デカ デカ で 類 価 に に に に で 類 に に に に に に に に に に に に に に	1stQ 2ndQ コアカリキ 合	け点くをくくしくでて 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 113 113 113 113 113 113 113 113 113 11	の到達目標の重みの概以したことが確認した場合に自標を達とが確認した場合に有機である。 はした場合にの目標を達とな評価を進りない。 得要件>学業成績で60点以上を取割。 で評価する。再試験は実施しない。 得要件>学業成績で60点以上を取割。 で言る。 高機能な機器を開発する上で、いかに言いませい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にはしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言にはしい。 一方な問題の解決のためのいくつかの言いました。 一方な問題の解決のためのいくつかの言いました。 一方な問題の解決のためのいくつかの言いました。 一方な問題の解決のためのいくつかの言いました。 一方な問題を関係と知道を表示方は 一方とリンターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方に対していますによります。 「方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は技術とインターフェース 一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象の一方は対象	試験問題とレポート記録であるように設定するように設定するように設定する。 まであること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	題・アスト・プレゼ る・新しい教科 か体がな例を多く では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次の間では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次では	100点法により アンテーション・レーであり、特に要求 非常に重要な問題 (挙げて説明するな 感覚、生理特性、 標とユーザ特性に 一スの設計と評価 意思疎通を良好に の入出力機器の原 いたインターフェで	の 6 0 点以上の得いポート)の平均点はされる基礎知識ないでは、 この講義ので、 興味を持っいいて説明できる。 について説明できる・ について説明できる・ ロースの概要を理解きる・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

	E工業高等	車門学 校	開講年度	令和02年度 (2	0020年度)	授業科目	生命工学		
科目基礎		A) LL IT			[020十汉]	JX X 17LI	T-1012 T-7		
科目番号	に旧形	0066			科目区分	専門 / 選	 tp		
村日留亏 授業形態		授業			単位の種別と単位数				
開設学科		総合イノ	ベーション工学専具	女(環境・資源コー	対象学年	事2	2		
		ス) ※ #II							
開設期		後期	た町左オマー 糸老言	き、「什么し物質 什	週時間数	2 〕永山,(東京大学出版会), 「 Molecular Biology of the			
教科書/教	対材			arland Science) 他		,(宋尔入子山	版本), I MOIEC	ulai biology of the	
担当教員		丹波 之宏							
到達目標									
		貫れると共に	,生体分子やそのタ	集合体の振る舞いを	物理的,定量的に理解	解している.			
ルーブリ	<u> </u>						1		
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベル	の目安	未到達レベルの	の目安	
評価項目! の振る舞! る.	1 ; 生体分子 いを定量的に	やその集合体に理解してい	生体分子やその を定量的に理解	集合体の振る舞い し説明できる.	生体分子やその集合を定量的に理解して	合体の振る舞い こいる.	生体分子やそのを定量的に理解	の集合体の振る舞い 解していない.	
評価項目2 の振る舞(る.	2 ; 生体分子 いを物理的に	やその集合体に理解してい	生体分子やその を物理的に理解	集合体の振る舞い し記述できる.	生体分子やその集合 を物理的に理解して		生体分子やそのを物理的に理解	の集合体の振る舞い 解していない.	
学科の狂	到達目標項	見との関	 係						
教育方法									
概要	-,	生物学かりある. 講	う得られた知見を 義では分子生物学の 現の場である脂質原	「学的・医学的に応り D用語に慣れると共に 関、ひいては細胞のも	用するには、その諸野に, 生体分子やその負 構造や機能について物	見象を物理的な 集合体, すなわ 物理的, 定量的	側面から理解して ち分子機械であるな理解を深める。	ておくことが重要で るタンパク質や, そ	
授業の進む	め方・方法	(1) こ 週の「到)	の授業は学習,教育 達目標」はこの授業	目標(B)<基礎>る 美で習得する「知識	および,JABEE基準1. ・能力」に相当するも	基準1. 1(c)に対応する。(2)「授業計画」におけるá 当するものとする.			
注意点	a j	こと. (* 計が, 9 評価は学	4)授業で保証する 0時間に相当する 末試験に最大2(3学習時間と,予習 学習内容である.()) %まで加味する.	プ・インター できます できます できます できます できまま できまま いまま できま できま できま できま でき できま できま かいま できま でき できる かいま できる できる できる いっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	こめの学習も含 として適宜求め E期試験)にて	む) に必要な標準 られた課題を提 60%以上の得!	能力」の重みの目安 目当の英語力がある 集的な学習時間の総 出すること. 課題の 点を得たものを合格	
<u> </u>		週			週		<u> </u>		
			生命工学、生物物理	里学の序論	命	、細胞、生体分	使われる用語を理		
					15	の概要を理解し)」とでの来占体)ている.	里解している. 2.生 の構造と機能,それ	
		2週	生命現象にみる大き	きさや数(1)	上	の概要を理解し 記1, 2, 3. 生 理解している	ている.	理解している. 2.生の構造と機能, それ合体の特性を定量的	
			生命現象にみる大き		上に	記1, 2, 3. 生 理解している.	ている.	の構造と機能,それ	
	3rdQ	3週		きさや数(2)	上 (こ 上 4.	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
	3rdQ	3週	生命現象にみる大き	きさや数 (2) (1)	上 に 上 4. る	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
	3rdQ	3週 4週 5週	生命現象にみる大。 エネルギーと分布 エネルギーと分布	きさや数 (2) (1) (2)	上 た よ る 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ 記4	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
公 胡	3rdQ	3週 4週 5週 6週	生命現象にみる大。 エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布	きさや数 (2) (1) (2) (3)	上 (こ 4. る 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ · 記4 記3, 4	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
後期	3rdQ	3週 4週 5週 6週 7週	生命現象にみる大: エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散(きさや数 (2) (1) (2) (3) 1)	上 4. 3 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記4 記3, 4 記4	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
後期	3rdQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週	生命現象にみる大。 エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布	きさや数 (2) (1) (2) (3) 1) 2)	上 た 4. る 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ · 記4 記3, 4	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
後期	3rdQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	生命現象にみる大。 エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散(水溶液中の拡散(きさや数 (2) (1) (2) (3) 1) 2) 3)	上 4. る 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ 記4 記3, 4 記4	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
後期	3rdQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	生命現象にみる大。 エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散(水溶液中の拡散(水溶液中の拡散(きさや数 (2) (1) (2) (3) 1) 2) 3) 互作用 (1)	上 4. 3 上 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記4 記3, 4 記4 記4 記4	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
後期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	生命現象にみる大き エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散 (水溶液中の拡散 (水溶液中の拡散 (水溶液中の前散 (水溶液中の前間相)	きさや数(2) (1) (2) (3) 1) 2) 3) 5年用(1) 5年用(2)	上 4. 3 上 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記4 記3, 4 記4 記4 記4 記3, 4	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
後期	3rdQ 4thQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	生命現象にみる大される。 エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散(水溶液中の拡散(水溶液中の前電相 水溶液中の静電相 水溶液中の静電相	きさや数(2) (1) (2) (3) 1) 2) 3) 互作用(1) 互作用(2) 質(1)	上 (元 4. 3 上 上 上 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記4 記3, 4 記4 記4 記3, 4 記3, 4 記3, 4	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
後期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	生命現象にみる大江ネルギーと分布エネルギーと分布エネルギーと分布水溶液中の拡散(水溶液中の拡散(水溶液中の動電相水溶液中の静電相大溶液中の静電相大容液中の静電相大容液中の	きさや数(2) (1) (2) (3) 1) 2) 3) 互作用(1) 互作用(2) 質(1) 質(2)	上 4. 3 上 上 上 上 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記4 記3, 4 記4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記1, 2, 3	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
後期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	生命現象にみる大き エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散(水溶液中の拡散(水溶液中の拡散(水溶液中の静電相 水溶液中の静電相 大溶液中の静電相 生体膜とタンパク質 生体膜とタンパク質	きさや数(2) (1) (2) (3) 1) 2) 3) 互作用(1) 互作用(2) 質(1) 質(2) 質(3)	上 4. 3 上 上 上 上 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記4 記3, 4 記4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4	っている. 体分子とその集	の構造と機能,それ	
	4thQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	生命現象にみる大き エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散 (水溶液中の拡散 (水溶液中の動電相 水溶液中の静電相 水溶液中の静電相 生体膜とタンパク質生体膜とタンパク質生体膜とタンパク質生体膜とタンパク質	きさや数(2) (1) (2) (3) 1) 2) 3) 互作用(1) 互作用(2) 質(1) 質(2) 質(3)	上 4. 3 上 上 上 上 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記4 記3, 4 記4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記1, 2, 3	っている. 体分子とその集	の構造と機能、それ合体の特性を定量的	
モデルニ	4thQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	生命現象にみる大き エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散 (水溶液中の拡散 (水溶液中の静電相 水溶液中の静電相 水溶液中の静電相 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク ケード アース	きさや数(2) (1) (2) (3) 1) 2) 3) 5年用(1) 5年用(2) 質(1) 質(2) 質(3) 質(4)	上 4. 3 上 上 上 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記4 記3, 4 記4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記1, 2, 3	でいる。 体分子とその集まの集合体の特性を	の構造と機能, それ 合体の特性を定量的 を物理的に理解してい	
モデル <u>:</u> 分類	4thQ コアカリキ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	生命現象にみる大き エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散 (水溶液中の拡散 (水溶液中の動電相 水溶液中の静電相 水溶液中の静電相 生体膜とタンパク質生体膜とタンパク質生体膜とタンパク質生体膜とタンパク質	きさや数(2) (1) (2) (3) 1) 2) 3) 互作用(1) 互作用(2) 質(1) 質(2) 質(3)	上 4. 3 上 上 上 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記4 記3, 4 記4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記1, 2, 3	でいる。 体分子とその集まの集合体の特性を	の構造と機能,それ	
モデルニ	4thQ コアカリキ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 7野	生命現象にみる大き エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散 (水溶液中の拡散 (水溶液中の動電相 水溶液中の静電相 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク 学習内容と到道 学習内容	きさや数(2) (1) (2) (3) 1) 2) 3) 互作用(1) 互作用(2) 質(1) 質(2) 質(3) 質(4)	上 し は る 上 上 上 上 上 上 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記4 記3, 4 記4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記1, 2, 3 記1, 2, 3 記1, 2, 3	でいる。 一体分子とその集合体の特性を の集合体の特性を 回集合体の特性を	の構造と機能,それ合体の特性を定量的を物理的に理解してい	
モデル: ^{分類} 評価割る	4thQ コアカリキ 合	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 -ユラムの	生命現象にみる大き エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散(水溶液中の拡散(水溶液中の前電相 水溶液中の静電相 水溶液中の静電相 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク 学習内容と到道 学習内容	きさや数(2) (1) (2) (3) 1) 2) 3) 5年用(1) 5年用(2) 質(1) 質(2) 質(3) 質(4) 世目標 学習内容の到達目標 相互評価	上 し 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記1, 2, 3 記1, 2, 3 記1, 2, 3	プロンス (本分子とその集) では、 では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 の集合体の特性では、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまでもを のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまたが、 のまでもを のまたが、 のまでもを のまたが、 のまたが、 のもを のもを のもを のもを のもを のもを のもを のもを のもを のもを	の構造と機能,それ合体の特性を定量的を物理的に理解していましています。 おまま はい でき おまま かい でき おまま でき おまま でき かっぱい でき かい でき いい でき かい でき いっぱい でき いい いい でき いい いい でき いい いい でき いい	
モデル <u>:</u> 分類	4thQ コアカリキ 合	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 - ユラムの 分野	生命現象にみる大き エネルギーと分布 エネルギーと分布 エネルギーと分布 水溶液中の拡散 (水溶液中の拡散 (水溶液中の動電相 水溶液中の静電相 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク 生体膜とタンパク 学習内容と到道 学習内容	きさや数(2) (1) (2) (3) 1) 2) 3) 互作用(1) 互作用(2) 質(1) 質(2) 質(3) 質(4)	上 し は る 上 上 上 上 上 上 上 上 上	記1, 2, 3. 生 理解している. 記1, 2, 3 生体分子とそ. 記3, 4 記4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記3, 4 記1, 2, 3 記1, 2, 3 記1, 2, 3	でいる。 一体分子とその集合体の特性を の集合体の特性を 回集合体の特性を	の構造と機能,それ合体の特性を定量的を物理的に理解していましています。	

扒口甘口	E上未向守	専門学校	開講年度 令和02年度 (2	2020年度) 拐	業科目	物性工学
们也全领	楚情報					
科目番号		0067		科目区分	専門 / 必修	<u> </u>
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位:	2
開設学科		総合イノ/ ス)	ベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専2	
開設期		前期		週時間数	2	
教科書/教	树	教科書: 人 化学同人) 」川辺和	ノート講義 参考書:「無機化学 そ <i>の</i> 「電子物性基礎」 電気学会 (オ 夫,平木昭夫,岩見基弘共著(コロナ	現代的アプローチ 第2 「ーム社)「物性物理学」 社)	版」 平尾- 溝口正著	-之,田中勝久,中平敦共著 (東京 (裳華房) 「基礎電子物性工学
担当教員		和田 憲幸				
じて物性の	成する元素(の起源を理解		や, それらの集合体としての結晶が示	す回折現象などを理解す	るとともに,	格子振動から比熱求めることを通
ルーブリ	リック			T		1
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの		未到達レベルの目安
評価項目1	1		各種物性と電子核構造の関係をよく理解している。	各種物性と電子核構造 解している.		各種物性と電子核構造の関係をよく理解していない.
評価項目2	2		結晶による放射線の回折現象をよく理解している. # 2 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	結晶による放射線の回 解している.	折現象を埋 ───	結晶による放射線の回折現象を理解していない。
評価項目3	3		格子振動と比熱の関係,種々のモデルから比熱をよく理解している。	格子振動と比熱を理解	している.	格子振動や比熱を理解していない・
学科の致	到達目標耳	頁目との関	· 系			
教育方法						
概要	<i>→</i> 1.1.	この授業	では,物質を構成している原子や結晶 の発現をこれらと密接に関連するい		———— 様式, ならて ついて講義で	ドログライ
		・全ての店	内容は、学習教育到達目標(B)<基礎)	> JABEE基準1(2)(d)(2)	a)に対応	
授業の進む	め方・方法 	・授業は, ・「授業	質問を受け付けながら,理解の度合け面」における各週の「到達目標」は の評価方法と基準>下記授業計画の	いを確認できる演習を含 この授業で習得する「知	め, 講義形式 識・能力」に	は相当するものとする.
注意点		くあらかしは,構造調論,組織制 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	うごとは不可能である. 上記以外の諸 うめ要求される基礎知識の範囲>本科 と計学, 表面工学, 複合材料工学, 非 引御学, 相変換工学等の学習が基礎と, 習>授業で保証する学習時間と, 予習 時間の総計が, 45時間に相当する学習	ならびに専攻科ですでに 破壊検査工学, エネルギ なる教科である. ・復習(定期試験のため	習得した 点	5用物理に関する基礎知識 本教科
		<学業成績 価は課題。	責の評価方法および評価基準>求めら と期末試験の平均点で評価する。 导要件>学業成績で60点以上を取得	れたすべてのレポートの		
授業計画	画	<学業成績 価は課題は <単位修行	責の評価方法および評価基準>求めら と期末試験の平均点で評価する. 身要件>学業成績で60点以上を取得	れたすべてのレポートの		
授業計画	由	<学業成績 価は課題は <単位修行	責の評価方法および評価基準>求めら と期末試験の平均点で評価する.	れたすべてのレボートの すること.		
授業計區	画	<学業成業 価は課題 <単位修行 週 1週 1週 1	責の評価方法および評価基準> 求めらたと期末試験の平均点で評価する. 男要件> 学業成績で 6 0 点以上を取得要件> 学業成績で 6 0 点以上を取得 受業内容	れたすべてのレポートの すること. 週ごと 1. 原 結合を	提出をしてい この到達目標 子構造, 電子 理解している	いなければならない. 学業成績の評 動道. 電子配置および量子数と化学
	画	会学業成績価は課題 会単位修行 週 1週	責の評価方法および評価基準> 求めら と期末試験の平均点で評価する. 导要件> 学業成績で60点以上を取得 受業内容	れたすべてのレポートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1	提出をしてい の到達目標 子構造,電子 ・理解してい	いなければならない.学業成績の評 動道,電子配置および量子数と化学 る.
授業計画	画	会学業成 価は課題 会単位修名 週	責の評価方法および評価基準> 求めらたと期末試験の平均点で評価する. 男要件> 学業成績で 6 0 点以上を取得要件> 学業成績で 6 0 点以上を取得 受業内容	れたすべてのレポートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 2. 原	提出をしてい の到達目標 子構造,電子 ・理解してい	れなければならない、学業成績の評 軌道、電子配置および量子数と化学る。 シの電子のエネルギーと光物性につ
授業計画		会学業成 価は課題。 会単位修行 週 1週 2週 3週	責の評価方法および評価基準>求めら と期末試験の平均点で評価する。 界要件>学業成績で60点以上を取得 受業内容 物質を構成する原子と化学結合 物質を構成する原子と化学結合	れたすべてのレポートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 2. 原 いて到	提出をしてい <u>この到達目標</u> 子構造,電子 理解している 子およびイオ 関係している。	いなければならない. 学業成績の評 軌道, 電子配置および量子数と化学る. ンの電子のエネルギーと光物性につ
授業計 <u>に</u>	画 1stQ	会学業成領 一個 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	責の評価方法および評価基準> 求めらたと期末試験の平均点で評価する. 男要件> 学業成績で 6 0 点以上を取得 受業内容 物質を構成する原子と化学結合 物質を構成する原子と化学結合 原子およびイオンの電子エネルギーと	れたすべてのレポートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 2. 原 いて型 その応用 上記2	提出をしてい この到達目標 子構造,電子 理解している 子およびイオ 上解している。	いなければならない. 学業成績の評 軌道, 電子配置および量子数と化学る. ンの電子のエネルギーと光物性につ
授業計画		本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語	責の評価方法および評価基準>求めら と期末試験の平均点で評価する。 界要件>学業成績で60点以上を取得 受業内容 物質を構成する原子と化学結合 物質を構成する原子と化学結合 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 2. 原いて理 その応用 上記2 その応用 上記2	提出をしている。 この到達目標 子構造,電子 子球よびイオオ 上野している。 この単位格子 このの単位格子	れなければならない、学業成績の評 軌道、電子配置および量子数と化学る。 シの電子のエネルギーと光物性につ
授 業計 [本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語	真の評価方法および評価基準> 求めらたと期末試験の平均点で評価する。 別事ま試験の平均点で評価する。 別事要件> 学業成績で 6 0 点以上を取得 受業内容 物質を構成する原子と化学結合 物質を構成する原子と化学結合 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子および	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 2. 原いて理 その応用 上記2 その応用 上記2	提出をしてい の到達目標 子構造,電子 ・理解している ・理解している。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いなければならない、学業成績の評 軌道,電子配置および量子数と化学る。 シの電子のエネルギーと光物性につ
		Sign Sign	真の評価方法および評価基準> 求めらたと期末試験の平均点で評価する. 別事要件> 学業成績で60点以上を取得要件> 学業成績で60点以上を取得要件> 学業成績で60点以上を取得要性が質を構成する原子と化学結合物質を構成する原子と化学結合原子およびイオンの電子エネルギーと原子およびイオンの電子エネルギーと原子およびイオンの電子エネルギーと結晶と回折現象結晶と回折現象には	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 2. 原 いて到 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 ま記3 上記3 上記3	提出をしているの到達目標子構造,ですおよびイオを解している。	れなければならない. 学業成績の評 軌道, 電子配置および量子数と化学る. シの電子のエネルギーと光物性につ
		Single 真の評価方法および評価基準>求めらたと期末試験の平均点で評価する。 界要件>学業成績で60点以上を取得 受業内容 物質を構成する原子と化学結合 物質を構成する原子と化学結合 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと にはいて、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 2. 原いて理 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 4. 固 5. 1次	提出をしているの到達目標子構造,ているのが出版の単位格子でいる。	れなければならない. 学業成績の評 軌道, 電子配置および量子数と化学る. ンの電子のエネルギーと光物性につ 、 ミラー指数とX線回折について理 波動方程式を理解している.	
		Sign Sign	責の評価方法および評価基準> 求めらき と期末試験の平均点で評価する.	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 2. 原いて理 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記3 よ記3 上記3 4. 固何 5. 1次 理解し	提出をしているの到達目標子構造している。	れなければならない. 学業成績の評 軌道, 電子配置および量子数と化学る. シの電子のエネルギーと光物性につ
		Single 責の評価方法および評価基準> 求めらき と期末試験の平均点で評価する.	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 2. 原いて理 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記3 上記3 上記3 4. 固っ 5. 1次 理解し 上記5	提出をしているの到達目標ではない。	れなければならない、学業成績の評 軌道,電子配置および量子数と化学る。 シの電子のエネルギーと光物性につ 、ミラー指数とX線回折について理 波動方程式を理解している。	
	1stQ	Sign Sign	責の評価方法および評価基準> 求めらき と期末試験の平均点で評価する.	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 4. 固っ 上記3 4. 固っ 上記3 上記3	提出をしているの到達目標子構造,でいる。	れなければならない. 学業成績の評 軌道, 電子配置および量子数と化学る. ンの電子のエネルギーと光物性につ 、 ミラー指数とX線回折について理 波動方程式を理解している.
		Single 責の評価方法および評価基準> 求めらき と期末試験の平均点で評価する.	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記3 4. 固 上記3 4. 固 上記5 上記5 上記5	提出をしているの到達目標子はないる。	れなければならない. 学業成績の評 軌道, 電子配置および量子数と化学る. ンの電子のエネルギーと光物性につ 、 ミラー指数とX線回折について理 波動方程式を理解している.	
授業計画	1stQ	Single 責の評価方法および評価基準> 求めらき と期末試験の平均点で評価する.	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記3 4. 固 上記3 4. 固 上記5 上記5 上記5	提出をしているの到達目標子理解している。	れなければならない。学業成績の評 軌道、電子配置および量子数と化学る。 この電子のエネルギーと光物性について理 、 ミラー指数とX線回折について理 波動方程式を理解している。 子および2種原子講師の振動について 比熱の違い、アインシュタインの格	
	1stQ	Single 責の評価方法および評価基準> 求めらき と期末試験の平均点で評価する.	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記3 4. 固っ 5. 1次 理解し 上記5 上記5 上記5	提出をしているの到達目標子理解している。	れなければならない。学業成績の評 軌道、電子配置および量子数と化学る。 この電子のエネルギーと光物性について理 、 ミラー指数とX線回折について理 波動方程式を理解している。 子および2種原子講師の振動について 比熱の違い、アインシュタインの格	
前期	1stQ 2ndQ	Single 責の評価方法および評価基準> 求めらき と期末試験の平均点で評価する.	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記3 4. 固っ 5. 1次 理解し 上記5 上記5 上記5	提出をしているの到達目標子理解している。	れなければならない。学業成績の評 軌道、電子配置および量子数と化学る。 この電子のエネルギーと光物性について理 、 ミラー指数とX線回折について理 波動方程式を理解している。 子および2種原子講師の振動について 比熱の違い、アインシュタインの格	
前期	1stQ 2ndQ	Single 責の評価方法および評価基準> 求めらき と期末試験の平均点で評価する.	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記3 上記3 上記3 上記3 上記3 上記3 上記3 上記3	提出をしているの到達目標子理解している。	れなければならない。学業成績の評 軌道、電子配置および量子数と化学る。 この電子のエネルギーと光物性について理 、 ミラー指数とX線回折について理 波動方程式を理解している。 子および2種原子講師の振動について 比熱の違い、アインシュタインの格	
前期	1stQ 2ndQ	Sign Sign	真の評価方法および評価基準> 求めらきと期末試験の平均点で評価する. 県要件> 学業成績で60点以上を取得 受業内容 物質を構成する原子と化学結合 物質を構成する原子と化学結合 原子およびイオンの電子エネルギーと 原子およびイオンの電子エネルギーと 京子およびイオンの電子エネルギーと 結晶と回折現象 結晶と回折現象 結晶と回折現象 は と回折現象 は 日本の上動 1次元格子の振動 1分元格子の振動 1分元格子の振動 1分元格子の振動 1分元格子の振動 1分元格子の振	れたすべてのレボートの すること. 週ごと 1. 原 結合を 上記1 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記2 その応用 上記3 上記3 上記3 上記3 上記3 上記3 上記3 上記3	提出をしているの到達目標子理解している。	れなければならない。学業成績の評 軌道,電子配置および量子数と化学る。 シの電子のエネルギーと光物性について理 、ミラー指数とX線回折について理 波動方程式を理解している。 子および2種原子講師の振動について 比熱の違い,アインシュタインの格 バイの格子比熱理論を理解している

総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
配点	50	50	0	0	0	0	100

	丁業高等	専門学校	開講年度	令和02年度 (2	2020年度)	捋	 業科目	有機材料工学
科目基礎		<u> </u>			2020-12)	172	<u> </u>	
<u>- 1 日 王 7</u> 科目番号	CIIJTIX	0068			科目区分		専門/コ	ース選択必修
授業形態		授業			単位の種別と単位	数	学修単位	: 2
開設学科		総合イノス)	ベーション工学専攻	文(環境・資源コー	対象学年		専2	
開設期		後期			週時間数	2		
教科書/教	材	教科書:	工学のための高分子 学会編、共立出版)	子材料化学(川上浩 . 高分子材料概論	良著, サイエンス社 (鴨川昭夫, 五十届	生) 及て 気折共著	が配布プリ ・・森北州	リント,参考書:入門高分子材料設計 出版)
担当教員		下古谷 博		ווונטענון זיניו כ ככנייו	(Marriedot) II 1/2	мшу	3/ AM-10L	AINA)
到達目標								
1.高分子(2.分離・分 3.繊維強(と合物の種类 分子認識材料 とプラスチッ	類,構造,性 料や環境浄化 メクの種類,	質,合成法等を理解 材料など各種高分子 構造,性質,成形法	曜し,各種高分子化 子材料の構造や性質 法等を理解し,プラ	合物について説明で理解し, その機能スチック基複合材料	できる. 能につい 料につい	ハて説明で ハて説明で	できる。 できる。
ルーブリ				1 · 3 · 2 · 1 · 1 · 1 · 1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	.,	22,073	
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レヘ	ジレの目	安	未到達レベルの目安
評価項目1			高分子化合物の法等を理解し, の設計に応用で	種別や物性,合成 各種高分子化合物 きる.	高分子化合物の種法等を理解し,各について説明でき	動や物 経種高分 きる.	加性,合成 分子化合物	高分子化合物の種別や物性,合成 法等を理解できず,各種高分子化 合物について説明できない.
評価項目2	2		とその機能との	の構造及び性質等 関係を理解し,機 の設計に応用でき	各種高分子材料の 解し, その機能に る.			
評価項目3	3		繊維強化プラス 質を理解し,プ 材料の設計に応	チックの種類や性 ラスチック基複合 用できる.	繊維強化プラスチ 質を理解し, プラ 材料について説明	ラスチッ	/ク基複合	繊維強化プラスチックの種類や性質を理解できず,プラスチック基複合材料について説明できない.
学科の到	引達目標項	頁目との関	係					
教育方法	法等							
概要		高分子化 化合物の ク基複合	合物は天然系から合 設計法や分離・認識 材料の成型法に至る	合成系まで幅広く存 機材料, バイオマテ るまで幅広く学ぶ.	在する. 授業では, リアル, 環境保全権	それら材料など	うの構造と どの機能的	性質など基本的な事項から,高分子9特性を理解し,さらにはプラスチッ
授業の進め	か方・方法	・すべて(・授業は ・「授業	の内容は学習・教育 講義形式で行う. 請 計画」における各近	育到達目標(B)< 購義中は集中して聴 週の「到達目標」は	専門> , JABEE基 講する. この授業で習得する	準1(2) る「知証	(d)(2)a) 戦・能力」	に対応する. に相当するものとする.
注意点		る得くいく必くのに績くにいる。 点ある自要学2達を単備評をらこ己な業回し上位考をがと学標がのて回修>	における「 における「 得しがまという。 得した場立、 はた場立、 はいまという。 はいまという。 はいまという。 はいまという。 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいっとのでは、 はいいっとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいいるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれる。 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれるとのでは、 はいれる。 はいれる、 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	票」の重みはことの重みはことが を を を を を を を を を を を を を	ある: 記録	ノヹ か で出 5験 ポす生学定あをための 課している いまり まんり かいりん いまり はいしん いまり はいまい はい	、 対域 対域 対域 では では<td>は、期末試験、レポートにより評価す レベルは、百点法により60点以上の に関する基礎をしっかりと理解して る教科である。 の学習も含む)及びレポート作成に はばならない、後期中間、学年末試験 中間試験および期末試験について60点 、再試験の成績が該当する試験の成 使えるものとする。 とめるので日頃の勉強に力を入れるこ でありまではいる。 であることである。</td>	は、期末試験、レポートにより評価す レベルは、百点法により60点以上の に関する基礎をしっかりと理解して る教科である。 の学習も含む)及びレポート作成に はばならない、後期中間、学年末試験 中間試験および期末試験について60点 、再試験の成績が該当する試験の成 使えるものとする。 とめるので日頃の勉強に力を入れるこ でありまではいる。 であることである。
授業計画	<u> </u>	11						
		1	授業内容				の到達目4 分子と低4	票 分子の特徴についてその概要を説明で
			有機材料工学とは			きる.))] C E(,	カーの特徴についてこの服安で記りて
		2週	合成高分子の構造			上記1	ハマのむ	の性をある当の性をころいて言語できま
		3週	合成高分子の性質		2. 両2 る.	ガナの熱は	り性質や力学的性質について説明でき	
4週 天然高分子の		天然高分子の構造			3. セルロースなど工業的に使われている天然高についてその概要を説明できる.			
	3rdQ 5週 天然高分子の性質							クターおよびバイオリアクターに応用 生体高分子の概要について説明できる
		6週	 高分子材料の設計	 : 連鎖重合		5 高 法につい	分子材料いて説明	
後期		7週				<u> </u>	v : ⊂n/u-/J	
I~/√1		8週	中間試験			これま		した内容を説明し,諸量を求めること
		9週	 分離・認識材料			6. 分离	推機能材料	
	İ					説明で	さる.	

10週

11週

12週

13週

14週

4thQ

バイオマテリアル 環境問題と高分子材料

生分解性高分子材料

高分子のリサイクル

プラスチック基複合材料

7. バイオマテリアルの構造と機能について説明できる

9. 生分解性高分子の構造と機能について理解し,高分子のリサイクルについて説明できる.

10. 繊維強化プラスチックの種類や構造等を理解し ,成型法についても簡単に説明できる.

8. 環境浄化材料についてその概要を説明できる.

		15週	プラス	スチック基複合	材料の成型法		上記10			
		16週								
モデルコ	デルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 - デルコアカリキュラムの学習内容と到達目標									
分類		分野		学習内容 :	学習内容の到達目標	<u> </u>			到達レベル	/ 授業週
評価割合										
	試馬	験	課	題	相互評価	態度	発表	その他	合	i †
総合評価割	合評価割合 80 20 0 O				0	0	0	10	10	
配点	80		20		0	0	0	0	10	0

		等專門学校	開講年度	令和02年度 (2	2020年度)	授業科目	材料強度工学
科目基	礎情報						
科目番号	<u> </u>	0069			科目区分	専門 / コ	ース選択
授業形態	{	授業			単位の種別と単位	立数 学修単位:	: 2
開設学科	ŀ	総合イノ^ ス)	ベーション工学専攻	文(環境・資源コー	対象学年	専2	
開設期		前期			週時間数	2	
教科書/勃	教材	(共立出版	、参考書:「材料 京㈱), 「鉄鋼・高 所協会 編著(大河L	4強靭学」小林俊郎 6強度化に挑む」内 出版)など	著(アグネ技術セ 山 郁 著(㈱工業	ンター), 「ホル 調査会), 「入門	レンボーゲン 材料」小林俊郎他 訳 引・金属材料の組織と性質」(社)日本
担当教員	Į	黒田 大介					
到達目	標						
金属材料 得し,高	の組織制御 強度・高靭	および破壊力等 性を有する金属	学に関する基礎理論 属材料の設計・開発	輪を理解し, ミクロ 発に応用できる.	組織制御に必要な	専門知識および破	壊靭性の評価に必要な専門知識を習
ルーブ	リック						
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レイ	ベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目	11		一式の知識に基づい	原子構造,結合様 いて,代表的な材 方法を提案できる	代表的な材料の原式と高強度化の原	京子構造, 結合様 関係を説明できる	代表的な材料の原子構造,結合様式と高強度化の関係を説明できない.
評価項目	12		材料力学や破壊 の評価法と概念 を説明でき、それ 材料の高強度化	カ学のパラメータ , 種々の破壊形態 れらの知識を構造 に応用できる.		力学に関する概念 杉態とその原因を	材料力学や破壊力学に関する概念 や代表的な破壊形態とその原因を 説明できない.
評価項目	13		代表的な構造用が 説明でき、それが 料の高強度化に	材料の強化機構を らの知識を構造材 応用できる.	代表的な構造用相 説明できる.	材料の強化機構を	代表的な構造用材料の強化機構を 説明できない.
 学科の	到達日煙	 項目との関係	•		-		
<u>) 1700</u> 教育方		XH CVINI	•••				
授業の進	め方・方法	要な実用を属材料の登ますでである。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対 の組織制御法,	機械的特性および (る知識と技術の習 3・教育到達目標(B 調講義形式で行う. 1の「到達目標」は 1、下記授業計画の 「野路はま施しないた	皮壊剝性の評価法に 得が目的である.) <専門> , JABEI 講義中は集中して「 この授業で習を網 が、中間試験に代	三ついて講義形式 三基準1.2(d)(1)(聴講する. る「知識・能力」 番した問題を課題で わる課題の提出に	
注意点		題に対して <単位修得 くあらかじ ておくこと くレポート	「計画的に取り組む け要件>学業成績で びめ要求される基礎 ≤・ 、等>理解を深める)こと、未提出の課 60点以上を取得す	題かある場合には, ること. 鋼材料」, 「軽金) て演習課題を与え.	, 最終成績を59点 属材料」, 「材料 る.	強度学」の基礎事項を十分に理解し
授業計	画	,					
X/(B)		週				週ごとの到達目標	
		1週 柞	構造材料の発展と特	寺徴		1. 代表的な材料	の原子構造と特徴を説明できる.
		2週 引	強さと靱性の基礎 -	- その1-強さ,靱¦	生とは何か	2. 強さや靱性のきる.	定義と変形やき裂進展の要因を説明っ
							 表的な強化機構を説明できる.
	4			羽化 – その1 – 組織の		4. 元素添加や熱	及門は強化域構を記場できる。 処理による鉄鋼材料の組織の調整法
	1stQ					説明できる. 5. 鉄鋼材料の組	 織と強靭化の関係を説明できる.
			オ料力学と破壊力学			6. 材料力学的手	法と破壊力学的手法の違いを説明で
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				る.	
			単性破壊力学と弾劾				カ学パラメータを説明できる.
前期		4	到達目標1~7の知 鉄鋼材料の破壊とる			上記,1~7 8 延性破壊と脆	性破壊の特徴とその評価法を説明で
· · -		9/년	波壊			る.	
				その評価法 – その2	- 靱性と疲労破壊		の評価法を説明できる.
		11週 🕯	铸鉄の強化				とその強化法を説明できる.
		12週	アルミニウム合金の	の強度		11. アルミニウ <i>I</i> きる.	ム合金の種類とその強化方法を説明で
	2ndQ	13週 =	チタン合金の強化				の種類とその強化方法を説明できる.
		14週 🕏	金属基複合材料の強	 強度		13. 金属基複合材	材料の製法と強度の関係を説明できる
		15週 🕏				<u>.</u> 14. 金属間化合物 きる.	勿のミクロ組織と強度の関係を説明で
		16計				C Ø.	

16週

モデルコアカ!	ノキュラ	5ムの学習	3内容と到達	目標					
分類	4	分野	学習内容 =	学習内容の到達目標	<u> </u>			到達レベノ	レ 授業週
評価割合									
	試験	語	果題	相互評価	態度	発表	その他	슫	計
総合評価割合	50	5	0	0	0	0	0	10	00
配点	50	5	0	0	0	0	0	10	00

鈴鹿工業高等専	門学校	開講年度	令和02年度 (2	020年度)	授業科目	エコマテリアル
科目基礎情報						
科目番号	0070			科目区分	専門/選技	R
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位:	2
開設学科	総合イノベース)	ション工学専攻	ζ(環境・資源コー	対象学年	専2	
開設期	後期			週時間数	2	
教科書/教材	ノート講義					
担当教員	小俣 香織					
到達目標						
環境問題と材料の関係に 要と課題を説明できる.	こついて理解し	, 環境問題に対	けして,自ら考えを違	述べることができる.	代表的なエコ	マテリアルについて理解し, その概
ルーブリック						

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	エコマテリアルの定義を詳細に説 明できる.	エコマテリアルの定義を大まかに 説明できる.	エコマテリアルの定義を説明できない.
評価項目2	環境問題を多面的・定量的にとらえ、それに基づいて自らの意見を述べることができる.	環境問題を多面的・定量的にとら えることができる.	環境問題を多面的・定量的にとら えることができない.
評価項目3	代表的な環境問題と材料開発の歴 史について理解し、現在の課題や 解決に取り組みについて説明でき る.	代表的な環境問題と材料開発の歴 史について大まかに説明できる.	代表的な環境問題と材料開発の歴 史について説明できない.
評価項目4	複数の文献などから目的に応じて 適切な情報を収集し,整理・分析 することができる.	文献などから目的に応じて適切な 情報を収集することができる.	文献などから目的に応じた情報を 収集することができない.
評価項目5	発表や討論において自らの意見を 論理的に受け手にわかりやすいよ う工夫して説明できる.	発表や討論において自らの意見を 説明できる.	発表や討論において自らの意見を 説明できない.

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	我々は便利さのみを追求するのではなく環境負荷を考えながら適切な材料を開発・使用する必要がある. エコマテリアルでは,持続可能な人間社会を目指した物質・材料に関連した技術について学習する.
授業の進め方・方法	・全ての内容は,学習・教育目標(B)〈専門〉およびJABEE基準1(1)の(d)(2)a)に対応する. ・「授業計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする.
注意点	〈到達目標の評価方法と基準〉この授業で習得する「知識・能力」] 1~7の習得の度合いを中間試験およびレポートにより評価する。 〈学業成績の評価方法および評価基準〉 中間試験50%およびレポート課題の平均点50%の割合で成績を総合的に評価する。ただし、中間試験にて60点に達していない者には再試験を課す場合もある。再試験の成績が該当する試験の成績を上回った場合には、60点を上限として再試験の成績で置き換えるものとする。 〈単位修得要件〉各自に与えられた課題のブレゼンをすべて実施し、学業成績で60点以上を取得すること。 〈あらかじめ要求される基礎知識の範囲〉熱力学や構造科学の基礎を理解していること。また、パワーポイントによる資料の作成ができること。 〈レポートなど〉パワーポイント等を使用してのプレゼンテーションを課すので、必ず予習を行い、プレゼン資料を作成のこと、授業で保証する学習時間と、予習・復習(中間試験、定期試験のための学習も含む)およびレポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。 〈備考〉計算演習を行うことがあるので電卓を持参すること。

授業計画

1又未 1 四	4			
		週	授業内容	週ごとの到達目標
		1週	授業の概要説明およびエコマテリアルとは	1. エコマテリアルの概念が理解できる.
		2週	エコマテリアルの概念―環境と科学―	上記1
		3週	トレードオフと全体最適	2. 環境問題を定量的に理解することができる.
	3rdQ	4週	エコマテリアル開発の現状 (環境と触媒)	3. エコマテリアル開発の現状が説明できる. 4. 環境問題と材料の関係について説明することがで きる.
		5週	エコマテリアル開発の現状(金属・無機材料)	上記3,4
		6週	エコマテリアル開発の現状(有機材料)	上記3,4
		7週	エコマテリアル開発の現状 (複合材料)	上記3,4
		8週	中間試験	上記1~4
後期		9週	中間試験答案確認と解答解説、ディベート	5. 情報を整理・分析することができる. 6. 収集した情報や自らの意見を順序立てて論理的に 説明できる.
		10週	発表(自分の研究テーマと環境とのかかわり)	上記5,6
		11週	発表(自分の研究テーマと環境とのかかわり)	上記5,6
	4thQ	12週	発表(最近のエコマテリアル)	上記5,6 7.最新のトピックスについて,情報を収集することができる.
		13週	発表(最近のエコマテリアル)	上記5,6,7
		14週	発表(最近のエコマテリアル)	上記 5 , 6 , 7
		15週	発表(最近のエコマテリアル), レポート課題の説明 , 文献紹介	上記5,6,7
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	五		到達レ	ベル 授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	発表	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
配点	50	50	0	0	0	0	100

鈴馬	記工業高等	 事門学校	開講年度	令和02年度 (2	2020年度)	授業科目	インターンシップ I
科目基礎					,		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
<u>- 1 日 至 1</u> 科目番号		0071			科目区分	専門 / 道	·····································
<u>- 1 </u>		実験・実習			単位の種別と単位		
開設学科				文(環境・資源コー	対象学年	専2	
開設期		集中			週時間数		
教科書/教	数材	教科書:特	になし, 参考書:	インターンシップ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
旦当教員		インターン	シップ 担当教員				
到達目	標						
		務上の問題点と	課題を体験し,体	体験したことを日報	や報告書にまとめ,	, それらをもと	こ,発表資料を作成し,それを伝えら
ルーブ	リック						
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レイ	ベルの目安	未到達レベルの目安
评価項目	1						
评価項目	2						
评価項目	3						
学科の	到達日標」	頁目との関係	,		•		·
<u>」 </u>		<u> </u>					
<u>教育力が</u> 概要	∕ ∆√f	は洗≯が夕	除する宝数 トの即		<u></u>		
授業の進	め方・方法	・次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、大学をできます。 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできます。」 「大学のできません」 「大学のできままり」 「大学のできません」 「大学のできません」 「大学のできません」 「大学のできません」 「大学のできます。」 「大学のできままり」 「大学のできままり」 「大学のできままり」 「大学のできままり」 「大学のできままり」 「大学のできままり」 「大学のできままり」 「大学のできまり」」 「大学のできまり」 「大学のできまり」」 「「大学のできまり」」 「大学のできまり」」 「大学のできまり」」 「大学のできまり」」 「「大学のできまり」」 「「大学のできまり」」 「「大学のできまり」」 「「大学のできまり」」 「「大学のできまり」」 「「大学のできまり」」 「「大学のできまり」」 「「大学のできまり」」 「「ちまり」」」 「「「ちまり」」」 「「大学のできまり」」 「「ちまり」」」 「「ちまり」」 「大学のできまり」」 「大学のできまり」」 「「大学のできまり」」 「大学のできまり」」 「大学のできまり」」	ターンシップ行会 し、発表を指導が打 し、発生の科2年で り、科生が従事間は り、日本のをでき り、日本のをでき いたの期作のが でき いたのといっ いたのが、 でき いたのといっ いたのが、 でき いたのといっ いたのが、 でき いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっといっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ い	(以下,実習機関), 当可能な企業また の就職内定者につい をる実務のうち、イ 施した場合において でること・ を了後に、報告書を、	内容および期間では公共団体の機関では、内定先企業とのできた。 いては、内定先企業とクターンシップのほで、実働10日以上1	で実務上の問題。 で専攻科分科会で 等への実習とす 目的にふさわしい 19日以下	(h)に対応する. に相当するものとする. に相当するものとする. なけないとは、日報、報告書、発表の推薦により校長が選定して委属した る. い業務 し、発表を行うこと.
注意点	_	務態度 く を は の の の の の の の の の の の の の	報・報告書およて 要件>総合評価で め要求日報は、14 など>サ主シップの は専クーン・ププの 等り り り り り り り り り り り り り り り り り り り	「発表により成績を 「可」以上を取得す 知識の範囲>心得() 日、作成し、報告書 〒学生は専攻副主任 内容は,専攻科学生 職内定者についてに	評価する. けること: けること: けるでと: けるでは、実習技 に提出すること: が従事できる実外 が定先企業1年 対対主任または1年	前集合), 挨拶, 高	をめられた配点に従って、勤務状況、勤 お礼など) ひを受けて、インターンシップ終了後に 資料および発表の準備をすること、 アーンシップの目的にふさわしい業務で とと、実習機関の規則を厳守すること 任に提出すること、インターンシップ 書を持参すること。
授業計	<u> </u>	1. 1.					
			業内容			週ごとの到達目 1 技術者が経験	標 徐する実務上の問題点を体験することが
		1週				できる.	(する大物工の同医派で体験することが
		2週				2. 体験したこと	た日報にまとめることができる.
		3週				3. 体験したこと	
		4週				4. 体験したこと	
	1stQ	E7E				5. 体験したこと	
		5週					
		6週					
±-++p		7週					
前期		8週					
		9週					
		10週					
		11週					
	2ndQ	12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
		1週					
		2週					
		2週					
後 期	3rdO	2週 3週 4週					
後期	3rdQ	2週 3週 4週 5週					
後期	3rdQ	2週 3週 4週 5週 6週					
後期	3rdQ	2週 3週 4週 5週					

		9週									
		10週									
		11週									
	4+4-0	12週									
	4thQ	13週									
		14週									
		15週									
		16週									
モデルコ	アカリキ	ニュラムの	学習	内容と	到達	目標					
分類		分野		学習内容	Š	学習内容の到達目			到道	達レベル	授業週
評価割合	ì										
					イン	ターンシップ評価	基準	合計			
総合評価割	合				100	·	·	100			
配点					100		·	 100			

鈴馬		 事門学校	開講年度	令和02年度 (2	2020年度)	授業科目	インターンシップ Ⅱ
科目基礎					,	,	
<u>- 1 日 至 1</u> 科目番号		0072			科目区分	専門 / j	
<u></u>		実験・実習			単位の種別と単位		
開設学科				文(環境・資源コー	対象学年	専2	
開設期		集中			週時間数		
教科書/教		教科書:特	になし, 参考書:	インターンシップ	の手引き	•	
旦当教員		インターン	シップ 担当教員				
到達目	 標	•					
		務上の問題点と	課題を体験し,体	体験したことを日報	や報告書にまとめ,	, それらをもと	に,発表資料を作成し,それを伝えら
レーブ	リック						
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レイ	ベルの目安	未到達レベルの目安
评価項目	1						
评価項目	2						
评価項目	3						
学科の	到達目標」	頁目との関係					
<u> </u>							
<u>扱 月 ノファ</u> 概要	μ Π	技術老が終	 騒すス宝窓 トの問		 すス		
授業の進	め方・方法	・資工を関して、一次のをでは、次のをでは、一次のをできませる。「のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、	ターンシップ行会 クーンシップ行う 発表を指導が拒 し、外生が従事間は りの関目以上の りの関目 ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで ののでで のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので のので ので	(以下,実習機関), 当可能な企業また の就職内定者につい をる実務のうち、イ 施した場合において でること・ を了後に、報告書を、	内容および期間では公共団体の機関では、内定先企業とのでは、内定先企業とクリーンシップのほう、実働20日以上2年成し提出することで	で実務上の問題, で専攻科分科会 等への実習とす 目的にふさわし 29日以下	(h)に対応する. 」に相当するものとする. 」に相当するものとする. 点と課題を体験し,日報,報告書,発表 の推薦により校長が選定して委属した する. い業務 し,発表を行うこと.
注意点		務態度 く を を を を を を を を を を を を を	報・報告書およて 要件>総合評価を め要されるような は専り主ションの リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー	「発表により成績を 「可」以上を取得す 知識の範囲>心得() 日、作成し、報告書 〒学生は専攻副主任 内容は,専攻科学生 職内定者についてに	評価する. けること: けること: けるでと: けるでの厳守(10分育 までに実習性に提出すること: が従事できる実外 なったとでは1年 はないないないないないないない。 はないないないないないないないない。 はないないないないないないないないないないないない。 はないないないないないないないないないないないないないないないない。	可集合), 挨拶, 指導責任者の検E 発表会用に発表 系のうち, インるで への実習であるで 学生は専攻副主	をめられた配点に従って、勤務状況、勤お礼など) 「を受けて、インターンシップ終了後に 資料および発表の準備をすること、 アーンシップの目的にふさわしい業務で こと、実習機関の規則を厳守すること 任に提出すること、インターンシップ 書を持参すること、
授業計	典						
		週 授	業内容		-	週ごとの到達目	
		1週				1. 技術者が経り できる.	検する実務上の問題点を体験することが
		2週				2. 体験したこと	とを日報にまとめることができる.
		3週				3. 体験したこと	とを報告書にまとめることができる.
	1stQ	4週				4. 体験したこと	とを発表資料にすることができる.
	1300	5週				5. 体験したこと	とを発表し,質疑応答することができる
						•	
		6週					
前期		7週					
-3/43		9週					
		10週					
		11週					
		12週					
	2ndQ	13週					
		14週					
		15週					
		16週					
		1週					
		2週					
		3週					
		4週					
後期	3rdQ						
後期	3rdQ	5週					
後期	3rdQ	5週 6週					
後期	3rdQ	5週					

		9週									
		10週									
		11週									
	4+4-0	12週									
	4thQ	13週									
		14週									
		15週									
		16週									
モデルコ	アカリキ	ニュラムの	学習	内容と	到達	目標					
分類		分野		学習内容	Š	学習内容の到達目			到道	達レベル	授業週
評価割合	ì										
					イン	ターンシップ評価	基準	合計			
総合評価割	合				100	·		100			
配点					100		·	 100			

业几户	王業高等	等專門学校	開講年度	令和02年度 (2	2020年度)	授業科	∃ インターンシップⅢ
科目基础				, / /	- 1 /	,	
<u>行口坐。</u> 科目番号	~ II J T IX	0073			科目区分	専門	/ 選択
授業形態		実験・実習			単位の種別と単位		単位: 6
開設学科				文(環境・資源コー	対象学年	専2	
開設期		集中			週時間数		
教科書/教	·····································	教科書:特	になし,参考書:	インターンシップ		•	
担当教員			<u>,</u> シップ 担当教員				
<u> </u>							
		 務上の問題点と	課題を体験し, 4	 体験したことを日報	 や報告書にまとめ,	それらをも	とに、発表資料を作成し、それを伝えら
れる. 							
ルーブ!	ノック		I		T		1,-,,,
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安
評価項目:							
評価項目2							
評価項目							
学科の発	到達目標工	頁目との関係	<u> </u>				
教育方法	去等						
概要				問題点と課題を体験			, (h)に対応する. 力」に相当するものとする.
授業の進む	め方・方法	機関. たた 【内容】専 【期間】2〕 【日報】毎 【課題】イ	し,専収科2年次 攻科生が従事でき 周間以上の期間実 日,日報を作成す ンターンシップ総	の就職内定者につい る実務のうち,イ 施した場合において 「ること. 冬了後に.報告書を	へくは、内定先企業 ンターンシップのE こ、実働30日以上 作成し提出すること	寺への美智で 的にふさわ	会の推薦により校長が選定して委属したごする. しい業務 成し,発表を行うこと.
				<u>「る. 評価に対する</u>			
		務 り が に が に の の の の の の の の の の の の の	報・報告書およて 要件>総合評価を め要されるような は専り主ションの リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を に で に で に の を に の を に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に の に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習指 に提出すること・ を にが進事できる実務へ でな手等へ 東攻宇任または1年等	集合), 挨拶 導責任者の村 後表会用に発 のうち, イン の実習である 学生は専攻副	に定められた配点に従って、勤務状況、動 が礼など) 後印を受けて、インターンシップ終了後に 表資料および発表の準備をすること、 シターンシップの目的にふさわしい業務で こと、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること、インターンシップ 記書を持参すること、
	画	務 り が に が に の の の の の の の の の の の の の	報・報告書およて 要件>総合評価を め要されるような は専り主ションの リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー リカシー	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を は の を は の に の を は の に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習指 に提出すること・ を にが進事できる実務へ でな手等へ 東攻宇任または1年等	集合), 挨拶 導責任者の村 後表会用に発 のうち, イン の実習である 学生は専攻副	に定められた配点に従って、勤務状況、動が、 、お礼など) 、おれなど) 、おうではて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ 、ターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 手任に提出すること、インターンシップ
		務態度 (8 以) (4 以) (5 以) (6 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7 以) (7	報・報告書およて 要件>総合評価基礎 め要さとなる。 は専り主シリプの は専りとリプの が が の の の の の の の の の の の の の の の の の	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を は の を は の に の を は の に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績評価する。 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 皆も作成し、実習指 に提出すること・ 3 Eが従事できる実務 は、内定先企業等へ 取主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 導責任者の村 後表会用に発 のうち, イン の実習である 学生は専攻副	に定められた配点に従って,勤務状況,動 ,お礼など) が印を受けて,インターンシップ終了後に表資料および発表の準備をすること.シターンシップの目的にふさわしい業務のと、実習機関の規則を厳守することとま任に提出すること.インターンシップを書を持参すること.
	ച	務態度 (修) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を は の を は の に の を は の に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する. まること. 時間の厳守(10分前 書も作成し, 実習指 に提出することを でまるまで また できるまるまな でまた また 大次 定先 できる ま	集合),挨拶 導責合),挨拶 等責会用に発 のうとは用に発 がました。 がました。 はいる物,評 した。 はいるが が が が が が が が が に が の が に の の で と は も の の で り で り の の で り の の り で り の り で り の り に も り い り い り い り い り い り し り し り し り し し し し	に定められた配点に従って、勤務状況、 がおれなど) が印を受けて、インターンシップ終了後に 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 さたと、実習機関の規則を厳守すること・ 主任に提出すること・インターンシップ 定書を持参すること・ に関係 を関係 に関係 に関係 に関係 に関係 に関係 に関係 に関係 に
		務態度 (を (を (を (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を は の を は の に の を は の に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習者 に提出すできる実務 に提出事でき企業等へ は、内定先企業等へ す攻主任または1年 習先から指定されて	集合), 挨拶 導責会), 挨拶 等責会用に発 のうまである。 が学生は物, 評 した。 した。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後に 表資料および発表の準備をすること。 シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること。 主任に提出すること、インターンシップ 定書を持参すること。 に書を持参すること。
	ച	務態度 (修) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を は の を は の に の を は の に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習者 に提出するこる実務 はが事できる実務 は、内定先企業等へ 算攻主任または1年等 関先から指定されて	集合)、挨拶 集責会)、挨拶 養養会の言葉は用に介える。 学生は物、デ といる物、到 がといるものでは したで はなる。 と、体験したで は、体験したで は、体験したで	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ ジターンシップの目的にふさわしい業務 こと、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを報告書にまとめることができる。
		務態度 (を (を (を (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を は の を は の に の を は の に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集高), 挨拶 導責会所 を表の言葉で取る でといる物, 評 の学はる物, 到が では、 では、 のがといる。 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
	国 1stQ	務態度 (修) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を は の を は の に の を は の に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集高), 挨拶 導責会所 を表の言葉で取る でといる物, 評 の学はる物, 到が では、 では、 のがといる。 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ ジターンシップの目的にふさわしい業務 こと、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを報告書にまとめることができる。
		務態度 (修) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を は の を は の に の を は の に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集高), 挨拶 導責会所 を表の言葉で取る でといる物, 評 の学はる物, 到が では、 では、 のがといる。 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
		務態度 (修か) (マン (を) (マン (を) (マン (で) (マン (マン (で) (マン (マン (マン (マン (マン (マン (マン (マン (マン (マン	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を に で に で に の を に の を に の を に の に の を に の に の を の を に の を の を に の を の を に の を に の を に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集高), 挨拶 導責会所 を表の言葉で取る でといる物, 評 の学はる物, 到が では、 では、 のがといる。 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画		務態度位のボー学 / と書き / であった。 の	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を に で に で に の を に の を に の を に の に の を に の に の を の を に の を の を に の を の を に の を に の を に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集高), 挨拶 導責会所 を表の言葉で取る でといる物, 評 の学はる物, 到が では、 では、 のがといる。 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画		務態度位のポータンと書き、 ののでは、 2 によって、 2 によって、 2 によって、 2 によって、 2 によって、 2 によって、 3 によって、 3 によって、 4 によって、 4 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって、 5 によって	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を に で に で に の を に の を に の を に の に の を に の に の を の を に の を の を に の を の を に の を に の を に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集高), 挨拶 導責会所 を表の言葉で取る でといる物, 評 の学はる物, 到が では、 では、 のがといる。 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
受業計画		務態度位のポーター の の の の の の の の の の の の の	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を に で に で に の を に の を に の を に の に の を に の に の を の を に の を の を に の を の を に の を に の を に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集高), 挨拶 導責会所 を表の言葉で取る でといる物, 評 の学はる物, 到が では、 では、 のがといる。 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画		務態度位のポー学 / 2 に	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を に で に で に の を に の を に の を に の に の を に の に の を の を に の を の を に の を の を に の を に の を に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集高), 挨拶 導責会所 を表の言葉で取る でといる物, 評 の学はる物, 到が では、 では、 のがといる。 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画		務態 (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を に で に で に の を に の を に の を に の に の を に の に の を の を に の を の を に の を の を に の を に の を に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集高), 挨拶 導責会所 を表の言葉で取る でといる物, 評 の学はる物, 到が では、 では、 のがといる。 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画		務単ののでは、	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を に で に で に の を に の を に の を に の に の を に の に の を の を に の を の を に の を の を に の を に の を に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集高), 挨拶 導責会所 を表の言葉で取る でといる物, 評 の学はる物, 到が では、 では、 のがといる。 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画	1stQ	務単のの の の の の の の の の の の の の	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を に で に で に の を に の を に の を に の に の を に の に の を の を に の を の を に の を の を に の を に の を に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集高), 挨拶 導責会所 を表の言葉で取る でといる物, 評 の学はる物, 到が では、 では、 のがといる。 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画	1stQ	務単のの のの のの では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を に で に で に の を に の を に の を に の に の を に の に の を の を に の を の を に の を の を に の を に の を に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集合), 挨拶 導責会の, 大者に発 のまとの。 でといる物, 評 の学はる物, 到が にきるい。 したさ、体験した。 は、体験した。 は、体験した。	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画	1stQ	務 り の の の の の の の の の の の の の	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に対し、報告 を を は東文は を は を は の を に で に で に の を に の を に の を に の に の を に の に の を の を に の を の を に の を の を に の を に の を に の を に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集合), 挨拶 導責会の, 大者に発 のまとの。 でといる物, 評 の学はる物, 到が にきるい。 したさ、体験した。 は、体験した。 は、体験した。	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画	1stQ	務	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に 対し、報告 では、事なの をは、事なのいては がたら、2年と生は更 がたら、2年と生は更	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集合), 挨拶 導責会の, 大者に発 のまとの。 でといる物, 評 の学はる物, 到が にきるい。 したさ、体験した。 は、体験した。 は、体験した。	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画	1stQ	務単の	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に 対し、報告 では、事なの をは、事なのいては がたら、2年と生は更 がたら、2年と生は更	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集合), 挨拶 導責会の, 大者に発 のまとの。 でといる物, 評 の学はる物, 到が にきるい。 したさ、体験した。 は、体験した。 は、体験した。	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画	1stQ	務単の	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に 対し、報告 では、事なの をは、事なのいては がたら、2年と生は更 がたら、2年と生は更	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集合), 挨拶 導責会の, 大者に発 のまとの。 でといる物, 評 の学はる物, 到が にきるい。 したさ、体験した。 は、体験した。 は、体験した。	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画	1stQ	務単の	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に 対し、報告 では、事なの をは、事なのいては がたら、2年と生は更 がたら、2年と生は更	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集合), 挨拶 導責会の, 大者に発 のまとの。 でといる物, 評 の学はる物, 到が にきるい。 したさ、体験した。 は、体験した。 は、体験した。	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画	1stQ	務単の元子生に、	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に 対し、報告 では、事なの をは、事なのいては がたら、2年と生は更 がたら、2年と生は更	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集合), 挨拶 導責会の, 大者に発 のまとの。 でといる物, 評 の学はる物, 到が にきるい。 したさ、体験した。 は、体験した。 は、体験した。	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
注意点	1stQ	務単の 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に 対し、報告 では、事なの をは、事なのいては がたら、2年と生は更 がたら、2年と生は更	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集合), 挨拶 導責会の, 大者に発 のまとの。 でといる物, 評 の学はる物, 到が にきるい。 したさ、体験した。 は、体験した。 は、体験した。	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・
授業計画	1stQ	務単の元子生に、	報 , 報告書およる 要件	評価基準>「インタ 発表により成績を デ可」以上を に可識の範囲>心得 知識の範囲>心得 に 対し、報告 では、事なの をは、事なのいては がたら、2年と生は更 がたら、2年と生は更	アーンシップの成績 評価する。 けること・ 時間の厳守(10分前 書も作成し、実習書 に提出するこる実務 に提出するこる実務 は、内定先企業等へ 事攻主任または1年等 習先から指定されて	集合), 挨拶 集合), 挨拶 導責会の, 大者に発 のまとの。 でといる物, 評 の学はる物, 到が にきるい。 したさ、体験した。 は、体験した。 は、体験した。	に定められた配点に従って、勤務状況、 がれなど) 使印を受けて、インターンシップ終了後し 表資料および発表の準備をすること・ シターンシップの目的にふさわしい業務 ること、実習機関の規則を厳守すること 主任に提出すること・インターンシップ 主書を持参すること・ 目標 経験する実務上の問題点を体験することが ことを日報にまとめることができる・ ことを報告書にまとめることができる・ ことを発表資料にすることができる・

	4thQ	9週									
		10週									
		11週									
		12週									
		13週									
		14週									
		15週									
		16週									
モデルコ	モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標										
分類		分野		学習内容	Š	学習内容の到達目	 標			到達レベル	授業週
評価割合											
					イン	ターンシップ評価	基準		合計		
総合評価割合					100			100	·	·	
配点					100			100			

鈴周	E工業高等	等專門学校	開講年度 令和02年度 (2	2020年度)	授業科目	生産設計工学		
科目基础	楚情報							
科目番号		0076		科目区分	専門/選	7		
授業形態		授業		単位の種別と単位	対数 学修単位:	2		
開設学科		総合イノ ス)	ノベーション工学専攻(環境・資源コー	対象学年	専2			
開設期		後期		週時間数	2			
教科書/教	材	必要に「		•				
担当教員		飯塚 昇	横山 春喜,平井 信充					
到達目体 ものづく ステムの	りにおける	基本的考え フサイクル	ちであるエンジニアリングデザインの要 设計に応用することができる.	諦を理解し,生産注	活動における安全	の考え方を身に付け,移動体通信シ		
ルーブ!	ノック			1				
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レク		未到達レベルの目安		
評価項目	1		エンジニアデザインについて説明でき, 自らその能力を向上することができる.	エンジニアデザィ できる.	インについて説明	エンジニアデザインについて説明 できない.		
評価項目:	2		NABC価値提案を実践できる.		ついて説明できる	١١.		
評価項目:	3		インターネットの技術を応用して , ネットワーク設計ができる.	インターネットの おり、基本的なる ができる.	D技術を理解して ペットワーク設計	インターネットの技術を理解して おらず, 基本的なネットワーク設 計ができない.		
評価項目	4		インターネットの技術を応用した 新規サービス開発の提案書が書け る.	基本的なサービス 書ける.	ス開発の提案書が	サービス開発の提案書が書けない・		
評価項目!	5		ライフサイクルアセスメントの概要について具体例も含めて詳細に 説明できる.	ライフサイクルフ要について簡単に	⁷ セスメントの概 二説明できる.	ライフサイクルアセスメントの概 要について説明できない.		
評価項目	6		インベントリ分析の概要について 具体例も含めて詳細に説明できる ・	インベントリ分析 簡単に説明できる	 fの概要について る.	インベントリ分析の概要について 説明できない.		
		項目との関	月 係					
教育方法	太寺	A 344 66 1		在トコー / の=0=1 -	7\1			
概要		, もの: . 全1! , 第5i	こおける生産現場において必要となる各 びくりにおける基本的考え方と設計の実 5週のうち,第1週から第4週は企業で 週から第11週は企業で通信システムを	際を身に付けると「 通信用の電子・光 設計・運用した経験	司時に, エンジニデバイスを設計・ がある教員が担	アリングデザイン能力の向上を図る 作製した経験がある教員が担当し 当する.		
授業の進	め方・方法	・以下の ・授業(i ・「授業	D内容は, すべて, 学習・教育到達目標 は講義およびPCを用いた演習形式で行 镁計画」における各週の「到達目標」は	(B) <専門> およひ う. 講義中は集中し この授業で習得する	NABEE基準1.2(d して聴講する. る「知識・能力」)(2)a)に対応する. こ相当するものとする.		
注意点		価する. 点法に。 <学業版 <単位	目標の評価方法と基準> 上記の「知識・達成度評価方法と基準> 上記の「知識・能力」 より60点以上の得点を習得した場合に 技績の評価方法および評価基準> 4回の 多得要件>学業成績で60点以上を取得 学習>授業で保証する学習時間と,予習 習時間の総計が,90時間に相当する学	の重みは概ね均等。 目標を達成したこ。 レポートまたは小う すること。	とする. レポート とが確認できるよ テストの平均点を	課題,小テストの問題のレベルは百 うに設定する. 100%として評価する.		
授業計画	画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
		1週	第1週 現代における工業的生産活動 ングデザイン(横山)	とエンシーアリ	J 1.現代における「ものづくり」=工業的生産 は何か,それに携わる技術者に必要な素養や能 かが理解できる.			
後期		2週	第2週 事例に学ぶエンジニアリング とその要諦(1) - 課題設定力・課題 山)	デザインの基本 解決力ほか - (横	2. 実践的事例研究を通して, エンジニアリンインの基本とその要諦を理解し, 適切な価値半術評価等を行うことができる.			
	2-40	3週	第3週 事例に学ぶエンジニアリングとその要諦(2)一技術者としての視ーション能力ほか―(横山)	瞬・コミューケー	3. 技術開発とそ 解できる.	れに続く技術管理の基本と勘所が理		
	3rdQ	4週	第4週 技術者の喜びと責任 – 技術開 (MOT) について(横山)					
		5週	第5週 通信システムの標準化(飯塚)		4. 移動体通信に関連する標準化、周波数割り 理解できる.			
		6週	第6週 移動体通信の周波数割り当て	(飯塚)	上記 4			
		7週	第7週 無線通信機器の法規制(飯塚)		上記 4			
		8週	第8週 サービス開発の概要(飯塚)	I	5. 通信システムにおけるサービス開発とは何かが理解できる。			
		9週	第9週 インターネットその1(飯塚)		6. インターネットで用いられる技術が理解できる			
		10週	第10週 インターネットその2(飯場)		上記 6			
		11週	第11週 電波伝搬と回線設計(飯塚)		7. 電波伝搬の概要が理解できる.			
	4thQ	12週	第12週 ライフサイクルアセスメン		8 ライフサイクルアセフィントについて説明でき			
		13週	 第13週 インベントリ分析の概要(³	<u> </u>	· 上記 8			
		14週	第14週 ライフサイクル影響評価の	,	上記 8			
		17/2	第14週 フィフワイフル影音計画U	概要(半升)	上記 8			

		16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標									
分類	分類 分野 学習内容 学				学習内容の到達目標				
評価割合									
	試馬	倹	課題レポート	相互評価	態度	発表	その他	合計	
総合評価割る	合 80		20	0	0	0	0	100	
配点	80	•	20	0	0	0	0	100	